

相模原市立博物館

研究報告

Bulletin of the Sagamiara City Museum

第19集 2010

目次

加藤隆志	歩く・聞く・見る・展示する……………	1
	～秋季企画展「市民と歩いた横浜への道」 開催記録と民俗調査会の活動～	
加藤隆志・市民有志	市民が調べた相模原市内の「団子焼き」〔No. 6〕……………	21
原 弘	相模原の昆虫（蛾類を除く）……………	41
宮崎 卓・秋山幸也	相模原市津久井地域の植物相（第3報）……………	75
河尻清和	神奈川県相模原市北西部、 沢井川下流部の新第三紀火山岩類……………	85
杉本芳秋	ペルセウス座IU星のCCD測光観測……………	93
平能克泰	プラネタリウム 学習投影教材のデジタル化 ～プロジェクターの活用～……………	97



歩く・聞く・見る・展示する

～秋季企画展「市民と歩いた横浜への道」開催記録と民俗調査会の活動～

加藤 隆志

1 はじめに

本館では、平成21年(2009)9月26日(土)から11月23日(月・祝)を会期として、秋季企画展「市民と歩いた横浜への道」を開催した。今回の展示は、2009年が安政6年(1859)の横浜開港150周年に当たるのを一つの契機として企画・開催されたものではあるが、そのタイトル名が示すように、単に横浜開港の様相やそれが地域社会に与えた影響等を展示するにとどまらず、別に実施した民俗講座を母体として結成された、市民有志による民俗調査会の活動をも組み込んで開催することを主たる目的とするものであった。

筆者は、本稿と同様の展示の開催記録として、本研究報告第12集に平成14年度に開催した民俗収蔵品展「講中の共有道具」について、その内容から開催の経過、展示を経ての課題等の報告を行っている⁽¹⁾が、その際にも、今後、展示に限らず各地の博物館で行われている諸活動について機会を捉えて検討を加えていくのが一層重要になることや、現代社会において市民との係わりの中で学芸員は自ら行っている実践について開示し、相互の議論を深めていく必要性について指摘した⁽²⁾。本稿も同様の問題意識に基づくものであり、企画展の内容などの展示自体の記録とともに、特に市民協働としてともに実施した民俗調査会の活動や館との係わりに重点を置いて論を進めていくことにしたい。

2 開催の経緯と民俗調査会

(1) 開催の経緯

今回の企画展の直接のきっかけとなったのは神奈川県博物館協会からの要請である。周知のように、2009年は横浜開港150周年を迎える年であり、横浜ではさまざまな記念行事が行われた。その一環として、県の博物館協会でも加盟館園に対し、可能ならば21年に実施する展示に開港はもとより交通・流通等を含む関連するような内容のものを計画できないか、との呼びかけがなされたのである。県博物館協会では、平成13年(2001)の「東海道宿駅制度400年」の際にも音頭を取り、それを請けて県下の人文系の多くの博物館が、個別のテーマや内容で街道

や交通交易にまつわる特別展・企画展を実施した経緯があり、それと同様なスタイルが取られたのであった。結果としては、横浜市域の博物館園はそのほとんどが参加する一方、他地域ではそれほどの広がりにはなかったものの、本館としても21年秋には人文系の企画展を実施することが当初から計画されており、せっかくの機会でもありこの呼びかけに応えることにしたのであった⁽³⁾。

ただし、ここで考慮する必要があると思われたのは展示の内容である。もちろんペリーの来航から横浜開港に至る流れは日本の近代化にとって重大な出来事であり、それ自体が博物館の展示テーマとして重要なものである。しかし、今回の場合、ペリー来航や横浜開港、その後の横浜の発展などは横浜市域の他館で当然重点的に扱われる内容で、豊富な資料が展示されるのは明らかであり、横浜から離れた相模原にある博物館としてそうしたものを中心に据えることは、さまざまな点からしても問題があるように考えられたのである。そこで、今回の企画展の開催に当たって大きな柱として構想したのが民俗調査会の結成であり、その活動を展示につなげていくことがあったのである。

(2) 民俗調査会の活動

本館では、数年前から各分野で市民有志とともにさまざまな活動を展開しているが、民俗分野で本格的に市民と館活動を開始したのは平成14年11月から18年3月まで行っていた民俗講座「道祖神を調べる会」が最初であった。この講座では、担当学芸員などが館内で講義を行うだけでなく、道祖神石碑や行事の野外見学に加え、会員がそれぞれ地域で実際に行われている行事(現在、名称はダンゴヤキ・ドンドヤキ・サイトバライ等さまざまである)について調査を行い、その成果を集めて報告する活動を3年間に渡って実施した⁽⁴⁾。そして、ちょうど講座開催中の17年(2005)11月に博物館開館10周年を迎えることとなり、秋季特別展として「博物館10年の歩み」展を行ったが、その際の民俗分野の展示の一部として、講座に参加されていた方のうち17名の有志が別に「サヘノカミの会」を結成し、「相模原市内の道祖神石塔とドン

ド焼き」をテーマに展示を行った。そこでは市域の道祖神石碑を会員が改めて手分けして調べる一方、講座で調べた団子焼き行事の調査データをまとめるなど、会に参加された方が主体となって展示内容の検討から準備・製作・飾り付けまでの展示作業一切に当たり、無事に成功させた（講座の担当であったが筆者は展示内容等には一切の口出しをしなかった）。この時の展開も、開館10周年という節目に当たり、本館が地域博物館として市民とともに活動する方向を示すために筆者が講座参加者に呼びかけ、それに対して17名の方が応じていただけたからこそ可能だった展示であったが、講座での活動をベースに調査活動だけではなく、市民が主体となって展示を行うという貴重な経験を得ることができたのである。

そして、「道祖神を調べる会」の終了後に行った民俗講座が「民俗に親しむ会」（18年7月～21年6月）である。本講座は、毎月一回、野外のフィールドワークとそれを基にした館内の勉強会を交互に繰り返して行っていたもので、フィールドワークを通じて地域の歴史や文化を民俗学的な視点で捉えていくことを主たる目的とした。博物館で行われている各種の教育普及活動の中でも、フィールドワークを伴うのは人気があるものの一つであるが、この講座も当初72名の方からの申し込みがあり、結局、抽選は行わずに全員に参加していただくことにした⁽⁵⁾。そして、「民俗に親しむ会」の参加者に対して、講座を進めていく一方で呼びかけたのが「民俗調査会」の結成であった。

民俗調査会は学芸員が準備から実施まで設える講座とは異なり、参加する市民が分担して諸作業に当たりながらさまざまな活動を進めていくもので、フィールドワークを楽しみながらも学芸員と市民有志がともに市域の民俗について調べ、データを蓄積し、折りに触れて成果を発信していくことを目的とするものと捉えている⁽⁶⁾。結成に当たってまずは「民俗に親しむ会」の参加者に声掛けをして、平成19年度の後半から実質的な活動をスタートさせることとし、19年11月と12月に準備会を2回行った。すると、多くの市民から参加希望の手が挙がったのは良かったのであるがここで一つの問題が生じた。参加される方々はそれぞれ性別や年齢が違い、生活の状況も異なっており、端的に言うとは平日でない活動できないという方と、土日の都合が良いという方がいたのであった。そこで、せっかく結成するのだからということで、基本的に毎月第二水曜日に集まる調査会Aと、第四土曜日を定例日とする調査会Bの二つを結成して活動を進めていくことにした（実際にはA Bともに参加されている方が相当数いる）。具体的な活動としては、Aが20年度に

実施されることになっていた、津久井郡四町との合併によって企画された津久井地域を紹介する特別展に係わるものとする⁽⁷⁾であり、Bが本稿で取り上げる21年度の横浜開港150周年記念展に絡めた活動を行うといった方向で内容を整理して進めていった。今回の展示に係わっていたいただいた調査会Bの方々の当初の参加者は32名であった（その後、若干の人数の異同があった）。

調査会Bの実際の活動は平成20年1月の打ち合わせ会から始まり、横浜開港150周年記念展の準備のうち、活動名を「横浜への道」として、市域（具体的にはJR中央線の相模湖駅）から日米和親条約が締結された地である横浜・関内地区の横浜開港資料館を目指して月に一回ずつ歩いていき、その途中の景観や神社・寺院、小祀・小堂、石仏や道標などについて民俗的な観点からデータを収集し、実際に歩いたコースとともにそれらを企画展で展示することを提案し、全体で確認した。毎回の進め方としては、参加者が相当数に上ったため全体を四つの班に分け、各回ごとに担当する班が順番に回るようにして、当番班のメンバーがコースの検討から資料作成・下見・当日の進行・展示にあたっての記録までの一切の責任を持つようにした（各班での進め方や班内での分担は自由）。

フィールドワークで歩くコースについては、今回の「横浜への道」では、市立博物館の活動として相模湖駅から町田駅まではほとんど相模原市内を歩き、東海道から開港地横浜へ至る道は浅間下（横浜市中区）からの横浜道に行くことは当然として、その間にはどの道を通るかが大きな問題であった。『横浜の古道』（横浜市教育委員会文化財課編刊 1987）によると、相模原方面から横浜へ向かう道には二つのルートがあったことが示されており、一つは神奈川道で町田から長津田を経て東海道の神奈川宿に至るもので、これには恩田川を挟んで北道と南道がある。もう一つが八王子道で八王子から町田市辻を経て追分に至る道で、追分は東海道から八王子道が分かれる分岐点として保土ヶ谷宿に入手前に当たる。今回はこの両者の道のうち、どちらを歩いて横浜に向かうのかという点であり、結論的には、同書に生糸などの物資を運搬する道としては平坦な神奈川道がより適していたと考えられることが記されており、その他の資料をも鑑みて今回は神奈川道を進み、その中でも歩くのに適した歩道が比較的整っているということで南側の道を中心に歩いていくことにした。

実際のフィールドワークは翌月の2月23日から歩き始め、第2回目が途中雨天のため午前中で打ち切りになったことと、8月は暑さのために最初から外歩きは計画せず、ゴールである横浜開港資料館とその近くのシルク博

物館の見学会を行うこととしたため、結果的にはほぼ一年後の全13回で無事に横浜に到着することができた⁽⁸⁾。実際の日程及び大まかな経路と主な見学地・参加人数を示したのが表1である（第1～10回は平成20年、11～13回は21年）。表中の各回の距離はあくまで参加者の積算で、コース上の距離だけで見学先で歩いたものなどは含まれない。また、表に挙げたのは主な見学先のみであり、個々の路傍の石仏など細かいものは基本的に記していない。それでも全13回で歩いた総行程は約130kmに及ぶことになった。なお、ここで注意しなければならないのは、現在、社会の大きな変貌によって古くからの道を取り巻く様相は厳しく、かつての道を辿るのはかなり困難な状況

にある。そして、今回の企画は必ずしも古くからの道を通して歩くことのみを目的とするのではなく、たとえルートから多少外れても、市民の自主的な活動としてその回を担当する班が検討や下見の結果、行く必要があるとして選んだ寺院や神社・石仏なども積極的に訪れていったため、当然のことながら行程は神奈川道などの古道を紹介するものではないということである。

各班の担当としては、第2回目が前述のように雨天で午前中打ち切りになり、午後の残りを含めてそのまま第3回目も併せて担当していただくようにしたため、全13回分を四つの班が各3回（一つの班は3回＋午前の分1回となる）ずつ担当することになった。

第1回	2月23日・相模湖駅～寸沢嵐～三ヶ木（約9km）	参加27名 相模湖駅→慈眼寺・与瀬神社→相模湖記念館（昼食）→相模湖大橋・嵐山橋→鼠坂関所跡・八幡神社→正覚寺→日神社→寸沢嵐石器時代遺跡→道志橋→三ヶ木バスセンター
第2回	3月20日・三ヶ木～又野～中野（約5km）	参加11名（*雨天のため午前中で打ち切り） 三ヶ木バスセンター→三ヶ木神社→長成寺→又野八幡神社→実相院→円蔵寺→尾崎罌堂記念館（昼食）→奈良井バス停
第3回	4月26日・中野～根小屋～太井（約8km）	参加28名 六本松バス停→観音寺→観世音菩薩塔（川和の辻）→青雲庵→中野神社→宝寿寺→雲居寺→功雲寺→城山パークセンター（昼食）→根小屋諏訪神社→小網諏訪神社→大蔵寺→津久井湖観光センター
第4回	5月24日・中沢～城山ダム～川尻（約10km）	参加29名 都井沢バス停→普門寺・飯縄神社→三嶋神社→城山ダム展望台→津久井湖記念館（昼食）→川尻遺跡→新小倉橋→山王神社→大正寺→久保沢観音堂→原宿の市跡→原宿バス停
第5回	6月28日・川尻～相原～橋本（約11.5km）	参加27名 原宿バス停→川尻八幡宮→めいめい塚→二本松八幡宮→二本松こどもセンター（昼食）→原宿用水跡→華蔵院→正泉寺・阿弥陀堂→相原八幡宮→瑞光寺→香福寺→神明大神宮→橋本駅
第6回	7月26日・橋本～小山～矢部（約10.2km）	参加21名 橋本駅→蓮乗院→宝泉寺→蓬萊橋の二十三夜塔・精進場→天縛皇神社→札次神社（祭礼）→福生寺→小山市民センター（昼食）→御嶽神社→長泉寺→小山公民館・江戸道の碑→氷川神社→村富神社→矢部駅
(番外)	8月23日・（横浜開港資料館・シルク博物館見学会）	参加28名
第7回	9月27日・矢部～淵野辺～町田（約13km）	参加26名 矢部駅→矢部駅の引込み線跡→上矢部の板碑→土塁跡→御嶽神社→日枝神社→淵辺義博居館跡碑→皇武神社→縁切り榎→龍象寺→古淵西公園（昼食）→鹿島神社・大日堂→木曾の一里塚→観音堂（覚円坊）→八坂神社→住吉神社→妙延寺→町田駅
第8回	10月25日・町田～成瀬～長津田（約11km）	参加26名 町田駅→「絹の道」碑→浄運寺→「二・六の市」説明板→勝楽寺→町田天満宮→祥雲寺→高ヶ坂遺跡→熊野神社→（途中、成瀬街道の石仏）→成瀬杉山神社・東雲寺（昼食）→福昌寺→上恩田杉山神社→神明社→随流院→長津田駅
第9回	11月22日・長津田～十日市場～中山（約8.6km）	参加25名 長津田駅→乾藪倉庫跡→金比羅神社（御野立所）→大石神社・上宿常夜灯→福泉寺→王子神社→お七稲荷→大林寺→下宿常夜灯→いほとり地蔵→上の原の石仏→十日市場スポーツセンター近くの公園（昼食）→日向山神社→宝袋寺→観護寺→円光寺→旧城寺→三保町杉山神社→中山駅
第10回	12月20日・中山～鴨居～小机（約10.6km）	参加24名 中山駅→大蔵寺→恩田川・鶴見川合流点→万蔵寺→上山八幡神社→白山神社・女神像地神塔→白山地区センター（昼食）→本柳寺→林光寺→東観寺→本郷神社→泉谷寺→住吉神社→金剛寺→小机駅
第11回	1月24日・小机～新横浜～菊名（約10.8km）	参加24名 小机駅→雲松院→本法寺→小机城址→鶴見川流域センター（昼食）→三会寺→篠原町杉山神社→篠原の双体道祖神→新横浜駅前の庚申塔→篠原八幡神社→篠原北の双体道祖神→本乗寺→八杉神社→菊名駅
第12回	2月28日・小机～六角橋～東神奈川（旧神奈川宿）（約11.5km）	参加25名 小机駅→貴雲寺→神明神社→岸根公園→六角橋杉山大神社→祐天地蔵→善龍寺→反町公園（昼食）→本覚寺→三宝寺→甚行寺→普門寺→洲崎神社→神奈川台場跡→慶運寺→高礼場復元場→笠穆稲荷神社→蓮法寺→子安駅
第13回	3月28日・東神奈川～浅間下～横浜開港資料館（約10.8km）	参加25名 東神奈川駅→金蔵院→熊野神社→成仏寺→浄瀧寺→大綱金比羅神社→台町の茶屋跡→神奈川台の関門跡→勸行寺→浅間神社→横浜道・平沼商店街（昼食）→掃部山公園→県立青少年センター→神奈川奉行所跡→伊勢山皇大神宮→成田山横浜別院→吉田橋→横浜公園→横浜開港資料館→神奈川県立歴史博物館→桜木町駅

表1 行程表

3 展示の実際

(1) 展示の基本的な方針とその構成

前述のように、民俗調査会のフィールドワークは企画展開催の前年の20年2月から開始され、データの集積を進めて行ったのであるが、そのほかの部分、つまり館として担当する展示の本格的な準備を開始したのはその年も押しつまった12月に入ってからであった。20年度は秋季特別展として合併した津久井地域を紹介する展示が予定されていて、秋まではその準備に追われていた時期であり（この展示では調査会Aの大きな係わりがあったことについては注(7)に記した）、この特別展終了後に全体的な展示の構想を立て、展示資料についての本格的な調査を行うこととなった。

展示構想を固めて行く上でもっとも頭を悩ませたのは、調査会が担当する部分以外の展示をどのようなものとするかといった点及び、それと調査会の展示コーナーとの関係である。もとより今回は調査会の展示が企画展の中心となることは間違いなく、それは企画展のタイトル名として「市民と歩いた横浜への道」を採用したことにも現れている。しかし、それだけでは内容的にもスペース的にも企画展としてはボリュームに乏しいものになってしまい、今回の展示の狙いである博物館と市民がともに行う展示としてもかえって魅力に欠けるものとなってしまふ恐れがあると思われたのである。この点については、具体的な展示資料の選定と並行しつつ期的に可能な限り検討を行い、結局、以下のような全般的な方針で実施することとした。

- ①「市民が歩いた横浜への道」として、学芸員が民俗調査会とともにフィールドワークを行い、それによって展示活動まで行ったことの具体的な内容を第一義として示す。
- ②今回の展示で扱う「横浜への道」のルートは旧道そのものではなく、あくまで現代に生きる市民が自らの興味や関心で切り取った道である。しかし、当然のことながら地域にはかつての古道に関する資料も多く残るほか、フィールドワークの際にも意識して歩いており、展示ではかつての道の様相を示す絵図や地図・文書なども扱う。また、今回は東海道の神奈川宿に至る神奈川道から横浜道を経るルートを歩いており、東海道や神奈川宿の様相を示す資料も併せて展示する。
- ③調査会Bで「横浜への道」を歩ききっかけとなったのも横浜開港150周年という出来事からであり、ペリーの来航から横浜開港へと至る状況についても、絵図などをはじめ横浜浮世絵も含むさまざまな資料を展示する中で示していく。ただ、開港の流れを追うにとどまる

のではなく、横浜開港が地域社会に与えた影響といった観点を重視して展示を構成する⁽⁹⁾。

- ④対象とする期間としては、横浜開港との係わりを踏まえて幕末から明治期までとする。これは、開港当初のみではなく、横浜と相模原との関係から重要である明治20年（1887）の横浜水道の敷設や、明治41年（1908）の横浜線（開業時は横浜鉄道）の開通までを含める。

以上のような方針を受けて最終的に確定した展示構成について、具体的な展示内容のイメージを示すために実際に作成したパネルでの解説文を表2に掲載した。また、展示構成を受けての展示設営としては図1のようにした。本館の特別展示室は長方形を成し、長辺の両方の造り付けのウォールケース（長さ約12m及び21m）が設置されている。そのため、展示室の中に移動式の壁を並べてその両面に調査会による展示を行い、両方のウォールケースと移動ケースに表2の(2)以下の実物資料を列品したのである。資料的に古文書など縦書きのものが多いため、動線は反時計回りとなっている。なお、紙面の関係上、大変細かくなって恐縮ではあるが展示資料目録を表3に示した。

この構成の中で、若干の説明を要するのは表2の(2)にある「地域の歴史とフィールドワーク」であろう。調査会の活動では、横浜までの道を歩きながら民俗学的な観点の基に途中の社寺や石仏などいろいろなものを訪れていき、途中では横浜とのつながりを示すものばかりではなかったのはあまりにも当然である。そうした地域に残る実にさまざまなものを見て調べていくことにフィールドワークの楽しみの一端があるのであり、今回も実際に歩きながらまさに多くのものを見ていくことになった。この展示でも、フィールドワーク全体としての楽しさとフィールドワークを通じて地域の歴史を捉えていくといった視点を、何とか展示内容に含めたいということでこのようなコーナーを設けることにしたのである。そこで具体的にどのような事項を取り上げるかが問題となるが、企画当初は調査会で歩いた全体あるいは班ごとの個別のコースの紹介に加えて、「地域に残る歴史と文化」と「フィールドワークの見方・楽しみ方」との三部立てで展示を構成し、歩いたコースから関連する事項を広く設定して、例えば、各回のコースから一つずつのテーマをトピック的に扱うことなども考えたのであった。しかし、前述のような準備期間の短さもあり、相模原や周辺地域の町田はまだしも、横浜市域で何を取り上げてそれをどのような資料で展示できるかといった調査や検討を充分には行うことができず、結果的には表2で挙げたような鼠坂の関所・町田市木曾町の一里塚・町田の市といった三つの

事項をごくわずかの資料によって展示するにとどまった。 けに観覧者に逆に奇異な感じを与えたことも考えられ、この部分は、実物資料の展示の中でもやや異質であるだ 課題が残るものとなった。

<p>(1) 市民と歩いた「横浜への道」*民俗調査会及び今回の調査会Bの活動を説明する内容であり、これまで記してきたことと重なるため省略。</p>
<p>(2) 資料にみるさまざまな道 [資料に見る横浜への道] 今回の「市民と歩いた横浜への道」では、古くからの道にあまりこだわらずに歩き進めましたが、地域にはかつての道の状況が記されている絵図や地図、記録類などが残されています。それらの資料には、道の位置や名称・道幅など、多くの内容が示されていて参考になります。しかし、それでも都市化などによって大きな変貌が見られる今日において、古い道を知り、たどって行くことはかなり困難になっているのも確かです。 [地域の歴史とフィールドワーク] 今回の横浜への道では、神社や寺院・石仏等をはじめとじてさまざまなものを見ながら歩きましたが、かなり有名であるのにも係わらず、ひっそりと存在しているものもありました。フィールドワークの楽しみの一つは、自分だけのお勧めの地を見つけることですが、地域の歴史にとって重要な場所に行き、実際に自ら確認していくことにもあります。ここでは、そうした中から嵐坂の関所や一里塚・町田の市を取り上げてみました。皆様もいろいろな場所を訪れて実際にご覧になってはいかがでしょうか。きっと新たな発見があることでしょう。 [東海道と神奈川宿] 江戸日本橋を出て東海道の三番目の宿場であった神奈川宿は、東海道の中でも有数の規模を誇った宿場で、その賑わっていた様子はさまざまな資料の中に描かれています。また、宿内には神奈川湊があり、東京湾内や全国各地を結ぶ物資集散の地として重要な位置を占めていました。神奈川宿は、関東大震災と第二次世界大戦の戦火によって歴史的遺産の多くを失うことになってしまいましたが、それでも町中の至る所に宿場や開港に係わる史跡が残されています。 [神奈川宿と横浜] 相模原方面から横浜へ出る主なルートの一つであった神奈川道は、神奈川宿を経て東海道を保土ヶ谷宿方面に進み、現在の西区浅間町から開港に伴って造られた横浜道に入ることになります。当時の横浜は半農半漁の一村落でしたが、嘉永7年(1854)のペリー再来日の際に応接地とされ、日米和親条約が締結された地として歴史の表舞台に登場します。そして、当初、諸外国からは神奈川の開港が要求されたものの、幕府は横浜を神奈川宿の一部だとして横浜に開港場を建設しました。</p>
<p>(3) 横浜開港 [横浜浮世絵] 開港した横浜の風景や物事、風俗などが描かれたものに横浜浮世絵があります。浮世絵とは「浮世」=当世の風俗や話題を題材として主に町民に支持され、また、錦絵の名で親しまれているように、多色刷りの版画形式での表現が用いられました。日本と西洋が接触し、和と洋が入り混じる横浜の地は浮世絵の対象としてふさわしい場であり、これから起こる社会の大変動に対する庶民の旺盛な好奇心を満たすものとして多くの横浜浮世絵が残されています。 [黒船来航] すでに18世紀末頃から日本の近海では外国船の往来が盛んになり、江戸幕府を脅かし始めます。特に嘉永6年(1853)6月、アメリカのペリー艦隊の浦賀(横須賀市)への来航と上陸は、その後の日本の行く末に決定的な役割を果たした出来事でした。そして、翌年に再来日したペリーとの間で横浜の地(現在の横浜開港資料館)で調印された日米和親条約は、西洋諸国と結んだ最初の近代的条約であり、引き続いて他の国とも同様の条約が結ばれました。 [横浜開港] 日米和親条約の規定によって、安政3年(1856)にアメリカ総領事のハリスが下田に赴任し、その後日米修好通商条約も締結されて、ついに安政6年(1859)に横浜・長崎・箱館(函館)が貿易のために開港されました。こうして横浜は発展を遂げていくのですが、当初から街並みが整っていたわけではありません。作成年代が異なる横浜の地図などを見ていくと、開港地・横浜がどのように形成されていったのかを知ることが出来ます。</p>
<p>(4) 開港と地域社会 [黒船の情報] 黒船の来航に対して幕府は沿岸地域の警備を命じ、また、それらに伴う東海道などの活発な人馬の往来は、物資輸送の要員の確保と経費をはじめとして周辺農村も一層の負担を強いられることになりました。同時にこれまで見たこともない黒船の出現は人々の関心をいやが上にも高め、好奇心をかきたてました。それは黒船を直接眼にした沿岸の人々だけではなく、瓦版等の絵をはじめ手紙や伝聞などとして伝わっており、市域や周辺地域にも資料が残されています。 [外国人との接触] 横浜に多くの外国人が入ってくるようになると、狭く思われない者たちによる外国人を傷つける事件が起こって緊張が高まり、横浜や東海道の各所に警備のための関門が設けられ、また、従来の東海道のルートを変更することなども計画されました。その一方で、外国人との交流もなされていき、外国人が自由に出入りできる範囲の中には市域(相模原地域)も含まれています。例えば、明治3年(1870)6月にはイギリス人が田名を訪れていますが、こうした外国人を地域の人たちはどのように迎えたのでしょうか。 [横浜へ出た商人] それまで普通の農漁村に過ぎなかった横浜には、開港に伴って外国入とともに多くの日本人も開港地での商売のために移り住むことになりました。市域からも何名かの人たちが、横浜へ出て生糸などさまざまな商品を扱う店を営みました。市域に係わる横浜商人は次の通りです。藤野野田野川 佐藤才兵衛 城山町久保沢 八木兵助・同町畑久保 鶴屋八郎右衛門 相模湖町若柳 鈴木屋嘉助・同津久井屋専左衛門・同山口屋市郎右衛門 相原 井上小左衛門 [横浜を支える水道] 横浜に多くの人間が住むに伴い、大きな問題となったのが飲料水の確保です。イギリス人技師パーマーの設計・施工により、明治20年(1887)に完成したのが相模川と道志川の合流地点から取水する横浜水道で、津久井郡三井村から横浜までの44キロメートルに及ぶ近代水道を完成させました。その後、横浜の発展に伴い、同30年に取水地点を道志川の青山地区に、大正4年(1915)には現在の青山・鮎子に変更するなど、たびたび拡張工事が行われ、現在でも横浜市民の重要な水源となっています。相模原からは水道道など、水を通じたもう一つの横浜への道もつながっているのです。 [駅建設への願い] 横浜鉄道(現横浜線)は、製糸業・織物業の盛んな八王子地域と横浜を結ぶことを目的として明治41年(1908)9月に開業しました。橋本付近の駅について、当初は町田側の相模原が計画され、すでにある程度町場の様相を示していた橋本には予定されていませんでした。そのため、地区の主だった人たちは駅設置についての陳情を行い、用地や建設費の一部提供を申し入れるなど、駅の建設にかかる熱意によって橋本駅が作られました。</p>

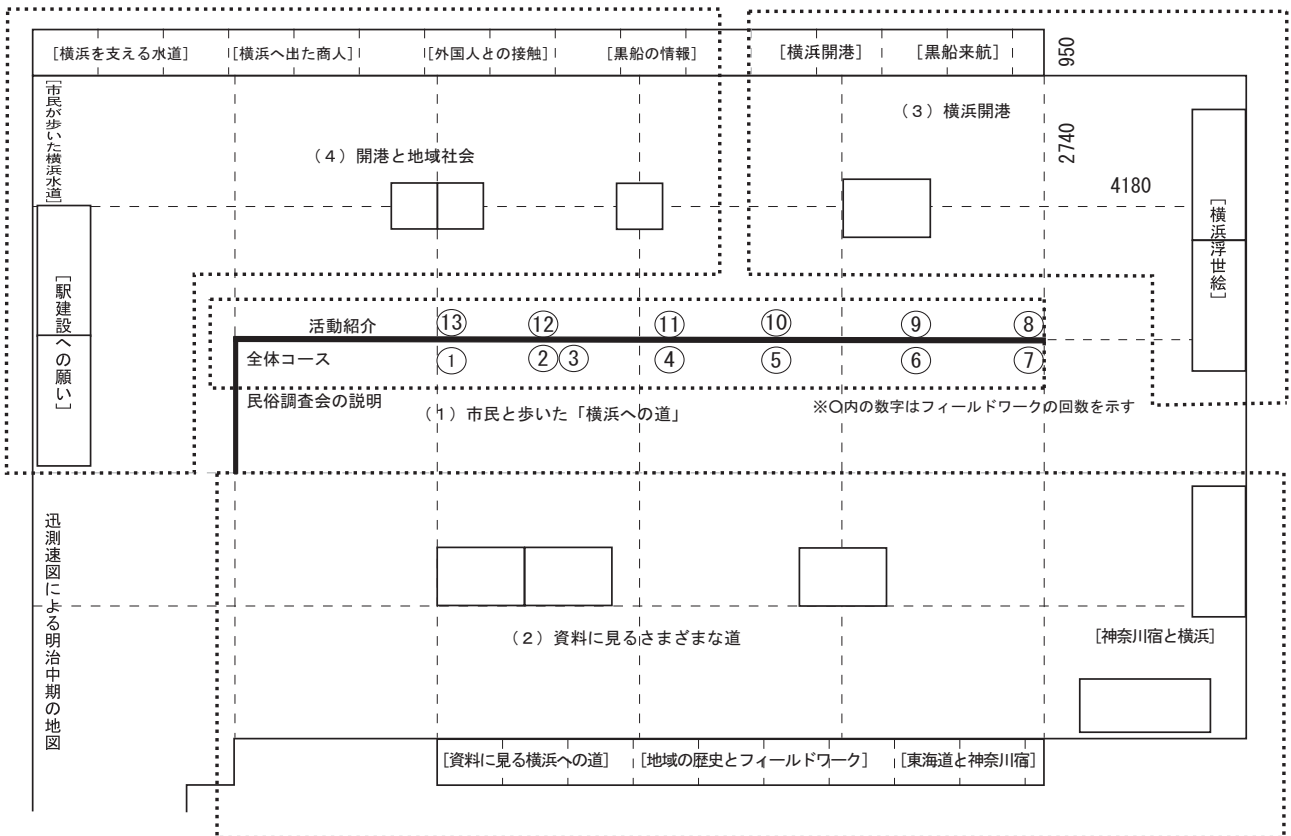
表2 展示構成(実際の解説パネルの文案を基にした)

(2) 準備の実際

展示に係わる諸準備としては、前述のように20年度の秋季特別展終了後に展示全般の考え方の検討を行うことと並行して資料調査を進めていった。まず、本館が所蔵する地図などの洗い出し、また、市民の方々が本館に寄託されている古文書等のうちから関連する資料をリスト化していった。その後、周辺博物館・資料館が所有する資料についても調査を行ったが、横浜開港150周年に当たる今年には各館で関連する展示が開催されており、それらを見学することである程度は把握することができた一方で、各館での企画展開催に伴う資料借用のバッティングや展示期間の長期化による資料保護の問題もあり、現実に一部に借用ができないものや写真パネルに変更せざるを得なかったものもあった（ただし、写真パネルにしたためにケースに入れる必要がなく、間近に見ることができるといった思わぬ利点もあった）。このように準備を進

めながら、表2のような展示構成をまとめて6月24日には開催要項の決裁を伺い、続けて出品依頼も準備して整ったところから順次依頼文を発送していった。

次に取り掛かったのは印刷物関係である。今回は、A2判ポスター500枚とA4チラシ10000枚のほかには予算の関係上図録は難しく、その代わりにリーフレット（オールカラー・表紙裏表紙とも全体で12頁・5000部・無償配布）を作成することにした。ここでも問題となったのは、リーフレットの内容をどうするかといった点である。リーフレットであるのでそれほど多くの頁ではなくテーマを絞る必要があるが、例えば、調査会の活動内容（実際に歩いたコース等）を示すものや、今回のコースを歩く際の手引きとなるガイドマップ、あるいは展示室両側のウォールケースで示したような展示内容自体を解説するものなど、いくつかの内容が考えられた。この点も結局は、民俗調査会の活動といった今回の展示全体の趣旨やタイト



※横浜水道及び横浜開港博Y150関係パネル（特別展示室前・中庭沿い）

図1 会場レイアウト

資料名	所蔵者	年号	備考
<①市民と歩いた横浜への道>			
全コース地図	館蔵品による製作		
各回コースの地図と写真(地図12点)	館蔵品による製作		市民による準備・展示
<②資料に見る横浜への道>			
パネル「横浜への道」	シルク博物館		シルク博物館作成のもの の借用
「八王子と横浜を結んだ道」地形図		明治	巡回パネル
神奈川県管内図	神奈川県立歴史博物館	明治初期	
相模武蔵二州図	神奈川県立歴史博物館	明治12年	
相模国輿地全図	本館	嘉永2年	
武蔵国全図	個人蔵(川崎市市民ミュージアム寄託)	安政3年	安政3年開板
手書彩色関東実測図(17点)	本館	明治15年	
南多摩郡各町村縮図(12点)	町田市立自由民権資料館	明治19年	
中野村絵図	個人蔵	天保14年	
小山村絵図	個人蔵	文化4年	
上矢部道路台帳	本館(大野村役場資料)	大正9年	
淵野辺村絵図	個人蔵(本館寄託)	江戸後期	
相原村道路修理費取調	本館	明治9年	
矢部新田村皇国地誌	個人蔵(本館寄託)	明治12年	
磯部村皇国地誌	個人蔵(本館寄託)	明治12年	
寸沢嵐村田畑並諸書差出帳	本館	元禄8年	
寸沢嵐村差出明細帳	本館	寛政10年	
神奈川県郷土資料写真綴三 N o 110鼠坂関所址	本館(津久井郷土資料室保管)	昭和16年	
淵野辺村地誌御調御書上帳	個人蔵(本館寄託)	文政9年	
下溝村皇国地誌	個人蔵(本館寄託)	明治12年	
原町田市場規則	個人蔵(町田市立自由民権資料館寄託)	大正14年	
原町田村明細帳	個人蔵(町田市立自由民権資料館寄託)	明治3年	
東海道五十三次道中図屏風(六曲一双)	厚木市郷土資料館		
東海道分間絵図	厚木市郷土資料館	元禄3年	
東海道分間絵図	厚木市郷土資料館	宝暦2年	
細見神奈川絵図	横浜開港資料館	天保15年	
江戸名所図会(2点)	本館	天保5年~	
東海道名所図会	厚木市郷土資料館	寛政9年	
<③横浜開港>			
金川ヨリ横浜遠見の図	厚木市郷土資料館	万延元年	
神奈川横浜一覽	厚木市郷土資料館	万延元年	
亜墨利加蒸気船	厚木市郷土資料館	文久元年	
横浜波止場ヨリ海岸通異人館之真図	本館	明治初年	
横浜新埋地高嶋町揚屋三階造海岸遠景之図	本館	明治初年	
横浜異人館之図	厚木市郷土資料館	万延元年	
横浜各国商館之図	厚木市郷土資料館	明治4年	
横浜海岸通商館繁栄之図	厚木市郷土資料館	明治3年	
横浜繁栄本町通時計台	厚木市郷土資料館	明治7年	
横浜巖亀楼上	厚木市郷土資料館	万延元年	
神奈川御開港横浜絵図	横浜開港資料館	安政6年	写真パネル
横浜式景之真景	横浜開港資料館	明治4年	写真パネル
ペリー艦隊横浜上陸	横浜開港資料館	嘉永7年	写真パネル
ペリー肖像写真	横浜開港資料館		写真パネル
横浜村海辺新開場絵図	川崎市市民ミュージアム	江戸後期	
神奈川港御貿易場御開地御役屋敷並町々寺院社地ニ至ル迄明細大絵図にあらわす	横浜開港資料館	安政6年	
東海道五十三次之内 神奈川宿台ヨリ十五景見渡御行列之図	横浜開港資料館	江戸後期	
蒸気船之図	川崎市市民ミュージアム	江戸末期	
北亜墨利加共和政治州士官真像之写	川崎市市民ミュージアム	嘉永7年	マッチウセヘルリ
相州浦賀表江上陸行歩之図	川崎市市民ミュージアム	江戸末期	
北亜墨利加人物之図	川崎市市民ミュージアム	江戸後期	
横浜道の光景	横浜開港資料館	万延元年	
神奈川御台場絵図	横浜開港資料館		
陣屋絵図	厚木市郷土資料館	慶応2年	
横浜全図	川崎市市民ミュージアム	明治3年	「改良横浜明細全図」と途中入れ替え
改良横浜明細全図	川崎市市民ミュージアム	明治20年	「横浜全図」と途中入れ替え
改正新刻 横浜案内絵図	厚木市郷土資料館	明治	
ペアド写真集	厚木市郷土資料館		
神奈川県写真帖	厚木市郷土資料館	大正2年	
横浜八景詩画	厚木市郷土資料館		
横浜開港見聞録(2点)	本館	文久2年	

表3 展示資料リスト

<④開港と地域社会>			
異国船の落書き（床板裏面の落書き）	大和市教育委員会（つる舞の里歴史資料館保管）	安政3年	
廻状写（異国船渡来）	個人蔵（本館寄託）	貞正月	
御固大名御役人附へるり来航図(異国船渡来図)	個人蔵（本館寄託）	嘉永6年	
亜墨利加使節江応接之趣	個人蔵（本館寄託）	安政4年	「古文書を読む会」1
五之御台場会図（袋入り・4点）	個人蔵（本館寄託）	安政4年	
諸事覚書（異国船渡来・五カ国交易差許、2点）	個人蔵（本館寄託）	嘉永6年	二分冊「古文書を読む会」2
当春異国船渡来二付人馬継立高取調帳	個人蔵（本館寄託）	嘉永7年	
横浜合日記	個人蔵（本館寄託）	明治5年	
横浜諸入用覚帳・日記帳	個人蔵（本館寄託）	慶応4年	
横浜日記帳	個人蔵（本館寄託）	明治3年	
晴雨日記11・13（イギリス船浦賀渡来・大筒の音、2点）	個人蔵（町田市立自由民権資料館寄託）	嘉永6・安政3年	
横浜近郊外国人遊歩規定範囲図	本館	慶応3年頃	
十里内御取締御請証文写	個人蔵（本館寄託）	安政6年	
THE FAR EAST	横浜開港資料館	明治3年	
見張番屋取建図	個人蔵（川崎市市民ミュージアム寄託）	万延2年	
中原往還図	個人蔵（川崎市市民ミュージアム寄託）	江戸後期	
東海道御道替之図	厚木市郷土資料館	文久3年	
津久井屋引札	横浜開港資料館		
横浜御開港御触書並願書控	神奈川県立歴史博物館	安政6年	
願書本文之廉書写	神奈川県立歴史博物館	万延元年	
差出一札写 弁天通商店	神奈川県立歴史博物館	万延元年	
商法取建方之儀奉願上候	神奈川県立歴史博物館	万延元年	
願書写	神奈川県立歴史博物館	万延元年	
五ヶ町議定連判帳写	神奈川県立歴史博物館	万延元年	
乍恐以書付奉願上候	神奈川県立歴史博物館	万延元年	
乍恐以書付奉願上候	神奈川県立歴史博物館	万延元年	
願書写	神奈川県立歴史博物館	万延2年	
横浜出店願書写	神奈川県立歴史博物館	万延元年～文久元年	
書面写	神奈川県立歴史博物館	文久元年	
五品江戸廻し令	神奈川県立歴史博物館	文久元年	
商方掛役割帳	神奈川県立歴史博物館	慶応元年	
横浜鉄道株式会社創立事務報告書	個人蔵（町田市立自由民権資料館寄託）	明治37年	
横浜鉄道開通原町田祝賀会通知	個人蔵（町田市立自由民権資料館寄託）	明治41年	
東神奈川八王子間汽車発着時刻及賃金哩程表	個人蔵（町田市立自由民権資料館寄託）	明治41年	
汽車発着時刻表	個人蔵（町田市立自由民権資料館寄託）	明治42年	
横浜鉄道敷設之儀ニ付情願書	本館	明治28年	
堺村に停車場を設けられん事を願ふの陳情	個人蔵（町田市立自由民権資料館）	明治36年	
請願書	本館（相原村役場資料）	明治36年	
陳情書付図	本館	明治36年	
意見書	本館（相原村役場資料）	明治38年	
承諾書	本館（相原村役場資料）	明治39年	
提供書	本館（相原村役場資料）	明治40年	
「市民が歩いた横浜水道」パネル			市民による準備・展示
横浜水道計画書	横浜開港資料館	明治16年	
掛軸「湘水」	個人蔵	明治23年	
横浜市水道拡張記念写真集	個人蔵	大正4年	
横浜水道拡張工事記念絵葉書	本館（津久井郷土資料室保管）		
<⑤>横浜開港博Y150関係巡回展			
横浜開港博Y150「組の道」パネル			巡回パネル
上溝市場開設五拾年祭記念写真集	本館寄託	大正8年	写真パネル

※この他に横浜水道関係資料（横浜市水道局青山水源事務所蔵）を特別展示室外で展示

ル名を生かすために、完全に調査会として各回で歩いたコースを紹介するものとして、特にペリー来航に始まる歴史や横浜開港と地域社会との関係など、実物資料を解説するものとはしないこととした。このようなリーフレットの利点としては、企画展が終了しても博物館を拠点とした活動を示すための資料として活用できることがあり、今後も残ったものを実際にさまざまな機会に使用するつもりである。反面、リーフレットを見ただけではどのような展示が行われたのか（調査会の活動以外の横浜開港に係わる豊富な実物資料が展示されていたことなど）が分からないといった点もあり、「市民と歩いた横浜への道」のタイトル名と並んで、後述するように観覧者に展示内容が分かりにくいとの印象を与えることの一因ともなった。これらの印刷物は7月下旬に印刷業者と契約し、ポスターとチラシは一ヶ月前の8月下旬、リーフレットは9月の連休前の18日には納品された。

このほかの主要な作業としては、委託関係の事務と解説パネルやキャプションの作成がある。まず委託関係としては、今回は、屏風や横浜浮世絵などの美術品的な作品も多く、美術品運搬の専門業者に借用資料の大部分の梱包・運搬を委託し、秋の展覧会が多い時期であるためなるべく早目に事務を進めることに努めた。さらに、A1判などの大判の写真パネルや展示ケース内に設置するのに必要な斜台などは展示業者に委託して製作した。解説パネルや資料キャプションについては、今回はすべて館内で作成することとしたため8月下旬から順次、原稿作成や決裁を行っていき、列品作業までには間に合わせることにした。解説パネルの内容は表2に掲載したとおりで、項目ごとに作成したがあまり文章が長くないように基本的に200字程度とし、資料キャプションには資料名・所蔵者とごく短い説明を記した。ただし資料によっては、キャプションだけでは書ききれない重要な点や見所を示すため、約20点には別に200字ほどの小説明を行った。

このように準備を進め、9月中旬からは職員による公用車等での集荷と美術品運搬専用車による借用となり、9月21～25日にかけて列品を行って無事に26日のオープンにこぎつけることができた。ちなみに終了後の作業関係では、最終日の翌日の11月24日に撤収、25～26日に美術品運搬専用車での運搬業者による返却、27日から12月3日にかけて公用車での返却作業を行い、その後、展示資料借用者等への礼状送付や、企画展全体の報告書類を作成して今回の企画展はすべて終了した。また、24日には平日にも係わらずこの時にも調査会のうちの都合が付く方々が多数集まり、自分たちが担当した部分の解説や

写真・キャプションなどの撤収を行ったのである。

(3) 民俗調査会の展示準備

前項と同様に展示準備に係わることではあるが、民俗調査会が行った作業等については別に記していくことにする。

相模湖駅を出発としたフィールドワークは、翌年の21年3月に神奈川道から横浜道を経て無事に横浜開港資料館前に到着し、4月以降には八王子道のフィールドワークを行いながら展示の準備を進めて行った。その打ち合わせとしては、まず、横浜へ至る最後のフィールドワーク一週間前の3月21日に第一回目を行い、企画展の日程や内容、構成案等を筆者が調査会の方々に説明して展示全般の確認を行った。次に、4月25日の第2回打ち合わせ（当日は八王子道のフィールドワークの予定であったが雨天のために中止となり、第二回目の打ち合わせ会に振り替えた）で調査会として行う展示内容を決定し、館が行う作業部分と調査会が行うものとの分担を図った。また、その際には、調査会は展示のデータを用意するだけでなく、作成されたパネルなどの飾り付けや終了後の撤収まで責任を持って作業に当たることも確認された。そして、5月30日の第3回目打ち合わせでは、今後の作業スケジュールの調整や関連事業の実施計画などを話し合い、打ち合わせ会後半には班別の具体的な作業に取り掛かり、その後は全体ではなく班ごとに適宜作業を進めていくことになった。

実際の調査会の展示内容についてもう少し説明すると、展示コーナー冒頭の民俗調査会の存在やその活動内容について、あるいは今回は「横浜への道」として神奈川道を中心に歩いたこと、相模湖駅から横浜・関内地区までの全体のコース説明等のパネルは館側で作成することにした。一年以上も同じ顔ぶれで活動していると、参加している者たちにとっては館の学芸員であっても当たり前のことになってしまうが、初めて見聞きする者にとっては、月に一度にしても遠く相模湖から横浜まで歩いていくなどということはかなり特異なことであり、今回の調査会の活動が、横浜開港150周年記念に伴う博物館と市民との協働事業であることを明確に示すことにした。また、各回ごとの細かいコースの地図も必要であり、これらはデータをコンピュータに取り込んでルートを重ねていくなど、一般の家庭ではできない作業であるため館で作成した。それに対して調査会が行ったのは、自分たちの班が担当した回のコースの概要及び、各回の見所を10ヶ所程度選定してその写真を用意し、併せてそれらのキャプションを作成することである。当初の打ち合わせでは、

コース概要は200～300字程度、写真のキャプションも名称のみで良いとしたものの、実際に作業が始まると各班ごとにいろいろな要望や工夫が出てきて、概要は長くなり、キャプションも名称だけでなく簡単な説明を加える班も出てきた。それでも、各班による検討の結果ということであえて統一することはせずに、そのまま作成して展示することにした。調査会が担当する展示スペースとしては、展示室内に設置した移動式の壁一枚分（幅約2m）で各回の内容を扱い、両面合わせて12枚分のパネルで全体を紹介することにした。したがって、それぞれの班は3回ずつフィールドワークの当番となったため、四つの班が3枚分の展示スペースの準備から撤収までの作業に当たることとなった。

作業に班別に当たったため進行の状況は一様ではなかったが、夏場にかけて順次、展示する写真のデータやキャプション原稿データなどが提出され、これも博物館側で順番に館にある大型プリンターで印刷していき、調査会が展示作業を行う予定となっていた9月23日まではすべて用意して当日は朝からスムーズに作業が行えるようにした。調査会では当日、多くのメンバーが集まり、まず班の代表が集まって展示に当たった可能な部分の調整を図り、その後は各班ごとに担当するスペースの飾り付けを行っていき、当日の午後にはすべての作業を終えることができたのであった⁽¹⁰⁾。

今回は民俗調査会に参加された市民の展示がメインであったわけだが、実はもう一つの市民有志による展示があったことを申し添えておかなければならない。それが「市民が歩いた横浜水道」のコーナーである。横浜が開港し、その後の急激な発展は横浜での飲料水をはじめとした水の確保といった大きな問題をもたらし、その解決のために、明治20年（1887）には相模川と道志川の合流点付近から引水する横浜水道（その後、取り入れ口は道志川に変更された）が建設され、横浜の発展とともに拡張工事が繰り返されて現在でも横浜市域の水道水の一端を担っている。この意味ではもう一つの「横浜への道」として、横浜水道は市域と横浜を結ぶ重要な所産であり、水道管が埋設された「水道道」は車が通らない散歩やジョギングの道として相模原市民にも親しまれている。そして、調査会参加者のうちの一部の方が中心となり、水道道や水道施設を辿りながら自主的に20年7月から12月まで5回に渡って、津久井町青山の道志川の取り入れ口から相模原・大和市を経て横浜市西区の野毛山浄水場跡まで歩いていくことを行い、それをまとめたのが「市民が歩いた横浜水道」である。こうした活動が独自に行われていることを筆者も中心になっておられる方から伺って

おり、今回の企画展の全体的な趣旨からいっても是非にと考え、歩いたコースや各地の見所をやはり写真と説明で紹介する地図を作成していただくことをお願いしたのである。この展示は民俗調査会とは別の側面での市民の主體的な活動であり、今回の企画展の内容をより一層深めるものとなったことは間違いないところである。それとともに、今後ともこうした市民各位の取り組みと博物館とがどのような係わりの基に活動を展開するかを考える際にも、重要な観点を提供するものとなったと言えよう。

（4）関連事業について

今回の企画展の関連事業については、通常の記念講演会と展示解説のほかに体験学習としての「繭うさぎ作り」を行い、さらに民俗調査会に係わるものとしては「市民が歩いた横浜への道発表会」を企画した。

まず、講演会は館が毎月第四日曜日の午後に行っている日曜講演会に併せて、10月25日（日）に第81回日曜講演会「横浜開港と生糸が運ばれた道」（講師は横浜開港資料館主任調査研究員の西川武臣さん）を実施した。

主たるテーマは、横浜開港は日本全体が近代社会に歩み出す第一歩となるとともに、生糸貿易などを通じて地域社会にも大きな影響を与えた出来事であったことに鑑みて、横浜開港や生糸貿易の動向等にも触れながら市域から生糸が運ばれた道など、生糸流通と地域社会の係わりについて考えるといったものであり、155名もの参加者があって内容的にも好評を得た。展示解説は、担当学芸員である筆者が展示内容や資料について説明するものでこうした企画展ではよく行われるが、今回は調査会の活動を紹介する発表会を別に行うこととしたため、調査会が展示を担当した部分については、そこが市民が展示したもので相模湖駅から横浜まで歩いた結果が展示されていることを簡単に触れるのみとし、約45分に渡って展示ケース内の実物資料を中心に説明することとした。展示解説は10月18日（日）・10月31日（土）・11月14日（土）の計3回行ったが今回は参加者が少なく、それぞれ6名・4名・7名であった。

「繭うさぎ作り」は、まず繭を半分に切り、そこから耳と尻尾を切り出して残った半分の繭に取り付け、目鼻などを描いてうさぎとするものである。繭が一個でできる上に比較的簡単で、子どもでも短時間に作る事が可能であり、ここ3年ほど秋の企画展に合わせて行っている。横浜開港は養蚕製糸を通じて地域社会と深く結びついたものであり、養蚕の結果で生み出される繭を使った工作ということと、どうしても今回のような企画展では

大人向きの資料観覧が中心となる面があるため、少しでも多くの方に親しんでいただけるものということで今回も実施した。材料の繭は昨年行った残りの繭を用い、参加者の指導は市民学芸員⁽¹¹⁾の協力を得た。この繭うさぎ作りは各自が作った繭うさぎを持ち帰ることができることもあって毎回好評な企画であり、会期中2回実施して10月11日（日）113名・11月8日（日）154名の参加があった。

以上のような関連事業に対して、今回の企画展で独自なものとして位置付けられるのが「市民が歩いた横浜への道発表会」である。この企画は調査会として展示の準備を進めていく過程で発案したもので、せっかく歩いた成果を紹介するのだから展示だけでなく、実際に歩いた参加者が自分たちの声で途中の状況や見所などを説明したらどうであろうか、ということを書者が提案して受け入れられたものである。どうしても企画展などの展示は平面的な行為であり、視覚に頼らざるを得ない面が多くなるのはやむを得ないところではあるが、今回は調査会という市民有志がまた別の市民に対して、自らの活動を生の声を通して伝えるということが大事であり、その機会を設ける必要があるのではないかと思われたのである。この「市民が歩いた横浜への道発表会」も全3回実施した。これは歩いた全コースを3回に分けて紹介することにしたため、具体的には、9月27日（日）の第1回目（参加者人数61名）に相模湖駅～橋本駅までの第1～5回のコースを発表して、11月1日の第2回目（日）は橋本駅～中山駅（参加者47名）、同じく11月22日の第3回目（日）には中山駅～横浜開港資料館（参加人数39名）までの行程を扱っていき、毎回の発表会において四つの班すべてが必ず担当することができるように設定した。当日は発表会の開催時間を全体で2時間とし、筆者がまず民俗調査会及び今回の活動と、どの道を歩いていったかについて触れ、休憩を挟んだ後に各班が15分ずつ自分たちの歩いたコースをパワーポイント等の映像とともに説明していった。また、第2回目の発表会からは、15分ではとても時間が足りないという声が出されて各班20分ずつと変更になり、筆者が話す時間を削ることで調整した。映像のデータ作成や説明に当たってのスタイルについても展示と同様に各班ごとの工夫が見られ、社寺や石仏などだけではなく途中の風景や別に撮影した行事の様子を入れたり、一人が全体を通して話していくものから何人かの掛け合いで進めていくものまであって、調査会に参加された方々は展示が完成して終了ではなく、企画展開始後も今度は発表会の準備に力を注いでいただくこととなった。こうした関連事業を計画することで、さらに準備等の負担が

掛かることになったのではあるが、展示だけではなく充実した発表会までも開催できたことは、博物館の活動はもとより館と市民との協働といった観点からしても、今後の展望について大きな可能性を示唆するものとなった。

(5) 本展開催に当たっての若干の課題

何とか事前に立案した要項の案に則って無事に開催することができた今回の企画展では、会期中に11,574名の観覧者を迎えることができた⁽¹²⁾。調査会の会員も自らの担ったフィールドワークから展示までの、全体で一年にも及ぶ活動成果が具体的な形となって表われ、実にたくさんの観覧者が見学したということに対しての満足感はかなり高いものとなった。そして、もう一つの調査会Aのメンバーをはじめ、多くの人々が博物館を舞台として市民がこれだけの活動を行ったということを実際の展示を通して実感したことは間違いなく、一定の評価を得ることができたのではないかと思われる。

このように、博物館と市民との協働としての企画展の試みは当初の目的をかなり達成することができたのであるが、企画展自体の評価として捉えると、今回の展示での観覧者の動向にはある特徴を窺えたように思われる。当然のことながら、期間中、筆者は資料確認など折に触れて展示室に向き、また、今回は開館中常時ではないものの監視が一名配置され、その者を通じて観覧者からの質問を受ける機会があった。多くの観覧者は自らの住む場所付近の地図や写真に注目し、中には自分でも歩こうとして熱心にメモを取る姿なども見られたわけだが、実は、調査会が担当した横浜への道の紹介コーナーに関心を持たれる方（すなわち、自分でも歩こうとして熱心にメモを取るような方である）と、ケース内の実物資料をより熱心に見られる方とは比較的分かれる傾向にあった。そして、観覧者からの質問のほとんどが、調査会の担当した部分のうちのそれも相模原市域に関するものであり、具体的には展示してある場所にどう行ったらよいかといったものだったのである。これは本館が地域博物館として、来館者の多くの部分を相模原市民が占めているのに拠ることや、やはりフィールドワークに対しての要望が強いことへの反映とも考えられるが、この点とも関連して、今回の企画展が市民協働を前面に押し出してタイトル名を決定し、リーフレットも調査会で歩いたコースを紹介するという内容としたこともあり、横浜までの歩いた行程の紹介は当然として、横浜開港などに関するこれだけのさまざまな実物資料が展示されているとは思わなかったという声があったのである。

今回の企画展では、例えば第一部として調査会で行っ

た「横浜への道」を紹介するものと、第二部の横浜開港に係わる実物資料を展示するコーナーを別々にすることが望ましかったといえる（実際には展示室を分けて行うことなど本館の特別展示室の構造上からは困難だが）。そうした形式的な点とは別に、この展示が二つの柱から構成されていることが来館者に必ずしも正確に伝わっていなかったとすると、関心のある市民にせつかくの展示を見る機会が提供されなかったことになる。今後とも広報のあり方を含めて、展示内容を的確に示し、多くの市民に興味をもって来館いただけるように、さまざまな点から工夫や検討をしていかなければならないということを改めて考えさせるものであった。

次に述べておきたいのは、今回の企画展は県の博物館協会からの協力要請に基づくものという側面があることを述べたが、こうした内容の展示は博物館の歴史分野が担当するのが通常であろう。しかし本館の場合、現状では歴史担当が欠員になっていて、民俗を専門とする筆者が担当したという事情があり、実際の準備に当たっては、歴史的な紙を中心とした資料の調査を民俗担当が進めていくことの課題があった。結果として、黒船来航や横浜開港が日本の歴史にとってかなり重要な出来事であったため、近隣の博物館や資料館に多くの資料が保管されており、比較的スムーズに借用交渉を行うことができたものの、例えば古文書の内容の読解などにはどうしても支障を生じ、今回のような展示としては含まれることが十分に想定される資料⁽¹³⁾が細かい調査に手が回らずに断念したのもあった。そういった意味では、やや深みに欠ける部分もあったことは否めないといえる。反面、こうした事情が民俗調査会の活動を一つの柱に据え、その他の部分の構成に際しても民俗を専門とする筆者なりの視点を取り入れ、ある意味で特徴的な展示となったのであり、今後の地域博物館として重要であり、欠くことのできない重要な役割でもある市民協働の活動が一步進んだこともまた確かであった。実際に展示を担当したのもとしてこの点をどう評価するかは難しく判断することは避けるほかないが、ここでは上記の事情もあって今回のような内容の構成となったということを記すにとどめておく。

4 おわりに

本稿では、平成21年度秋季企画展「市民と歩いた横浜への道」に関して、その開催に至る経過から準備・実施に至る状況を報告し、若干の課題についても記してきた。その点では担当者自らが行う展示記録であり、近年、各地で眼にすることも多くなってきた展示批評に連なるも

のである。特に今回の展示では民俗調査会に大きな特徴があるため、調査会の結成のいきさつから活動に至る点を含めて取り上げてきた。

多少大げさではあるものの民俗調査会の理念としては、まず地域博物館の役割として、資料を掘り起こし、地域を捉える資料を蓄積して残し、活用するということがあり、そうした活動を博物館の学芸員のみとするのではなく、市民自らが係わって行うということがある⁽¹⁴⁾。そして、筆者が上記の活動に本格的に取り組んだのが本文中にも挙げた「道祖神を調べる会」であり、平成16～18年の3年間にわたり、講座参加者有志が実際に地域で行われている団子焼き行事の状況を調査した。参加者は延べ83名、調査地点84か所（調査票は2年あるいは3年続けて調べた地点があるので147枚）に及び、21世紀においても相模原市域で行われているこの行事の実に多様な姿を、民俗講座として行ったことによってある程度民俗学としての学問的なレベルにおいて調査し、把握することができたのである⁽¹⁵⁾。

このような経過をへて結成されたのが民俗調査会であり、今後とも参加者自らが楽しみながらも成果を蓄積し、情報を作り出して発信する作業を市民とともに進めていきたいと考えている⁽¹⁶⁾。その際に課題となるのは、調査会自体の活性化とともに、あくまで館の活動として言わば独りよがりにならないことであろう。そのためにもたえず会員からの評価⁽¹⁷⁾と、参加していない市民が調査会の活動をどのように見ているかを意識して進めていくことなども大事になってくると思われる。実際にはなかなか難しい点を含んでいようが、今後の活動を通じて検討を進めて行く必要も感じている。

最後に、現在、各地の博物館で市民がさまざまな活動に参画しながら、館の運営がなされていくことが一層盛んになっている。こうした活動は神奈川県内では平塚市博物館が著名であるが、今ではほとんどの館で行われ、ある意味で平塚市博物館のそれが特に目立たぬほどになっていると言えよう（もちろんこれは望ましいことである）。本館でもまた各分野でさまざまな活動を行い、名称はいろいろだが民俗調査会のような組織も結成されている⁽¹⁸⁾。そのような市民協働が各地で行われるようになると今度はまさに活動の質が問われることとなり、よく言われるような単に館の活動が活性化したということにとどまらずに、その活動が博物館や地域に何をもちたらし、どのような意味を有するのかといった点までが課題となることが考えられる。この積み重ねが、これも現在、各地でなされようとしている「博物館評価」がどうしても定量的なものに陥り勝ちなのに対して、いかに定性的評価を加え

ていくのかを、市民協働のような活動を通じて捉えていく視点につながっていくと考えられる。そのためにこそ、博物館や学芸員は自らが企画し、実施する同様の活動について明らかにし、情報を共有化して各館の単発的な取り組みとして捉えるのではなく、市民とともに相互に検討してより良いものとしていく必要があるといえるのである。本稿もそのためのささやかな報告である。

そうは言ってもここまで述べてきたことはかなり重い課題であり、簡単に可能なものとなるはずもない。筆者としても今回の展示で十分に果たすことができなかつた、フィールドワークの見方や楽しさを、実際のフィールドワークだけではなく展示等の他の方法でもいかに伝えていくといった点を検討していくとともに、今後とも市民との調査会の活動を継続して具体的に実践していくことを通じて、これからの本館としての地域博物館のあり方を模索し、考えていきたいと考えている。

注

- (1) 加藤隆志 「民俗収藏品展「講中の共有道具」開催の経過と実際—地域博物館における資料収集保存・調査研究と関連して—」 『相模原市立博物館研究報告』第12集 2003
- (2) 注(1)と同じ。7・22頁。
- (3) これとは別に今年の横浜開港に係わる事業として、横浜市からの呼びかけに応じて相模原市・町田市・八王子市の三市では、共同で「絹の道～八王子と横浜を結んだ道～」と称するパネルを作成し、Y150会場（赤レンガ倉庫会場）において6月1～7日の間で展示を実施した。これらのパネルは横浜での展示終了後に三市で巡回することが申し合わされており、本市では今回の企画展に合わせて、特別展示室前の中庭沿いに移動式のパネルを立て、そこに「絹の道～八王子と横浜を結んだ道～」の地図1点と15枚の解説パネルの展示を行った。
- (4) 成果は、「市民が調べた相模原市内の「団子焼き」」〔No.1〕～〔No.3〕として本研究報告第14～16集に報告している。なお、講座終了後にも有志によって調査は続けられており、それらについても本誌第17集以降に掲載し、本第19号にも平成20年正月の各地の状況を報告した。
- (5) もちろん、この人数はフィールドワークを行うには効果の面でも安全面でも適正人数をはるかに超えている。それでも抽選による落選無しとしたのは、筆者はフィールドワークを伴う講座を10年ほど続けており、参加者にも常連の方が何人かいて、遂行上、カバーしていただける見込みがあったことや、実際には当日、欠席者等があって実際の参加はもう少し減ること、そして、今回の講座は数年間は継続する予定であり、せっかくフィールドワークに参加する意欲があって申し込まれた多くの方を抽選という形で篩にかけ
- てしまうのを避けたかったことなどが挙げられる。結果的には、途中で参加を止める方もあって各回のフィールドワークの参加者は40名程度に落ち着いていき、それでも外歩きにはかなり多かったものの何とか最後まで無事に実施することができた。
- (6) 民俗調査会は事前申し込み制の講座ではないため、現在でも随時、参加自由である。ただし、本稿でも記した性格上、ただ、「お客さん」として受動的に席を置くのであればお断りし、どこかの班に加わって何らかの作業を分担する必要があることを了解の上で参加していただくこととしている。最近では、このような作業は確かに大変だが、皆で作業をすることで一層興味が湧くし理解も深まるとの認識も形成されつつある。
- (7) 調査会Aの活動は本稿の対象ではないので詳しくは触れないが、当初の参加者は平日のためBよりも少なく17名であった。調査会Aでは本文中にも記したように、最初は昨年度の秋季特別展「みてみて津久井ただいま調査中！第二期～津久井の歴史と文化～」(会期：平成20年10月4日～11月30日)において「甲州道中を歩く」のコーナーを担当していただいた。これは、実際に市域の甲州道中四か宿(関野・吉野・与瀬・小原)を中心に、山梨県の上野原から東京都八王子市の小仏峠間を歩き、今回と同様にその間の社寺や石仏などについてデータをまとめて展示するものであり、地図や航空写真などを交えて甲州道中の旧道を紹介して行った。さらに関連事業として、自分たちの実際に歩いた成果を活用して、一般の市民を広報誌で募って相模湖駅から藤野駅までの現地を歩く機会を設けるなど、まさに調査会に参加する市民が別の市民を案内する活動をも実施することができた。
- (8) 第11回(小机～菊名)はそのルートから大きく外れているが、中世期の城跡として著名で遺構も比較的残存している小机城址をはじめ、周辺のいくつかの見所を見学するために少々寄り道をしたものである。また、3月に横浜まで歩き通した後に、結果的には調査会として4月以降、神奈川道との比較の意味を込めて町田から八王子道を通って旧保土ヶ谷宿まで歩くことや、開港博で賑わう横浜・関内地区、津久井町三井地先及び青山地区の横浜水道の取り入れ口なども訪れている。
- (9) 具体的には表2の(4)に挙げた部分であり、例えば名主の家に残る古文書から黒船や開港の情報がどのように地域にもたらされたのか、また、津久井から横浜へ出て商売を行った横浜商人の動向を示す資料、大和市下鶴間の小倉家住宅で発見された安政3年(1856)の「黒船の落書きが描かれた床板」などである。さらに、明治3年(1870)の田名でのカヌー走行が記された英字新聞(THE FAR EAST)なども、外国人との実際の接触という点から興味深い。日本の歴史として大きな出来事が、身近な地域とどの

ように係わるかといった視点は地域博物館にとってもっとも基本的な視点の一つであり、今後もそうした点に配慮して諸活動を展開していく必要があるのは言うまでもないところであろう。

- (10) 今回の展示に当たっては、調査会とは別に博物館実習生による展示もあった。博物館実習は学芸員の資格習得のために博物館法に定められているものであり、本館も毎年、各大学からの依頼を受けてそれぞれ分野別に数名の実習生を受け入れている。人文系では実習生に何らかの展示作業を課題とすることが多く（ただし、必ずしも毎年ではなく人文系の全分野でもない。実習のカリキュラムはその年の状況によって変わってくる）、今年度については、歴史と民俗分野の実習生に展示を行ってもらったこととした。具体的には、民俗分野の3名には注(3)で記した「絹の道～八王子と横浜を結んだ道～」関係である。これは15枚のパネルと地図1枚であったが、実習生は検討の結果、このパネルだけでは相模原に関する記述が少ないということで、市域の上溝地区で明治3年（1870）に開設された「溝市」についての解説パネルを新たに作成して完成させた。また、歴史分野の3名は横浜水道関係のうち、現在の津久井町青山の横浜水道取水口にある横浜市水道局青山水源所からお借りしたパネルや模型類の展示を担当した。スペースの関係もあって特別展示室内とは別に、「絹の道～八王子と横浜を結んだ道～」と同様に中庭ガラス前に移動式のパネルを設営して展示していった。両分野の実習生とも、自分たちで話し合いながら、観覧者に展示意図をより分かりやすく示すにはどうしたら良いかを真剣に考えて作業を進めていったことを記しておきたい。
- (11) 今回の企画展に係わる市民の活動としては、民俗調査会の他に市民学芸員の協力がある。市民学芸員は各分野に属して活動するグループとは異なり館全体として募集されたもので、申し込まれた方には講座を受けていただき、その後希望者は登録して各企画展等で行われる教育普及活動において指導に当たったり、ここ数年は本館の開館日である11月20日前後に行っている常設展示室のクイズラリーの運営・実施などを担当している。繭うさぎ作りの実施に際しては、市民学芸員各位の全面的なご協力を得たことを付記する。
- (12) この人数の多寡については別途検討が必要であり、本稿ではこれ以上の言及を差し控えるものの、昨年の秋季特別展「みてみて津久井だいま調査中！第二期～津久井の歴史と文化～」が11,972名、19年度秋季企画展「蚕を育て、糸を売る～相模原の養蚕製糸～」が11,959名というようにほぼ似たような数値を記録している。9～11月といった同時期の展示においては、あまり内容に係わらずに同様な観覧者数となるのが窺え、この時期の小学校等の団体利用などの館全体の来館者数の動向も踏まえつつ、本館の置かれて

いる状況の中から捉える必要があろう。

- (13) 例えば、津久井地区の「五品江戸回送令」に対する反対の動向などが挙げられる。文久3年（1863）、幕府は横浜出しの糸や荷物を禁止したが、それにより生糸輸出に依存していた津久井地域の農民は難渋し、翌元治元年に津久井県の村役人が結束して奉行所に訴えた資料が残されている。この資料は、津久井農民の生活や産業、横浜開港による津久井への影響を的確に把握できる資料とされる。『相模湖町史歴史編』相模湖町史編さん委員会編 相模湖町刊 2001 363～364頁
- (14) 地域博物館の活動の基盤を構成する視点が明瞭に示されたものとして、平塚市博物館が開館20周年を記念して実施したシンポジウムがある（「平塚市博物館開館記念20周年記念シンポジウム すべての町に博物館を—高まる地域博物館への期待—」『平塚市博物館年報』第20号 1997）。筆者はこれまで何回か本シンポジウムで議論された点について本誌などでも触れておりここでは詳述しないが、このシンポジウムで議論された地域博物館の視点を筆者なりに簡潔にまとめると以下のとおりである。
- ①地域研究の方法論の実践。調査の過程を重視し、総合的な観点から捉える。
 - ②そうした活動を市民とともにやり、成果を蓄積して公開する。
 - ③地域に関する情報を自ら作り出す。この活動を通じて地域を捉える。
- (15) 3年間の調査全体に係わるまとめは、本誌第16号の「市民が調べた相模原市内の「団子焼き」〔No. 3〕」で行った。調査では団子焼き行事の具体的な状況を把握することができたほか、そうした調査の持つ、同時刻に行われる行事を多くの人間で調査することの利点や、地域に住む生活者からの視点を通じた特徴など、筆者にまた多くの点を改めて考えさせることもなった。この点については、「市民が調べた相模原市内の「団子焼き」〔No. 3〕」のほか、別に「地域博物館における市民による調査の実例—民俗講座「道祖神を調べる会」の活動から—」『博物館の仕事』8人の学芸員編 岩田書院刊 2007 でも触れた。
- (16) 調査会Aについては、20年度の特展終了後に若干の検討期間を経て、現在は「相模原民俗マップを作る」をテーマに活動を始めている。これまでのフィールドワークの成果を生かし、市域のフィールドワークに当たってのガイドマップを作っていこうというもので、然る後には作成したマップを基に一般の市民を募って調査会のメンバーが実際に案内する試みも行うことを視野に入れている。また、調査会Bは「横浜への道」関係がすべて終了し、22年1月からはとりあえず「鎌倉道を歩く」をテーマに市内当麻から府中市の大国魂神社を目指して歩いていき、引き続いて甲州道中の府中宿から日野・八王子宿をへて、八王子市片倉・

鎌水から橋本まで一筆書きのようにして戻るという予定でフィールドワークを開始したところである。両者の活動については、ある程度成果がまとまったところで改めて紹介し、検討することにした。

- (17) 全員とはいかなかったが、今回の活動についての感想や反省等を会員から無記名で書いていただいたものを以下に記す。この中にはさまざまな内容が含まれており、すぐにも出来る改善点やあるいは検討を要するものもある。いずれにしても今後の活動に役立てていかなければならないものである。なお、掲載に当っては一部表記を整理したところがあることをお断りしておく。
- 街道を歩くたびに、一步一步歩けば確実に着くという実感を改めて思った。知らない道をなじみの人達と歩け、知らない事を得られ、とてもうれしい日々であった。教えていただいたほんの少しの事しか私の中に蓄積していかないので申し訳なく残念だが、しかし少しは残っているものと思う。これからも知らない町を歩くことで少しでも自分をひろめられればと思う。
 - 参加させていただいてとても楽しく、いろいろな事を見聞できた。二年間はたちまち過ぎた。自分でできることをなるべくやって行きたいと思う。この会が長く続くことを願っている。
 - 知らない事ばかりで毎回楽しく参加出来て喜んでいる。昼食場所は外ばかりでなく、時々食堂でもよいかと思う。これからも皆さんと楽しく過ごし知識を深めることが出来ればと思う。
 - 「横浜への道」は2008年2月相模湖駅をスタートして、2009年3月の横浜開港資料館まで番外編も加えて14回、それと町田駅から保土ヶ谷駅（2009年12月で完了）まで「八王子道・保土ヶ谷ルート」での4回、そして番外編「横浜水道の原点を訪ねる」と、追加編「横浜関内地区補足と野毛山地区」の2回で、合計20回約2年間に及ぶ長丁場のフィールドワークであった。その間雨で途中1回だけ午前中で切り上げたことはあったが、概ね天候に恵まれ、良きメンバーと共に楽しいフィールドワークであった。フィールドワーク実施に当たっては各班の自主性を基に役割分担を決め、コースの情報収集と下見、コース決定と資料作成、フィールドワーク実施と、「全員参加」又「皆で作る上げる」という調査会の趣旨が徹底された。フィールドワークを実施している間に自然と調査会のキーワードである「協力」「楽しむ」「健康」が実感された。それが長く続けられた理由ともなった。また反省としてフィールドワークのまとめは博物館での展示会と発表会で少しは満たされたが、データの整理、蓄積、活用については未熟な面があり、今後の課題である。それとメンバー全体の知識のレベルアップも必要なものと思われる。本当に楽しいフィールドワークであった。
 - 担当班となり、事前調査は大変有意義のあることだと感じ

た。この調査会の積み重ねが知識となるだろう。横浜まで楽しく歩くことが出来た。道の真中を歩いたり先頭から離れる、大声で話すことなど残念なところもあった。

- メンバーとの交流についての欠如があった。1年以上にわたり、横浜道を共にしたが、班ごとは別にして、交流が余りなくお互いの名前も一部を除いて不明であった。やはり班変更は必要だと思った。知識の共有化について、各人に格差があり、たとえわかっていることであっても共通基盤が欲しい。
- 横浜線ルートと相鉄線ルートを歩いて比較したので、各ルートの特徴がよくわかった。横浜へ行くには相鉄線のほうが早いと感じていたが、電車のせいではないことが良くわかった。
- 横浜への道を完歩出来たことが自分として非常にうれしく自信がついた。知識はその時間いてもすぐ忘れ、神社寺院についても自分たちの担当したこと以外は忘れてしまったが、素晴らしい体験をしたと感謝している。その後もう一度歩いてみたい所もたくさんあるので、機会を見て自分なりに考えてみたいと思う。
- 途中からの参加だったが、とても楽しかった。参加できない時は一人でも行きたいと思う。発表会や展示という目標があったため、各回が引き締まった。フィールドワーク中に人数が多くて車道にはみ出ていることが多くあり、声をかける人が苦勞していたので改善したい。特に石仏などの小さい物を見るときには、数回に分けて、又は数人に分けて順に見る工夫が必要かもしれない。資料や地図が事前に自宅に届いてから（切手代は各自負担で）当日参加するのも良い。何回か全員で集まって学芸員の講義を受ける時間があれば、全員でゆっくり会える機会が出来てよいと思う。
- ほぼ全行程を歩くことが出来て良かった。先にゴール地点を一回見学出来て良かった。集合地点が近い時は、集合時間を少しは早めても良いかもしれない。下見にはなかなか全員が参加出来ずに班の人たちにも申し訳なく思うこともあった。
- ルートを決め、下見をし、資料作成、発表となると責任もあるが、面白みもあり楽しい企画だった。人の後について歩いていくと、ルートさえ覚えずにいたことに改めて気が付いた。新しい目で色々なことを見て、新しい発見をし、グループでの結束もあり、楽しく月日が過ぎた。
- 最後まで歩けるとは思わなかったが、楽しく参加できた。グループで下調べをするということも楽しかった。
- 全13回楽しく歩いた。横浜開港についてそれほど意識したことはなかったが、横浜の色々なことについて興味を持っていた。また、見知らぬ土地を下見してコースを考えるという作業も、回数を重ねるにつれて楽しくなった。今は個人的にも時々未知の土地を歩いて楽しんでいる。石仏から入った講座だったが、歴史にも興味を持ち始め、今後更に勉強

したい。

- 甲州道、絹の道、横浜線開通、横浜開港など、相模原市は絹の産地や横浜への重要な交通地点で日本の近代の発展に大きな役割を持っていた。実際に現地を歩いてみて、現在の横浜の発展の様子が理解出来た。昔の横浜や相模原、津久井などの発展の様子が分かった。現在の道と旧道との関係が理解出来た。またその地域の昔の町と、現在の町の位置、現在の違いがよく理解出来た。
- グループが主体となって、学芸員と一緒に活動が出来て非常に良かった。企画展と報告発表会も行い、良い講座であった。これからも続けて活動できることを望む。
- 本講座は新相模原を含めたもので非常に良かった。特に津久井地域は旧相模原と違って独特のものを持っており、今回も回って見たい場所がたくさんあったことは収穫であった。今回は参加者（市民）が資料を収集して作ったことはそのものだけでなく、広範囲に勉強になった。このような企画は今後も続けてほしい。
- 歩く距離は10km程度が良いと思う。歩くスピードは少しゆっくりが良い。見る場所を欲張らないで、重点スポットを決めて時間をとる。下見は非常に勉強になった。今のスタイルで続けて欲しい。
- 「横浜への道」は目標がはっきりしていたので、班全員が同じ方向に向かい協力しながら進めたのが成功につながったと思う。順番で担当が廻って来た時、参加者に喜んでもらえる企画をと考え、下見や資料集めをしたが、少しも苦にならず、特に下見では皆でわいわい楽しく遂行出来た。各班とも同じだと思うが、班で行動をする時は結束力が強く、全員がリーダーになり、目標に向かった。この班の「輪」は大切にしていきたい。日程や行程をリーダーが全てを決めてしまうと他班員は付いていだけになり有効な手段といえず、どこかで不満が出てくると思う。調査会の班員の中には早く歩けない人がいるので、歩行は少しゆっくりと歩いて欲しい。また、ゆとりある行程の計画をして欲しい。午前・午後に5分程度の休息も必要かと思う。博物館の行事に参加してまだ数年だが、自分が成長していくのを実感している。これからも楽しみたいと思っている。
- たまたまメンバーに入ることが出来て良かった。「横浜への道」は楽しい企画だった。人間的にもそれぞれ素晴らしい方々とメンバーを組み、役割を決め、下見を数回重ね、区役所や資料館を訪ねて、分かりやすい資料を作った。良い勉強になった。博物館が親しみやすく感じた。今後もこのような企画があれば参加したい。
- 当番班になった時、トイレと昼食場所の確保に苦労した。特に小雨の場合を考慮して屋内での昼食場所を確保することが大変だった。この度のテーマは「横浜への道」であったので、途中の文化財見学より「道」そのものに重点をおいたコース選びや説明があったらより良かったと思う。社

寺や文化財見学よりも、昔の道に近いコースを辿りながら、かつて旅人が歩いた景色を想像したり、道標を詳しく見て歩くようなフィールドワークも楽しかったのではないかと思った。民俗調査会Bの次回のテーマは「道を歩く」なので、特にサブテーマに合わせたコース取りや説明を望む。目的地に向かって歩く場合、歩道のない道は基本的に右側を歩くようにしたい。また列が長くなり過ぎないように当番班は注意したらよいと思う。展示は各班それぞれに工夫し合ってそれぞれの特徴が出たことは良かったと思うが、もう少し基本的な部分において統一を図っても良かったとも思う。一つのテーマでの展示なので、見る側の立場に立ったとき、色々工夫しているとみるか、統一が取れていないと見るが疑問に思った。博物館側で応援してくれる範囲が明確でなかったように思った。例えば、展示の地図や写真のプリントアウトなど、どの範囲まで準備すればどの時点で完成するのかなどが不確定で、展示物の作成予定や班員が集まって作業する予定が立て難かった。

- 展示開催中、チラシと冊子の写真が同じだったのでチラシと同じと思い、冊子を手にする人がとても少なかったのが残念だった。発表会の様子はビデオに撮っていないと思うが、記録すると良かったのでは。
 - 常にテーマを意識できていたかは疑問であった。全員が同じレベルで参加出来ず、誰かに負担が集中してしまった。ただ寺社・石仏を廻るのではなく、各回誰かに話を伺えるサプライズ的な楽しみが欲しい（これに苦労した）。市民参加型（自ら考え行動する仕組み）が定着したことはすばらしい。学芸員を中心に、情報発信する市民が企画する展示会を開催するのも夢ではない。
- (18) 現在、本館のこうした会は民俗調査会A及びBのほかに、考古分野の「相模原縄文研究会」、自然関係として「さがみはら水生昆虫調査会」・「相模原植物調査会」・「相模原地質研究会」がある。また、注(11)に挙げた市民学芸員も活動を行っている。

最後に、今回の民俗調査会Bのフィールドワークや展示などの活動に参加された会員の皆様に対し、厚くお礼申し上げます（敬称略・五十音順）。

安達美紀 五十嵐 昭 井上恒也 今野さおり 岩瀬賀由里
大野愛子 小田和夫 木川田京子 木村飛亜 久能光江
佐々木登久子 佐々木康賢 宍戸哲夫 杉本照世 鈴木富子
高橋敬子 高橋保行 樽井美智子 豊田 愛 中里孝之
難波陽子 西隈智子 西村千恵子 西村良子 橋本勝邦
本間甫子 光廣秀造 安岡文雄 矢野健治 山崎 登
余語美枝子 吉水典子 渡部敬三 渡辺由史子



出発点近くから見た相模川の風景



説明を行うのも担当班の仕事（川尻遺跡）



途中では神社の祭礼にも出会う（町田市札次神社）



道標をさがすのも楽しみの一つ（横浜市・八王子道）



もう少しでゴール到着（横浜道）



ゴールの横浜開港資料館前の記念碑



特別展示室前の表示パネル



会場内



会場内 (手前は東海道展風)



会場内



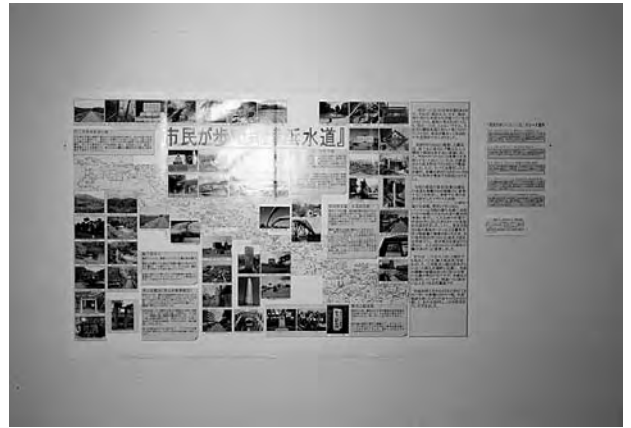
民俗調査会の活動を説明した展示パネル



調査会による展示箇所①



調査会による展示箇所②



「市民が歩いた横浜水道」パネル



「絹の道一八王子と横浜を結んだ道一」展示（中庭前）



実習生による展示解説（民俗分野実習生）



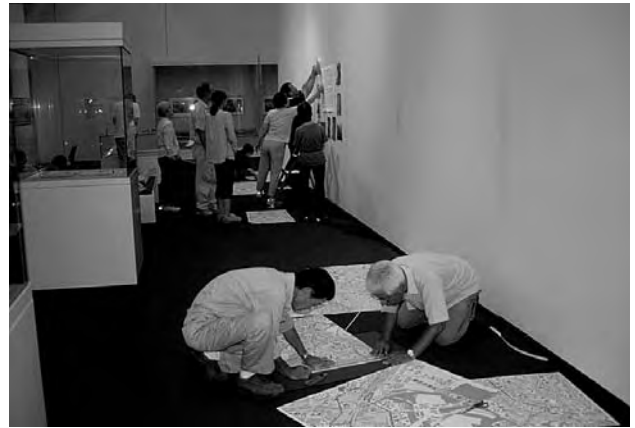
横浜水道の展示（中庭前）



実習生による展示解説（歴史分野実習生）



調査会会員による展示作業①



調査会会員による展示作業②



「市民と歩いた横浜への道発表会」



発表会の机や椅子の出し入れも調査会の仕事



「繭うさぎ作り」①



「繭うさぎ作り」②（市民学芸員による指導）

市民が調べた相模原市内の「団子焼き」〔No.6〕

加藤隆志・市民有志

本報告は、平成21（2009）年1月に行われた、市域をはじめ周辺地域を含めた各地の「団子焼き」行事の様相を記したものである。本館では、平成14年11月から18年3月にかけて民俗講座「道祖神を調べる会」を実施するなかで、講座の参加者が16～18年の三ヵ年に渡ってこの行事を調査し、その結果を本研究報告第14～16号に報告してきた。講座自体はすでに終了しているが、講座参加者の有志等がさらに19年以降の行事を調査するなどしており、本稿は6回目の報告となる(注)。今回はこれまでの地区での継続調査に加え、従来、報告が乏しかった地域（上九沢・下九沢など）や城山町川尻などの津久井地域、隣接する町田市側の境川に沿った地区等の報告が充実した点が一つの成果である。

報告では、基本的に従来までと同様に調査票で提出されたものは表を掲載し、それ以外については文章にまとめて報告した。また、昨年（2008年）の様相だが手違いがあって前号に未報告（小山高砂町及び大島坂上・下九沢塚場・大沢団地）のものがああり、本号に収録した。また、各報告中の地区名の後に記したNo番号については、経年変化を示すために「市民が調べた相模原市内の「団子焼き」〔No.3〕」30～31頁に掲載した「団子焼き調査表」の地点番号と対応させており、番号が付していないものは今回が初めての報告である。なお、今回は当日の状況を示す写真のみの箇所があり、それらについては過去の報告を参照していただければ幸いである。

そして、橋本勝邦さんからは、御自身が在住されている地域の公民館報や自治会報に書かれた内容を提供していただいたので併せて掲載した。橋本さんは昨年の公民館報や自治会報、その他、市文化財研究協議会の『相模原の自然と文化』に執筆された内容なども提供されているが、ここでは紙面の関係もありその一部について載せたことを申し添えておく。

今回の報告は2006年以降では比較的まとまったものであり、地域的にも津久井地域をはじめとして広がってきている。また、一度調査を行った地区であっても、毎年あるいは数年後に改めて調べることで変化（あるいは不変）の状況を捉えることが可能となり、実際に新たな要

素が加わっている事例も見られるようになっている。今後とも、この行事について関心を持たれる市民の方々とともに継続的に調査を行い、その結果を本書に報告して多くの事例を蓄積しながら、市域及び周辺地域におけるこの行事の特徴や推移の様相等を捉えていきたいと考えている。

注

これまでの成果は、『相模原市立博物館研究報告』第14～18号に掲載した、「市民が調べた相模原市内の「団子焼き」〔No.1～5〕」（加藤隆志・道祖神を調べる会）において、第14号・2004年、15号・2005年、16号・2006年、17号・2007年、18号・2008年の様相を報告している。本報告の全体の趣旨については14号のNo.1に掲載したほか、講座を実施していた3年間における調査全体のまとめと分析は16号のNo.3で行った。なお、調査全体の意図や調査成果及び講座の一環としての博物館活動との係わり等については、加藤隆志「地域博物館における市民による調査の実践—民俗講座「道祖神を調べる会」の活動から—」『博物館の仕事』8人の学芸員編 岩田書院刊 2007 においてもまとめている。

これまでの報告では報告者として加藤とともに「道祖神を調べる会」と記してきたが、冒頭に記したように「道祖神を調べる会」は講座終了とともに解散してすでに4年を経過しようとしている。また、今回の報告者の中には「道祖神に親しむ会」に参加されていなかった方も含まれているため、今後の本報告においては「市民有志」と表記し、別にお名前を記すことにしたい。本稿で写真を含めて報告していただいた方は、加藤のほか、五十嵐昭さん・佐々木康資さん・佐藤永寿さん・中里孝之さん・橋本勝邦さん・本間甫子さん・光廣秀造さん・宮崎省吾さん・宮下秀久さん・山崎 登さん・矢野健治さんである。

なお、本来、去年度に掲載するものが遅れてしまった報告を出された方には深くお詫び申し上げます。

地区名	城山町城北 (No.1)	日時	2009年1月14日 16時～
行事の名称	ドンドヤキ、セイノカミ (人によって違)	行事の行われた場所	城北地区の田の中
道祖神の有無	無	道祖神のある場所	
行事の構成員	城北地区の自治会員 (他地区とも合同)		
準備の状況			
当日の状況	実施日は1月14日を変えない。昔からのやり方にこだわりをもっている。歳男、歳女が点火をするが、今年はお女の子二人が点火した。甘酒が振舞われる。		
かつての状況・伝承等	風邪を引かない、無病息災等。		

地区名	城山町町屋 (No.2)	日時	2009年1月11日 (日) 13時～
行事の名称	ドンドヤキ	行事の行われた場所	町屋の公園
道祖神の有無	無 (以前は有)	道祖神のある場所	不明
行事の構成員	町屋地区町内会及び町内会会員 (来年から育成会)		
準備の状況	正月飾りを一ヶ所に集める。正月飾りだけでは足りないので、内部にモヤ (枯木等を束ねたもの) を入れ、そのまわりに正月飾りを置く。中心に竹竿を立て、先端にダルマ、その下に公共の場 (消防団等) で飾ってあったお札を一年の感謝を込めて川尻八幡宮の方向に向けて飾る。		
当日の状況	自治会長が点火をする。火をつける方向は特に決まっていなかったが、今年は南の方向につけた。		
かつての状況・伝承等	風邪を引かない、無病息災等。		

地区名	相原森下 (No.3)	日時	2009年1月12日 (月・祝) 13時～
行事の名称	ドンドヤキ	行事の行われた場所	森下公会堂前広場
道祖神の有無	無 (以前は有と地元では言われる)	道祖神のある場所	
行事の構成員	自治会 (来年からは育成会)		
準備の状況	自治会が準備をする。		
当日の状況	会長が点火をする。火をつける方向は、以前は恵方といていたが今年は東。団子は3つが多いが、5つ枝につける人もいる。また自治会で保管している専用の長い柄のついた籠に団子を入れる。団子をつける木は山桑の枝がよい。梅の枝でもよいが短いのであまりよくない。甘酒、ビール、ジュース、菓子などが		
かつての状況・伝承等	風邪を引かない、無病息災等。		

地区名	二本松	日時	2009年1月11日 (日) 9時～
行事の名称	ドンドヤキ	行事の行われた場所	二本松八幡神社
道祖神の有無	無	道祖神のある場所	二本松八幡神社
行事の構成員	八幡神社総役員21名		
準備の状況	最上段に正月飾りをつけた真竹を立て、その周りに正月飾りや注連縄を積み上げる。		
当日の状況	ダイオキシン問題で中止していたが、5年ぶりに復活した。団子は町内会で準備したものを参加者 (子どもたち) に渡して焼く。火をつける方角は特に決まっていなかったが、東側や南側からつけることが多い。		
かつての状況・伝承等	津久井湖に沈んだ荒川地区に江戸時代から続いた団子焼き (賽の神) を継承して昭和38年の正月から現在に至るまで二本松八幡神社で行われている。焼いた団子を食べると風邪を引かない。その年の無病息災を願う。焼いた松の枝を持ち帰って家の入口に置くと泥棒除けになる。津久井地域のドンドヤキの形を見るとどこでも竹を立てて上段に達磨やお飾りを付ける風習が残されている。本来は竹の頭は笹を残すが、竹が調達できない場合は玄関飾りを最上段に付け、その下に門飾りとゴボウ締めを付け、更にその下に達磨を付けるといったスタイルに、荒川で子どもの頃作った当時から思い出して創作したもの。		

地区名	橋本1丁目など5自治会 (No.6)	日時	第2日曜日 (2009年1月11日 (日) ・昨年と一昨年は第3日曜日) 13時半～
行事の名称	団子焼き	行事の行われた場所	こどもセンター
道祖神の有無	無	道祖神のある場所	
行事の構成員	ドンドヤキ実行委員会		
準備の状況			
当日の状況	自治会長は世話役で、主体は子どもたちである。今年は100名くらいが参加した。最初に実行委員長とこどもセンターの園長の挨拶があり、12歳の歳男、歳女の代表が点火した。その後世話役が火の調整をして子どもたちが団子を焼く。帰りには子どもたちはお土産を貰って解散する。		

地区名	東橋本南町自治会 (No.8)	日時	2009年1月10日 (土) 9時～13時
行事の名称	ドンドヤキ	行事の行われた場所	東橋本公園
道祖神の有無	無	道祖神のある場所	
準備の状況	実施日は違うが、毎年行っている。行事の構成員、準備、当日の状況等は変化なし。		

地区名	橋本地区小山久保町自治会 (No.11)	日時	2009年1月12日 (月・祝) 10時～15時
行事の名称	ドンドヤキ	行事の行われた場所	ひまわりホーム入口駐車場広場
道祖神の有無	無	道祖神のある場所	
当日の状況	実施日は違うが、毎年行っている (近年は成人の日)。行事の構成員に変化はないが、餅付きが加わったため、準備と当日の状況が変化した。午前中は餅付き大会になり、午後はドンドヤキに変更になった。		

調査年月日：1月7～9、13日

地区名	宮下自治会 (No.12)	日時	2009年1月12日 (月・祝) 12時～17時
行事の名称	団子焼き	行事の行われた場所	こぼと児童館広場
道祖神の有無	無	道祖神のある場所	
当日の状況	毎年実施している。2008年までは1月14日に実施していたが、今年から成人の日に行うことになった。行事の構成員、準備、当日の状況等は変化なし。		

地区名	清新	日時	2009年1月14日 (水) 15時～17時
行事の名称	古神札焼納祭 (No.14)	行事の行われた場所	氷川神社
道祖神の有無	無	道祖神のある場所	
行事の構成員	氷川神社氏子連		
当日の状況	実施日は違うが、毎年行っている。		
かつての状況・伝承等	毎年実施している。行事の構成員、準備、当日の状況等は変化なし。		

地区名	上九沢	日時	2009年1月12日 (月・祝) 14時～
行事の名称	ドンドヤキ	行事の行われた場所	上九沢八坂神社
道祖神の有無		道祖神のある場所	
行事の構成員	上九沢八坂神社世話人 (上九沢地区3ヵ所を10名で担当)、上九沢八坂神社周辺の住人		
準備の状況	12日14時頃に神社世話人10人のうち4人が上九沢八坂神社に集合し、酒・ジュース・茶・机を準備する。材木・正月飾りを山状に積み重ねる。正月飾りは7日より各戸で八坂神社境内に持ち寄る。役員がダイオキシンを防ぐためにプラスチックを取り除く。準備が整うと、15時頃に神社にお供え (酒・果物等) をし、神社境内担当者4名が神社の灯明で点火する。各戸から家族連れが団子を三叉の枝に付けたものと正月飾りを持参する。団子がない人には、自治会で用意した団子を三叉の枝に刺して渡す。子どもたちには菓子を配布し、集まった住人には酒を振舞う。17時頃には世話人が後片付けをする。焼いた団子は一年間の無病息災を願って食べる。当日は地元の消防隊員が待機している。		
当日の状況	上九沢地区では昔から3ヵ所で行われており、実施される日には1月14日であったが、近年では成人の日に行われるようになった。行事名はいつから変化したかは不明だが、昔は「団子焼き」といい、今では「ドンドヤキ」という。上九沢地区は上九沢八坂神社世話人10名が3ヵ所を担当者を決めて行っている。家の中の木に団子・ミカンを付けた物を飾った。現在でも飾り物は簡素化して家の中に飾っている家があるとのこと。また、三叉の木に団子を3個付けたものを用意した。		
かつての状況・伝承等	昭和60年代までは、講中、上九沢八坂神社世話人、子どもたちで行っていた (主役は子どもたち)。上九沢地区3ヵ所では、正月飾りや材木を山積みにしてその先にダルマを付ける。子どもたちが学校から帰ってくると、自分の家の近くではなく、他の場所で山積みになっているダルマ (竹の先に付けられている) を取る競争をした。焼く場所は昔と変わらない。焼いた団子を食べると風邪を引かず、虫歯にならない。書き初めの紙が焼けて高く上がれば字が上達する。古老の話では、道祖神はドンドヤキには関係なく、養蚕の祭りだという。		

地区名	小山高砂町自治会	日時	2008年1月14日 (祝)
行事の名称	どんど焼き	行事の行われた場所	高砂子供広場 (東橋本3丁目)
道祖神の有無	有 (角柱文字塔)	道祖神のある場所	連乗院境内
行事の構成員	準備 (1/14)、当日 (1/14) とも自治会員が行う。参加者は高砂自治会内の住人。日程は前年の12月頃に自治会役員で決める。小山高砂町自治会内の掲示板にポスターを掲示する。		
準備の状況	1/14の12時頃に自治会役員が高砂子供広場に集合して準備を始める。準備は長さ2m×巾1m×深さ30cmの鉄製箱物を据える。鉄製箱物の中に木・枝を積み上げる。その上に正月飾りを置く。加える枝を準備する。酒、ジュース、団子、三叉の木など。正月飾りは当日の朝から高砂子供広場に持ってくる。		
当日の状況	12時頃より自治会役員が高砂子供広場に集合し、準備後3時頃に自治会の会長の挨拶後、会長が点火する。5時頃後片付けをする。各家がそれぞれ正月飾りを持って集まってくる。また、木の先の三叉に団子3個を付けたものも持ってくる。三叉の木と団子は各家で準備をするが、自治会でも少し木と団子を準備してある。燃え上がる火の中に枝と木材、正月飾りを入れてひとしきり燃えた後、団子を焼く。正月飾りはダイオキシンを防ぐため自治会員がプラスチックを取り除く。集まった住人に酒、ジュースを振舞う。焼いた団子は一年間の無病息災を願って食べる。		
かつての状況・伝承等	昔は小山村の原村、中村集落の中心にあった道祖神塔の前の広場で14日に正月飾りを焼いて木の先に三叉の団子 (3個) を付けて焼いた。だんご焼き、サイノカミ祭り、お蚕さん祭りで行事日は今も14日である。昭和40年頃道路の変更・改修工事により広場がなくなり、道祖神塔は連乗院境内に移動した。このため連乗院の駐車場で行っていたが、平成18年にこの駐車場が使用出来なくなったため、高砂子供広場で行っている (旧中村集落。旧原村集落 [小山本町自治会] は東橋本2丁目自治会で宮上ふれあい広場で行っている)。梅の木の先に団子・ミカン等を付け、家の内に飾り、また、神様・仏様に木の先の三叉に団子 (3個) 付け供えた。今年もお蚕さんがうまくあがるようにとお蚕さんのお祭りでもあった。書き初めの紙が高く上がると字が上手になる。焼いた団子を食べると病気・虫歯にならないと言われた。ヨウカゾウの習慣あり。		
その他 (各家で行う行事等)	現在は、正月飾りは7日に降してどんど焼きをする日まで各家に保管し、当日行事が行われる場所に持っていく。どんど焼きの団子と木は各家で準備する。		

地区名	大島坂上	日時	2008年1月14日(祝)
行事の名称	どんと焼き	行事の行われた場所	大島坂降り口
道祖神の有無	有(双体道祖神)	道祖神のある場所	大島坂
行事の構成員	準備は自治会長が当たっている。行事は自治会員のほか、子どもたちなどが参加している。昔は地の者が準備をしていたが、転入者が増加したため、自治会長が担当となったが、班長よりも依然として地の者が主となっている。		
準備の状況	各家からお飾りの他、当日に近所から薪を集めて準備した。お飾りは8日頃より道祖神の前に納めている。昔から1月14日の午後3時より行っているが、今年は班長の都合で午後1時からとなった。		
当日の状況	午後0時45分に役員(一名)が集合し、準備を始める。13時頃から集まり出し13時10分に点火した。火が下火になった頃、各自団子を焼いて家に持ち帰った。団子は梅の枝(三つまた)、棒の先に太い針金で螺旋状に半円形に作ったものを付けた団子1個用や、金網で箱型に作ったものを付けた団子6個用で焼いていた。参加者は大人12名、こども4名であった。終了は14時頃で、火の始末は役員が行い解散した。		
かつての状況・伝承等	昔は講中による集落による行事だった。大島坂新道ができる前は不動さん前で行っていたが、交通事情等で現在地に移動した。		

調査年月日:1月7、12日

地区名	上九沢	日時	2009年1月12日(月・祝) 14時~
行事の名称	ドンドヤキ	行事の行われた場所	梅宗寺(駐車場)
道祖神の有無	有	道祖神のある場所	観音堂前
行事の構成員	上九沢八坂神社世話人(上九沢地区3ヵ所を10名で担当)、梅宗寺周辺の住人		
準備の状況	12日14時頃に神社世話人10人のうち3人が上九沢八坂神社に集合し、酒・ジュース・茶・机を準備する。材木・正月飾りを山状に積み重ねる。正月飾りは当日に各戸で寺境内に持ち寄る。役員がダイオキシンを防ぐためにプラスチックを取り除く。準備が整うと、15時30分に担当者3名が神社の灯明で点火する。各戸から家族連れが団子を三又の枝に付けたものと正月飾りを持参する。集まった住人には酒・ジュースを振舞う。17時頃には世話人が後片付けをする。焼いた団子は一年間の無病息災を願って食べる。当日は地元の消防隊員が待機している。		
当日の状況	上九沢地区では3ヵ所で行われており、実施される日には1月14日であったが、近年では成人の日に行われるようになった。行事名はいつから変化したかは不明だが、昔は「団子焼き」といい、今では「ドンドヤキ」という。上九沢地区は上九沢八坂神社世話人10名が3ヵ所を担当者を決めて行っている。		
かつての状況・伝承等	昭和60年代までは、講中、上九沢八坂神社世話人、子どもたちで行っていた(主役は子どもたち)。上九沢地区3ヵ所では、正月飾りや材木を山積みにしてその先にダルマを付ける。子どもたちが学校から帰ってくると、自分の家の近くではなく、他の場所では山積みになっているダルマ(竹の先に付けられている)を取る競争をした。焼く場所は昔と変わらない。焼いた団子を食べると風邪を引かず、虫歯にならない。書き初めの紙が焼けて高く上がれば字が上達する。古老の話では、道祖神はドンドヤキには関係なく、養蚕の祭りだという。昔はバス通りのコンビニエンス近くの道祖神がある所で行われていたが、道路事情により、昭和60年代から現在地に移った。		

調査年月日:1月7~9、13日

地区名	上九沢	日時	2009年1月12日(月・祝) 15時~17時
行事の名称	ドンドヤキ	行事の行われた場所	稲荷社境内(内出バス停近く)
道祖神の有無	無	道祖神のある場所	
行事の構成員			
準備の状況			
当日の状況	上九沢八坂神社世話人が準備する3ヵ所のうちのひとつである。		
かつての状況・伝承等	上九沢地区では「八日ぞう」に関する行事や伝承はないという。		

調査年月日:1月7、12日

地区名	下九沢、九沢自治会1区他	日時	2009年1月12日(月・祝) 12時~
行事の名称	ドンドヤキ	行事の行われた場所	九沢八坂神社
道祖神の有無	無	道祖神のある場所	
行事の構成員	九沢自治会・子ども会(1・2・9・11・12区)		
準備の状況	12日12時頃に自治会役員と子ども会役員が九沢八坂神社に集合し、団子を刺す木(竹を四等分に割ったもの)、酒・ジュース、菓子、机等を用意する。材木と正月飾りを積み重ねて山状にする。役員が正月飾りからビニール類を取り除く。正月飾りは各戸が7日から九沢八坂神社に持ち寄る。		
当日の状況	準備が整うと、13時半頃に自治会役員と子ども会役員が神社にお供え(酒、野菜等)をする。自治会長の挨拶後、役員が神社の灯明で点火する。各戸から家族連れが団子を三又の枝に付けたものと正月飾りを持参する。団子がない人には、自治会で用意した団子を(竹の先に1個つけたもの)刺して渡す。子どもたちには菓子を配布する。16時頃には役員が後片付けをする。焼いた団子は一年間の無病息災を願って食べる。当日は地元の消防隊員が待機している。当日の参加者は100名ほどで、九沢自治会の3ヵ所で一番人数が多い。16時頃に自治会役員が後片付けをする。		
かつての状況・伝承等	昔は今の九沢郵便局前の広場で行われていたが、今は道路事情により八坂神社が現在地に移ってきたので、当地で行うようになった。昭和40年頃までは講中(上下講中)で行い、「団子焼き」というようだったが、現在は自治会行事となり「ドンドヤキ」というようになった。焼いた団子を交換した。焼いた団子を食べると病気が虫歯にならないという。また、書き初めの紙が高く上がると字が上達するという。家の中の木に団子・ミカンを付けたものを飾った。古老の話では、道祖神はドンドヤキには関係なく、養蚕の祭りだという。		

調査年月日：1月7、12日

地区名	下九沢、九沢自治会3区	日時	2009年1月12日（月・祝）12時～
行事の名称	ドンドヤキ	行事の行われた場所	九沢お日の森神社
道祖神の有無	筈付丸三重ゴロ石	道祖神のある場所	九沢お日の森神社
行事の構成員	九沢自治会3自治会役員、住人		
準備の状況	12日12時頃に自治会役員がお日の森神社に集合し、団子を刺す枝、酒、ジュース、菓子、机等を用意する。材木と正月飾りを積み重ねて山状にする。役員が正月飾りからビニール類を取り除く。正月飾りは各戸が7日から九沢自治会館広場に持ち寄る。		
当日の状況	準備が整うと、13時半頃に自治会役員が神社にお供え（酒、果物等）をする。自治会長の挨拶後、役員が神社の灯明で点火する。各戸から家族連れが団子を三又の枝に付けたものと正月飾りを持参する。団子がない人には、自治会で用意した団子を三又の枝に刺して渡す。子どもたちには菓子を配布する。16時頃には役員が後片付けをする。焼いた団子は一年間の無病息災を願って食べる。当日は地元の消防隊員が待機している。		
かつての状況・伝承等	昔からお日の森神社で、講中（上中講中、その後上中昭和会）でドンドヤキを行っていたが、昭和40年代から自治会で行うようになった。行事名はいつから変化したかは不明だが、昔は「団子焼き」といい、今では「ドンドヤキ」という。近年までは、お日の森神社境内にあるゴロ石を消火のために火中に投げ入れた。こうすると火がすぐに消えたという。これは最近まで行われていた。焼いた団子を食べると病気や虫歯にならないという。また、書き初めの紙が高く上がると字が上達するという。古老の話では、道祖神はドンドヤキには関係なく、養蚕の祭りだという。		
その他（各戸で行う行事等）	家の中には、梅の木に団子やみかんをつけて飾る。これは現在でも簡素化して家の中に飾る家がある。		

調査年月日：1月7、12日

地区名	下九沢、九沢自治会4、5、6区	日時	2009年1月12日（月・祝）13時～
行事の名称	ドンドヤキ	行事の行われた場所	九沢自治会館広場
道祖神の有無	無	道祖神のある場所	
行事の構成員	九沢自治会会員		
準備の状況	12日13時頃自治会役員が九沢自治会館広場に集合し、酒、ジュース、菓子、机等を用意する。材木と正月飾りを積み重ねて山状にする。役員が正月飾りからビニール類を取り除く。正月飾りは各戸が7日から九沢自治会館広場に持ち寄る。		
当日の状況	準備が整うと、14時頃に自治会役員が点火する。各戸から家族連れが団子を三又の枝に付けたものを持参する。子どもたちには菓子を配布する。16時頃には役員が後片付けをする。焼いた団子は一年間の無病息災を願って食べる。当日は地元の消防隊員と消防車が待機している。		
かつての状況・伝承等	昔は山の際（相模原北公園入口付近）で講中（十軒村講中）で行われていたが、今は道路事情により現在地で自治会行事となった。行事名はいつから変化したかは不明だが、昔は「団子焼き」といい、今では「ドンドヤキ」という。焼いた団子を食べると病気や虫歯にならないという。また、書き初めの紙が高く上がると字が上達するという。古老の話では、道祖神はドンドヤキには関係なく、養蚕の祭りだという。		
その他（各戸で行う行事等）	家の中には、梅の木に団子やみかんをつけて飾る。これは現在でも簡素化して家の中に飾る家がある。		

調査年月日：2009年1月7～13日

地区名	塚場自治会	日時	2009年1月10日（土）12時～14時
行事の名称	ドンドヤキ（古神札焼納祭）	行事の行われた場所	下九沢御嶽神社
道祖神の有無		道祖神のある場所	
行事の構成員			
準備の状況			
当日の状況			
かつての状況・伝承等	実施する場所は、旧大山街道の塚場の石造物がある場所から西に入った高台→石造物がある場所→塚場自治会館広場→下九沢御嶽神社境内（3年前～）で行うようになった。下九沢御嶽神社で従来から行われていた古神札焼納祭と同時にされるようになった。		

調査年月日：1月7～13日

地区名	宮下自治会	日時	2009年1月12日（月・祝）12時～14時
行事の名称	ドンドヤキ	行事の行われた場所	個人宅前
道祖神の有無		道祖神のある場所	
行事の構成員			
準備の状況			
当日の状況			
かつての状況・伝承等	下九沢地区では「八日ぞう」に関する行事や伝承はないという。		

調査年月日：1月7、11日

地区名	下九沢、作の口自治会	日時	2009年1月11日（日） 10時～
行事の名称	ドンドヤキ	行事の行われた場所	下九沢日枝神社
道祖神の有無	無	道祖神のある場所	
行事の構成員	自治会役員、作の口児童館役員、子ども会		
準備の状況	正月飾りは7日から各家が下九沢日枝神社境内に持参する。当日の11時頃に自治会役員が下九沢日枝神社境内に集合し、団子、酒、ジュース、菓子、机等を用意する。材木と正月飾りを積み重ねて山状にする。役員が正月飾りからビニール類を取り除く。児童館では10時頃に児童館役員と子どもたちが集合して団子を作る。		
当日の状況	準備が整うと、12時頃に自治会役員と児童館役員全員が神社にお供え（酒、果物等）をする。自治会長の挨拶後、役員が神社の灯明で点火する。各戸から家族連れが団子を三又の枝に付けたものを持参する。団子がない人には、児童館役員と子ども会で用意した団子を三又の枝に刺して渡す。子どもたちには菓子を配布する。15時頃には役員が後片付けをする。焼いた団子は一年間の無病息災を願って食べる。		
かつての状況・伝承等	昔から下九沢の作の口集落（講中）は下九沢日枝神社でドンドヤキを行っていたが、昭和40年代から自治会で行うようになった。行事名はいつから変化したかは不明だが、昔は「団子焼き」といい、今では「ドンドヤキ」という。焼いた団子を食べると病気が虫菌にならないという。また、書き初めの紙が高く上ると字が上達するという。古老の話では、道祖神はドンドヤキには関係なく、養蚕の祭りだという。		
その他（各戸で行う行事等）	家の中には、梅の木に団子やみかんをつけて飾る。これは現在でも簡素化して家の中に飾る家がある。		

調査年月日：1月14日

地区名	当麻上宿	日時	2009年1月14日（水）9時～
行事の名称	団子焼き	行事の行われた場所	当麻山南入口
道祖神の有無	有（地神塔・馬頭観音・地藏）	道祖神のある場所	自治会館入口脇
行事の構成員	上宿部落有志		
準備の状況	当日は朝9時に集合するが、準備は特になし。団子は各自持参して焼く。		
当日の状況	参加者は地元の長老で、7名参加。平日実施のため、今後は曜日を第2日曜日に変更して子どもたちに参加を呼びかけたい、とのこと。注連縄を道祖神の脇に納め、それを燃やす。酒や食べ物は出ない。		
かつての状況・伝承等	昔は大変賑わった。		

調査年月日：1月12日

地区名	相武台前町内会	日時	2009年1月12日（月・祝）9時10分～
行事の名称	ドンドヤキ	行事の行われた場所	相武台ふれあい広場（新磯野3丁目）
道祖神の有無	無	道祖神のある場所	
行事の構成員	相武台前町内会自治会連合会の町内会役員、住民		
準備の状況	町内会役員が合同で準備を進める。煙や灰が舞うのを防ぐため、お飾りなどの山は小さいものを二つ作る。		
当日の状況	9時半～11時まで行われる。御神酒、甘酒、みかんが参加者へふるまわれる。自家製の団子を棒に付けて団子焼きに来る数人の年配の婦人がいる。灰が舞う等の苦情が多く、ドンドヤキが賑やかに行えないため、早々と10時半過ぎには後片付けが始まる。住民参加者は少ない。会場広場の脇は、すぐ米軍キャンプ座間のゴルフ場の全網で遮られている。木の枝にアルミホイルで包んだ団子を刺したものや、スルメを刺したものを持参する人もいる。50～60人程が参加していた。		
かつての状況・伝承等	元練兵場があった所なので、何もなく、道祖神もない。近年急速に宅地化され、新住民が多く、関心も薄いと古老が嘆いていた。老婦人が「団子を焼いて食べると風邪を引かない」と参加していた子どもたちに伝えていた。		

調査年月日：1月12日

地区名	相武台グリーンパーク（新磯野4丁目）	日時	2009年1月12日（月・祝）10時～
行事の名称	どんと祭（さい）、ドンドヤキ祭	行事の行われた場所	GP雨水調整池
道祖神の有無	無	道祖神のある場所	
行事の構成員	グリーンパーク町内会自治会連合会の自治会役員、住民		
準備の状況	お楽しみ抽選券が事前に各戸に配布される。団地入口の数ヵ所に「どんと祭」の横断状の紙が貼られる。消防車が来る。		
当日の状況	9時半～11時まで行われる。会場入口で注連縄飾りを点検し、ビニール類がある場合は取り除かれる。ドンドヤキの山はかつては大きいのを一つ作ったが、周囲に迷惑がかかるので、今は高さ1m程の山を三つ作っている。枯枝、青松の枝、青竹で山の基が作られる。自治会長が「安全祈願の行事です」と挨拶し、管理組合長も挨拶をする。鏡割りの後に点火する。点火は歳男、歳女が一人ずつ棒の先に石油を染み込ませ、ライターで火を付け、これを持って点火していく。餅、おでん、焼鳥、けんちんうどんの模擬店が出る（いずれも有料で、露店が10店ほど）。御神酒が振舞われる。餅つきをして、出来上がった餅にあんをつけて売る。のみの市が出る。事前配布のお楽しみ抽選券の抽選があり、100人程が並ぶ。調整池の中は来場者でいっぱいになる。団子は焼かない。ドンドヤキの場所に注連縄を張り、紙の御幣を垂らす。松の枝を入れ、青竹が弾ける音を出すなど、古い頃の形態を伝えている。およそ200人程が参加する。		
かつての状況・伝承等	かつては「ドンドヤキ」というだったが、グリーンパークの四大祭（春のさくら祭、夏の盆踊り祭、秋のフェスタ、冬のどんと祭）ということで、「祭」に統一したという。		

調査年月日：1月12日

地区名	相武台団地	日時	2009年1月12日(月・祝) 10時半～
行事の名称	ドンドヤキ	行事の行われた場所	団地センター前広場
道祖神の有無	無	道祖神のある場所	
行事の構成員	相武台団地連合自治会の自治会役員、住人		
準備の状況	団地をあげて数日前から準備を進めている。当日朝は餅つきとせいろ蒸しが一番早く準備を始める。		
当日の状況	9時半～11時まで行われる。会場入口で「お飾り選別コーナー」を作り、持参した正月飾りからビニール類を取り除く。正月飾りは積み上げない。点火は、大きな天眼鏡で文字を書いた習字紙に太陽光を集め、火がつくと正月飾りに火を移していく。餅、豚汁、甘酒、ポップコーン、おでんなどが売られる。団子焼きは自治会準備のピラスチックの棒の先に、団子を一個付け、それを無料で貸し出す。焼く場所は注連縄を張り、紙の御幣をたらし、神事としての伝統は守ろうという姿勢がみられる。50人程が参加し、広場は人でいっぱいになる。		

地区名	相模湖町橋沢	日時	2009年1月14日 15時～
行事の名称	団子焼き	行事の行われた場所	道祖神から10m程離れた畑(以前は道祖神前の道路)
道祖神の有無	陰陽石一對、石塊	道祖神のある場所	道路そばの土手の上
行事の構成員	橋沢地区町内会		
準備の状況			
当日の状況	参加者は20人程度で、子どもは4人。道の上の道祖神に賽銭をあげる。当番が点火する。点火をする方向は特に決まっていない。		
かつての状況・伝承等	焼いた団子を食べると風邪を引かない。書き初めの紙が焼けて高く上がれば字が上達する。		

橋本勝邦「無病息災を願って」『館報 あいはら』169号 相原公民館 平成21年2月1日

<p>1月11日(日)、12日(月・祝)の2日間に、公民館区内の4か所でどんど焼きが行われました。どんど焼きは道祖神の火祭り、かつては小正月(1月14日)に行っていたもので、正月飾りや御札などをお焚き上げする行事です。相原公民館区内では、森下公会堂前広場(森下自治会)、さつき広場(相原当麻田自治会)、昨年10年振りに復活した二本松公園(二本松自治会)、それに今年5年振りに復活した二本松八幡神社(同神社)が加わり、計4か所で行われました。二本松自治会も二本松八幡神社も、どんど焼きを止めた理由はダイオキシン問題で、復活の切っ掛けはお焚き上げをするものの中から、燃焼時に有害物質を発生するものを仕分け、完全排除することを決断したことであったようです。住民の皆さんの熱い思いが、古き良き伝統を復活、守り続けているようです。</p> <p>今年も無病息災を願って、どんど焼きで少し焦げ目が付いた団子を食べました。</p>

橋本勝邦「どんど焼き(一)、(二)」、「どんど焼きを終えて」『自治会報 相原当麻田』第15号 平成21年1月20日

<p>どんど焼き(一)</p> <p>相原当麻田自治会恒例の『どんど焼き』が一月十一日(日)に行われました。</p> <p>どんど焼きは、道祖神に関係したお祭りで、松の内が過ぎて取り外された門松などの正月飾りや古くなったお札を、道祖神の前で焚き上げる行事でした。</p> <p>(注1=以前は一月十四日の小正月に行われた子ども主体の行事でしたが、最近神社や自治会主催の行事となっています。相原当麻田自治会のどんど焼きは、以前は自治会館前や田通で行われていました)</p> <p>十一日午前九時、相原八幡宮境内に仮説された納札場に山積みになったお札や正月飾りをさつき広場に運び、不燃ゴミを取り除きました。一方、さつき広場のほぼ中央に支柱を固定し、笹竹の枝に飾り物のダルマを吊り下げました。また、支柱の周りに七センチ角・長さ七十センチ程度の材木を立て掛け、その周りにソダ木をならべ、さらにその周りにお札や正月飾りのほか、手習い(書初めなど)を積上げ完成させました。</p> <p>十一日午後一時、塩と御神酒でお清めをした後、西村会長から今年の恵方の東微北の方向から点火しました。</p> <p>(注2=恵方とは、歳神様である歳徳神が在する方位のこと。また、東微北とは二十四方位の『申』の方向を表し、私達が良く知る西洋式の十六方位の東北東に近い)</p> <p>点火後数分で火は全体に回り、火勢は増して書初めなどの手習いの灰は高く舞い上がりました。</p> <p>(注3=手習い書の灰が高く舞い上がると手が上がる、字が上手になるとの言伝えがあります)</p> <p>どんど焼き(二)</p> <p>お札や正月飾りが燃え尽き、火勢が弱まった頃になると、だんごを先に刺した竿が残り火の周りから一本、二本、また一本と伸びてきます。竿は梅や桑の木枝で、先端が一本または三つ又のものが主流です。しかし、近年は、先端にステンレス製の針金で三つ又やカゴ状に加工したものを固定したものもみられます。また、竿やだんごが焦げないように、アルミホイルで包んだり色々工夫したものもみられます。</p> <p>だんごは米粉を熱湯で練ってだんご状にしたものを蒸して作りますが、最近ではお菓子さんでも販売しています。色も白色のほか、繭玉飾りに似せて桃色と緑色がありますが、今年は白一色しか見られませんでした。また、だんごは別に四角い切り餅を焼く人や、スルメイカを丸ごと一枚を竿に刺して焼いている方もいました。相模原では珍しいことですが、その方の郷里では特に珍しいことではないそうです。</p> <p>最後に、だんごが焼けるとその場で食べる人もいますが、大半の方はご家庭に持ち帰って、ご家族やご近所に配られるようです。</p> <p>(注4=どんど焼きのだんごは、食べると風邪をひかない言伝えがあり、ご家庭やご近所の分をお持ち帰りになるのだと思います。また、交換しただんごの方がご利益があるとの言伝えもあり、焼いただんごをその場で交換して持ち帰る方もあります。)</p> <p>このような風習はいつまでも伝承していきたいものです。</p> <p>どんど焼きを終えてどんど焼きを終えて毎年思うことがあります。それは納札場に納められるものの中に不燃物や明らかにどんど焼き以外で焚き上げするにふさわしくないものが混入していることです。今年のだんご焼きの案内には、『ご注意! ガラスケース入り人形、ぬいぐるみ、瀬戸物類の不燃物、家庭ごみは持ち込み禁止です。』と注意書きをしてあったにも拘らず、古くなった神棚、雛人形なども混じっていました。また、破魔矢・お守りなどには金属片の鈴が付いたままになっていて、はずした鈴がポリバケツ一杯になったのには驚かされました。</p> <p>どんど焼き当日の準備の約半分は、このお焚き上げをするものの分別作業でした。納める前にそれぞれの人が注意を守って頂ければ、こんな大事にならなかつたのと思ったのは、私たちだけではないと思います。</p>

[橋本3丁目(小山新町自治会) No. 7] 1月11日(日)・午前10時～12時実施。場所は小山皮膚科医院駐車場。実施日は違うが毎年行っている。団子焼きの時には秋葉講の掛け軸を掛ける。掛け軸は「可睡齋」(三尺坊御神火の用心)と書かれたものである。団子焼きは自治会の新年会を兼ね、行事の構成員に変化はないが、今年初めて餅つきが行われたため準備や当日の状況が変わった。

[橋本4丁目(小山寿町・小山高砂町・小山本町自治会)・橋本4丁目団地 No. 9] 団子焼き・1月14日(水)午後0～5時(掲示では午後3時から)・場所は4丁目火の見やぐら跡(いつもの場所)。毎年実施され、行事の構成員や準備・当日の状況は変化なし。

[氷川町(すすきの町) No. 13] 掲示板にどんど焼きを知らせる掲示あり。1月11日(日)11時30分～14時。場所はすすきの公園。毎年実施され、行事の構成員や準備・当日の状況は変化なし。餅や団子を焼く。なお、道祖神はない。

[大沢団地自治会 *2008年調査] 1月13日(日)実施、場所は大沢団地スポーツ広場。道祖神は無い。

9時45分到着時には既に点火していた。子ども達に竹竿の先に餅2、3枚を挟んだものを渡しており、それを火で炙り始めていた。火は2ヶ所で、餅はまず1ヶ所で炙っていた(最後の方では2ヶ所とも)。カマドを4つ作っており、餅米を蒸す・汁粉を煮る・豚汁を煮るなどを行っていた。大人(中高年中心)が多いが親子連れも見かけた。餅が焼けたら汁粉を器に入れてその中に入れて各自で食べる。竹筒にお神酒を入れて火の傍に置き、熱燗を作っていた。行事は9時～11時(予定。超過した)。集まる人の中にはお飾りを持って来る人もおり、団子を炙る方の火に入れるよう指示されていた。もう一つの火は木材や竹が中心。道祖神はなし。10時15分頃には餅つき。白と杵を置いて餅を搗き、黄な粉と大根をからめて振舞っていた。10時には人が多く集まりだす。大人にはお神酒が振舞われ、子どもは餅などを食べる。自治会会長は随時団地内を回り、拡声器を使い告知をしていた。

この団地ができてから29年で、その翌年(つまり28年前)くらいから行事を始めた。当時九州から移住した人達で九州県人会を作った。その人達がこのような事に熱心だった。現在は県人会から同好会に変わり、九州に限らず人が参加して夏祭りの運営やボランティア活動を行っている。そこと自治会が一緒になりどんど焼きを行う。同好会(大沢団地育英会とも)は自治会の下部組織となっている。年末には餅つき大会を行い、かなりの人数が集まった。その餅を伸して切ったものを今回の炙る餅に使っ

ている。餅を挟む竹は近所の農家の人から貰ったもの。前日には豚汁の用意などをした。この団地が出来た時、入居者は2～30代が中心であり、子供は2、3歳が多かった。その子供がここに帰ってくる時に、団地には「ふるさと」を感じさせるような慣わしはないので、そのためふるさとを感じられるような行事を色々やっている。行事は「ふるさと同好会」が取り仕切って伝えている。自治会役員では1年交代でわからなくなってしまうので。門松作りなども行っており、作った門松の内2組はこの団地の入り口2ヶ所に設置した。残りは世話になっている店(居酒屋など)に配った。

なお、2009年には11日(日)、10時～12時に同じく団地スポーツ広場で行われた。

[下九沢塚場自治会 *2008年調査] 1月13日(日)実施、場所は御嶽神社。道祖神は無し。

12時30分頃に行った時は自治会役員が集合し、準備をしていた。13時30分に点火。お飾りや門松、新調して使用されなくなった祭りの提灯も集めて山にしてある。13時45分頃消防車が到着。三叉の枝の他に、三叉に溶接して作った鉄棒を用意してある。これは去年自治会で作ったもので、木の枝だと短すぎて熱いからという。足りない時は木の枝も使うので用意している。先に提灯を完全に燃やして鉄くずを退かせてから、残りのお飾りを追加した。振る舞い用のビール・茶・コーヒー・みかんなども用意してある。団子は各家庭で作ったものを持ち寄り、現地で棒を借りて団子を刺して焼く。たまに枝も用意して団子を刺して持ってくる人もいる。木は固い木で種類は忘れた。自治会役員が中心になって行事を行う。以前は九沢橋の辺で行っていたが、狭いのでその後転々とし(15年くらい前あたりか)、自治会館などを経て現在の神社になった。いつから行っているかはわからないが長く続いている。基本は14日に行くが、3年ほど前から消防団員の都合(平日は仕事なのでできない)に合わせて休日、特に14日より前の土曜日に行くようになった。これは土曜日が雨天なら翌日曜日に振り替えられるようにで、去年も今年も結果的に日曜日に行くことになった。昔はダンゴヤキと言っていたが今はドンドヤキ。団子を取り替える、団子の木を飾る等は知らないが、団子を食べると風邪を引かないという。団子は今朝に各家庭で作ったもの。前日だと固くなる。各家庭で持ち寄る他に自治会で団子を用意している。持ってこなかった子供がかわいそうなため。

[城山町川尻町屋 No. 1] 11日午後点火。2時頃ですでに終了間際。

[城山町川尻城北 No. 2] 城北自治会では昔から14日

に実施しており、午後4時点火。ただし、当日は風が大変に強く、実際に点火したのは4時15分であった。場所・穴川バス停向かいの水田。かつては集落単位でしていたが家数が少なくなった所もあり、今はまとまって一ヶ所で行っている（ただし、雨降だけは遠くて大変なので別）。ここでは燃やすものを二つ作っているが、特に言われはない。自治会の仕事と決まっているわけではないが自治会と育成会で行っている。火をつけるのは年男年女の6年生がやることになっており、今年は該当者が2人しかいないので集まった人の中で年男の大人と一緒にやるよう頼んだ。両方一遍に点火する。燃やすものの芯になっているのはホウノキで、城北のものはかなり大きく、これくらいのものが限界という。中にモヤを詰め、表側に杉などのお飾りを飾る。団子を焼きに集まって来た人には豚汁を配る。昔は竹酒を配ったこともあった。燃やして御神木が奥側に倒れると豊作になると伝える（今年は両方ともこちら側に倒れてしまった）。

[城山町川尻久保沢] 久保沢では観音堂で正月のお飾りを暮れの25日から売っている。これは10年以上やっており、11月1日から作り始め、数十万円の売り上げがある。それらが正月が明けると観音堂の前に各家で納められ、こうしたものを積んで燃やすものを作る。12日（祝）の午前9時から観音堂前のお飾りを児童公園に運ぶ。それを午後1時30分ころから自治会と消防が中心となって準備を始め、燃やすものは消防団が担当して積み上げる。使う竹などは消防団がどこからか伐って来て、笹を残したまま使用する。準備が終わると灯油を撒いてすぐ点火する（午後3時頃）。火を点けたのは育成会の中にこども会があり、その会長の女の子が行った。

ドンドヤキは昔は高く積み上げたが、現在は人の背丈くらいにする。また、かつては観音堂の下側でやっており、庄屋さんの家が広くそこでやった。久保沢でも上側の集落では観音堂下とは別にやっていた。

[城山町川尻都畑] 14日夕方に点火。

[城山町中沢] 12日（祝）の午前10時過ぎから準備を始める（11時30分完成）。準備に当たったのは自治会長・育成会長・消防団の者など、4名で行った。場所は三嶋神社前広場。竹の回りに木や枯れ枝などを円錐形に積み、その回りには正月飾りを置いて門松の竹で押さえ、縄で全体を巻いて縛る。中心となる竹の先端には達磨を付ける。昔（現在の小学生の親の時代）には子どもと大人が一緒になって作り、裏山から太い木を伐り出して皆で担いで来た。中沢の点火は午後5時。育成会長の挨拶の後、12歳になる丑年の年男年女が火を点ける（実際には来年年男年女になる早生まれの5年生も加わった）。この子

達は半紙で作った首から被るものを上に付けている。火が燃えている途中、母親らが消防団などに御神酒を勧める。

[城山町若葉台] ポスター どんどこ焼き・餅つき・まゆ玉・とん汁・お囃子-12日（祝）午前9時30分～11時30分（9時30分～10時お飾り持ちこみ）。主催・若葉台自治会、協賛・子ども会 囃子連 若葉台クラブ グループめぐろ おやじの会、協力・消防

[津久井町青山] セーノカミはかつては14日に行った。一週間くらい前にヤマから青い葉の付いたオマツ（松）を取ってきてお飾りとともにかなり大きい櫓を組んだ。点火は朝で、ガキ大将が火を点けた。今は子ども会と消防関係で行っている。

[津久井町青根] 東野では通常は14日の朝とされるが、今年は11日の午前6時～10時に行われる。かつては朝の4時か5時頃に点火した。前の晩に燃やす小屋を積む。上青根でも11日の朝に行われる。

[相模湖町寸沢嵐道志] 道志では、清光寺境内及び道の端など何ヶ所かで杉の葉でイエを作っている。このうち、お寺のものは道南で作り、今回、写真を掲載したのは道北のものである。お祭りなどは一緒にやるが、小屋作りや団子焼きは道北と道南で別々にしている。また、道北には三つの組があり、各組が毎年順番に小屋の製作に当たるので、3年に一度回ってくることになる（今年は1組）。

1月18日（日）、現地に午前7時30分過ぎに到着するとすでに一人いて前年の小屋を壊すなどの準備を始めている。その後、数人が集まり、8時頃にはお飾りや前年の小屋、天神神社の門松などをボッチに積んで点火する。団子を焼く人は適宜やって来て団子を焼く。この団子を食えると風邪を引かない。また、焦げたところを食えると風邪を引かないという。団子を付ける木は梅の木を使う。他の木ではまとまらない。道北のセーノカミサマはこの坂の上の旧道の所にあった。道が新しくできたため、今の位置になった。本来はセーノカミサマも燃やさなければならぬ。今のように壊れてバラバラになっているのはそのためだという。現在は燃やさない。小屋は杉で骨組みを作り、藤蔓で縛っていく。回りや屋根には杉葉を束ねてかなりの量を挿していく。小屋の中にはセーノカミサマなどの石を入れる（これに賽銭を供えて拜む人もいた）。最後に小屋の真ん中に竹に挟んだ幣束を立てる。小屋を作り出したのは9時頃からで11時過ぎに完成した。なお、当日は終了後に新年会を行う。

[町田市小山町三つ目] ポスター 実施・1月10日（土）午後1時～3時。場所・日枝神社

[町田市相原町坂下] 1月11日(日)実施。ここから相原地区の北側で五ヶ所くらいで行われる。ここは午後2時30分点火で4時まで。消防の出初式の関係で今日行われるのが多い。午前10時から準備をする。坂下町は例年、商店の倉庫前広場を借りて行っている(盆踊りも同じ)。サイノカミの前で藁を燃やし、その火を持ってきて点火する。

[町田市相原町中村] ポスター「どんど焼き」準備・1月10日午後1時から、実施・11日午後2時から。場所・相原駅前西口広場

[町田市相原町丸山] ポスター 実施・11日午後1時から。場所・中央公園多目的広場。

[町田市中相原町(中相原町会管理)] 場所・中相原スポーツ広場。

[町田市相原町大戸(大戸自治会・武蔵丘自治会・武蔵丘ハイム子ども会)] ドンドヤキ。実施・11日午後1時～3時。場所・武蔵丘グラウンド。中心に杉の木のご神木を立て、その周りにお飾りや杉葉など円錐形に積む。昔はヤマから伐ってきた萱を入れ、高く燃え上がった。今年は大戸自治会が実行委員長を出し、点火式には両町会や子ども会・大戸小・武蔵丘中・大戸駐在所など、8本の松明が用意され、積み上げたもの二つに四つずつで同時に点火する。点火の前には最初に駐在が挨拶をし、子どもに対する交通安全などの呼びかけを行う。



相原 森下



橋本1丁目など5自治会



二本松 八幡神社



二本松 八幡神社



橋本3丁目 (小山新町自治会)



橋本3丁目 (小山新町自治会)



橋本3丁目 (小山新町自治会)



上鶴間 金山神社 (手前に置かれているのが道祖神碑)



上鶴間 金山神社 (かつて道祖神があった所で火をつける)



上鶴間 金山神社



上鶴間 風の子広場



上鶴間 風の子広場



横山小学校



横山小学校



横山小学校



横山小学校



横山小学校



横山小学校



当麻 上宿



当麻 上宿



当麻 中・下宿



当麻 中・下宿



当麻 中・下宿



当麻 中・下宿



相武台前町内会



相武台前町内会



相武台グリーンパーク



相武台グリーンパーク



相武台団地



相武台団地



城山町 川尻町屋



城山町 川尻城北



城山町 川尻城北



城山町 川尻城北



城山町 川尻城北



城山町 川尻都井沢



城山町 川尻久保沢



城山町 中沢



城山町 中沢



城山町 中沢



城山町 中沢



城山町 中沢



相模湖町 橋沢



相模湖町 橋沢



相模湖町 道志（道南）



相模湖町 道志（道北）



相模湖町 道志（道北）



相模湖町 道志（道北）



相模湖町 道志 (道北)



相模湖町 道志 (道北)



相模湖町 道志 (道北)



相模湖町 道志 (道北)



相模湖町 道志 (道北)



相模湖町 道志 (道北)



町田市相原町 中村



町田市相原町 坂下



町田市中相原町



町田市相原町 丸山



町田市相原町 大戸



町田市相原町 大戸

相模原の昆虫（蛾類を除く）

原 弘*

相模原市は2006年3月に津久井町・相模湖町と合併し、翌年3月には城山町・藤野町と合併した。博物館としても、合併に伴う常設展示室の大規模展示改修事業の計画を進めることとなったが、新市域の資料や情報が不足していたため、調査・資料収集が必要となり、2006年7月から動物分野において博物館資料調査員（非常勤職員）として筆者を採用し、新市域の動物相解明のため現地調査等を行った。その成果の内、蛾類に関しては「相模原の蛾 第2報（2008）加藤・原・守屋」として本研究報告第17集に中間報告を掲載した。2009年3月末をもって資料調査員の任期満了となったが、その調査・収集活動の成果として、収集した資料の同定・整理された資料についてここに記載するものである。なお、蛾類については別途報告する予定なので本報告から除外した。また、未同定及び未整理の資料については後日改めて発表することとした。

旧津久井郡4町との合併により、新相模原市は神奈川県内第2位の面積となり、変化に富んだ自然豊かな市域を含むことになった。このことは動植物相の豊かさにもつながるところであるが、調査範囲は広大で3年間の調査期間で解明されたとは到底言えない。相模原市全域の昆虫相を解明するため、相模原市史自然編さん事業及び津久井町史自然編さん事業の中でも調査が並行して行われ、前者においては旧市域の昆虫相についてまとめたものを2009年『相模原市史自然編』として発表した。津久井町史自然編さん事業の完成をもって合わせると、相模原市の昆虫相はかなり解明されることになるが、さまざまな原因による環境の変化などによって当市における昆虫相も様変わりしており、さらに継続的・定期的な調査が必要である。なお、収集した資料は常設展示などで活かしていただきたいし、資料の情報は環境保全や種の保護など多方面に活用していただきたいと考えている。

末筆ではあるが、本報告にあたりコウチュウ目の同定および確認をしていただいた平野幸彦氏（神奈川県昆虫談

話会）、その他の目の同定および確認をしていただいた高橋耕司氏（神奈川県昆虫談話会）・山村聖氏（玉川大学農学科）・守屋博文氏（さがみはら水生動物調査会）にお礼申し上げる。また、調査の際に出会った地元の方々や相模原植物調査会の方々には昆虫関係の資料の収集や情報の協力を得た。この場を借りて感謝の意を表すものである。

凡例

- 1 配列及び学名は『神奈川県昆虫誌Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ』に従ったが、変更等があったものは最新の情報を利用した。
- 2 種名に続き、採集個体数、雌（♀）、雄（♂）、検視個体（ex., あるいはexs.）、採集地、採集年月日、採集者、登録番号の順で記した。
- 3 採集地はすべて相模原市から始まるので、相模原市の表記は省略した。また、津久井町は〔津〕・城山町は〔城〕・相模湖町は〔相〕・藤野町は〔藤〕と略して表記した。
- 4 採集者は原則すべて調査員の原弘であるので、その氏名は省略した。協力者の採集したものについてはフルネームで表記した。
- 5 種名の学名の表記において、記載者・記載年は省略した。

* 元相模原市立博物館資料調査員

カゲロウ目 Ephemeroptera

モンカゲロウ科 Ephemeridae

フタスジモンカゲロウ *Ephemer japonica*

- 1ex., [藤] 牧野菅井(綱子入口), 2006/09/29 (27587);
2exs., [藤] 牧野綱子, 2008/06/13 (27588・27589)

トンボ目 Odonata

カワトンボ科 Calopterygidae

ハグロトンボ *Calopteryx atrata*

- 1♀, [津] 又野, 2006/08/03 (27590); 1♂, 大島神沢,
2006/09/03 (27591)

ミヤマカワトンボ *Calopteryx cornelia*

- 1♂, [津] 青根夫婦園, 2006/05/25 (27592); 1♀,
[津] 青根上青根, 2007/05/22 (27593); 1♂, [津] 長
竹葦尾根志田山, 2008/06/13 (27595); 1♂, 2008/07/
05 (27596); 1♀, 2008/07/15 (27597); 1♀, [藤] 牧
野綱子, 2007/06/05 (27594)

カワトンボ *Mnais spp.*

- 1♀, [津] 青根夫婦園, 2006/05/25 (27598); 2♂1♀,
[相] 千木良底沢～[藤] 沢井栃谷, 2007/05/23 (2760
3～27605); 1♀, [相] 千木良底沢～小仏, 2007/05/11
(27600); 1♀, [相] 千木良長尾, 2007/05/09 (27599);
1♀, [津] 青根道志第二発電所, 2007/05/27 (27607);
1♂1♀, [津] 根小屋明日原小倉林道, 2008/05/28 (27
611・27612); 4♂, 2008/06/04 (27613～27616); 1♂1
♀, 2008/06/13 (27617・27618); 1♀, [藤] 佐野川下
岩～鎌沢, 2007/05/16 (27601); 1♀, [藤] 日連青田,
2007/05/23 (27606); 1♂, [藤] 牧野綱子, 2007/05/1
8 (27602); 1♀, 2007/06/05 (27608); 1♂, 2007/07/3
1 (27609); 1♂, 2008/05/23 (27610)

アオイトトンボ科 Lestidae

オオアオイトトンボ *Lestes temporalis*

- 1♀, [藤] 牧野奥牧野城山, 2008/10/02 (27619)

ホソミオツネントンボ *Indolestes peregrinus*

- 1♀, [藤] 牧野牧馬曲松, 2007/05/28 (27620)

ヤンマ科 Aeshnidae

ミルンヤンマ *Planaeschna milnei*

- 1♂, [藤] 牧野篠原, 2006/10/19 (27621); 2♂1♀,
[津] 根小屋明日原小倉林道, 2008/10/03 (27622～276
24)

クロスジギンヤンマ *Anax nigrofaciatus nigrofaciatus*

- 2♂, [津] 長竹葦尾根志田山, 2008/06/15 (27625・27
626)

サナエトンボ科 Gomphidae

ダビドサナエ *Davidius nanus*

- 1♀, [津] 青根上青根, 2007/05/22 (27627); 1♂,
[相] 千木良底沢～[藤] 沢井栃谷, 2007/05/23 (2762
8); 1♀, [津] 鳥屋奥野林道, 2007/06/13 (27630); 1
♀, 2007/06/29 (27631); 1♂, [藤] 牧野綱子, 2007/
06/05 (27629); 1♂, 2008/06/10 (27632)

クロサナエ *Davidius fujiana*

- 1♀, [相] 千木良底沢～[藤] 沢井栃谷, 2007/05/23

- (27633); 1♀, [藤] 牧野綱子, 2007/06/05 (27634); 1
♂, [津] 根小屋明日原小倉林道, 2008/05/28 (27635);
2♀, 2008/06/04 (27636・27637)

ヒメクロサナエ *Lanthus fujiacus*

- 1♂, [藤] 佐野川下岩～鎌沢, 2007/05/16 (27638)

ヒメサナエ *Sinogomphus flavolimbatus*

- 1♂, [津] 長竹葦尾根志田山, 2008/06/19 (27639)

コオニヤンマ *Sieboldius albardae*

- 1♂1♀, [津] 根小屋城山山頂, 2006/07/13 (27640・2
7641); 1♀, [城] 中沢峯の薬師, 2006/07/14 (27642);
1♂, [城] 中沢蓮華院, 2006/07/26 (27643); 2♀,
[津] 長竹葦尾根志田山, 2008/07/05 (27644・27645)

オニヤンマ科 Cordulegastridae

オニヤンマ *Anotogaster sieboldii*

- 1ex., [津] 青山仙洞寺山, 2008/08/24 (27646) 川崎香
代; 1♂, [藤] 牧野舟久保さつき学園, 2008/09/17 (2
7647)

トンボ科 Libellulidae

シオカラトンボ *Orthetrum albistylum speciosum*

- 1♂, 大島神沢, 2006/09/03 (27648); 1♂, [城] 中沢
蓮華院, 2007/07/25(27649); 1♀, [津] 鳥屋奥野林道,
2007/08/14 (27650); 3♀, [津] 長竹葦尾根志田山, 2
008/06/15 (27651～27653); 1♂, [藤] 牧野小津久, 2
008/07/09 (27654)

オオシオカラトンボ *Orthetrum triangulare melania*

- 1♀, [城] 川尻中央公園, 2006/07/12 (27655); 1♂,
[津] 又野, 2006/08/03 (27656); 1♂, [津] 長竹葦尾
根志田山, 2008/06/13 (27657); 1♂, 2008/06/25 (276
58); 1♂, 2008/07/05(27659)

ミヤマアカネ *Sympetrum pedemontanum elatum*

- 1♂, [相] 千木良底沢美女谷, 2006/08/31 (27660); 1
♀, [津] 青根神之川林道, 2006/09/01 (27661); 1♂,
[津] 長竹葦尾根東京農工大農場, 2006/10/19 (27662);
1♂, [津] 三ヶ木道志新田, 2007/11/14 (27663); 1♂,
[津] 鳥屋茨菰山, 2008/07/12 (27664)

ナツアカネ *Sympetrum darwinianum*

- 1♀, [相] 千木良底沢美女谷, 2006/08/31 (27665); 1
♀, [津] 三ヶ木道志新田, 2007/11/14 (27666); 2♂,
大島上大島キャンプ場, 2008/11/01 (27667・27668)

アキアカネ *Sympetrum frequens*

- 1♀, [津] 三ヶ木道志新田, 2007/11/14 (27669); 1♀,
大島大島キャンプ場, 2008/11/01 (27670)

マユタテアカネ *Sympetrum eroticum eroticum*

- 1♀, [津] 青根上青根高瀬野, 2007/09/17 (27671); 1
♀, [相] 与瀬明王峠, 2007/09/24 (27672); 1♀, [藤]
牧野奥牧野日影原, 2008/10/02 (27673); 3♀, [津]
根小屋明日原小倉林道, 2008/10/03 (27674～27676)

ノシメトンボ *Sympetrum infuscatum*

- 1♂, [藤] 佐野川下岩倉子峠下, 2008/06/27 (27677)

コノシメトンボ *Sympetrum baccha matutinum*

- 1♂, [相] 与瀬明王峠, 2007/09/24 (27678)

カワゲラ目 Plecoptera

カワゲラ科 Perlidae

カワゲラ(カミムラカワゲラ) *Kamimuria tibialis*
1ex., [津] 青根神之川林道, 2006/05/25 (27679); 1ex.,
[藤] 牧野綱子, 2007/04/27 (27680); 1ex., [城] 葉山
島, 2007/05/03 (27681)

バッタ目 Orthoptera

コオロギ科 Gryllidae

ハラオカメコオロギ *Loxoblemmus campestris*
1♀, [津] 青根道志第二発電所, 2006/09/29 (27682);
1♂1♀, [津] 青根神之川林道, 2006/10/03 (27683・27684); 1♀, [藤] 牧野篠原, 2006/10/04 (27685); 1♂,
[津] 鳥屋松茸山登山口, 2006/10/18 (27686); 1♀,
[藤] 牧野綱子, 2006/11/17 (27687); 1♂, [藤] 牧野
小津久, 2008/10/02 (27688)

ミツカドコオロギ *Loxoblemmus doenitzi*
1♂, [藤] 牧野奥牧野城山, 2006/11/01 (27689)

エンマコオロギ *Teleogryllus emma*
1♀, [津] 青根神之川林道, 2006/10/03 (27690); 1♀,
[藤] 牧野篠原, 2006/10/04 (27691)

マツムシ科 Eneopteridae

カヤコオロギ *Euscyrtus japonicus*
2♂, [藤] 牧野篠原, 2006/10/04 (27692・27693)

カンタン *Oecanthus longicauda*
1♀, [相] 寸沢嵐小野林道, 2007/10/02 (27694); 1♀,
2007/10/03 (27695)

ヒバリモドキ科 Trigonidiidae

クサヒバリ *Svistella bifasciata*
1♀, [藤] 牧野篠原, 2006/10/04 (27696)

マダラスズ *Dianemobius nigrofasciatus*
2♀, [津] 青根, 2006/11/15 (27698・27699); 1ex.(幼
虫), 2006/11/15(27701); 1♀, [藤] 牧野綱子, 2006/1
0/13 (27697); 1♀, 2006/11/17 (27700)

シバスズ *Polionemobius mokado*
1♀, [藤] 牧野篠原, 2006/10/04 (27702)

ケラ科 Gryllotalpidae

ケラ *Gryllotalpa orientalis*
1ex., 田名塩田, 2005/10/11 (27703) 川崎香代

キリギリス科 Tettigoniidae
ヤブキリ *Tettigonia orientalis*
1♂, [藤] 牧野奥牧野城山, 2007/08/01 (27704)

クサキリ *Ruspolia lineosa*
1♀, [藤] 牧野篠原, 2006/10/04 (27705)

ササキリ *Conocephalus melaenus*
1♀, [藤] 牧野奥牧野城山, 2007/10/02 (27706); 1ex.
(幼虫), [藤] 牧野綱子, 2008/08/19 (27707)

ササキリモドキ科 Meconematidae
セスジササキリモドキ *Xiphidiopsis subpunctata*
1♂, [藤] 佐野川下岩, 2007/09/26 (27708)

ヒメツユムシ *Leptoteraura albicornis*
1♂, [津] 鳥屋伊勢沢林道音見沢橋, 2007/09/19 (2770
9); 3♀, [藤] 佐野川下岩, 2007/09/26 (27710~27712)

ツユムシ科 Phaneropteridae
アシグロツユムシ *Phaneroptera nigroantennata*
1♀, [藤] 沢井栢谷, 2006/09/28 (27713); 1ex.(幼虫),

[相] 寸沢嵐石老山, 2007/04/10 (27725); 1ex.(幼虫),
[津] 青根上青根, 2008/08/15 (27726); 1♂, [津] 鳥
屋伊勢沢林道, 2007/09/27 (27718); 1♂, [津] 鳥屋
伊勢沢林道音見沢橋, 2007/09/19 (27717); 2exs.(幼虫),
[津] 三井名手, 2006/08/02 (27723・27724); 2♂,
[津] 青根道志第二発電所, 2006/09/29 (27714・27715);
1♂1♀, [津] 根小屋明日原小倉林道, 2008/10/03 (27
721・27722); 1♂, [藤] 牧野奥牧野城山, 2008/10/02
(27719); 1♀, [藤] 牧野篠原, 2006/10/04 (27716); 1
♂, [藤] 牧野小津久, 2008/10/02 (27720)

セスジツユムシ *Ducetia japonica*
1♀, [津] 青根道志第二発電所, 2006/10/03 (27727)

ホソクビツユムシ *Shirakisotima japonica*
1♂, [津] 鳥屋伊勢沢林道, 2008/08/10 (27728)

サトクダマキモドキ *Holochlona japonica*
1♂, [津] 青根神之川林道犬越路下, 2008/09/11 (277
29)

ヤマクダマキモドキ *Holochlona longifissa*
1♂, [藤] 佐野川下岩, 2007/09/26 (27730)

コロギス科 Gryllacrididae

コロギス *Prosopogryllacris japonica*
1♂, [津] 鳥屋伊勢沢林道, 2008/07/17 (27731); 1♂,
2008/08/12 (27732)

ハネナシコロギス *Nippancistroger testaceus*
1ex.(幼虫), [相] 千木良底沢~与瀬明王峠, 2007/10/0
3 (27733)

ノミバッタ科 Tridactylidae

ノミバッタ *Xya japonica*
1ex., [藤] 牧野小津久, 2008/05/15 (27734)

ヒシバッタ科 Tetrigidae

コバネヒシバッタ *Formosatettix larvatus*
1♀, [津] 鳥屋松茸山登山口, 2006/10/18 (27735); 1
♂, [津] 青根, 2006/11/15 (27736); 1♀, [津] 三ヶ
木道志新田, 2007/03/24 (27737); 1♀, [津] 鳥屋茨
菰山, 2007/04/11 (27738); 1♀, [相] 千木良長尾, 2
007/05/15 (27739); 1♀, [津] 青根神之川林道犬越路
下, 2008/06/06 (27740); 1♀, [藤] 牧野綱子, 2008/
07/11 (27741)

ハラヒシバッタ *Tetrix japonica*
1♀, [藤] 牧野綱子, 2006/09/29 (27742); 1♀, [藤]
牧野伏馬田, 2007/03/23 (27743); 1♂, [津] 鳥屋茨
菰山, 2007/04/11 (27744)

ヤセヒシバッタ *Tetrix macilentata*
1♂, [津] 鳥屋松茸山登山口, 2006/10/18 (27745); 1
♂, [津] 青根此の間沢, 2006/11/15 (27746); 1ex.,
[津] 青根道志川, 2007/03/14(27747); 1♂, [藤] 牧
野菅井, 2007/03/15 (27748); 1♂, [津] 青根神之川
林道犬越路下900m, 2008/04/29 (27749); 2♀, [藤]
佐野川鎌沢登里, 2008/06/18 (27750・27751)

オンブバッタ科 Pyrgomorphidae

オンブバッタ *Atractomorpha lata*
1♀, [津] 青根夫婦園, 2006/09/26 (27752); 1♂1♀,
[藤] 牧野篠原, 2006/10/04 (27753・27754); 1♂2♀,
[津] 青根, 2006/11/15(27755~27757); 1♂, [津] 鳥
屋伊勢沢林道, 2007/09/27(27758); 1♂, [藤] 牧野小

津久, 2008/10/02 (27759); 1♀, [藤] 牧野奥牧野城山, 2008/10/02 (27760)

イナゴ科 Catantopidae

コバネイナゴ *Oxya yezoensis*

1♂, [相] 寸沢嵐沼本, 2006/11/06 (27761)

ツチイナゴ *Patanga japonica*

1♂, [相] 千木良長尾, 2007/03/21 (27762); 1♂, [藤] 牧野小津久, 2008/10/02 (27763)

ヤマトフキバツタ *Parapodisma setouchiensis*

1♂, [津] 鳥屋伊勢沢林道, 2006/11/11 (27764)

タンザワフキバツタ *Parapodisma tanzawaensis*

1♂, [津] 青根道志第二発電所, 2006/09/29 (27765); 1♂2♀, [城] 中沢峯の薬師, 2006/10/15 (27766~27768); 1♀, [津] 鳥屋伊勢沢林道, 2006/11/11 (27769); 1♂, 2008/08/10 (27771); 1♀, [藤] 牧野綱子, 2006/11/17 (27770)

バツタ科 Acrididae

ショウリョウバツタ *Acrida cinerea*

1♀, [津] 青根荒丸, 2006/09/29 (27772); 1ex., [藤] 牧野小津久, 2008/10/02 (27773)

トノサマバツタ *Locusta migratoria*

1ex., [藤] 牧野小津久, 2008/10/02 (27774)

クルマバツタモドキ *Oedaleus infernalis*

1♀, [藤] 牧野伏馬田, 2006/09/20 (27775); 1♂, [藤] 沢井栃谷, 2006/09/28 (27776); 1♀, [藤] 牧野奥牧野城山, 2006/11/01 (27777); 1♂2♀, [津] 根小屋城山公園, 2007/10/18 (27778~27780); 1♂, [藤] 牧野小津久, 2008/10/02 (27781); 1♂, [藤] 牧野奥牧野城山, 2008/10/02(27782)

イボバツタ *Trilophidia japonica*

1♀, [藤] 牧野綱子, 2006/10/13 (27783)

ヒロバネヒナバツタ *Stenobothrus fumatus*

1♀, [津] 青根神之川林道, 2006/10/03 (27784); 1♂, [藤] 牧野奥牧野城山, 2008/10/02 (27785)

ナナフシ目 Phasmatodea

ナナフシ科 Phasmatidae

ナナフシモドキ *Baculum irregulariterdentatum*

1♀, [津] 鳥屋伊勢沢林道, 2008/08/10 (27786)

ハサミムシ目 Dermaptera

ハサミムシ科 Anisolabididae

ヒゲジロハサミムシ *Gonolabis marginaris*

1ex. (幼虫), [藤] 牧野綱子, 2006/10/13 (27787); 1ex., [津] 青根道志川, 2007/03/14(27788)

クギヌキハサミムシ科 Forficuridae

アルマンコブハサミムシ *Anechura (Odontopsalis) harmandi*

1ex., [相] 寸沢嵐小野林道, 2007/04/12 (27793); 1♀ (幼虫), [津] 鳥屋茨菰山, 2007/04/11 (27789); 2exs. (幼虫), 2007/04/11 (27791・27792); 1♂, [津] 鳥屋奥野林道, 2007/06/26 (27790); 1♀ (幼虫), 2007/06/26 (27795); 1ex. (幼虫), [藤] 沢井栃谷, 2007/05/23 (27794)

エゾハサミムシ *Eparchus yezoensis*

1♂, [藤] 牧野菅井, 2007/03/15 (27796); 4♂5♀, [相] 千木良小仏峠, 2007/05/28 (27800~27808); 3♀, [津] 鳥屋茨菰山, 2007/05/28 (27797~27799); 1♂, 2007/05/28 (27809)

カマキリ目 Mantodea

カマキリ科 Manteidae

オオカマキリ *Tenodera aridifolia*

2♀, [藤] 牧野小津久, 2008/10/02 (27810・27811); 1♀, [津] 鳥屋奥野林道, 2008/11/26 (27812) 川崎香代

コカマキリ *Staltia maculata*

1♀, [城] 中沢峯の薬師, 2006/10/15 (27813); 1♂, [藤] 牧野綱子, 2006/11/17 (27814); 1♂, [藤] 牧野小津久, 2007/11/09 (27815); 1♀, [津] 根小屋明日原小倉林道, 2008/10/03 (27816)

ゴキブリ目 Blattaria

チャバネゴキブリ科 Blattellidae

モリチャバネゴキブリ *Blattella nipponica*

1ex. (幼虫), 田名水郷田名, 2009/01/17 (31299); 1ex. (幼虫), [藤] 牧野菅井, 2007/03/15 (27817)

カメムシ目 Hemiptera

カスミカメムシ科 Miridae

オオモンキカスミガメ *Deraeocoris olivaceus*

1ex., [津] 鳥屋伊勢沢林道, 2007/06/13 (27818); 1ex., [津] 青根神之川林道犬越路下, 2007/06/20 (27819)

メンガタカスミガメ *Eurystylus coelestialium*

1ex., [津] 青根神之川林道犬越路下, 2007/08/02 (27820); 1ex., [津] 鳥屋伊勢沢林道音見沢橋, 2007/09/14 (31300)

アカスジヒゲトカスミカメ *Eolygus rubrolineatus*

1ex., [相] 千木良底沢~与瀬明王峠, 2007/04/27 (27821)

アカアシカスミカメ *Onomaus lautus*

1ex., [藤] 牧野綱子, 2006/09/29(31301)

マキバサシガメ科 Nabidae

アシプトマキバサシガメ *Prostemma hilgendorffi*

1ex., [藤] 牧野綱子, 2007/09/21(31302)

キバネアシプトマキバサシガメ *Prostemma kiborti*

1ex., [藤] 牧野綱子, 2006/09/15(31303)

アカマキバサシガメ *Gorpis brevilineatus*

1♂, [相] 寸沢嵐石老山林道, 2007/04/10 (27822); 1♀, [津] 鳥屋奥野林道大平, 2007/05/04(27823); 1♀, [藤] 沢井栃谷, 2007/05/23 (27824); 1♀, [津] 青根道志第二発電所, 2007/05/27 (27825); 1♀, [津] 鳥屋伊勢沢林道, 2008/06/11 (27826); 1♀, 2008/07/02 (27827)

ベニモンマキバサシガメ *Gorpis japonicus*

1♀, [津] 鳥屋伊勢沢林道音見沢橋, 2007/09/19 (27828)

サシガメ科 Reduviidae

- アカサシガメ *Cydnochoris russatus*
1ex., [津] 青根道志第二発電所, 2007/07/19 (27831);
1♀, [藤] 牧野小津久, 2007/05/29 (27829); 1♀, 20
07/06/03 (27830); 1♂, 2008/05/21 (27832)
- アカシマサシガメ *Haematoloecia nigrorufa*
1♂, [藤] 牧野篠原釜ノ沢, 2008/05/09 (27833)
- クビグロアカサシガメ *Haematoloecia delibuta*
1ex., [津] 鳥屋伊勢沢林道, 2007/03/20 (27834); 1ex.,
[相] 千木良小仏峠, 2007/03/28 (27835)
- クロバアカサシガメ *Labidocoris insignis*
1♂, [藤] 日連青田, 2007/05/23 (27836)
- ビロウドサシガメ *Ectrychotes andreae*
1♂, [藤] 牧野小津久, 2007/05/15 (27837)
- ヨコヅナサシガメ *Agriosphodrus dohrni*
2exs., [藤] 牧野篠原, 2006/08/18 (27838・27839);
1ex., 2006/08/22 (27840); 7exs., 2006/10/04 (27841
~27847); 1ex., [津] 太井津久井観光センター 2007/
05/09 (27848)
- アカヘリサシガメ *Rhynocoris leucospilus rubromarginatus*
1ex., [藤] 牧野綱子, 2008/05/09 (27849)
- オオトビサシガメ *Isyndus obscurus*
1♂1♀, [藤] 牧野奥牧野, 2006/11/01 (27850・27851);
1♂, [藤] 沢井栃谷, 2007/03/08 (27852); 1♀, [藤]
小淵上小淵~中小淵, 2008/10/29(27853); 1♀, [津]
青山仙洞寺山, 2008/10/31 (27854) 川崎香代; 1♂,
[津] 鳥屋茨菰山, 2008/12/03 (27855) 川崎香代
- クビアカサシガメ *Reduvius humeralis*
1♂, [藤] 牧野篠原, 2008/06/20 (27856)
- クロモンサシガメ *Peirates turpis*
1ex., [藤] 牧野綱子, 2007/06/05 (27857); 1ex., [藤]
牧野奥牧野城山, 2007/07/31 (27858); 1ex., 大野台 3
丁目, 2008/07/13 (27859) 井尻英男
- ナガカメムシ科 **Lygaeidae**
ムラサキナガカメムシ *Pylorgus colon*
1ex., [津] 青野原西沢, 2008/04/15 (31304); 2exs.,
[津] 根小屋小倉林道, 2008/06/04 (31304・31305); 1ex.,
[津] 鳥屋奥野林道大平, 2007/05/04 (31307); 4exs.,
[津] 青根神之川林道犬越路下, 2008/04/29 (31308~3
1311); 1ex., [藤] 牧野奥牧野城山, 2007/09/12 (3130
6)
- アカヘリナガカメムシ *Arocatus sericans*
1ex., [相] 千木良長尾, 2008/05/01 (27860)
- オオメナガカメムシ *Geocoris varius*
1ex., [津] 鳥屋奥野林道大平, 2007/04/26 (31312);
1ex., 2007/05/04 (31313); 1ex., [藤] 佐野川下岩, 2
007/06/12 (31314); 1ex., [藤] 沢井栃谷~ [相] 千木
良底沢, 2008/05/01 (31315); 1ex., [藤] 牧野綱子, 2
008/08/19 (31316)
- クロスジヒゲナガカメムシ *Pachygrontha similis*
1ex., [津] 根小屋明日原小倉林道, 2007/06/06 (27861)
- チャイロナガカメムシ *Neolethaeus dallasi*
1ex., [藤] 牧野綱子, 2006/09/29 (31317)
- モンシロナガカメムシ *Panaorus albomaculatus*
1ex., [藤] 佐野川鎌沢休憩所, 2006/08/16 (27862)
- チャモンナガカメムシ *Paradieuches dissimilis*
2exs., [藤] 牧野小津久, 2007/06/01 (31318・31319)
- メダカナガカメムシ科 **Malcidae**
オオメダカナガカメムシ *Malcus japonicus*
1ex., [津] 長竹志田山朝日寺, 2008/06/25 (27863)
- ホシカメムシ科 **Pyrrhocoridae**
フタモンホシカメムシ *Pyrrhocoris sibiricus*
2exs., [藤] 牧野小津久, 2007/10/31 (27864・27865)
- クロホシカメムシ *Pyrrhocoris sinuaticollis*
1ex., [藤] 牧野小津久, 2008/05/23 (27866)
- オオホシカメムシ科 **Largidae**
ヒメホシカメムシ *Physopelta cincticollis*
1♀, [藤] 佐野川下岩, 2007/08/03 (27867); 2♀,
[津] 青根神之川林道犬越路下, 2008/06/06 (27871・2
7872); 1♂, 2007/08/08 (27868); 2♀, [津] 鳥屋伊勢
沢林道, 2008/08/12 (27873・27874); 1♂, [津] 鳥屋
伊勢沢林道音見沢橋, 2007/09/19 (27869); 1♂, [津]
根小屋明日原小倉林道, 2008/06/04 (27870)
- オオホシカメムシ *Physopelta gutta*
1♀, 大島神沢, 2006/09/03 (27875); 1♂, [津] 根小
屋明日原小倉林道, 2007/06/06 (27876); 1♀, [津]
長竹志田山朝日寺, 2008/06/15 (27877)
- ホソヘリカメムシ科 **Alydidae**
クモヘリカメムシ *Leptocoris chinensis*
1♂, 大島神沢, 2006/09/03 (27878); 1♀, [津] 青根
神之川林道犬越路下, 2007/08/08 (27882); 1♂, [津]
三ヶ木道志新田, 2007/11/14 (27883); 1♂, [津] 青
根道志第二発電所, 2007/06/26 (27880); 1♀, [藤]
牧野菅井(綱子入口), 2006/09/29 (27879); 1♀, [藤]
牧野綱子, 2007/07/25 (27881); 1♀, [藤] 牧野小津
久, 2008/07/09 (27884)
- ホソヘリカメムシ *Riptortus clavatus*
1ex., [藤] 牧野綱子, 2006/08/18 (27885); 1ex., [津]
長竹志田山朝日寺, 2008/06/24 (27886); 1ex., [津]
三井名手, 2008/07/31 (27887); 1♂1♀, [藤] 牧野綱
子, 2008/08/19 (27888・27889); 1♂, [藤] 佐野川倉
子峠, 2008/09/25 (27890); (幼虫)1ex., [津] 根小屋城
山公園, 2007/10/18 (27891)
- ヘリカメムシ科 **Coreidae**
オオクモヘリカメムシ *Anacanthocoris striicornis*
1ex., [津] 青根道志第二発電所, 2006/09/29 (27892)
- ホソハリカメムシ *Cletus punctinger*
1ex., [藤] 佐野川下岩, 2008/09/25 (27893)
- ホシハラビロヘリカメムシ *Homoeocerus unipunctatus*
1♀, [津] 青根道志第二発電所, 2006/07/25 (27894)
- オオツマキヘリカメムシ *Hygia (Colpura) lativentris*
1♂, [藤] 日連青田, 2007/05/23 (27895); 1ex., [津]
青根上青根, 2008/08/15 (27896); 1♀, [藤] 牧野篠
原釜ノ沢, 2008/05/09 (27897)
- ツマキヘリカメムシ *Hygia (Hygia) opaca*
1ex., [津] 根小屋明日原小倉林道, 2008/06/04 (27898)
- マツヘリカメムシ *Leptoglossus occidentalis*
1ex., 大野台, 2008/02/21; 1ex., 2008/10/01; 1ex., 20
08/12/21 (31361~31363); 1ex., 高根, 2008/10/21;
1ex., 2008/11/14 (31364・31365)
- キバラヘリカメムシ *Plinactus bicoloripes*

1♀, [津] 鳥屋伊勢沢林道音見沢橋, 2007/09/14 (27899); 1♂, [藤] 牧野綱子, 2008/06/06 (27900)

ヒメヘリカメムシ科 Rhopalidae

ブチヒゲヘリカメムシ *Stictopleurus punctatonervosus*
1ex., [津] 青根夫婦園, 2007/06/26 (27901)

クヌギカメムシ科 Urostylidae

ナシカメムシ *Urochela luteovaria*
1ex., [津] 鳥屋伊勢沢林道, 2008/07/12 (27902)

ヘラクヌギカメムシ *Urostylis annulicornis*

1♂, [藤] 牧野綱子, 2006/09/29 (27903); 1♂, [相] 寸沢嵐石老山, 2006/11/06 (27904); 1ex., [津] 鳥屋伊勢沢林道音見沢橋, 2007/09/19(27905); 2exs., [藤] 牧野小津久, 2007/11/09 (27906・27907)

マルカメムシ科 Plataspidae

マルカメムシ *Megacopta punctatissima*
1♀, [藤] 佐野川鎌沢休憩所, 2006/08/16 (27908); 1♀, [藤] 牧野奥牧野, 2006/09/25 (27909); 1♂, [津] 根小屋城山公園, 2007/10/18 (27910); 1♂, [津] 鳥屋奥野林道, 2008/04/27 (27911)

ツチカメムシ科 Cydnidae

ヨコヅナツチカメムシ *Adrisa magna*
1ex., [藤] 佐野川橋詰円通寺, 2007/06/13 (27912)

ヒメツチカメムシ *Fromundus pygmaeus*
1ex., [津] 青野原寺入沢, 2008/04/16 (27913); 1ex., [藤] 栃谷～[相] 千木良底沢, 2008/05/01 (27914)

ツチカメムシ *Macroscytus japonensis*
1ex., 大島神沢, 2006/09/03 (27915); 2exs., [藤] 沢井栃谷, 2006/10/04 (27916・27917); 1ex., [城] 中沢峯の薬師, 2006/10/15 (27918); 1ex., [藤] 牧野, 2006/11/01 (27919); 1ex., [津] 鳥屋伊勢沢林道, 2006/11/11 (27920); 1ex., [藤] 牧野小津久温泉病院, 2007/11/09 (27921)

ミツボシツチカメムシ *Adomerus triguttulus*
1ex., [津] 青根, 2006/11/15 (31320); 2exs., [津] 根小屋葦尾根, 2007/04/06 (31321・31322)

キンカメムシ科 Scutelleridae

アカスジキンカメムシ *Poecilocoris lewisi*
1ex., [城] 本沢ダム, 2006/07/12 (27922); 3exs., [城] 中沢峯の薬師, 2006/07/14 (27924～27926); 2exs., 2006/07/26 (27927・27928); 1ex., [津] 長竹葦尾根志田峠, 2006/08/03 (27930); 1ex., [津] 鳥屋伊勢沢林道, 2007/09/27 (27932); 1ex., 2008/09/27 (27934); 1ex., [津] 又野又野公園170m, 2006/08/02 (27929); 1ex., [津] 根小屋城山山頂, 2006/07/13 (27923); 1ex., [津] 根小屋明日原小倉林道, 2007/06/04 (27931); 1ex., 2008/06/04 (27933)

カメムシ科 Pentatomidae

トゲカメムシ *Carbura humerigera*
1♂, [津] 青野原寺入沢, 2006/07/06 (27935); 1♂, [相] 寸沢嵐石老山林道, 2008/06/03 (27936)

ナガメ *Eurydema rugosa*
1♀, [津] 青根神之川林道犬越路下, 2008/06/06 (27937)

クサギカメムシ *Halyomorpha halys*
1♀, [津] 青根神之川林道, 2006/06/01 (27938); 1♀,

[藤] 牧野奥牧野, 2006/09/25 (27939); 2♀, [藤] 牧野綱子, 2006/09/29 (27940・27941); 1♀, [津] 鳥屋松茸山, 2006/11/09 (27942); 1♀, [藤] 沢井栃谷, 2007/03/08 (27943); 1♂1♀, [藤] 小淵上小淵～中小淵, 2008/10/29 (27944・27945)

スコットカメムシ *Menida scotti*

1♀, [津] 鳥屋奥野林道, 2007/10/17 (27946); 1♀, 2008/04/27 (27947)

ツマジロカメムシ *Menida violacea*

2♂, [津] 青根高瀬野林道, 2006/09/26 (27948・27949); 1♂, [藤] 沢井栃谷入口, 2006/09/28 (27950); 1♂, [藤] 牧野奥牧野城山, 2007/06/12 (27951); 1ex., [藤] 牧野小津久, 2007/11/16 (27952); 1ex., [津] 鳥屋伊勢沢林道, 2008/09/12 (27953)

ミヤマダラカメムシ *Hermolaus amurensis*
1ex., [津] 鳥屋奥野林道, 2007/06/26 (27954)

チャバネアオカメムシ *Plautia stali*

1♀, [津] 青根神之川林道, 2006/06/01 (27955); 1♂1♀, [津] 青根夫婦園, 2006/07/06 (27956・27957); 1♂, [藤] 牧野奥牧野, 2006/09/25(27959); 1♀, [藤] 佐野川, 2006/11/07 (27961); 1♀, [藤] 佐野川鎌沢登里, 2008/06/18 (27962); 1♀, [藤] 沢井栃谷休憩所, 2006/09/12 (27958); 1♂, [藤] 牧野綱子, 2006/09/29 (27960)

ツノアオカメムシ *Pentatoma japonica*

2♀, [藤] 牧野綱子, 2006/09/29 (27963・27964); 1♂, [相] 寸沢嵐石老山林道, 2007/06/20 (27966); 1♀, [津] 青根神之川林道, 2006/10/12(27965); 2♂2♀, [津] 青根神之川林道犬越路下900m, 2008/09/11 (27971～27974); 1♂, [津] 鳥屋伊勢沢林道, 2008/08/12 (27970); 2♂1♀, [津] 鳥屋伊勢沢林道音見沢橋, 2007/09/19 (27967～27969)

ミナミアオカメムシ *Nezara viridula*
1♀, [津] 青根神之川林道, 2006/09/26 (27975)

アオクチブトカメムシ *Dinorhynchus dybowskyi*
1♂, [藤] 牧野奥牧野城山, 2007/07/02 (27976); 1♂, [藤] 牧野小津久, 2007/10/31 (27977); 1♂, [津] 青根神之川林道犬越路下900m, 2008/09/11 (27978)

シモフリクチブトカメムシ *Eocanthecona japonicola*
1♀, [津] 鳥屋伊勢沢林道, 2008/06/11 (27979)

ツノカメムシ科 Acanthosomatidae

フトハサミツノカメムシ *Acanthosoma crassicauda*
1♂, [津] 青根神之川林道, 2006/06/01 (27980)

アオモンツノカメムシ *Elasmostethus nubilus*
1♂, [津] 青根神之川林道犬越路下900m, 2007/08/08 (27981); 1♀, [津] 鳥屋伊勢沢林道, 2008/07/17 (27982)

ハネナガウンカ科 Derbidae

アヤヘリハネナガウンカ *Losbanosia hibarensis*
1ex., [津] 鳥屋奥野林道, 2007/08/14 (27983)

アオバハゴロモ科 Flatidae

アオバハゴロモ *Geisha distinctissima*
1ex., [津] 青根道志第二発電所, 2006/09/29 (27984); 1ex., [津] 根小屋明日原小倉林道, 2006/10/03 (27985); 1ex., [津] 青根神之川林道, 2006/10/26 (27986)

マルウンカ科 Issidae

マルウンカ *Gergithus veriables*

1ex., [相] 千木良長尾, 2007/05/09 (27987); 1ex., [藤] 佐野川下岩～鎌沢, 2007/05/16(27988); 1ex., [藤] 牧野小津久, 2007/05/27 (27989); 1ex., [津] 鳥屋伊勢沢林道, 2008/06/11 (27990); 2exs., [相] 寸沢嵐石老山, 2008/07/03 (27991・27992); 1ex., [津] 青根神之川林道犬越路下, 2008/07/11 (27993); 1ex., [津] 鳥屋茨菰山, 2008/07/12 (27994); 1ex., [津] 鳥屋伊勢沢林道, 2008/08/10 (27995)

ハゴロモ科 Ricaniidae

アミガサハゴロモ *Pochazia albomaculata*

1ex., [津] 鳥屋奥野林道, 2007/08/14 (27996); 1ex., [津] 青根神之川林道, 2007/10/23 (27997)

スケバハゴロモ *Euricania facialis*

1ex., [藤] 佐野川登里鎌沢休憩所, 2006/08/16 (27998)

ベッコウハゴロモ *Orosanga japonicus*

1ex., [津] 又野又野公園, 2006/08/11 (27999); 1ex., [津] 鳥屋奥野林道, 2007/08/14 (28000); 1ex., [藤] 牧野篠原, 2008/08/07 (28001); 1ex., [津] 鳥屋伊勢沢林道, 2008/09/27 (28002)

セミ科 Cicadidae

ツクツクボウシ *Meimuna opalifera*

2♀, [津] 鳥屋伊勢沢林道音見沢, 2007/09/19 (28003・28004); 1♀, [津] 鳥屋伊勢沢林道, 2007/09/25 (28005); 1ex., 2008/08/12(28006)

ニイニイゼミ *Platypleura kaempferi*

1♀, [藤] 佐野川下岩, 2007/08/03 (28007); 1♀, [藤] 佐野川倉子峠, 2008/07/16 (28008)

ミンミンゼミ *Oncotympana maculaticollis*

1♀, [津] 青根いやしの湯, 2008/07/30 (28009)

ヒグラシ *Tanna japonensis japonensis*

1ex., [津] 青根道志第二発電所, 2006/07/06 (28010); 1♀, [城] 中沢蓮華院, 2007/08/03 (28015); 1♂2♀, [津] 青根上青根高瀬野, 2008/08/03 (28018～28020) 菅沼広美; 1♂, [津] 鳥屋伊勢沢林道, 2008/07/17 (28017); 1♀, 2008/08/12 (28021); 2♂, [津] 鳥屋松茸山, 2006/07/22 (28011・28012); 1ex., [津] 又野又野公園, 2006/08/03 (28014); 1ex., [藤] 佐野川下岩, 2007/08/03 (28016); 1♂, [藤] 牧野伏馬田, 2006/07/25 (28013)

トゲアワフキムシ科 Machaerotidae

ムネアカアワフキ *Hindoloidea bipunctata*

3exs., [藤] 佐野川下岩～鎌沢, 2007/05/16(31323～31325); 1ex., [藤] 沢井栃谷～ [相] 千木良底沢, 2008/05/01 (31326); 1ex., [藤] 牧野綱子, 2008/05/09 (31327)

アワフキムシ科 Aphrophoridae

シロオビアワフキ *Aphrophora intermedia*

1ex., [相] 寸沢嵐石老山林道, 2008/07/03 (28027); 1ex., [津] 青根神之川林道, 2007/07/24 (28023); 1ex., [津] 鳥屋早戸川林道, 2007/07/20(28022); 1ex., [津] 鳥屋早戸川林道魚止, 2007/10/17 (28025); 1ex., [藤] 沢井栃谷休憩所, 2007/10/07 (28024); 1ex., [藤] 牧野奥牧野城山, 2008/06/20 (28026)

テングアワフキ *Philagra albinotata*

1ex., [相] 寸沢嵐石老山林道, 2007/06/20 (28028); 3exs., [津] 鳥屋奥野林道, 2007/06/26 (28029～28031); 2exs., [津] 青根神之川林道犬越路下, 2007/08/02 (28032・28033); 1ex., [津] 鳥屋伊勢沢林道, 2008/06/11 (28034); 1ex., [津] 青野原川原, 2008/06/17 (28035)

マルアワフキ *Lepyronia coleoptrata*

1ex., [藤] 牧野綱子, 2008/05/27 (28036)

ツノゼミ科 Membracidae

トビイロツノゼミ *Machaerotypus sibiricus*

1ex., [津] 青根道志第二発電所, 2008/04/25 (31328); 1ex., [津] 鳥屋奥野林道, 2008/04/27 (31329)

ヨコバイ科 Cicadellidae

ミミズク *Ledra auditura*

1♀, [相] 寸沢嵐石老山林道, 2007/06/20 (28037); 1♂, [津] 青根道志第二発電所, 2007/06/25 (28038); 2♂, [藤] 牧野奥牧野城山, 2007/08/01(28039・28040); 5♂1♀, [藤] 佐野川下岩倉子峠, 2007/08/03 (28041～28046); 4♂, [津] 青根神之川林道犬越路下, 2007/08/08 (28047～28050); 1♂, [津] 鳥屋伊勢沢林道, 2008/07/17 (28051)

コミミズク *Ledropsis discolor*

1ex., [津] 青根道志第二発電所, 2008/04/25 (28052); 1ex., [津] 鳥屋伊勢沢林道, 2008/07/17 (28053)

ツマゲロオオヨコバイ *Bothrogonia ferruginea*

3exs., [津] 串川葎尾根, 2007/03/13 (28054～28056); 1ex., [藤] 牧野牧馬曲松, 2007/03/28 (28057); 1ex., 2008/04/09 (28058); 1ex., [藤] 牧野, 2008/04/09 (28059)

キジラミ科 Psyllidae

ベニキジラミ *Psylla coccinea*

1ex., [藤] 牧野篠原釜の沢, 2008/06/04 (31330); 1ex., [津] 根小屋小倉林道, 2008/06/04 (31331)

ヘビトンボ目 Megaloptera

ヘビトンボ科 Corydalidae

タイリククロスジヘビトンボ *Parachauliodes continentalis*

1ex., [津] 青根道志第二発電所, 2007/05/27 (28060); 1ex., [相] 寸沢嵐小野林道, 2007/05/29 (28061); 1ex., [津] 青根神之川林道犬越路下, 2008/06/06 (28062); 2exs., [藤] 牧野綱子, 2008/06/13 (28063・28064)

ヘビトンボ *Protohermes grandis*

1ex., [津] 青根夫婦園, 2006/07/06 (28065); 1ex., [津] 青根道志第二発電所, 2007/06/25 (28066); 1ex., 2007/06/27 (28067); 1ex., [津] 青根神之川林道, 2007/07/25 (28068)

ヤマトクロスジヘビトンボ *Parachauliodes japonicus*

1ex., [津] 青根いやしの湯, 2008/06/24 (28069); 1ex., [藤] 佐野川鎌沢登里, 2008/07/18 (28070)

センブリ科 Sialidae

ネグロセンブリ *Sialis japonica*

1ex., [津] 鳥屋奥野林道, 2007/06/13 (31332)

アミメカゲロウ目 Neuroptera

カマキリモドキ科 Mantispidae

キカマキリモドキ *Eumantissa harmandi*

1ex., [津] 青根神之川林道犬越路下, 2007/08/08 (28071); 1ex., [津] 鳥屋奥野林道, 2007/08/14 (28072); 1ex., [津] 鳥屋伊勢沢林道, 2007/09/25 (28073); 1ex., [藤] 佐野川下岩, 2007/09/26 (28074)

ヒメカマキリモドキ *Mantissa japonica*

1ex., [津] 青根道志第二発電所, 2006/06/29 (28075); 1ex., [津] 青根神之川林道犬越路下, 2007/08/08 (28076); 1ex., [津] 青根神之川林道松皮沢, 2007/09/05 (28079); 2exs., [津] 鳥屋奥野林道, 2007/08/14 (28077・28078)

ウスバカゲロウ科 Myrmeleontidae

ウスバカゲロウ *Hagenomyia micans*

1ex., 二本松2丁目, 2006/07/04 (28080); 1ex., [津] 青根道志第二発電所, 2006/07/25 (28081); 1ex., [津] 青根神之川林道犬越, 2007/08/08 (28082)

コウスバカゲロウ *Myrmeleon formicarius*

1ex., [津] 青根神之川林道犬越路下, 2007/08/08 (28083)

ツノトンボ科 Ascalaphidae

オオツノトンボ *Protidricerus japonicus*

1ex., [津] 青根神之川林道, 2006/08/10 (28084); 2exs., [藤] 牧野綱子, 2007/07/25 (28085・28086); 1ex., [藤] 牧野小津久, 2008/07/09 (28087)

キバネツノトンボ *Libelloides ramburi*

22♂, [藤] 牧野小津久, 2008/05/08 (28088~28109); 1♀, 2008/05/21 (28110)

ツノトンボ *Hybris subjacens*

1ex., [津] 又野又野公園, 2006/08/31 (28111)

コウチュウ目 Coleoptera

ヒゲトオサムシ科 Paussidae

エグリゴミムシ *Eustra japonica*

1ex., [藤] 佐野川下岩, 2007/09/26 (28112)

ハンミョウ科 Cicindelidae

トウキョウヒメハンミョウ *Cicindela kaleea yedoensis*

1ex., [藤] 牧野奥野城山, 2007/08/01 (28113)

ニワハンミョウ *Cicindela japana*

1ex., [津] 鳥屋松茸山330m, 2006/05/12 (28114); 2exs., [津] 青根神之川林道犬越路下, 2008/04/29 (28123・28124); 1ex., [津] 青根上青根高瀬野, 2007/05/22 (28121); 3exs., [津] 青根神之川林道日陰沢, 2007/05/08 (28118~28120); 3exs., [津] 鳥屋奥野林道大平, 2007/05/04 (28115~28117); 1ex., [藤] 牧野奥野舟久保, 2007/06/07 (28122); 1ex., [藤] 牧野綱子, 2008/06/10 (28125)

ハンミョウ *Cicindela chinensis japonica*

5exs., [津] 鳥屋松茸山, 2006/09/16 (28126~28130); 5exs., [津] 根小屋明日原小倉林道, 2007/06/06 (28131~28135); 7exs., [津] 鳥屋松茸山登山口, 2007/09

/16 (28136~28142); 2exs., [相] 寸沢嵐小野林道, 2007/10/02 (28143・28144); 2exs., [津] 根小屋明日原小倉林道, 2008/05/28 (28145・28146)

オサムシ科 Carabidae

エサキオサムシ *Ohomopterus albrechti esakianus*

1ex., [相] 千木良底沢~千木良小仏峠, 2007/05/11 (28147); 1ex., [相] 寸沢嵐小野林道, 2007/07/19 (28148); 1ex., [城] 中沢峯の薬師, 2006/07/14 (28149); 1ex., [城] 川尻中央公園, 2006/07/12 (28150); 1ex., [津] 又野~三ヶ木野尻, 2006/08/03 (28151); 1ex., 大島神沢, 2006/09/03 (28152)

アオオサムシ *Ohomopterus insulicola insulicola*

1ex., [藤] 牧野奥野城山, 2007/08/01 (28153); 1ex., [相] 千木良長尾, 2007/05/09 (28154); 1ex., [津] 根小屋明日原小倉林道, 2008/10/03 (28155); 1ex., [藤] 牧野篠原, 2008/05/23 (28156)

ウスマンコミズギワゴミムシ *Tachyura fuscicauda*

1ex., [藤] 沢井栃谷, 2007/03/08 (28157); 1ex., [津] 鳥屋伊勢沢林道, 2007/03/20 (28158)

オオフタモンミズギワゴミムシ

Bembidion (Asioperlyphus) bandotaro

1ex., [藤] 牧野篠原釜ノ沢, 2008/05/16 (28159)

ガロアミズギワゴミムシ

Bembidion (Pseudolimnaeum) galloisi

1ex., [藤] 佐野川鎌沢登里, 2008/06/18 (28160)

オオゴミムシ *Lesticus magnus*

1ex., 二本松2丁目, 2007/04/22 (28161) 原きよ子
ニッコウヒメナガゴミムシ

Pterostichus (Rhadagus) polygenus

1ex., [藤] 牧野小津久藤野温泉病院, 2007/11/09 (28162)

オオアオモリヒラタゴミムシ

Colpodes (Metacolpodes) buchanani

1ex., [津] 青根道志第二発電所, 2007/05/27 (28163); 2exs., [藤] 牧野綱子, 2007/07/25 (28164・28165)

キンモリヒラタゴミムシ

Colpodes (Glaucagonum) sylphis stichai

1ex., [津] 青根神之川林道犬越路下, 2007/06/20 (28166); 1ex., [津] 青根神之川林道, 2007/07/24 (28170); 3exs., [津] 鳥屋奥野林道, 2007/06/26 (28167~28169)

チビモリヒラタゴミムシ

Colpodes (Eucolpodes) aurelius aurelius

1ex., [津] 青根神之川林道, 2007/05/08 (28171); 1ex., [津] 青根上青根高瀬野, 2007/06/07 (28172); 1ex., [津] 青根神之川林道犬越路下, 2007/06/20 (28173); 2exs., [津] 鳥屋伊勢沢林道, 2008/06/11 (28175・28176); 1ex., [藤] 牧野奥野, 2008/07/29 (28177); 1ex., [藤] 沢井栃谷~[相] 千木良底沢, 2008/05/01 (28174)

ホソモリヒラタゴミムシ

Colpodes (Onchostylus) speculator

2exs., [津] 鳥屋伊勢沢林道, 2007/09/26 (28178・28179)

ヤセモリヒラタゴミムシ

Colpodes (Diacanthostylus) elainus elainus

1ex., [津] 青根神之川林道犬越路下, 2008/06/06 (28180); 1ex., [津] 鳥屋伊勢沢林道, 2008/06/11 (28181)
クビアカモリヒラタゴミムシ

Colpodes (Loxocrepis) rubriolus

1ex., [藤] 牧野綱子, 2007/06/05 (28182); 1ex., [津] 鳥屋伊勢沢林道, 2008/08/12 (28183)

クロモリヒラタゴミムシ

Colpodes (Gyrochaetostylus) atricomus

1ex., [津] 青根道志第二発電所, 2007/05/27 (28184); 1ex., [藤] 佐野川鎌沢登里, 2008/06/18 (28185)

コハラアカモリヒラタゴミムシ

Colpodes (Lissagonum) lampros

1ex., [津] 鳥屋伊勢沢林道, 2007/06/13 (28186)

ルリヒラタゴミムシ *Dicranoncus femoralis*

1ex., [相] 千木良長尾, 2007/05/09 (28187)

オオクロツヤヒラタゴミムシ

Synuchus (Crepidactyla) nitidus nitidus

1ex., [藤] 牧野小津久, 2007/10/30 (28188)

セアカヒラタゴミムシ *Dolichus halensis*

1ex., [藤] 牧野綱子, 2007/09/08 (28189); 1ex., [相] 寸沢嵐小野林道, 2007/10/02 (28190)

Amara sp.

1ex., [相] 千木良長尾, 2007/05/09 (28191); 1ex., [津] 青野原西沢, 2008/04/15 (28192); 1ex., [藤] 牧野峰山, 2008/04/22 (28193); 3exs., [藤] 沢井栃谷～[相] 千木良底沢, 2008/05/01 (28194～28196)

キアシツヤヒラタゴミムシ

Synuchus (Synuchus) callitheres callitheres

1ex., [藤] 牧野綱子, 2007/10/13 (28197)

コアオマルガタゴミムシ *Amara (Celia) chalcophaea*

1ex., [津] 青山青山貯水池, 2007/11/22 (28198)

ゴミムシ *Anisodactylus (Anisodactylus) signatus*

1ex., [藤] 沢井栃谷, 2007/03/08 (28199); 1ex., [相] 道志道志新田, 2007/03/24 (28200); 1ex., [城] 葉山島(相模川川原), 2007/05/03 (28201); 1ex., [藤] 牧野奥牧野城山, 2007/08/01 (28202)

オオホシゴミムシ

Anisodactylus (Pseudanisodactylus) sadoensis

1ex., [津] 青根道志第二発電所, 2007/05/27 (28203); 1ex., [藤] 牧野綱子, 2008/06/06 (28204)

ヒメゴミムシ

Anisodactylus (Anisodactylus) tricuspидatus tricuspидatus

1ex., [津] 青根夫婦園, 2007/05/22 (28205); 1ex., [津] 青根神之川林道, 2007/07/20 (28206)

オオズケゴモクムシ *Harpalus (Pseudoophonus) eous*

1ex., [藤] 佐野川下岩, 2007/08/03 (28207); 1ex., [藤] 牧野綱子, 2007/10/13 (28208)

ケウスゴモクムシ *Harpalus (Pseudoophonus) griseus*

1ex., [津] 鳥屋伊勢沢林道, 2008/08/12 (28209)

クロゴモクムシ *Harpalus (Pseudoophonus) niigatanus*

1ex., [津] 鳥屋奥野林道, 2007/08/14 (28210)

ハコダテゴモクムシ

Harpalus (Nipponoharpalus) discrepans

1ex., [藤] 牧野奥牧野城山, 2008/05/21 (28211); 1ex., [藤] 牧野小津久, 2008/05/21 (28212)

ヒメツヤゴモクムシ

Trichotichnus (Trichotichnus) orientalis

1ex., [津] 長竹葦尾根, 2007/03/13 (28213); 1ex., [津] 青根此の間沢(道志川), 2007/03/14 (28214); 1ex., [津] 鳥屋伊勢沢林道, 2007/03/20 (28215); 1ex., [相] 寸沢嵐小野林道, 2007/04/12 (28216)

ムネアカマメゴモクムシ

Stenolophus (Stenolophus) propinquus

1ex., [津] 鳥屋奥野林道大平, 2007/04/26 (28217)

オオズヒメゴモクムシ

Bradycellus (Tachycellus) grandiceps

2exs., [津] 鳥屋茨菰山, 2007/04/11 (28218・28219)

スジアオゴミムシ *Heplochlaenius costiger*

1ex., [相] 寸沢嵐小野林道, 2007/07/19 (28220); 1ex., [城] 中沢蓮華院, 2007/08/03 (28221)

アトボシアオゴミムシ *Chlaenius (Jiaenichus) naeviger*

1ex., [相] 千木良長尾, 2007/05/09 (28222); 1ex., [津] 青根夫婦園, 2007/06/26 (28224); 1ex., [津] 青根上青根高瀬野, 2007/10/05 (28225); 1ex., [津] 鳥屋伊勢沢林道, 2008/08/10 (28228); 1ex., [津] 長竹葦尾根志田山, 2008/06/13 (28226); 1ex., [藤] 牧野奥牧野城山, 2007/06/19 (28223); 1ex., 2008/06/20 (28227)

ヒメキベリアオゴミムシ *Chlaenius (Chlaeniellus) inops*

1ex., [藤] 牧野奥牧野城山, 2007/08/01 (28229)

ハギキノコゴミムシ *Coptodera (Coptoderina) subapicalis*

4exs., [藤] 牧野奥牧野城山, 2007/09/12 (28230～28233)

ヤホシゴミムシ *Lebidia octoguttata*

1ex., [津] 鳥屋奥野林道, 2007/10/17 (28234); 1ex., [藤] 牧野小津久, 2008/05/09 (28235); 1ex., [津] 青根神之川林道犬越路下, 2008/06/06(28236)

ミツアナアトキリゴミムシ *Parena (Parena) tripunctata*

1ex., [津] 青根神之川林道, 2007/05/08 (28237)

アトグロジュウジアトキリゴミムシ

Lebia (Poecilothais) idea

1ex., [藤] 佐野川鎌沢登里, 2008/06/18 (28238)

エゾハネビロアトキリゴミムシ *Lebia (Poecilothais) fusca*

2exs., [津] 鳥屋奥野林道大平, 2007/05/04 (28239・28240)

ヒラタアトキリゴミムシ *Parena (Parena) cavipennis*

1ex., [津] 根小屋明日原小倉林道, 2008/05/28 (28241)

フタホシアトキリゴミムシ

Lebia (Poecilothais) bifenestrata

1ex., [相] 寸沢嵐石老山林道, 2007/04/30 (28242); 1ex., [相] 千木良底沢～千木良小仏峠, 2007/05/11 (28244); 1ex., [津] 青根神之川林道犬越路下, 2008/06/06(28258); 1ex., [津] 青野原西沢, 2008/05/27 (28254); 1ex., [津] 鳥屋奥野林道, 2008/04/27 (28249); 1ex., [津] 鳥屋奥野林道大平2007/05/04 (28243); 1ex., [津] 長竹葦尾根志田山, 2008/06/13 (28259); 3exs., [津] 根小屋明日原小倉林道, 2008/06/04 (28255～28257); 2exs., [藤] 佐野川下岩～橋詰, 2007/05/16 (28246・28247); 1ex., [藤] 沢井栃谷～[相] 千木良底沢, 2008/05/01 (28250); 1ex., [藤] 佐野川和田橋詰飯綱

山, 2007/05/11 (28245); 1ex., [藤] 牧野奥牧野城山, 2008/04/25 (28248); 3exs., [藤] 牧野篠原釜ノ沢, 2008/05/16 (28251~28253)

ホシハネビロアトキリゴミムシ

Lebia (Poecilothais) calycophora

1ex., [藤] 佐野川下岩〜橋詰, 2007/05/16 (28260)

クビボソゴミムシ *Galerita orientalis*

1ex., [藤] 牧野綱子, 2007/10/13 (28261)

スジミズアトキリゴミムシ *Ivistus grandis*

1ex., [相] 道志道志新田, 2007/11/14 (28262)

ベーツホソアトキリゴミムシ

Dromius (Lebidromius) batesi

1ex., [津] 鳥屋奥野林道大平, 2007/05/04 (28263);

1ex., [津] 青根神之川林道犬越路下, 2007/05/18 (28264);

1ex., 2007/08/02 (28265); 1ex., [藤] 佐野川

鎌沢登里, 2008/06/18 (28266)

フタホシスジバネゴミムシ *Planetes puncticeps*

1ex., [藤] 日連青田, 2007/03/15 (28267)

ゲンゴロウ科 *Dytiscidae*

モンキマメゲンゴロウ *Platambus pictipennis*

2exs., [津] 鳥屋松茸山, 2006/11/09 (28268・28269);

2exs., [津] 鳥屋伊勢沢林道, 2008/07/17 (28270・28271)

サワダマメゲンゴロウ *Platambus sawadai*

4exs., [津] 鳥屋伊勢沢林道, 2008/07/17 (28272~28275)

マメゲンゴロウ *Agabus japonicus*

1ex., [藤] 牧野綱子, 2007/07/25 (28276)

ミススマシ科 *Gyrinidae*

オナガミズスマシ *Orectochilus regimbarti regimbarti*

1ex., [津] 青根道志第二発電所, 2007/06/26 (28277)

ミズスマシ *Gyrinus japonicus*

1ex., [藤] 牧野綱子, 2007/03/14 (28278); 3exs., 2007/03/15 (28279・28281)

ガムシ科 *Hydrophilidae*

マルガムシ *Hydrocassis lacustris*

1ex., [津] 鳥屋伊勢沢林道音見沢橋, 2007/09/14 (28282)

キベリヒラタガムシ *Enochrus japonicus*

11exs., [津] 鳥屋茨菰山, 2007/03/28 (28283~28293);

3exs., [津] 青山仙洞寺山, 2007/04/05 (28294~28296);

9exs., [相] 寸沢嵐石老山, 2007/04/10 (28297~28305);

6exs., [相] 寸沢嵐小野林道, 2007/04/12 (28306~28311)

エンマムシ科 *Histeridae*

オオヒラタエンマムシ *Hololepta amurensis*

1ex., [津] 青根夫婦園, 2007/06/19 (28312); 1ex., [藤] 日連青田, 2008/05/23 (28313)

ヤマトエンマムシ *Hister japonicus*

1ex., [藤] 牧野小津久, 2008/06/10 (28314)

シデムシ科 *Silphidae*

オオモモフトシデムシ *Necrodes littoralis*

1ex., [藤] 佐野川鎌沢登里, 2008/06/18 (28315); 1ex., [津] 鳥屋伊勢沢林道, 2008/08/12 (28316)

ベッコウヒラタシデムシ *Eusilpha brunneicollis*

2exs., [藤] 佐野川下岩, 2007/09/26 (28317・28318)

ヨツボシモンシデムシ *Nicrophorus quadripunctatus*

1ex., [藤] 牧野綱子, 2007/05/18 (28319); 1ex., [津]

根小屋明日原小倉林道, 2007/06/06 (28320); 2exs., [藤] 佐野川和田橋詰円通寺境内, 2007/06/13 (28321・28322); 1ex., [相] 寸沢嵐石老山林道, 2007/06/20 (28323); 1ex., [津] 根小屋明日原小倉林道, 2007/06/26 (28324); 1ex., [津] 青根神之川林道犬越路下, 2007/08/08 (28325); 1ex., [藤] 佐野川下岩, 2007/09/26 (28326); 1ex., [藤] 沢井栃谷栃谷休憩所, 2007/10/07 (28327); 1ex., [藤] 牧野篠原釜ノ沢, 2008/05/16 (28328); 1ex., [藤] 牧野奥牧野城山, 2008/05/21 (28329); 1ex., [藤] 佐野川鎌沢登里, 2008/06/18 (28330)

ハネカクシ科 *Staphylinidae*

クロズシリホソハネカクシ *Tachyporus celatus*

1ex., [津] 鳥屋伊勢沢林道, 2007/03/20 (28331) *Aleochara* sp.

1ex., [津] 青根上青根高瀬野, 2007/05/22 (28332)

コクロヒゲフトハネカクシ *Aleochara parens*

1ex., [藤] 牧野綱子, 2007/06/05 (28333)

ツマキケシデオキノコムシ *Scaphisoma haemorrhoidale*

1ex., [津] 青根神之川林道エビラ沢, 2007/10/05 (28334)

セスジハネカクシ *Anotylus cognatus*

1ex., [津] 青根神之川林道犬越路下, 2007/05/18 (28335)

ホソフタホシメダカハネカクシ *Stenus (Stenus) alienus*

3exs., [津] 鳥屋奥野林道, 2008/04/27 (28336~28338)

キアシホソメダカハネカクシ

Stenus (Hemistenus) rugipennis

1ex., [藤] 牧野菅井, 2007/03/15 (28339)

エゾアリガタハネカクシ *Pedderus parallelus*

1ex., [津] 鳥屋伊勢沢林道, 2007/03/20 (28340)

コアリガタハネカクシ *Megalopaederus lewisi*

1ex., [津] 青根神之川林道犬越路下, 2007/03/18 (28341); 1ex., [津] 青野原西沢上流, 2008/05/27 (28342)

Astenus sp.

1ex., [津] 鳥屋伊勢沢林道, 2007/03/20 (28343)

オオマルズハネカクシ *Domene crassicornis*

1ex., [藤] 牧野菅井, 2007/03/15 (28344)

コマルズハネカクシ *Domene curtipennis*

1ex., [津] 鳥屋伊勢沢林道, 2007/03/20 (28345); 1ex., [相] 寸沢嵐小野林道, 2007/04/12 (28346)

ホソガタナガハネカクシ *Hypnogyra tubulus*

1ex., [津] 鳥屋奥野林道大平, 2007/04/26 (28347)

ヘリアカバコガシラハネカクシ *Philonthus solidus*

1ex., [相] 道志道志新田, 2007/03/24 (28348)

カラカネハネカクシ *Platydracus sharpi*

1ex., 高根(博物館敷地内), 2007/04/17 (28349)

サビハネカクシ *Ontholestes gracilis*

1ex., [津] 鳥屋伊勢沢林道音見沢橋, 2007/09/14 (28350)

オオハネカクシ *Creophilus maxillosus*

2exs., [津] 鳥屋伊勢沢林道音見沢橋, 2007/09/26 (28351・28352)

ハイイロハネカクシ *Eucibdelus japonicus*

3exs., [藤] 佐野川和田橋詰円通寺境内, 2007/06/13 (28353~28355); 2exs., [藤] 佐野川鎌沢登里, 2008/06/18 (28356・28357)

チャイロツヤムネハネカクシ *Quediis adustus*

1ex., [津] 鳥屋奥野林道, 2006/06/26 (28358); 1ex., [城] 中沢蓮華院, 2008/06/25 (28359)

クワガタムシ科 *Lucanidae*ミヤマクワガタ *Lucanus maculifemoratus*

5♂4♀, [津] 青根神之川林道後坂橋, 2006/07/26 (28360~28368); 1♂, [津] 鳥屋伊勢沢林道, 2008/08/12 (28369)

アカアシクワガタ *Dorcus rubrofemoratus*

20♂13♀, [津] 青根神之川林道後坂橋, 2006/07/26 (28370~28402)

コクワガタ *Dorcus rectus rectus*

2♀, [津] 青根夫婦園, 2006/07/06 (28403・28404); 2♀, [城] 川尻中央公園, 2006/07/25 (28405・28406); 1ex., [津] 青根いやしの湯, 2008/07/30 (28420); 1ex., [津] 青根神之川林道犬越路下, 2008/09/11 (28421); 2♀, [津] 青根神之川林道, 2006/09/05 (28415・28416); 2♂, [津] 又野~三ヶ木野尻, 2006/08/11 (28407・28408); 1♀, 2006/08/23 (28412); 1♀, 2006/08/23 (28409); 2♂, 2006/08/25 (28413・28414); 2♀, [藤] 牧野綱子, 2006/08/23 (28410・28411) 河内葵; 2♂1♀, 2006/09/08 (28417~28419)

ノコギリクワガタ *Prosopocoilus inclinatus inclinatus*

1ex., [津] 又野~三ヶ木野尻170m, 2006/08/16 (28422); 3exs., 2006/08/22 (28423~28425); 1ex., 2006/08/24 (28426)

スジクワガタ *Dorcus striatipennis striatipennis*

4♂2♀, [城] 川尻中央公園, 2006/07/12 (28427~28432); 1ex., [津] 鳥屋伊勢沢林道, 2008/08/10 (28444); 2♂2♀, [津] 又野~三ヶ木野尻170m, 2006/08/10 (28433~28436); 2♂, 2006/08/11 (28437・28438); 2♂, 2006/08/18 (28439・28440); 1♂1♀, [藤] 牧野奥野城山, 2007/09/12 (28441・28442); 1ex., [藤] 牧野小津久, 2008/07/11 (28443)

センチコガネ科 *Geotrupidae*オオセンチコガネ *Phelotrupes (Chromogeotrupes) auratus*

2exs., [津] 青根神之川林道, 2006/09/05 (28447・28448); 1ex., [津] 青根夫婦園, 2008/06/17 (28457); 1ex., [津] 青根上青根高瀬野, 2007/05/22 (28451); 1ex., [津] 青根神之川林道, 2007/07/24 (28452); 1ex., [津] 青根神之川林道松皮沢, 2007/09/05 (28453); 1ex., [津] 鳥屋奥野林道, 2007/10/17 (28456); 1ex., [津] 鳥屋奥野林道奥野口, 2007/09/19 (28454); 2exs., [津] 鳥屋松茸山, 2006/05/15 (28445・28446); 2exs., 2006/10/18 (28449・28450); 1ex., [藤] 沢井栢谷, 2007/09/21 (28455)

センチコガネ *Phelotrupes (Eogeotrupes) laevistriatus*

1ex., [津] 又野~三ヶ木野尻170m, 2006/08/03 (28458); 1ex., 2006/08/11 (28459); 3exs., 2006/08/22 (28460~28462); 1ex., 2006/08/25 (28463); 2exs., [津] 青根上青根高瀬野, 2007/06/07 (28475・28476); 1ex.,

[津] 青根神之川林道, 2007/05/08 (28474); 1ex., [津] 鳥屋奥野林道, 2007/06/26 (28477); 1ex., [津] 鳥屋道場, 2006/10/31 (28469); 5exs., [津] 鳥屋松茸山, 2006/10/18 (28464~28468); 1ex., 2006/11/09 (28473); 1ex., [津] 根小屋城山公園, 2007/10/18 (28479); 3exs., [藤] 牧野奥野, 2006/11/01 (28470~28472); 2exs., [藤] 牧野小津久, 2008/05/15 (28480・28481); 1ex., [藤] 佐野川鎌沢, 2007/10/11 (28478)

コガネムシ科 *Scarabaeidae*ゴホンダイコクコガネ *Copris (Copris) acutidens*

1ex., [津] 青根いやしの湯, 2008/09/17 (28507); 2♂4♀, [津] 青根神之川林道犬越路下, 2008/06/06 (28500~28505); 2♀, [津] 青根神之川林道, 2006/09/05 (28482・28483); 4♀, 2006/10/03 (28484~28487); 2♀, [津] 青根道志第二発電所, 2007/06/26 (28488・28489); 3♀, [津] 鳥屋早戸川林道, 2007/07/20 (28490~28492); 2♂, [藤] 牧野奥野城山, 2007/08/01 (28493・28494); 2♂2♀, [藤] 牧野綱子, 2007/10/23 (28495・28498); 1♀, 2007/10/27 (28499); 1♂, 2008/06/13 (28506)

マエカドコエンマコガネ *Caccobius jessoensis*

1ex., [津] 青根神之川林道, 2007/05/08 (28508); 1ex., 2008/08/06 (28512); 3exs., [津] 青根上青根高瀬野, 2007/06/07 (28509~28511)

ヒゲブトハナムグリ *Amphicomma pectinata*

5exs., [相] 千木良長尾, 2007/05/09 (28513~28517); 2exs., [藤] 牧野小津久, 2008/05/09 (28518・28519); 4exs., 2008/05/15 (28520・28523)

ヒメアシナガコガネ *Ectinohoplia obducta*

1ex., [藤] 牧野綱子, 2007/06/05 (28524); 3exs., [津] 青根神之川林道, 2008/06/24 (28532~28534); 1ex., 2008/07/31 (28536); 3exs., [津] 青根夫婦園, 2008/06/17 (28529~28531); 1ex., [津] 青野原キャンプ場, 2008/06/17 (28528); 1ex., [津] 長竹葦尾根志田山, 2008/07/05 (28535); 3exs., [津] 根小屋明日原小倉林道, 2008/06/04 (28525~28527)

ヒメビロウドコガネ *Maladera (Maladera) orientalis*

1ex., [津] 長竹葦尾根, 2007/04/06 (28537); 1ex., [津] 青根道志第二発電所, 2007/06/26 (28539); 1ex., [藤] 牧野綱子, 2007/06/05 (28538); 2exs., 2008/05/09 (28540・28541)

アシマガリビロウドコガネ *Serica incurvata*

1ex., [藤] 佐野川鎌沢登里, 2008/06/18 (28542)

ハイイロビロウドコガネ *Paraserica gricea*

1ex., [藤] 佐野川和田橋詰飯綱山, 2007/05/11 (28543); 1ex., [津] 青根神之川林道, 2008/07/31 (28544)

モモケビロウドコガネ *Serica trichofemorata*

3exs., [津] 青根神之川林道犬越路下, 2008/07/03 (28545~28547); 5exs., [津] 鳥屋伊勢沢林道, 2008/09/12 (28548~28552)

Nipponoserica sp.

1ex., [津] 青根神之川林道犬越路下, 2008/07/03 (28553)

Sericania sp 1.

1ex., [藤] 牧野奥野城山, 2008/05/21 (28554)

Sericania sp 2.

- 1ex., [津] 青根神之川林道犬越路下, 2008/07/03 (28555)
- ナエドコチャイロコガネ *Sericania mimica*
- 1ex., [藤] 沢井栃谷～〔相〕千木良底沢, 2008/05/01 (28556); 6exs., [津] 青根神之川林道犬越路下, 2008/06/06 (28557~28562); 1ex., [藤] 牧野綱子, 2008/06/13 (28563); 1ex., [藤] 牧野小津久, 2008/06/15 (28564)
- ヒゲナガビロウドコガネ *Serica boops*
- 1ex., [津] 鳥屋早戸川林道, 2007/07/20 (28565); 1ex., [津] 青根神之川林道犬越路下, 2008/07/03 (28566); 1♀, [藤] 佐野川下岩, 2007/08/03 (28567)
- ヨツバクロチャイロコガネ *Sericania quadrifoliata*
- 1ex., [津] 青根神之川林道犬越路下, 2008/06/06 (28568)
- オオクロコガネ *Holotrichia (Holotrichia) parallela*
- 1ex., [藤] 牧野奥牧野城山, 2007/08/01 (28569); 1ex., [津] 青根いやしの湯, 2008/08/15 (28570)
- ククロコガネ *Holotrichia (Holotrichia) kiotonensis*
- 1ex., [藤] 牧野奥牧野城山, 2007/08/01 (28571)
- コクロコガネ *Holotrichia (Holotrichia) picea*
- 1ex., [藤] 佐野川和田橋詰円通寺境内, 2007/06/13 (28572); 2exs., [藤] 牧野篠原釜ノ沢, 2008/05/16 (28573・28574)
- オオコフキコガネ *Melolontha frater flater*
- 1ex., [津] 青根いやしの湯, 2008/07/30 (28575); 1ex., 2008/08/06 (28576)
- コフキコガネ *Melolontha japonica*
- 1ex., 大野台3丁目, 2008/07/08 (28577) 井尻英男; 2exs., [津] 青根いやしの湯, 2008/07/30 (28578・28579); 1ex., [津] 鳥屋伊勢沢林道, 2008/08/12 (28580)
- ナガチャコガネ *Heptophylla picea*
- 1ex., [藤] 牧野綱子, 2007/07/25 (28581)
- コイチャコガネ *Adoretus (Lepadoretus) tenuimaclatus*
- 1ex., [藤] 佐野川下岩, 2007/07/05 (28582); 1ex., [津] 長竹蕪尾根志田山, 2008/06/25 (28586); 1ex., [藤] 佐野川鎌沢登里, 2008/10/18 (28587); 1ex., [藤] 牧野奥牧野城山, 2007/08/01 (28584); 1ex., [藤] 牧野綱子, 2007/07/25 (28583); 1ex., 2008/06/13 (28585)
- マメコガネ *Popillia japonica*
- 2exs., [津] 鳥屋奥野林道, 2007/06/26 (28588・28589); 1ex., 2007/08/14 (28590); 1ex., [藤] 牧野小津久, 2008/07/09 (28591)
- セマダラコガネ *Blitopertha (Blitopertha) orientalis*
- 1ex., [藤] 佐野川和田橋詰円通寺境内, 2007/06/13 (28592); 1ex., [相] 寸沢嵐石老山林道, 2007/06/20 (28593); 1ex., [相] 千木良長尾, 2007/07/04 (28596); 1ex., [津] 青根いやしの湯, 2008/07/30 (28602); 2exs., [津] 青根道志第二発電所, 2007/06/26 (28594・28595); 1ex., 2007/07/19 (28597); 1ex., [津] 青根神之川林道犬越路下, 2007/08/08 (28600); 1ex., [津] 鳥屋伊勢沢林道, 2008/08/10 (28603); 1ex., [津] 鳥屋早戸川林道, 2007/07/20 (28598); 1ex., [藤] 佐野川下岩倉子峠, 2008/07/16 (28601); 1ex., [藤] 牧野綱子, 200

7/07/25 (28599)

オオスジコガネ *Anomala costata*

- 3exs., [津] 鳥屋伊勢沢林道, 2008/07/17 (28604~28606); 1ex., [津] 青根いやしの湯, 2008/09/09 (28607)
- キンスジコガネ *Mimela holosericea*
- 2exs., [津] 青根夫婦園, 2006/07/06 (28608・28609); 1ex., [津] 鳥屋奥野林道, 2006/08/04 (28610)
- コガネムシ *Mimela splendens*
- 1ex., [城] 葉山島下河原, 2008/06/11 (28611) 川崎香代
- ヒメスジコガネ *Mimela flavilabris*
- 1ex., [城] 中沢蓮華院, 2007/07/25 (28612); 1ex., [津] 鳥屋伊勢沢林道, 2008/07/17 (28613)
- スジコガネ *Anomala testaceipes*
- 1ex., [藤] 佐野川下岩, 2007/08/03 (28614); 1ex., [津] 青根神之川林道, 2008/07/31 (28615)
- ドウガネブイブイ *Anomala cuprea*
- 1ex., [津] 青根いやしの湯, 2008/07/30 (28616)
- ヒメコガネ *Anomala rufocuprea*
- 1ex., [藤] 牧野奥牧野城山, 2007/08/01 (28617); 1ex., [藤] 牧野小津久, 2008/08/07 (28618)
- カブトムシ
- Trypoxylus (Trypoxylus) dichotoma septentrionalis*
- 2♀, [津] 又野～三ヶ木野尻, 2006/08/11 (28624・28625); 1♂, [津] 又野, 2006/08/03 (28620) 鈴木一二三; 1♂, [津] 三井名手～赤馬, 2006/08/10 (28622) 井博志; 1♂, [津] 又野又野公園, 2006/08/03 (28621); 1♂, 2006/07/27 (28619); 1♂, [藤] 牧野綱子, 2006/08/11 (28623); 2♂5♀, 2006/08/15 (28626~28632) 河内葵; 1♀, 2006/08/15 (28633); 4♂2♀, 2006/08/23 (28634~28639) 河内葵; 1♂3♀, 2008/08/19 (28640~28643)
- クロナブン *Rhomborhina (Rhomborhina) polita*
- 1ex., [津] 又野又野公園, 2006/08/02 (28644); 1ex., [津] 又野～三ヶ木野尻, 2006/08/11 (28645)
- コカブトムシ *Eophileurus (Eophileurus) chinensis chinensis*
- 1ex., [藤] 栃谷入口, 2006/09/28 (28646)
- ヒラタアオコガネ *Anomala octiescostata*
- 1ex., [城] 葉山島(相模川川原), 2007/05/03 (28647); 1ex., [藤] 牧野綱子, 2008/05/09 (28648); 1ex., [藤] 牧野小津久, 2008/05/09 (28649); 1ex., [藤] 牧野牧馬曲松, 2008/05/16 (28650)
- アオカナブン
- Rhomborhina (Rhomborhina) unicolor unicolor*
- 2exs., [津] 又野～三ヶ木野尻, 2006/08/11 (28651・28652); 1ex., [津] 青根神之川林道犬越路下, 2007/08/02 (28653); 1ex., [津] 青根神之川林道, 2008/07/25 (28654); 1ex., 2008/08/06 (28655); 1ex., [藤] 牧野綱子, 2008/08/19 (28656)
- クロハナムグリ *Glycyphana (Glycyphana) fulvitemma*
- 2exs., [相] 千木良長尾, 2007/05/09 (28657・28658); 1ex., [藤] 牧野奥牧野城山, 2007/06/19 (28663); 1ex., [藤] 牧野綱子, 2007/06/05 (28662); 1ex., [藤] 牧野篠原, 2008/06/20 (28666); 1ex., [藤] 牧野小津久, 2007/05/27 (28659); 2exs., 2007/05/29 (28660・28661);

- 2exs., 2008/05/15 (28664・28665)
- アオハナムグリ *Cetonia (Eucetonia) roelofsi roelofsi*
 1ex., [藤] 牧野綱子, 2007/06/05 (28667); 1ex., [藤] 牧野小津久, 2008/05/21 (28668); 1ex., [津] 根小屋明日原小倉林道, 2008/06/04 (28669); 1ex., [津] 鳥屋伊勢沢林道, 2008/07/02 (28670)
- コアオハナムグリ *Gametis jucunda*
 2exs., [城] 葉山島(相模川川原), 2007/05/03 (28671・28672); 1ex., [相] 寸沢嵐小野林道, 2007/10/02 (28675); 1ex., 2007/10/03 (28676); 2exs., [相] 千木良長尾, 2007/05/09 (28673・28674); 1ex., [藤] 日連青田, 2008/05/23 (28678); 1ex., [藤] 牧野小津久, 2007/10/11 (28677); 1ex., 2008/10/02 (28679)
- シロテンハナムグリ
Protaetia (Calipotisia) orientalis submarumorea
 1ex., [藤] 牧野綱子, 2007/06/05 (28680)
- オオトラフコガネ *Paratrichius doenitzi*
 1ex., [津] 青根道志第二発電所, 2008/06/17 (28681); 1ex., [藤] 牧野奥牧野城山, 2008/06/20 (28682)
- ヒメトラハナムグリ *Lasiotrichius succinctus*
 1ex., [藤] 牧野奥牧野城山, 2007/06/07 (28683); 1ex., [藤] 佐野川下岩, 2007/06/12 (28684); 1ex., [津] 青根道志第二発電所, 2008/06/17(28685)
- ヒラタハナムグリ *Nipponovalgus angusticollis angusticollis*
 1ex., [津] 青根神之川林道, 2007/05/08 (28686)
- ナガハナノミ科 *Ptilodactylidae*
- クロアシヒゲナガハナノミ *Epilichas atricolor*
 1ex., [津] 鳥屋伊勢沢林道, 2008/07/17 (28687)
- ヒラタドロムシ科 *Psephenidae*
- マルヒゲナガハナノミ *Schinostethus brevis*
 2exs., [津] 鳥屋伊勢沢林道, 2008/07/12 (28688・28689); 1ex., [藤] 牧野奥牧野, 2008/07/29 (28690)
- チビドロムシ科 *Limnichidae*
- オオメホソチビドロムシ *Cephalobyrrhinus japonicus*
 1ex., [津] 青根神之川林道犬越路下, 2008/07/03 (28691)
- タマムシ科 *Buprestidae*
- クロホシタマムシ *Ovalisia virgata*
 1ex., [藤] 牧野綱子, 2008/05/23 (28726); 1ex., 2008/06/06 (28728); 3exs., 2008/07/11 (28729~28731); 3exs., [藤] 牧野小津久, 2007/05/27 (28692~28694); 15exs., 2007/05/29 (28695~28709); 1ex., 2007/06/02 (28710); 10exs., 2007/06/03 (28711~28720); 3exs., 2008/05/15 (28721~28723); 2exs., 2008/05/21 (28724・28725); 1ex., 2008/05/27 (28727)
- タマムシ *Chrysochroa fulgidissima*
 1ex., [津] 青根道志第二発電所, 2006/07/06 (28732); 1ex., [藤] 吉野, 2008/06/27(28751); 2exs., [城] 川尻中央公園, 2006/08/25(28749・28750); 1ex., [藤] 牧野綱子, 2006/08/24(28748); 4exs., [藤] 牧野篠原, 2006/08/18 (28733~28736); 11exs., 2006/08/22(28737~28747); 8exs., [藤] 牧野小津久, 2007/07/27(28752~28759); 2exs., 2007/07/31(28760・28761)
- Agrilus* sp.
- 1ex., [津] 長竹葦尾根志田山, 2008/06/15 (28762)
- シロオビナガボソタマムシ *Coraeus quadriundulatus*
 3exs., [相] 寸沢嵐石老山林道, 2007/04/30(28763~28765); 1ex., [津] 鳥屋奥野林道大平, 2007/05/04 (28766); 1ex., [藤] 牧野奥牧野城山, 2007/06/12(28767); 2exs., [津] 根小屋明日原小倉林道, 2007/06/26(28768・28769); 1ex., 2008/06/04 (28770)
- クロナガタマムシ *Arilus cyaneoniger cyaneoniger*
 2exs., [藤] 佐野川下岩, 2007/07/05 (28778・28779); 2exs., [藤] 牧野奥牧野城山, 2007/06/19 (28775・28776); 2exs., [藤] 牧野小津久, 2007/06/03 (28771・28772); 2exs., 2007/06/12 (28773・28774); 1ex., 2007/07/02 (28777)
- ケヤキナガタマムシ *Agrilus spinipennis*
 1ex., [藤] 牧野綱子, 2007/06/05 (28780); 1ex., 2007/07/27 (28781); 1ex., 2008/05/23 (28782); 1ex., 2008/06/06 (28783); 3exs., 2008/06/10 (28784~28786)
- コガネナガタマムシ *Agrilus fortunatus*
 1ex., [藤] 牧野小津久, 2007/06/01 (28787)
- シロテンナガタマムシ *Agrilus sospes*
 2exs., [藤] 牧野小津久, 2008/05/09 (28788・28789); 1ex., 2008/05/21 (28790); 1ex., [藤] 牧野綱子, 2008/06/10 (28791)
- ウグイスナガタマムシ *Agrilus tempestivus*
 1ex., [藤] 牧野綱子, 2008/06/06 (28792); 1ex., 2008/06/10 (28793); 2exs., [津] 長竹葦尾根志田山, 2008/06/15 (28794・28795)
- ヒシモンナガタマムシ *Agrilus discalis*
 1ex., [相] 千木良長尾, 2007/05/09 (28796); 3exs., [藤] 牧野小津久, 2008/05/15 (28797~28799)
- ホソアシナガタマムシ *Agrilus tibialis*
 1ex., [藤] 佐野川和田橋詰飯綱山, 2007/05/11 (28800); 2exs., [藤] 牧野小津久, 2007/05/27 (28801・28802); 1ex., 2007/05/29 (28803); 1ex., 2008/05/08 (28804)
- コウゾチビタマムシ *Trachys broussonetiae*
 2exs., [津] 鳥屋伊勢沢林道, 2008/09/27 (28805・28806)
- ソーダースチビタマムシ *Trachys saundersi*
 1ex., [津] 鳥屋奥野林道, 2008/04/27 (28807)
- ダンダラチビタマムシ *Trachys variolaris*
 1ex., [藤] 牧野小津久, 2008/05/15 (28808)
- ドウイロチビタマムシ *Trachys cupricolor*
 1ex., [藤] 牧野奥牧野城山, 2008/04/25 (28809)
- ヤノナミガタチビタマムシ *Trachys yanoi*
 2exs., [藤] 日連青田, 2008/05/23 (28810・28811); 1ex., [津] 根小屋明日原小倉林道, 2008/05/28 (28812)
- コマツキムシ科 *Elateridae*
- サビキコリ *Agrypnus (Agrypnus) binodulus binodulus*
 1ex., [藤] 牧野小津久, 2006/06/01(28813); 1ex., [藤] 牧野奥牧野城山, 2006/08/01(28814); 1ex., [藤] 牧野篠原釜ノ沢, 2008/05/09(28815); 1ex., [藤] 牧野綱子, 2008/05/09(28816); 1ex., [津] 青根いやしの湯, 2008/08/06 (28817); 1ex., [津] 鳥屋伊勢沢林道, 2008/08/12 (28818)

ヒゲコメツキ *Pectocera hige hige*

- 1ex., [相] 千木良底沢～沢井栃谷, 2007/05/23(28819);
2exs., [藤] 牧野篠原釜ノ沢, 2008/05/16(28820・28821);
2exs., [津] 青野原西沢, 2008/05/27 28822・28823);
1ex., [津] 青根神之川林道犬越路下, 2008/07/03(28824); 1ex., [津] 鳥屋伊勢沢林道, 2008/07/17 (28825)

ヒメサビキコリ *Agrypnus (Colaulon) scrofa scrofa*

- 1ex., [津] 鳥屋伊勢沢林道, 2007/03/20 (28826); 1ex., [城] 葉山島(相模川川原), 2007/04/20 (28827)

ホソサビキコリ *Agrypnus (Sabikokorius) fuliginosus*

- 1ex., [藤] 牧野牧馬曲松, 2008/05/16 (28828)

ムナビロサビキコリ *Agrypnus (Agrypnus) cordicollis*

- 2exs., [津] 根小屋明日原小倉林道, 2008/05/28 (28829・28830); 1ex., [津] 鳥屋茨菰山, 2008/07/12 (28831); 1ex., [津] 長竹菟尾根志田山, 2008/07/17 (28832)

ウバタマコメツキ *Cryptalaus berus*

- 1ex., [津] 青山仙洞寺山, 2007/06/20 (28833)

オオクシヒゲコメツキ *Tetrigus lewisi*

- 1ex., [藤] 牧野奥牧野城山, 2007/08/01 (28834); 1ex., [津] 鳥屋伊勢沢林道, 2008/08/12 (28835)

オオサビコメツキ *Lacon(Alaotypus) maeklinii*

- 1ex., [津] 青根道志第二発電所, 2007/06/26 (28836)

オオツヤハダコメツキ *Stenogostus umbratilis*

- 1ex., [藤] 牧野綱子, 2007/07/25 (28837); 1ex., [藤] 牧野奥牧野城山, 2007/08/01 (28838); 1ex., [津] 鳥屋奥野林道, 2007/08/14 (28839); 2exs., [津] 鳥屋伊勢沢林道, 2008/07/17 (28840・28841); 2exs., [津] 青根神之川林道, 2008/07/31 (28842・28843)

クロツヤハダコメツキ

Hemicrepidius (Hemicrepidius) secessus secessus

- 1ex., [津] 青根道志第二発電所, 2007/06/26 (28844); 1ex., [津] 青根神之川林道犬越路下, 2007/08/02 (28845)

チャイロツヤハダコメツキ *Scutellathous comes*

- 1ex., [津] 青根神之川林道犬越路下, 2007/08/08 (28846)

ムラサキヒメカネコメツキ *Kibunea approximans*

- 1ex., [津] 鳥屋奥野林道, 2008/04/27 (28847)

ダイミョウコメツキ *Anostirus (Ipostirus) daimio*

- 1ex., [津] 青根神之川林道犬越路下, 2007/05/18 (28848)

ドウガネヒラタコメツキ *Corymbitodes gratus*

- 1ex., [津] 青根神之川林道, 2007/05/08 (28849); 1ex., [藤] 沢井栃谷～[相] 千木良底沢, 2008/05/01 (28850)

ルリツヤハダコメツキ

Hemicrepidius (Miwacrepidius) subcyaneus

- 1ex., [藤] 牧野小津久, 2008/07/11 (28851)

アカヒゲヒラタコメツキ *Neopristilophus serrifer serrifer*

- 1ex., [藤] 牧野小津久, 2007/06/03 (28852); 1ex., [津] 根小屋明日原小倉林道, 2008/06/04 (28853)

クロナガヒラタコメツキ *Paraphotistus praenobilis*

- 1ex., [津] 青根神之川林道犬越路下, 2007/05/18 (28854); 1ex., [津] 青根神之川林道犬越路下, 2008/07/03 (28855)

シリプトヒラタコメツキ *Eanoides puerilis*

- 1ex., [藤] 佐野川下岩～橋詰, 2007/05/16 (28856)

ミヤマフトヒラタコメツキ *Acteniceromorphus kurofunei*

- 3exs., [津] 青根神之川林道, 2007/05/08 (28857～28859); 3exs., [津] 青根神之川林道犬越路下, 2008/04/29 (28860～28862)

アカアシクロコメツキ

Ampedus (Ampedus) japonicus japonicus

- 4exs., [藤] 沢井栃谷～[相] 千木良底沢, 2008/05/01 (28863～28866)

アカコメツキ *Ampedus (Ampedus) orientalis*

- 1ex., [相] 千木良底沢～沢井栃谷, 2007/05/23 (28867)

ベニコメツキ *Denticollis nipponicus*

- 1ex., [藤] 牧野峰山, 2008/04/22 (28868)

ホソツヤケシコメツキ *Hayekpenthes pallidus pallidus*

- 1ex., [津] 青根神之川林道犬越路下, 2007/05/18 (28869)

ヒメクロコメツキ *Ampedus (Miwaelater) carbunculus*

- 1ex., [藤] 佐野川和田橋詰飯綱山, 2007/05/11 (28870)

アカハラクロコメツキ

Ampedus (Ampedus) hypogastricus hypogastricus

- 2exs., [相] 寸沢嵐石老山林道, 2007/04/30 (28871・28872); 1ex., [藤] 佐野川和田橋詰飯綱山, 2007/05/11 (28873); 1ex., [藤] 沢井栃谷～[相] 千木良底沢, 2008/05/01 (28874); 2exs., [藤] 牧野篠原, 2008/06/20 (28875・28876)

オオナガコメツキ *Nipponoelater sieboldi sieboldi*

- 1ex., [藤] 牧野奥牧野城山, 2007/08/01 (28877); 1ex., [津] 鳥屋伊勢沢林道, 2008/08/12 (28878)

ヨツキボシコメツキ *Ectinoides insignitus insignitus*

- 1ex., [相] 寸沢嵐石老山林道, 2007/04/30 (28879); 1ex., [津] 鳥屋奥野林道大平, 2007/05/04 (28880); 1ex., [相] 千木良底沢～千木良小仏峠, 2007/05/11 (28881); 1ex., [藤] 佐野川和田橋詰飯綱山, 2007/05/11 (28882); 1ex., [藤] 佐野川下岩～橋詰, 2007/05/16 (28883)

キバネホソコメツキ *Dolerosomus gracilis*

- 1ex., [相] 千木良底沢～千木良小仏峠, 2007/05/11 (28884)

クチプトコメツキ *Silesis musculus musculus*

- 2exs., [津] 鳥屋奥野林道, 2007/06/26 (28885・28886); 1ex., [津] 青根神之川林道犬越路下, 2007/08/02 (28887); 1ex., 2007/08/08 (28888); 2exs., [津] 鳥屋伊勢沢林道, 2008/07/02 (28889・28890)

クロクシコメツキ *Melanotus senilis senilis*

- 1ex., [藤] 牧野奥牧野日影原, 2007/06/01 (28891)

ヒラタクロクシコメツキ *Melanotus correctus correctus*

- 1ex., [藤] 佐野川下岩～橋詰, 2007/05/11 (28892); 1ex., [津] 根小屋明日原小倉林道, 2008/05/28 (28893)

アカアシオオクシコメツキ *Spheniscosomus cete cete*

- 1ex., [藤] 牧野小津久, 2008/05/08 (28894)

チャバネクシコメツキ *Melanotus seniculus*

- 1ex., [藤] 牧野綱子, 2008/05/09 (28895)

ヒラタクシコメツキ *Spheniscosomus koikei*

- 1ex., [相] 千木良長尾, 2007/05/09 (28896); 1ex.,

〔相〕千木良底沢～千木良小仏峠, 2007/05/11 (28897);
1ex., 〔藤〕佐野川下岩, 2007/07/05 (28898); 1ex.,
〔津〕根小屋明日原小倉林道, 2008/06/04 (28899)
オオハナコメツキ

Dicronychus (Platynychus) nothus nothus
1ex., 〔相〕千木良長尾, 2007/05/09 (28900); 2exs.,
2008/05/01 (28901・28902); 1ex., 〔津〕青根神之川林
道犬越路下, 2008/06/06 (28903)

アカアシハナコメツキ

Dicronychus (Disolatynychus) adjutor adjutor
1ex., 〔藤〕牧野奥牧野城山, 2007/08/01 (28904)

クロコハナコメツキ *Paracardiophorus opacus*

1ex., 〔城〕葉山島(相模川川原), 2007/05/03 (28905);
1ex., 〔藤〕牧野小津久, 2007/10/11 (28906)

コハナコメツキ *Paracardiophorus pullatus pullatus*

1ex., 〔藤〕佐野川下岩, 2008/09/25 (28907)

ホソハナコメツキ *Cardiophorus niponicus*

2exs., 〔相〕寸沢嵐石老山林道, 2007/04/30 (28908・
28909); 2exs., 〔藤〕沢井栃谷～〔相〕千木良底沢, 20
08/05/01 (28910・28911)

ヘニボタル科 **Lycidae**

ホソベニボタル *Dilophotes atrorufus*

1ex., 〔藤〕牧野小津久, 2007/05/29 (28912); 4exs.,
〔津〕鳥屋奥野林道, 2007/06/26 (28913～28916); 1ex.,
〔藤〕佐野川下岩, 2008/07/01 (28917)

コクシヒゲベニボタル *Macrolycus kleinei*

1ex., 〔津〕青根神之川林道犬越路下, 2008/07/03 (28
918); 1ex., 〔相〕寸沢嵐石老山, 2008/07/03 (28919)

ベニボタル *Lycostomus modestus*

2exs., 〔津〕青山仙洞寺山林道, 2007/06/20(28920・2
8921); 2exs., 〔津〕鳥屋奥野林道, 2007/06/26(28922・
28923); 1ex., 〔津〕根小屋明日原小倉林道, 2007/06/
26(28924)

ユアサクロベニボタル *Cautires yuasai*

1ex., 〔津〕青根夫婦園, 2007/06/19 (28925)

カクムネベニボタル *Lyponia quadricollis*

1ex., 〔相〕寸沢嵐石老山, 2007/04/14(28926); 1ex.,
〔津〕青根神之川林道犬越路下, 2007/05/18 (28929);
1ex., 〔津〕鳥屋茨菰山, 2007/04/20 (28927); 2exs.,
〔津〕根小屋明日原小倉林道, 2008/06/04(28934・2893
5); 1ex., 〔藤〕牧野奥牧野城山, 2008/04/25 (28933);
1ex., 〔藤〕牧野綱子, 2008/04/25 (28932); 1ex., 〔藤〕
牧野小津久, 2007/05/15 (28928); 2exs., 〔藤〕牧野峰
山, 2008/04/22 (28930・28931)

ネアカヒシベニボタル *Dictyoptera speciosa*

2exs., 〔津〕青根道志第二発電所, 2007/06/26 (28936・
28937)

ミスジヒシベニボタル *Benibotarus spinicoxis*

1ex., 〔津〕鳥屋茨菰山, 2008/07/12 (28938)

ニセクロハナボタル *Plateros hasegawai*

1ex., 〔津〕鳥屋奥野林道, 2007/06/26 (28939)

ホタル科 **Lampyridae**

ムネクリイロホタル *Cyphonocerus ruficollis*

1ex., 〔藤〕牧野小津久, 2007/07/02 (28940); 1ex.,
〔藤〕佐野川下岩, 2008/06/27 (28941); 1ex., 〔相〕寸

沢嵐石老山, 2008/07/03 (28942)

オオオバボタル *Lucidina accensa*

1ex., 〔津〕青根道志第二発電所, 2007/06/26 (28943);
2exs., 〔藤〕牧野奥牧野城山, 2007/07/02 (28944・28
945); 2exs., 〔藤〕佐野川下岩, 2007/07/05 (28946・2
8947); 1ex., 2008/06/27 (28948)

オバボタル *Lucidina biplagiata*

2exs., 〔津〕青根神之川林道犬越路下, 2007/08/02 (2
8950); 1ex., 〔津〕鳥屋伊勢沢林道, 2008/07/02 (2895
3); 1ex., 2008/07/17 (28954); 1ex., 〔藤〕牧野綱子,
2008/06/10 (28951); 1ex., 〔藤〕牧野小津久, 2007/06
/01 (28949); 1ex., 2008/06/10 (28952)

ジョウカイボン科 **Cantharidae**

Asiopodabrus sp.

1ex., 〔藤〕牧野奥牧野城山, 2008/04/25 (28955); 1ex.,
〔津〕青根神之川林道犬越路下, 2008/06/06 (28956);
1ex., 2008/07/03 (28957); 1ex., 〔藤〕牧野綱子, 200
7/04/27 (28958); 1ex., 〔相〕寸沢嵐石老山林道, 2007
/04/30 (28959); 1ex., 〔藤〕佐野川和田橋詰飯綱山, 2
007/05/11 (28960)

ウスイロクビボソジョウカイ *Asiopodabrus temporalis*

1ex., 〔津〕根小屋明日原小倉林道, 2008/06/04 (2896
5); 2exs., 〔藤〕牧野奥牧野城山, 2008/05/21 (28963・
28964); 2exs., 〔藤〕佐野川鎌沢登里, 2008/06/18 (28
967・28958); 1ex., 〔藤〕沢井栃谷～〔相〕千木良底沢,
2008/05/01 (28962); 1ex., 〔藤〕牧野奥牧野城山, 200
8/04/25 (28961); 1ex., 〔藤〕牧野綱子, 2008/06/13
(28966)

ヤトウスイロクビボソジョウカイ

Asiopodabrus bilineatus oisoanus

1ex., 〔藤〕沢井栃谷～〔相〕千木良底沢, 2008/05/01
(28969); 2exs., 〔藤〕牧野篠原釜ノ沢, 2008/05/16 (2
8970・28971)

クロヒメクビボソジョウカイ *Asiopodabrus malthinoides*

1ex., 〔津〕青根神之川林道犬越路下, 2008/07/03 (28
972)

ニセミヤマクビボソジョウカイ

Asiopodabrus pseudolictorius

1ex., 〔藤〕沢井栃谷～〔相〕千木良底沢, 2008/05/01
(28973)

アオジョウカイ *Themus (Themus) cyanipennis*

1ex., 〔藤〕日連青田, 2007/05/23 (28974); 1ex., 〔津〕
青根道志第二発電所, 2007/05/27(28975); 1ex., 2007/
06/26 (28981); 2exs., 〔津〕青根夫婦園, 2007/06/19
(28979・28980); 1ex., 〔津〕鳥屋奥野林道, 2007/06/1
3 (28978); 2exs., 〔藤〕牧野小津久, 2007/05/27 (289
76・28977)

クロジョウカイ *Athemus (Athemus) attristatus*

5exs., 〔津〕青根神之川林道犬越路下, 2008/07/03 (2
8982～28986); 4exs., 2008/06/06 (28987～28990); 1ex.,
〔津〕根小屋明日原小倉林道, 2008/05/28 (28991); 1ex.,
〔藤〕日連青田, 2008/05/23 (28992)

コクロヒメジョウカイ *Micropodabrus viatica*

1ex., 〔津〕長竹葦尾根志田山, 2008/06/25 (28993)

ジョウカイボン *Athemus (Athemus) suturellus izuensis*

- 1ex., [津] 青根道志第二発電所, 2007/05/27(28997);
 1ex., [津] 青根夫婦園, 2007/05/22 (28994); 1ex.,
 [津] 青根上青根高瀬野, 2007/05/22 (28995); 1ex.,
 [津] 青根神之川林道犬越路下, 2008/06/06 (29008);
 1ex., 2008/07/03 (29014); 1ex., [津] 長竹葦尾根志
 田山, 2008/06/13(29009); 1ex., [津] 根小屋明日原小
 倉林道, 2008/06/04(29010); 2exs., [藤] 牧野奥牧野
 城山, 2008/05/21(29001・29002); 1ex., [藤] 佐野川
 鎌沢登里, 2008/06/18(29011・29012); 1ex., [藤] 沢
 井栃谷, 2007/05/23 (28996); 1ex., [藤] 沢井栃谷～
 [相] 千木良底沢, 2008/05/01 (29013); 2exs., [藤]
 佐野川和田橋詰円通寺境内, 2007/06/13 (28999・2900
 0); 1ex., [藤] 牧野綱子, 2008/05/27(29016); 1ex.,
 [藤] 牧野篠原釜ノ沢, 2008/05/09(29005); 1ex., 2008
 /05/16(29004); 1ex., [藤] 牧野小津久, 2007/05/27
 (28998); 1ex., 2008/05/08(29003); 2exs., 2008/05/15
 (29006・29007); 1ex., 2008/05/21 (29015)
- クロホソジョウカイ *Athemus (Athemus) aegotus*
 1ex., [津] 青根神之川林道犬越路下, 2008/07/03 (29
 021); 1ex., 2007/06/20 (29018); 1ex., [津] 根小屋
 明日原小倉林道, 2008/06/04 (29019); 1ex., [藤] 牧
 野綱子, 2007/06/05 (29017); 1ex., 2008/06/13 (29020)
- ニセヒメジョウカイ *Athemus (Andrathemus) lineatipennis*
 1ex., [藤] 牧野綱子, 2007/04/27 (29022); 2exs.,
 [相] 千木良底沢～千木良小仏峠, 2007/05/11 (29024・
 29025); 1ex., [津] 青根夫婦園, 2007/05/22 (29026);
 1ex., [津] 青根神之川林道犬越路下, 2007/06/20 (29
 027); 1ex., [津] 鳥屋奥野林道大平, 2007/05/04 (290
 23); 1ex., [藤] 牧野奥牧野城山, 2008/04/25 (29028)
- ウスチャジョウカイ *Athemus (Athemellus) insulsus insulsus*
 4exs., [相] 寸沢嵐石老山, 2007/04/10 (29030～2903
 3); 1ex., [相] 与瀬明王峠, 2007/04/27 (29038); 1ex.,
 [津] 青根神之川林道犬越路下, 2008/06/06 (29040);
 1ex., [津] 鳥屋茨菰山, 2008/04/11 (29039); 1ex., 20
 07/03/28 (29029); 1ex., 2007/04/11 (29034); 3exs.,
 [藤] 牧野綱, 2007/04/27 (29035～29037)
- セボシジョウカイ *Athemus (Andrathemus) vitellinus*
 2exs., [相] 千木良長尾, 2007/05/09 (29041・29042);
 1ex., [藤] 牧野小津久, 2007/05/27 (29043); 1ex., 2
 007/06/01 (29044); 1ex., [藤] 日連青田, 2008/05/23
 (29045); 1ex., [津] 青根神之川林道犬越路下, 2008/0
 6/06 (29046); 1ex., [藤] 牧野綱子, 2008/06/13 (290
 47); 1ex., [藤] 佐野川鎌沢登里, 2008/06/18 (29048)
- ヒメジョウカイ
Athemus (Mikadocanthis) japonicus takaosana
 2exs., [藤] 牧野奥牧野城山, 2008/04/25 (29049・29
 050)
- ムネアカクロジョウカイ *Athemus (Athemellus) adusticollis*
 1ex., [藤] 牧野奥牧野, 2008/07/29 (29051)
- ヒガシマルムネジョウカイ *Prothemus reinii*
 1ex., [藤] 牧野小津久, 2008/05/15 (29052); 1ex.,
 [藤] 牧野牧馬曲松, 2008/05/16 (29053); 1ex., [津]
 根小屋明日原小倉林道, 2008/06/04 (29054); 1ex.,
 [津] 青根神之川林道犬越路下, 2008/07/03 (29055)
- ミヤマヒメジョウカイ *Athemus (Mikadocanthis) alpicola*
 1ex., [藤] 牧野綱子, 2007/04/27 (29056); 1ex., [津]
 青根神之川林道犬越路下, 2007/05/18 (29057)
- ムネミゾクロチビジョウカイ *Malthodes sulcicollis*
 1ex., [津] 鳥屋奥野林道, 2008/04/27 (29058)
- キベリコバナジョウカイ *Trypserus niponicus*
 1ex., [津] 長竹葦尾根志田山, 2008/06/13 (29059);
 2exs., [藤] 佐野川鎌沢登里, 2008/06/18 (29060・29
 061)
- カツオブシムシ科 Dermestidae**
 ヒメマルカツオブシムシ *Anthrenus (Nathrenus) verbasci*
 1ex., 二本松2丁目, 2008/04/30(29062)
- コクヌスト科 Trogossitidae**
 チビコクヌスト *Latolaeva japonica*
 1ex., [津] 鳥屋伊勢沢林道, 2008/07/17 (29063)
- カッコウムシ科 Cleridae**
 イガラシカッコウムシ *Falsotillus igarashii*
 1ex., [藤] 牧野奥牧野城山, 2007/08/01 (29064); 1ex.,
 [藤] 佐野川下岩, 2007/08/03 (29065)
- ムナグロナガカッコウムシ *Opilo niponicus*
 1ex., [津] 根小屋明日原小倉林道, 2007/06/26 (2906
 6); 1ex., [津] 青根神之川林道犬越路下, 2008/06/06
 (29067); 1ex., 2008/07/03 (29068); 1ex., 2008/09/11
 (29069)
- キムネツツカッコウムシ *Tenerus maculicollis*
 1ex., [津] 青根夫婦園, 2007/06/19 (29070); 1ex.,
 [津] 根小屋明日原小倉林道, 2008/06/04 (29071);
 4exs., [藤] 牧野綱子, 2008/06/06 (29072～29075)
- ルリツツカッコウムシ *Tenerus lewisi*
 1ex., [藤] 牧野綱子, 2008/06/06 (29076)
- ジョウカイモドキ科 Melyridae**
 ケシジョウカイモドキ *Dasytes vulgaris*
 1ex., [藤] 佐野川和田橋詰飯綱山, 2007/05/11 (2907
 7); 1ex., [津] 鳥屋伊勢沢林道, 2007/06/13 (29078);
 1ex., [津] 根小屋明日原小倉林道, 2007/06/26 (2907
 9); 2exs., 2008/06/04 (29083・29084); 1ex., [藤] 沢
 井栃谷～[相] 千木良底沢, 2008/05/01 (29082); 2exs.,
 [藤] 牧野綱子, 2008/04/25 (29080～29081)
- ツマキアオジョウカイモドキ *Malachius prolongatus*
 1ex., [相] 寸沢嵐石老山, 2007/04/10 (29085); 1ex.,
 [相] 千木良長尾, 2007/05/09 (29086); 1ex., [藤] 佐
 野川下岩～橋詰, 2007/05/11 (29087); 1ex., 2007/05/
 16 (29088)
- ヒメジョウカイモドキ *Napachys japonicus*
 1ex., [津] 鳥屋伊勢沢林道, 2008/07/02 (29089); 1ex.,
 [津] 青根神之川林道犬越路下, 2008/07/03 (29090)
- ヒゲボソケシキスイ科 Brachypteridae**
 キイロチビハナケシキスイ *Heterhelus scutellaris*
 14exs., [津] 鳥屋茨菰山, 2007/04/20 (29091～29104)
- ケシキスイ科 Nitidulidae**
 カクアシヒラタケシキスイ *Epuraea (Epuraea) bergeri*
 1ex., [津] 青野原寺入沢, 2008/04/16 (29105); 1ex.,
 [津] 青根神之川林道犬越路下, 2008/04/29 (29106)
- ヒゲフトヒラタケシキスイ *Epuraea (Epuraea) depressa*
 1ex., [津] 青根神之川林道犬越路下, 2008/04/29 (29
 107)

コクロヒラタケシキスイ *Ipidia sibirica*

2exs., [藤] 牧野小津久, 2008/05/15 (29108・29109)

キマダラケシキスイ *Soronia japonica*

1ex., [藤] 佐野川鎌沢登里, 2008/06/18 (29110)

クロモンムクゲケシキスイ *Aethina maculicollis*

1ex., [藤] 牧野奥牧野城山, 2008/04/25 (29111); 3exs., [相] 千木良長尾, 2008/05/01 (29112~29114)

コクロムクゲケシキスイ *Aethina inconspicua*

1ex., [津] 根小屋明日原小倉林道, 2007/06/26 (29115)

ケベリチビケシキスイ *Meligethes (Meligethes) violaceus*

1ex., [藤] 牧野奥牧野城山, 2008/04/25 (29116)

ムネアカチビケシキスイ *Meligethes (Meligethes) flavicollis*

1ex., [津] 鳥屋茨菰山, 2007/04/20 (29117); 1ex., [津] 青野原寺入沢, 2008/04/16 (29118); 1ex., [津] 鳥屋奥野林道, 2008/04/27 (29119)

ヨツボシケシキスイ *Librodor japonicus*

2exs., [津] 青根神之川林道, 2008/08/06 (29134・29135); 1ex., [津] 青根道志第二発電所, 2007/06/26 (29128); 1ex., 2007/07/19 (29129); 1ex., 2007/09/12 (29130); 2exs., [津] 青根夫婦園, 2007/06/19 (29126・29127); 1ex., [藤] 佐野川鎌沢登里, 2008/06/18 (29131); 4exs., [藤] 牧野奥牧野城山, 2007/06/07 (29122~29125); 2exs., [藤] 牧野綱子, 2007/06/05 (29120・29121); 2exs., 2008/07/11 (29132・29133)

オオキシムシ科 *Helotidae*ムナビロオオキシムシ *Helota fulviventris*

1ex., [藤] 牧野奥牧野城山, 2007/06/07 (29136); 1ex., 2007/06/12 (29137); 1ex., [津] 青根神之川林道犬越路下, 2007/08/02 (29138)

ヒラタムシ科 *Cucujidae*ヒメヒラタムシ *Uleiota arbora*

1ex., [相] 千木良底沢~千木良小仏峠, 2007/05/11 (29139)

キボシチビヒラタムシ *Laemophloeus submonilis*

1ex., [藤] 日連青田, 2008/05/23 (29140)

ベニヒラタムシ *Cucujus coccinatus*

1ex., [津] 青野原長野龍泉寺, 2007/03/23 (29141); 1ex., [相] 千木良小仏峠, 2007/03/28 (29142); 1ex., [津] 青根神之川林道, 2007/05/08 (29143)

オオキノコムシ科 *Erotylidae*ミヤマオビオオキノコ *Episcapha gorhami*

1ex., [藤] 牧野奥牧野城山, 2007/08/01 (29144)

アカハバビロオオキノコ *Neotriplax lewisii*

1ex., [藤] 牧野小津久藤野温泉病院, 2007/11/09 (29145)

クロハバビロオオキノコ *Neotriplax atrata*

3exs., [藤] 牧野小津久, 2008/05/15 (29146~29148)

クロチビオオキノコ *Tritoma niponensis*

1ex., [藤] 佐野川鎌沢, 2007/10/11 (29149)

ベニモンチビオオキノコ *Tritoma sobrina*

1ex., [藤] 牧野小津久, 2008/05/21 (29150)

キシムシ科 *Byturidae*キシムシ *Byturus affinis*

1ex., [相] 寸沢嵐石老山, 2007/04/10 (29152); 1ex., 2007/04/30 (29154); 1ex., [津] 青根夫婦園, 2007/05

/22 (29155); 1ex., [津] 鳥屋奥野林道, 2008/04/27 (29158); 1ex., [津] 鳥屋茨菰山, 2007/03/28 (29151); 1ex., 2007/04/20 (29153); 1ex., [藤] 牧野奥牧野城山, 2008/04/25 (29157); 1ex., [藤] 牧野峰山, 2008/04/23 (29156)

ズグロキシムシ *Byturus atricollis*

1ex., [津] 鳥屋茨菰山, 2007/03/28 (29159); 1ex., 2008/04/11 (29175); 1ex., 2007/04/20 (29174); 14exs., [津] 長竹葦尾根, 2007/04/06 (29160~29173)

テントウダマシ科 *Endomychidae*ルリテントウダマシ *Endomychus gorhami gorhami*

1ex., [藤] 牧野綱子入口, 2007/09/29 (29176); 1ex., [藤] 沢井栃谷栃谷休憩所, 2007/10/07 (29177); 1ex., [津] 根小屋城山公園, 2007/10/18 (29178)

ヨツボシテントウダマシ *Ancylopus pictus asiaticus*

4exs., [津] 青根此の間沢(道志川), 2007/03/14 (29179~29182); 4exs., [津] 鳥屋伊勢沢林道, 2007/03/20 (29183~29186); 1ex., [藤] 佐野川下岩~橋詰, 2007/05/11 (29187); 1ex., [藤] 佐野川鎌沢, 2007/10/11 (29189); 1ex., [藤] 牧野綱子, 2007/10/13 (29190); 2exs., 2007/10/23 (29191~29192); 1ex., [藤] 牧野綱子入口, 2007/09/29 (29188); 1ex., [藤] 牧野小津久, 2008/11/16 (29193)

テントウムシ科 *Coccinellidae*カワムラヒメテントウムシ *Scymnus (Pullus) kawamurai*

1ex., [津] 根小屋明日原小倉林道, 2008/10/03 (29194)

タカバヤシヒメテントウムシ *Scymnus (Pullus) takabayashii*

1ex., [津] 青根神之川林道, 2007/10/25 (29195)

フタモンクロテントウムシ *Cryptogonus orbiculus*

1ex., [藤] 牧野綱子, 2008/05/09 (29196)

アカホシテントウムシ *Chilocolus rubidus*

1ex., [藤] 沢井栃谷~[相] 千木良底沢, 2008/05/01 (29197)

ヒメアカホシテントウムシ *Chilocolus kuwanae*

1ex., [藤] 牧野小津久藤野温泉病院, 2007/11/09 (29198); 1ex., [藤] 牧野奥牧野城山, 2008/04/25 (29199); 2exs., [藤] 沢井栃谷~[相] 千木良底沢, 2008/05/01 (29200・29201)

ベニヘリテントウムシ *Rodolia limbata*

1ex., [相] 寸沢嵐石老山, 2007/04/10 (29202); 1ex., [津] 鳥屋奥野林道大平, 2007/04/26 (29203); 1ex., 2007/05/04 (29204); 1ex., [津] 鳥屋茨菰山, 2008/04/11 (29205); 1ex., [藤] 沢井栃谷~[相] 千木良底沢, 2008/05/01 (29206)

ナナホシテントウムシ *Coccinella septempunctata*

2exs., [城] 葉山島(相模川川原), 2007/05/03 (29210・29211); 1ex., [津] 青根道志第二発電所, 2007/09/12 (29212); 1ex., [藤] 牧野伏馬田, 2007/03/23 (29209); 1ex., [藤] 牧野綱子, 2007/03/15 (29208); 1ex., [藤] 牧野小津久, 2007/03/14 (29207); 1ex., 2008/05/09 (29213)

マクガタテントウムシ *Cooccinula crotchii*

1ex., [城] 葉山島, 2007/04/20 (29214)

シロジュウシホシテントウムシ

Calvia (Anisocalvia) quatuordecimguttata

- 1ex., [津] 鳥屋奥野林道大平, 2007/04/26 (29215); 1ex., 2007/05/04 (29216); 1ex., [藤] 佐野川和田橋 詰飯綱山, 2007/05/11 (29217); 1ex., [津] 青根神之 川林道犬越路下, 2008/07/03 (29218)
- シロトホシテントウ *Calvia (Calvia) decemguttata*
1ex., [津] 青根夫婦園, 2007/10/25 (29219); 1ex., [津] 青根神之川林道犬越路下, 2008/04/29 (29220); 1ex., [相] 千木良長尾, 2008/05/01 (29221)
- ヒメカメノコテントウ *Propylea japonica*
1ex., [津] 青根, 2006/11/15 (29222); 1ex., [相] 千 木良長尾, 2007/05/09 (29223); 1ex., [藤] 牧野篠原 釜ノ沢, 2008/05/09 (29224)
- ナミテントウ *Harmonia axyridis*
2exs., [城] 葉山島(相模川川原), 2007/05/03 (29233・ 29234); 1ex., [津] 青根, 2006/11/15 (29231); 1ex., [津] 青根神之川林道, 2008/07/13 (29243); 1ex., 200 6/06/01 (29225); 1ex., [津] 青根夫婦園, 2008/06/17 (29240); 3exs., [津] 鳥屋伊勢沢林道, 2006/11/11 (2 9228~29230); 1ex., 2008/07/12 (29242); 2exs., [津] 鳥屋茨菰山, 2008/12/03 (29244) 川崎香代; 1ex., 200 8/12/03 (29245) 菅沼広美; 1ex., [津] 鳥屋奥野林道 大平, 2007/04/26 (29232); 1ex., [津] 鳥屋道場, 200 6/10/31 (29226); 1ex., [津] 鳥屋松茸山, 2006/11/09 (29227); 2exs., [津] 長竹葦尾根志田山, 2008/06/13 (29238・29239); 1ex., [藤] 佐野川鎌沢登里, 2008/06 /18 (29241); 1ex., [藤] 牧野奥牧野城山, 2007/06/12 (29236); 1ex., [藤] 牧野綱子, 2007/06/05 (29235); 1ex., 田名望地, 2008/05/19 (29237) 川崎香代
- ムアアシロホシテントウ *Calvia (Eocaria) muii*
1ex., [津] 根小屋明日原小倉林道, 2007/06/26 (2924 6); 1ex., [藤] 牧野峰山, 2008/04/23 (29247); 1ex., 田名望地, 2008/05/19 (29248) 川崎香代; 1ex., [津] 鳥屋伊勢沢林道, 2008/06/11 (29249)
- カメノコテントウ *Aiolocaria hexaspilota*
4exs., [津] 鳥屋伊勢沢林道, 2006/11/11 (29250~29 253)
- キイロテントウ *Illeis koebeleri koebeleri*
1ex., [津] 青根神之川林道犬越路下, 2008/06/06 (2925 5); 1ex., [津] 根小屋明日原小倉林道, 2008/06/04 (2 9254); 1ex., 2008/10/03 (29256)
- オオニジュウヤホシテントウ
Henosepilachna vigintioctomaculata
1ex., [藤] 沢井栃谷~ [相] 千木良底沢, 2008/05/01 (29257); 1ex., [津] 根小屋明日原小倉林道, 2008/06/ 04 (29258)
- シロホシテントウ *Vibidia duodecimguttata*
1ex., [津] 鳥屋奥野林道, 2007/10/17 (29259)
- ナガクチキムシ科 **Melandryidae**
ボウズナガクチキ *Bonzicus hypocrita*
3exs., [藤] 牧野小津久, 2008/05/15 (29260~29262)
- アオオビナガクチキ *Osphyra orientalis*
1ex., [津] 青根夫婦園, 2008/06/17 (29263)
- アオバナガクチキ *Melandrya gloriosa*
1ex., [藤] 牧野小津久, 2008/05/15 (29264); 1ex., [藤] 牧野牧馬曲松, 2008/05/16 (29265); 1ex., [藤]

- 牧野綱子, 2008/06/06 (29266)
- ハナノミ科 **Mordellidae**
Mordella sp.
1ex., [津] 鳥屋伊勢沢林道, 2008/07/02 (29267)
- クロヒメハナノミ *Mordellistena (Mordellistena) comea*
1ex., [津] 鳥屋伊勢沢林道, 2008/07/02 (29268)
- ゴミムシダマシ科 **Tenebrionidae**
アオハムシダマシ *Arthromacra decora*
1ex., [相] 寸沢嵐小野林道, 2007/05/29 (29279); 1ex., [相] 千木良底沢~千木良小仏峠, 2007/05/11 (29270); 1ex., [相] 千木良長尾, 2007/05/09 (29269); 1ex., [津] 青根道志第二発電所, 2007/05/27 (29278); 1ex., [津] 青根上青根高瀬野, 2007/05/22 (29273); 2exs., [津] 根小屋明日原小倉林道, 2008/05/28 (29282・292 83); 2exs., [藤] 佐野川下岩~橋詰, 2007/05/16 (292 71・29272); 4exs., [藤] 沢井栃谷, 2007/05/23 (2927 4・29277); 1ex., [藤] 牧野舟久保さつき学園, 2008/ 05/08 (29281); 1ex., [藤] 牧野綱子, 2007/06/05 (29 280)
- ナガハムシダマシ *Macrolagria rufobrunnea*
1ex., [相] 寸沢嵐小野林道, 2007/05/29 (29285); 9exs., [津] 青根神之川林道犬越路下, 2008/06/06(29295~29 303); 1ex., 2008/07/03(29309); 1ex., [津] 青野原寺 入沢, 2008/04/16(29287); 1ex., [津] 青野原西沢上流, 2008/05/27 (29293); 1ex., 2008/05/28 (29294); 1ex., [藤] 牧野奥牧野城山, 2008/05/21 (29292); 4exs., [藤] 佐野川鎌沢登里, 2008/06/18 (29305~29308); 1ex., [藤] 沢井栃谷~ [相] 千木良底沢, 2008/05/01 (2928 8); 1ex., [藤] 佐野川和田橋詰円通寺境内, 2007/06/ 13 (29286); 1ex., [藤] 牧野綱子, 2007/04/27 (29284); 1ex., 2008/06/13 (29304); 2exs., [藤] 牧野篠原釜ノ 沢, 2008/05/16 (29290・29291); 1ex., [藤] 牧野小津 久, 2008/05/15 (29289)
- ハムシダマシ *Lagria rufipennis*
1ex., [津] 青根夫婦園, 2008/06/17 (29315); 1ex., [津] 青根神之川林道犬越路下, 2007/08/02 (29313); 1ex., [津] 鳥屋伊勢沢林道, 2008/06/11 (29314); 1ex., 2008/07/02 (29317); 3exs., 2008/07/12 (29318~2932 0); 3exs., [津] 鳥屋奥野林道, 2007/06/26 (29310~2 9312); 1ex., [藤] 佐野川下岩, 2008/06/27 (29316)
- クロケブカハムシダマシ *Macrolangria robusticeps*
1ex., [津] 青根神之川林道犬越路下, 2008/06/06 (29 321)
- ヒゲブトハムシダマシ *Luprops orientalis*
1ex., [津] 根小屋明日原小倉林道, 2007/06/06 (2932 2); 1ex., [藤] 佐野川和田橋詰円通寺境内, 2007/06/ 13 (29323); 1ex., [津] 青野, 2007/10/25 (29324); 2exs., [藤] 牧野綱子, 2008/06/13 (29325・29326); 4exs., [藤] 佐野川鎌沢登里, 2008/06/18 (29327~29 330)
- オオクチキムシ *Allecula fuliginosa*
1ex., [津] 根小屋城山公園, 2007/10/18 (29331); 1ex., [津] 青根夫婦園, 2007/10/25 (29332)
- クチキムシ *Allecula melanaria*
1ex., [藤] 牧野篠原釜ノ沢, 2008/05/09 (29333)

スジコガシラハムシダマシ *Heterotarsus carinula*

1ex., [津] 青根此の間沢(道志川), 2007/03/14 (29334);
2exs., [藤] 牧野菅井, 2007/03/15 (29335・29336);
1ex., [藤] 牧野綱子, 2007/06/05 (29337); 6exs., 2007/10/13 (29338~29343); 1ex., 2008/06/06 (29344);
1ex., [藤] 牧野小津久, 2008/07/09 (29345)

ウスイロクチキムシ *Alleculla bilamellata*

1ex., [津] 根小屋明日原小倉林道, 2008/06/04 (29346); 1ex., [藤] 佐野川下岩, 2008/06/27 (29347)

クワイロクチキムシ *Borboresthes acicularis*

1ex., [藤] 佐野川下岩, 2008/06/27 (29348)

フナガタクチキムシ *Isomira oculata*

1ex., [津] 根小屋明日原小倉林道, 2008/06/25 (29349)

アカバネツヤクチキムシ *Hymenalia rufipennis*

1ex., [藤] 佐野川下岩〜橋詰, 2007/05/16 (29350);
1ex., [津] 青根夫婦園, 2007/06/19 (29351); 1ex., [相] 千木良長尾, 2007/07/04(29352); 1ex., [藤] 牧野小津久, 2007/07/05 (29353)

コスナゴミムシダマシ *Gonocephalum coriaceum*

1ex., [藤] 牧野菅井, 2007/03/15 (29354)

スナゴミムシダマシ *Gonocephalum recticollis*

1ex., 二本松2丁目, 2007/06/05 (29355) 原きよ子

ナガニジゴミムシダマシ *Ceropria induta*

1ex., [藤] 沢井栃谷入口, 2006/09/28 (29356); 2exs., [藤] 牧野奥牧野日影原, 2007/06/01 (29357・29358);
1ex., [藤] 牧野小津久, 2007/07/31(29359); 1ex., 2008/05/27 (29360); 3exs., 2008/06/10 (29361~29363);
1ex., 2008/07/09 (29364)

モトヨツコブゴミムシダマシ *Uloma bonzica*

4exs., [津] 青根神之川林道, 2007/10/25 (29365~39368); 1ex., [津] 青根神之川林道犬越路下, 2008/07/03 (29369); 3exs., [津] 鳥屋伊勢沢林道, 2008/08/12 (29370~29372)

ニジゴミムシダマシ *Tetraphyllus lunuliger lunuliger*

1ex., [藤] 牧野小津久, 2008/05/27 (29373)

ルリゴミムシダマシ *Encyalesthus violaceipennis*

1ex., [藤] 牧野奥牧野城山, 2007/09/12 (29374)

ルリツヤヒメキマワリモドキ *Simalura coerulea*

1ex., [津] 根小屋明日原小倉林道, 2007/06/26 (29375)

キマワリ *Plesiophthalmus nigrocyaneus nigrocyaneus*

1ex., [藤] 牧野小津久, 2007/06/03 (29376); 1ex., [藤] 牧野奥牧野, 2008/07/29 (29377)

マルムネゴミムシダマシ *Tarpela cordicollis*

1ex., [藤] 牧野奥牧野日影原, 2007/06/01 (29378)

セスジナガキマワリ *Strongylium cultellatum*

1ex., 大野台3丁目, 2008/07/15 (29379) 井尻英男

ホソヒゲナガキマワリ *Ainu tenuicornis*

1ex., [藤] 佐野川下岩, 2007/08/03 (29380)

カミキリモドキ科 Oedemeridae

カトウカミキリモドキ *Nacerdes (Xanthochroa) katoi*

1ex., [藤] 佐野川鎌沢登里, 2008/06/18 (29381); 1ex., [城] 中沢蓮華院, 2008/06/25 (29382); 1ex., [藤] 佐野川下岩, 2008/06/27 (29383); 1ex., [城] 中沢蓮華院, 2008/07/01 (29384)

シリナガカミキリモドキ *Nacerdes (Xanthochroa) caudata*

1ex., [城] 中沢蓮華院, 2008/07/01 (29386); 1ex., [津] 青根神之川林道, 2008/07/31 (29394); 4exs., [津] 青根神之川林道犬越路下, 2008/07/03 (29388~29391); 1ex., [津] 鳥屋伊勢沢林道, 2008/07/02 (29387); 2exs., 2008/07/12 (29392・29393); 1ex., [藤] 牧野綱子, 2008/06/13 (29385)

アオカミキリモドキ *Nacerdes (Xanthochroa) waterhousei*

1ex., [相] 寸沢嵐小野林道, 2007/05/29 (29395); 1ex., [津] 根小屋明日原小倉林道, 2007/06/06 (29396); 1ex., [藤] 牧野小津久, 2008/05/21 (29397); 1ex., [津] 青根神之川林道犬越路下, 2008/06/06 (29398); 1ex., [津] 長竹葦尾根志田山, 2008/06/13 (29399); 1ex., [津] 鳥屋伊勢沢林道, 2008/07/17 (29400)

オオサワカミキリモドキ *Nacerdes (Xanthochroa) osawai*

1ex., [津] 鳥屋伊勢沢林道, 2008/07/12 (29401)

キバネカミキリモドキ *Nacerdes (Xanthochroa) luteipennis*

1ex., [津] 鳥屋伊勢沢林道, 2008/08/12 (29402)

アオグロカミキリモドキ

Ischnomera nigrocyanea nigrocyanea

1ex., [津] 青野原西沢, 2008/04/15 (29403); 1ex., [津] 青根神之川林道犬越路下, 2008/04/29 (29404)

ハラグロカミキリモドキ *Nacerdes (Patiala) deformis*

1♀, [津] 青根神之川林道犬越路下900m, 2007/08/08 (29405)

マドラカミキリモドキ *Oedemera (Oncomera) venosa*

3exs., [津] 青根神之川林道犬越路下, 2008/07/03 (29406~29408)

モモトカミキリモドキ *Oedemera (Oedemera) lucidicollis*

5exs., [相] 寸沢嵐石老山, 2007/04/10 (29413~29417); 3exs., [津] 鳥屋茨菰山, 2008/04/11 (29421~29423); 1ex., [津] 鳥屋奥野林道大平, 2007/05/04 (29420); 2exs., [津] 鳥屋茨菰山, 2007/03/28 (29410・29411); 1ex., 2007/04/11 (29418); 1ex., 2007/04/20 (29419); 1ex., [津] 長竹葦尾根, 2007/04/06 (29412); 4exs., [津] 根小屋明日原小倉林道, 2008/06/04 (29424~29427); 1ex., [藤] 牧野牧馬曲松, 2007/03/28 (29409)

キアシカミキリモドキ *Oedemera (Oedemera) manicata*

1ex., [相] 千木良底沢〜千木良小仏峠, 2007/05/11 (29428); 1ex., [津] 鳥屋伊勢沢林道, 2008/06/11 (29434); 1ex., 2008/07/02 (29435); 2exs., [津] 根小屋明日原小倉林道, 2008/05/28 (29432・29433); 1ex., [藤] 沢井栃谷〜[相] 千木良底沢, 2008/05/01 (29431); 1ex., [藤] 牧野奥牧野城山, 2008/04/25 (29429); 1ex., [藤] 牧野綱子, 2008/04/25 (29430)

クビナガムシ科 Stenotrachelidae

クビナガムシ *Cephaloon pallens*

1ex., [藤] 佐野川下岩〜橋詰, 2007/05/16 (29436)

ツチハンミョウ科 Meloidae

キイロゲンセイ *Zonitis japonica*

1ex., [藤] 佐野川下岩, 2007/08/03 (29437); 1ex., [津] 鳥屋伊勢沢林道, 2008/08/12 (29438)

ヒメツチハンミョウ *Meloe coarctatus*

1ex., [津] 長竹葦尾根, 2007/04/06 (29439); 1ex., [藤] 牧野綱子, 2007/06/05 (29440); 3exs., [相] 寸

沢嵐石老山～篠原, 2008/10/22 (29441~29443) 秋本和弘

アカハネムシ科 Pyrochroidae

オニアカハネムシ *Pseudopyrochroa japonica*

1ex., [津] 青根上青根高瀬野, 2007/05/22 (29444);
1ex., [藤] 日連青田, 2007/05/23 (29445); 1ex., [藤]
牧野奥牧野城山, 2008/04/25 (29447); 1ex., [藤] 牧
野綱子, 2008/04/25 (29446); 1ex., 2008/05/27 (29448)

ミゾアカハネムシ *Pseudopyrochroa brevitarsis*

1ex., [津] 長竹葎尾根, 2007/04/06 (29449)

ムナビロアカハネムシ *Pseudopyrochroa laticollis*

2exs., [相] 寸沢嵐石老山, 2007/04/10 (29450・29451);
3exs., 2007/04/14 (29452~29454); 4exs., [相]
千木良底沢～与瀬明王峠, 2007/04/27(29456~29459);
1ex., [相] 千木良長尾, 2007/05/09 (29460); 1ex.,
[津] 鳥屋茨菰山, 2007/04/20 (29455); 1ex., [藤] 沢
井栃谷～[相] 千木良底沢, 2008/05/01 (29464); 1ex.,
[藤] 佐野川和田橋詰飯綱山, 2007/05/11 (29461); 1ex.,
[藤] 牧野奥牧野城山, 2008/04/25 (29463); 1ex., [藤]
牧野牧馬曲松, 2008/05/16 (29466); 1ex., [藤] 牧野
綱子, 2008/04/25 (29462); 1ex., [藤] 牧野小津久, 2
008/05/15 (29465)

アカハネムシ *Pseudopyrochroa vestiflua*

1ex., [相] 寸沢嵐小野林道, 2007/05/29(29468); 1ex.,
[藤] 佐野川鎌沢登里, 2008/06/18(29476); 1ex., [藤]
沢井栃谷, 2007/05/23(29467); 1ex., [藤] 牧野綱子,
2008/04/25(29470); 1ex., 2008/05/09 (29472); 1ex.,
2008/05/27 (29475); 1ex., [藤] 牧野篠原釜ノ沢, 200
8/05/09 (29471); 1ex., [藤] 牧野小津久, 2008/05/15
(29473); 1ex., 2008/05/21 (29474); 1ex., [藤] 牧野
峰山, 2008/04/22 (29469)

アリモドキ科 Anthicidae

ケナガクビボソムシ *Neostereopalpus niponicus*

1ex., [津] 青根神之川林道犬越路下, 2007/06/20 (29
477); 1ex., [津] 鳥屋早戸川林道, 2007/07/20 (29478)

アカホソアリモドキ *Stricticomus fugiens*

1ex., [津] 根小屋明日原小倉林道, 2007/06/26 (29479)

クロチビアリモドキ *Anthicomorphus niponicus niponicus*

1ex., [藤] 牧野奥牧野, 2008/07/29 (29480)

ヨツボシホソアリモドキ *Stricticomus valgipes*

1ex., [藤] 牧野菅井, 2007/03/15 (29481); 1ex., [津]
鳥屋伊勢沢林道, 2007/03/20 (29482)

ハナノミダマシ科 Scaptiidae

キイロフナガタハナノミ *Anaspis luteola*

2exs., [津] 鳥屋伊勢沢林道, 2008/06/11 (29483・29
484)

クロフナガタハナノミ *Anaspis marseuli*

1ex., [藤] 牧野菅井, 2007/03/15 (29485); 1ex., [藤]
沢井栃谷～[相] 千木良底沢, 2008/05/01 (29486); 1ex.,
[津] 根小屋明日原小倉林道, 2008/06/04 (29487)

コフナガタハナノミ *Anaspis funagata*

1ex., [津] 青根神之川林道犬越路下, 2008/06/06 (29
488)

タケイフナガタハナノミ *Anaspis takeii*

1ex., [相] 寸沢嵐石老山, 2007/04/10 (29489)

カミキリムシ科 Cerambycidae

ウスバカミキリ *Megopis (Aegosoma) sinica sinica*

1ex., [藤] 佐野川下岩, 2007/08/03 (29490)

ホソカミキリ *Distenia gracilis gracilis*

1ex., [藤] 佐野川下岩, 2007/08/03 (29491)

クロカミキリ *Spondylis buprestoides*

1ex., [津] 青根いやしの湯, 2008/07/30 (29511); 4exs.,
[津] 青根道志第二発電所, 2007/06/27 (29503~29506);
7exs., [津] 青根夫婦園, 2006/07/06 (29492~29498);
1ex., [津] 青根神之川林道犬越路下, 2007/08/08 (29
508); 1ex., [津] 鳥屋伊勢沢林道, 2008/08/12 (29512);
2exs., [津] 鳥屋奥野林道, 2007/08/14(29509・29510);
1ex., 2006/08/04 (29499); 1ex., [津] 根小屋明日原
小倉林道, 2007/06/06 (29502); 1ex., [藤] 佐野川下
岩, 2007/08/03(29507); 2exs., [藤] 牧野綱子, 2006/
08/30 (29500・29501)

コバネカミキリ *Psephactus remiger remiger*

1ex., [藤] 牧野奥牧野城山, 2007/08/01 (29513)

ノコギリカミキリ *Prionus insularis*

1ex., [津] 青根いやしの湯, 2008/07/30(29524); 1ex.,
2008/08/15(29527); 2exs., [藤] 佐野川下岩, 2007/08
/03 (29521・29522); 1ex., [城] 中沢蓮華院, 2007/08
/03 (29520); 1ex., [津] 青根神之川林道, 2006/08/10
(29519); 1ex., 2008/07/31(29528); 2exs., [津] 青根
神之川林道後坂橋, 2006/07/26(29515・29516); 1ex.,
[津] 鳥屋伊勢沢林道, 2008/08/12(29525); 1ex., [津]
鳥屋奥野林道, 2006/08/04(29518); 1ex., 2007/08/14
(29523); 1ex., [津] 根小屋城山山頂, 2006/07/13(295
14); 1ex., [津] 又野, 2006/08/03(29517); 1ex., 水
郷田名, 2008/07/06 (29526) 川崎香代

ヒラヤマコブハナカミキリ *Enoploderes bicolor*

1ex., [相] 寸沢嵐石老山, 2007/04/14 (29529); 1ex.,
[津] 青根道志第二発電所, 2008/04/25 (29530)

キバネニセハムシハナカミキリ *Lemula decipiens*

3exs., [藤] 沢井栃谷～[相] 千木良底沢, 2008/05/0
1(29531~29533)

ヒナルリハナカミキリ *Dinoptera minuta*

1ex., [相] 寸沢嵐石老山林道, 2007/04/30 (29534); 1
ex., [相] 千木良底沢～千木良小仏峠, 2007/05/11 (2
9535)

フタオビノミハナカミキリ *Pidonia (Omphalodera) puziloi*

3exs., [津] 根小屋明日原小倉林道, 2007/06/01 (295
36~29538); 1ex., 2008/06/04 (29539)

アカハナカミキリ *Corymbia succedanea*

10exs., [城] 中沢蓮華院, 2007/07/25 (29541~29549);
1ex., [津] 青根上青根, 2008/08/15 (29552); 1ex.,
[津] 青根道志第二発電所, 2007/07/19 (29540); 1ex.,
[津] 鳥屋松茸山, 2008/07/19 (29551); 1ex., [藤] 佐
野川下岩, 2007/08/03 (29550)

ヤツボシハナカミキリ *Leptura mimica*

1ex., [藤] 牧野小津久, 2007/05/29 (29553); 1ex., 2
007/06/03 (29554)

オオヨツスジハナカミキリ *Megaleptura regalis*

1ex., [津] 鳥屋茨菰山, 2007/08/09 (29555)

ハネビロハナカミキリ *Leptura latipennis*

- 1ex., [藤] 牧野小津久, 2008/05/09 (29556)
- ヒゲジロハナカミキリ *Japanostrangalia dentatipennis*
1ex., [津] 青根神之川林道, 2007/07/24 (29557)
- ヨツスジハナカミキリ
Leptura ochraceofasciata ochraceofasciata
1ex., [藤] 牧野小津久, 2007/07/04 (29558); 2exs., [津] 青根神之川林道, 2007/07/24 (29559・29560); 1ex., [相] 寸沢嵐石老山, 2008/07/16 (29561) 川崎香代
- ニンフホソハナカミキリ *Parastrangalis nymphula*
1ex., [津] 青根神之川林道, 2007/07/24 (29562); 1ex., [津] 根小屋明日原小倉林道, 2008/06/04 (29563); 1ex., [津] 鳥屋伊勢沢林道, 2008/06/11 (29564)
- トビイロカミキリ *Allotraeus (Allotraeus) sphaerioninus*
1ex., [津] 根小屋明日原小倉林道, 2006/06/01 (29565); 1ex., [津] 鳥屋奥野林道, 2007/06/26 (29567); 1ex., [藤] 牧野奥牧野城山, 2007/06/12 (29566); 1ex., 2008/04/25 (29568)
- ホタルカミキリ *Dere thoracica*
1ex., [藤] 沢井栃谷, 2007/05/23 (29569); 1ex., [藤] 牧野小津久, 2007/06/01 (29570); 2exs., 2007/06/03 (29571・29572); 4exs., [藤] 牧野綱子, 2007/06/05 (29573~29576)
- クスベニカミキリ *Pyrestes nipponicus*
1ex., [津] 青根神之川林道犬越路下, 2007/08/02 (29577)
- ベニカミキリ *Purpuricenus (Sternoplistes) temminckii*
1ex., [藤] 牧野小津久, 2007/06/03 (29578); 1ex., [藤] 牧野綱子, 2007/06/05 (29579); 1ex., [藤] 牧野奥牧野城山, 2007/06/12 (29580); 2exs., 2007/07/02 (29581・29582)
- ルリボシカミキリ *Rosalia (Rosalia) batesi*
1ex., [津] 三井名手, 2008/07/31(29616); 10exs., [城] 川尻中央公園, 2006/07/12(29583~29592); 1ex., 2006/07/13(29593); 3exs., 2006/07/15(29595~29597); 2exs., 2006/07/25 (29598・29599); 1ex., [城] 中沢峯の薬師, 2006/07/14(29594); 1ex., [津] 青根神之川林道, 2007/07/24(29606); 1ex., 2007/07/24(29605); 1ex., [津] 青根神之川林道日陰沢, 2008/07/25(29615); 5exs., [津] 又野, 2006/08/03(29600~29604); 4exs., [藤] 牧野綱子, 2007/07/27(29607~29610); 2exs., 2008/07/30(29613・29614); 2exs., [藤] 牧野小津久, 2007/07/31 (29611・29612)
- ヒメスギカミキリ *Palaeocallidium (Callidiellum) rufipenne*
1ex., [藤] 牧野峰山, 2008/04/22 (29617)
- ヘリグロベニカミキリ
Purpuricenus (Sternoplistes) spectabilis
3exs., [相] 千木良長尾, 2007/05/09 (29618~29620); 1ex., [藤] 佐野川下岩, 2007/07/04 (29625); 1ex., [藤] 沢井栃谷, 2007/05/23 (29621); 1ex., [藤] 牧野綱子, 2007/06/05 (29623); 1ex., [藤] 牧野小津久, 2007/05/27 (29622); 1ex., 2007/06/19 (29624)
- ウスイロトラカミキリ *Xylotrechus cuneipennis*
1ex., [藤] 牧野小津久, 2007/06/12 (29626); 2exs., 2007/06/19 (29627・29628); 4exs., 2007/07/02(29629~29632); 1ex., [藤] 牧野綱子, 2007/07/27 (29633)
- クビアカトラカミキリ *Xylotrechus rufilius rufilius*
1ex., [藤] 牧野小津久, 2007/05/27 (29634); 3exs., 2007/05/29 (29635~29637); 5exs., 2007/06/03 (29638~29642); 2exs., 2007/06/12 (29643・29644); 1ex., 2007/06/19 (29645); 4exs., 2007/07/02 (29646~29649); 2exs., 2007/10/11 (29650・29651); 4exs., [藤] 牧野舟久保さつき学園, 2008/07/23 (29652~29655)
- キシジトラカミキリ *Cyrtoclytus caproides caproides*
1ex., [藤] 牧野小津久, 2008/05/21 (29656); 1ex., [藤] 牧野綱子, 2008/06/06 (29657); 1ex., [津] 青野原青野原キャンプ場, 2008/06/17 (29658)
- キンケトラカミキリ *Clytus auripilis*
17exs., [藤] 牧野小津久, 2008/05/15 (29659~29675); 1ex., 2008/05/21 (29676); 1ex., 2008/05/23 (29677); 1ex., [藤] 牧野綱子, 2008/05/27 (29678)
- クリストフコトラカミキリ *Plagionotus christophi*
1ex., [藤] 牧野小津久, 2008/05/08 (29679); 1ex., 2008/05/09 (29680)
- シラケトラカミキリ *Clytus melaenus*
1ex., [藤] 牧野小津久, 2007/05/27(29681); 7exs., 2008/05/15(29682~29688); 1ex., 2008/05/23 (29689); 1ex., [藤] 牧野綱子, 2008/06/06 (29690); 1ex., 2008/06/10 (29691)
- エグリトラカミキリ *Chlorophorus japonicus*
1ex., [相] 寸沢嵐石老山林道, 2007/06/20 (29707); 2exs., [津] 青根神之川林道, 2007/07/24 (29713・29814); 1ex., [津] 青根神之川林道犬越路下, 2007/06/21 (29708); 2exs., [藤] 牧野奥牧野城山, 2007/06/19 (29705・29706); 2exs., [藤] 牧野綱子, 2007/06/05 (29696・29697); 1ex., 2007/06/05 (29698); 1ex., 2008/06/06 (29717); 2exs., 2008/07/11 (29718・29719); 2exs., [藤] 牧野小津久, 2007/05/27 (29692・29693); 2exs., 2007/06/03(29694・29695); 5exs., 2007/06/12 (29699~29703); 1ex., 2007/06/19 (29704); 4exs., 2007/07/02 (29709~39712); 1ex., 2008/05/21 (29715); 1ex., 2008/05/23 (29716)
- ヨツスジトラカミキリ *Chlorophorus quinquefasciatus*
1ex., [藤] 牧野綱子, 2008/08/19 (29720)
- キイロトラカミキリ *Grammographus notabilis notabilis*
1ex., [津] 青根夫婦園, 2008/06/17(29760); 1ex., [津] 鳥屋奥野林道, 2007/06/13(29748); 21exs., [藤] 牧野綱子, 2007/06/05(29723~29743); 2exs., 2008/05/23 (29752・29753); 3exs., 2008/05/27 (29754・29756); 1ex., 2008/06/06(29757); 2exs., 2008/06/10 (29758・29759); 2exs., 2008/07/30 (29762・29763); 2exs., [藤] 牧野小津久, 2007/06/03 (29721・29722); 4exs., 2007/06/12(29744~29747); 1ex., 2007/06/19 (29749); 1ex., 2007/06/19 (29750); 1ex., 2008/05/21 (29751); 1ex., 2008/07/09 (29761)
- ヒメクロトラカミキリ *Rhaphuma diminuta diminuta*
1ex., [藤] 牧野綱子, 2008/06/06 (29764)
- シロトラカミキリ *Paraclytus ex.cultus*
1ex., [津] 青根神之川林道犬越路下, 2007/06/20 (29765)
- トガリバアカネトラカミキリ

Anaglyptus (Anaglyptus) niponensis

1ex., [相] 寸沢嵐石老山林道, 2007/04/30 (29766);
1ex., [津] 青根神之川林道, 2007/05/08 (29767); 1ex.,
[藤] 牧野小津久, 2008/05/27 (29768); 2exs., [藤]
牧野綱子, 2008/06/06 (29769・29770); 1ex., 2008/06
/10 (29771)

トゲヒゲトラカミキリ *Demonax transilis*

1ex., [津] 青根神之川林道, 2007/07/24 (29778); 2exs.,
[津] 根小屋明日原小倉林道, 2007/06/01 (29774・297
75); 1ex., 2008/06/04 (29786); 2exs., [藤] 沢井栃谷,
2007/05/23 (29772・29773); 7exs., [藤] 沢井栃谷～
[相] 千木良底沢, 2008/05/01 (29779～29785); 2exs.,
[藤] 牧野綱子, 2007/06/05 (29776・29777)

カタジロゴマフカミキリ

Mesosa (Perimesosa) hirsuta hirsuta

2exs., [藤] 牧野奥牧野城山, 2007/09/12 (29787・29
788); 2exs., [津] 青根いやしの湯, 2008/07/30 (2978
9・29790); 2exs., [藤] 牧野綱子, 2008/07/30 (29791
～29792)

ゴマフカミキリ *Mesosa (Mesosa) myops japonica*

1ex., [津] 青野原青野原キャンプ場, 2008/6/17 (29
813); 4exs., [藤] 牧野牧馬曲松, 2008/05/16 (29805
～29808); 1ex., [藤] 牧野綱子, 2008/05/27 (29811);
1ex., 2008/06/06 (29812); 2exs., [藤] 牧野小津久,
2007/05/27 (29793・29794); 1ex., 2007/05/29 (2979
5); 2exs., 2007/06/01 (29796・29797); 1ex., 2007/0
6/05 (29798); 1ex., 2007/06/12 (29799); 1ex., 2007/
07/02 (29800); 1ex., 2008/05/08 (29801); 3exs., 200
8/05/15 (29802～29804); 2exs., 2008/05/21 (29809・
29810)

ナガゴマフカミキリ *Mesosa (Aphelocnemia) longipennis*

1ex., 二本松二丁目, 2007/06/08 (29814) 原きよ子;
1ex., [城] 中沢蓮華院, 2007/07/25 (29815); 1ex.,
[藤] 牧野篠原, 2007/08/07 (29816); 1ex., [藤] 牧野
小津久, 2008/07/09 (29817); 1ex., [相] 寸沢嵐石老
山, 2008/07/16 (29818) 川崎香代; 1ex., [津] 青根い
やしの湯, 2008/07/30 (29819)

アトジロサビカミキリ *Pterolophia (Pterolophia) zonata*

1ex., [城] 中沢蓮華院, 2007/07/25 (29820); 1ex.,
[藤] 牧野綱子, 2008/06/20 (29821); 1ex., 大野台3丁
目, 2008/07/19
(29822) 井尻英男

アトモンサビカミキリ *Pterolophia (Pterolophia) granulata*

1ex., [藤] 牧野小津久, 2007/06/03 (29823); 1ex.,
大野台3丁目, 2008/07/19 (29824) 井尻英男

トガリシロオビサビカミキリ

Pterolophia (Pterolophia) caudata caudata

1ex., [津] 鳥屋伊勢沢林道, 2008/08/12 (29825)

エゾサビカミキリ *Pterolophia (Pterolophia) tsurugiana*

1ex., [藤] 牧野小津久, 2007/06/01 (29826)

クリサビカミキリ *Pterolophia (Pterolophia) castaneivora*

1ex., [津] 鳥屋伊勢沢林道, 2008/07/17 (29827)

ナカジロサビカミキリ *Pterolophia (Ale) jugosa jugosa*

1ex., [津] 鳥屋奥野林道大平, 2007/04/26 (29828);
3exs., [藤] 牧野綱子, 2008/06/06 (29829～29831)

ヒメヒゲナガカミキリ

Monochamus (Monochamus) subfasciatus subfasciatus

1ex., [藤] 牧野綱子, 2008/07/11 (29832)

ゴマダラカミキリ

Anoplophora (Anoplophora) malasiaca malasiaca

1ex., [相] 千木良底沢, 2007/08/07 (29836); 1ex.,
[津] 鳥屋奥野林道, 2006/08/04 (29833); 1♂1♀,
[藤] 牧野綱子, 2006/08/23 (29834・29835); 1ex.,
[城] 葉山葉山島下河原, 2008/06/11 (29840) 川崎香
代; 2exs., 田名望地, 2008/07/12 (29838・29839) 川
崎香代; 1ex., [津] 青根いやしの湯, 2008/07/30 (29
843); 1ex., 2008/09/17 (29837); 1ex., [津] 青根上
青根, 2008/08/06 (29841); 1ex., [藤] 牧野小津久, 2
008/07/09 (29842)

ビロウドカミキリ *Acaloleptta fraudatrix fraudatrix*

1ex., [藤] 牧野綱子, 2007/07/25 (29844)

キボシカミキリ *Psacotheta hilaris hilaris*

2exs., [城] 久保沢, 2008/09/09(29860・29861); 1ex.,
[津] 青根いやしの湯, 2008/07/30(29863); 1ex., [津]
根小屋明日原小倉林道, 2008/10/03(29866); 1ex., [津]
鳥屋伊勢沢林道音見沢, 2007/09/14(29864); 1ex., 200
7/09/15(29865); 2exs., [城] 川尻久保沢2丁目, 200
6/07/25(29847・29848); 2exs., [津] 根小屋城山山頂,
2006/07/13(29845・29846); 1ex., [津] 青根道志第二
発電所, 2006/07/26 (29852); 2exs., [津] 又野又野公
園, 2006/07/27(29853・29854); 2exs., [藤] 牧野伏馬
田, 2006/08/11(29855・29856); 1ex., [藤] 牧野奥牧
野城山, 2007/09/12(29859); 3exs., [藤] 牧野菅井, 2
006/07/25 (29849～29851); 1ex., 二本松2丁目, 2007/
07/29(29862)

シロスジカミキリ *Batocera lineolata*

2exs., [藤] 牧野綱子, 2006/08/11 (29867・29868);
1ex., [津] 青根道志第二発電所, 2007/05/27 (29869・
29870); 1ex., [藤] 牧野奥牧野城山, 2008/08/19 (298
71)

ヒトオビアラゲカミキリ *Rhopaloscelis unifasciatus*

1ex., [津] 根小屋明日原小倉林道, 2007/06/26(29872)

シラホシカミキリ *Glenea (Glenea) relictata relictata*

1ex., [藤] 牧野奥牧野城山, 2007/06/07 (29873)

ラミーカミキリ *Paraglenea fortunei*

1ex., [津] 葦尾根志田山, 2008/07/05(29908); 5exs.,
[城] 城山湖・本沢ダム, 2006/07/12(29883・29887);
1ex., [城] 中沢蓮華院, 2008/06/25(29912); 1ex.,
[相] 寸沢嵐石老山, 2008/07/03(29911); 3exs., [相]
奥沢美女谷, 2006/08/31 (29899～29901); 1ex., [津]
青根神之川林道, 2008/09/09 (29910); 1ex., [津] 青
野原, 2006/08/11(29897); 1ex., [津] 青野原川原, 20
08/06/17(29913); 7exs., [津] 青山青山貯水池, 2006/
06/24(29874～29880); 1ex., [津] 青山仙洞寺山林道,
2007/06/20(29904); 1ex., [津] 三井名手, 2006/08/02
(29894); 2exs., [津] 三井名手～赤馬, 2006/07/14(29
888・29889); 2exs., [津] 青根道志第二発電所, 2006/
07/06(29881・29882); 1ex., 2006/07/25 (29892); 1ex.,
2006/07/26(29893); 2exs., 2006/08/10(29895・29896);

- 1ex., 2007/06/26(29905); 1ex., [藤] 鎌沢登里鎌沢休憩所, 2006/08/16(29898); 1ex., [藤] 牧野奥牧野城山, 2007/06/07(29903); 1ex., 2007/07/02(29906); 1ex., 2007/09/12(29909); 1ex., [藤] 牧野小津久, 2007/05/29(29902); 1ex., 2007/07/04(29907); 2exs., [藤] 牧野菅井, 2006/07/25(29890・29891)
- ヒゲナガシラホシカミキリ *Eumecocera argyrosticta*
1ex., [津] 青根夫婦園, 2007/05/22(29914)
- ヘリグロリンゴカミキリ *Nupserha marginella*
1ex., [相] 寸沢嵐石老山, 2008/07/03(29915)
- ヨツキボシカミキリ *Epiglenea comes comes*
1ex., [津] 根小屋明日原小倉林道, 2007/06/01(29916); 1ex., 2007/06/26(29917); 1ex., [藤] 牧野綱子, 2008/06/06(29918)
- ヒメリンゴカミキリ *Oberia hebescens*
1ex., [藤] 牧野綱子, 2007/05/18(29919); 1ex., [津] 青根夫婦園, 2007/06/19(29920)
- ハムシ科 **Chrysomelidae**
- カバノキハムシ *Syneta adamsi*
2exs., [津] 青根神之川林道犬越路下, 2008/04/29(29921・29922)
- キイロクビナガハムシ *Lilioceris (Lilioceris) rugata*
1ex., [藤] 牧野小津久, 2007/07/02(29923); 1ex., [津] 青根道志第二発電所, 2007/07/19(29924)
- キベリクビボソハムシ *Lema (Petauristes) adamsii*
3exs., [津] 根小屋明日原小倉林道, 2007/06/26(29925~29927)
- ヤマイモハムシ *Lema (Petauristes) honorata*
1ex., [津] 青山仙洞寺山林道, 2007/06/20(29928); 2exs., [津] 根小屋明日原小倉林道, 2007/06/26(29929・29930); 1ex., [藤] 牧野奥牧野城山, 2008/06/20(29931)
- カメノコハムシ *Cassida (Cassida) nebulosa*
1ex., [相] 寸沢嵐石老山, 2007/04/14(29932); 1ex., [藤] 牧野綱子, 2007/05/18(29933)
- ジンガサハムシ *Aspidomorpha indica*
1ex., [藤] 牧野小津久, 2008/07/09(29934)
- セモンジンガサハムシ *Cassida (Taiwania) versicolor*
1ex., [藤] 佐野川下岩〜橋詰, 2007/05/16(29935); 1ex., [藤] 佐野川下岩, 2007/07/04(29936)
- イチモンジカメノコハムシ *Thlaspida cribrata*
1ex., [津] 青根夫婦園, 2007/06/19(29939); 1ex., [津] 青根神之川林道, 2007/05/08(29937); 1ex., [津] 鳥屋伊勢沢林道, 2008/06/11(29944); 2exs., 2008/07/12(29945・29946); 1ex., [津] 鳥屋奥野林道, 2007/06/26(29940); 1ex., [藤] 沢井栃谷〜[相] 千木良底沢, 2008/05/01(29943); 1ex., [藤] 牧野奥牧野城山, 2007/07/02(29941); 1ex., [藤] 牧野小津久, 2007/05/27(29938); 1ex., [藤] 牧野峰山, 2008/04/22(29942)
- コガタルリハムシ *Gastrophysa atrocyanea*
1ex., [津] 青根此の間沢(道志川), 2007/03/14(29953); 6exs., [津] 長竹葦尾根, 2007/03/13(29947~29952); 4exs., 2007/04/06(29954~29957)
- ヤナギルリハムシ *Plagioderia versicolora*
1ex., [津] 鳥屋奥野林道大平, 2007/04/26(29958); 1ex., [津] 鳥屋奥野林道, 2008/04/27(29959); 1ex., [津] 青根神之川林道犬越路下, 2008/04/29(29960); 1ex., [津] 鳥屋伊勢沢林道, 2008/06/11(29961)
- ハッカハムシ *Chrysolina ex.anthematica*
1ex., [相] 道志道志新田, 2007/11/14(29962); 1ex., [津] 根小屋城山公園, 2007/10/18(29963)
- ヨモギハムシ *Chrysolina aurichalcea*
1ex., [藤] 牧野小津久藤野温泉病院, 2007/10/30(29964)
- ルリハムシ *Linnaeidea aenea aenea*
3exs., [津] 青根神之川林道, 2007/05/08(29968~29970); 2exs., 2007/07/24(29975・29976); 2exs., [津] 青根神之川林道犬越路下, 2007/08/02(29977・29978); 4exs., [津] 鳥屋伊勢沢林道, 2008/07/02(29979~29982); 9exs., 2008/07/12(29983~29991); 1ex., 2008/08/10(29992); 1ex., [津] 鳥屋奥野林道大平, 2007/05/04(29967); 2exs., 2007/04/26(29965・29966); 4exs., [津] 鳥屋早戸川林道, 2007/07/20(29971~29974)
- クルミハムシ *Gastrolina depressa*
1ex., [藤] 牧野小津久, 2008/05/09(29993)
- ズグロキハムシ *Gastrolinoides japonicus*
1ex., [藤] 牧野峰山, 2008/04/23(29994); 1ex., [津] 鳥屋伊勢沢林道, 2008/06/11(29995)
- フジハムシ *Gonioctena (Brachyphytoedecta) rubripennis*
1ex., [藤] 沢井栃谷〜[相] 千木良底沢, 2008/05/01(29996)
- ミヤマヒラタハムシ *Gastrolina peltoidea*
1ex., [津] 青根神之川林道, 2007/05/08(29997); 1ex., [津] 青根神之川林道犬越路下, 2007/05/18(29998); 1ex., 2008/04/29(29999)
- ヒラノトホシハムシ *Gonioctena (Gonioctena) hiranoi*
1ex., [津] 青根神之川林道, 2007/05/08(30000)
- ヤツボシハムシ *Gonioctena (Sinomela) nigroplagiata*
1ex., [相] 千木良長尾, 2007/05/09(30001); 1ex., [相] 千木良赤馬, 2008/05/09(30002)
- アカタデハムシ *Pyrhalta semifulva*
2exs., [相] 寸沢嵐石老山林道, 2007/04/30(30003・30004); 1ex., [津] 鳥屋茨菰山, 2008/04/11(30005); 1ex., [津] 青根神之川林道犬越路下, 2008/06/06(30006)
- エノキハムシ *Pyrhalta tibialis*
1ex., [津] 青根神之川林道, 2008/07/31(30007); 1ex., 大野台3丁目, 2008/10/09(30008) 井尻英男
- ウリハムシ *Aulacophora femoralis*
1ex., [相] 寸沢嵐小野林道, 2007/10/02(30012); 1ex., [津] 根小屋城山公園, 2007/10/18(30015); 1ex., [藤] 牧野奥牧野城山, 2008/09/12(30018); 2exs., [藤] 沢井栃谷〜[相] 千木良底沢, 2008/05/01(30016・30017); 1ex., [藤] 牧野綱子入口, 2007/09/29(30011); 1ex., [藤] 牧野篠原, 2007/07/31(30010); 1ex., [藤] 牧野小津久, 2007/05/27(30009); 2exs., 2007/10/11(30013・30014); 1ex., 2008/10/02(30019); 1ex., 上大島キャンプ場, 2008/11/01(30020)
- アトボシハムシ *Paridea angulicollis*
2exs., [相] 千木良底沢〜千木良小仏峠, 2007/05/11

- (30021・30022); 1ex., [津] 青根神之川林道, 2008/09/09 (30029); 1ex., [津] 長竹葦尾根志田山, 2008/06/13 (30028); 1ex., [藤] 佐野川下岩～橋詰, 2007/05/16 (30023); 2exs., [藤] 沢井栃谷～〔相〕千木良底沢, 2008/05/01(30026・30027); 2exs., [藤] 牧野綱子, 2007/06/05(30024・30025)
- クロウリハムシ *Aulacophora nigripennis*
1ex., [城] 中沢蓮華院, 2008/06/25 (30040); 1ex., [相] 寸沢嵐小野林道, 2007/10/02 (30036); 1ex., [相] 千木良底沢～千木良小仏峠, 2007/05/11(30031); 1ex., [相] 千木良底沢～沢井栃谷, 2007/05/23 (30034); 1ex., [相] 千木良長尾, 2007/05/09 (30030); 1ex., [津] 青根上青根高瀬野, 2007/05/22 (30033); 1ex., [津] 鳥屋伊勢沢林道, 2007/06/13 (30035); 2exs., [津] 根小屋明日原小倉林道, 2008/05/28 (30037・30038); 1ex., 2008/06/04 (30039); 1ex., 2008/10/03 (30042); 1ex., [藤] 佐野川下岩, 2008/09/25 (30041); 1ex., [藤] 佐野川下岩～橋詰, 2007/05/16 (30032)
- ヨツボシハムシ *Paridea quadriplagiata*
1ex., [津] 根小屋明日原小倉林道, 2008/06/04 (30043)
- キアシヒゲナガアオハムシ *Clerotilia flavomarginata*
1ex., [藤] 牧野奥牧野, 2008/07/29 (30044)
- クロセスジハムシ *Japonitata nigrita*
1ex., [津] 根小屋明日原小倉林道, 2007/06/26 (30045)
- クロバヒゲナガハムシ *Taumacera tibialis*
1ex., [津] 青根神之川林道犬越路下, 2007/08/02 (30046)
- クワハムシ *Fleutiauxia armata*
1ex., [津] 青根神之川林道, 2007/05/08 (30048); 1ex., [津] 鳥屋奥野林道大平, 2007/05/04(30047); 3exs., [津] 根小屋明日原小倉林道, 2008/05/25(30056～30058); 3exs., 2008/06/04(30059～30061); 3exs., [藤] 佐野川下岩～橋詰, 2007/05/16(30049～30051); 1ex., [藤] 日連青田, 2007/05/23(30052); 1ex., [藤] 牧野奥牧野城山, 2008/04/25(30053); 1ex., [藤] 牧野綱子, 2008/05/09 (30055); 1ex., [藤] 牧野小津久, 2008/05/08 (30054)
- ヒゲナガウスバハムシ *Stenoluperus nipponensis*
1ex., [津] 青根神之川林道犬越路下, 2007/08/02 (30062)
- ハラグロヒメハムシ *Calomicrus cyaneus*
2exs., [相] 千木良長尾, 2007/05/09 (30063・30064); 1ex., 2008/05/01 (30066); 1ex., [津] 鳥屋伊勢沢林道, 2007/06/13 (30065); 2exs., 2008/07/02 (30069・30070); 1ex., 2008/07/17 (30071); 1ex., [津] 根小屋明日原小倉林道, 2008/05/28 (30067); 1ex., 2008/06/04 (30068)
- ムナキホソヒゲナガハムシ *Luperus laricis laricis*
1ex., [津] 鳥屋奥野林道大平, 2007/05/04 (30072)
- ウリハムシモドキ *Atrachya menetriesi*
1ex., [藤] 牧野小津久, 2008/07/09 (30073)
- キイロクワハムシ *Monolepta pallidula*
1ex., [藤] 牧野奥牧野城山, 2007/08/01 (30074)
- ホタルハムシ *Monolepta dichroa*
1ex., [藤] 佐野川下岩, 2007/09/26 (30075)
- ムネアカウスイロハムシ *Monolepta kurosawai*
1ex., [相] 千木良長尾, 2008/05/01 (30076)
- キクビアオハムシ *Agelasa nigriceps*
1ex., [相] 寸沢嵐石老山, 2007/04/14 (30077); 3exs., [津] 青根神之川林道犬越路下, 2008/04/29 (30083～30085); 2exs., 2007/05/18 (30080・30081); 1ex., [津] 青根神之川林道松皮沢, 2007/09/05 (30082); 1ex., [津] 鳥屋伊勢沢林道, 2008/07/02 (30086); 1ex., 2008/08/10 (30087); 1ex., [津] 鳥屋奥野林道大平, 2007/05/04 (30079); 1ex., 2007/04/26 (30078)
- ムナグロツヤハムシ *Arthrotus niger*
4exs., [相] 千木良底沢～千木良小仏峠, 2007/05/11 (30091～30094); 1ex., [津] 青根道志第二発電所, 2007/07/19 (30100); 1ex., [津] 青根夫婦園, 2007/05/22 (30097); 1ex., [津] 青根上青根高瀬野, 2007/05/22(30096); 1ex., [津] 青山仙洞寺山林道, 2007/06/20(30098); 1ex., [津] 鳥屋伊勢沢林道, 2007/09/26(30101); 3exs., 2008/06/11(30114～30116); 3exs., 2008/07/02 (30117～30119); 1ex., 2008/07/17(30120); 1ex., [津] 鳥屋奥野林道, 2007/06/26 (30099); 1ex., 2008/04/27 (30105); 1ex., [津] 鳥屋奥野林道大平, 2007/04/26(30088); 1ex., [津] 根小屋明日原小倉林道, 2008/05/28 (30112); 1ex., 2008/06/04 (30113); 1ex., [藤] 佐野川下岩～橋詰, 2007/05/16 (30095); 1ex., [藤] 沢井栃谷～〔相〕千木良底沢, 2008/05/01 (30106); 2exs., [藤] 佐野川和田橋詰飯綱山, 2007/05/11 (30089・30090); 2exs., [藤] 牧野牧馬曲松, 2008/05/16 (30109・30110); 2exs., [藤] 牧野篠原釜ノ沢, 2008/05/09 (30107・30108); 1ex., 2008/05/16(30111); 2exs., [藤] 牧野峰山, 2008/04/22(30102・30103); 1ex., 2008/04/23 (30104)
- ヨツキボシハムシ *Hamushia eburata*
1ex., [相] 寸沢嵐小野林道, 2007/04/12 (30121); 1ex., [津] 鳥屋南山, 2008/04/04 (30122)
- イタドリハムシ *Gallerucida bifasciata*
1ex., [相] 千木良底沢～沢井栃谷, 2007/05/23 (30132); 1ex., [相] 千木良長尾, 2007/03/29 (30125); 3exs., [相] 与瀬明王峠, 2007/04/27 (30129～30131); 2exs., [津] 鳥屋茨菰山, 2007/03/28 (30123・30124); 1ex., 2007/04/11 (30127); 1ex., 2007/04/20 (30128); 1ex., [藤] 佐野川上岩, 2007/04/07 (30126); 1ex., [藤] 牧野牧馬曲松, 2008/04/09 (30133)
- カタクリハムシ *Sangariola punctatostrigata*
1ex., [津] 青根夫婦園, 2008/06/17 (30134)
- フタホシオオノミハムシ *Pseudodera xanthospila*
2exs., [津] 根小屋明日原小倉林道, 2007/06/01 (30135・30136)
- サメハダツブノミハムシ *Apthona strigosa*
1ex., [津] 鳥屋伊勢沢林道, 2008/06/11 (30137)
- ツブノミハムシ *Apthona perminuta*
1ex., [城] 葉山島(相模川川原), 2007/05/03 (30144); 3exs., [津] 青根神之川林道犬越路下, 2008/10/28 (30150～30152); 1ex., [津] 鳥屋茨菰山, 2007/04/20 (30140); 3exs., 2008/04/11 (30145～30147); 3exs., [津] 鳥屋奥野林道大平, 2007/04/26 (30141～30143); 1ex.,

- 〔津〕長竹葦尾根, 2007/04/06 (30139); 1ex., 〔津〕又野, 2007/03/13 (30138); 1ex., 〔藤〕沢井栃谷～〔相〕千木良底沢, 2008/05/01 (30149); 1ex., 〔藤〕牧野奥牧野城山, 2008/04/25 (30148)
- クワノミハムシ *Luperomorpha funesta*
1ex., 〔藤〕牧野綱子, 2008/08/19 (30153)
- トケジホソトビハムシ *Luperomorpha tokejii*
1ex., 〔津〕鳥屋伊勢沢林道, 2008/07/02 (30154)
- ムネアカオオホソトビハムシ *Luperomorpha collaris*
1ex., 〔津〕青野原寺入沢, 2008/04/16 (30155)
- オオキイロマルノミハムシ *Argopus balyi*
1ex., 〔津〕鳥屋伊勢沢林道, 2007/09/26 (30156)
- キバネマルノミハムシ *Hemipyxis flavipennis*
1ex., 〔津〕青根神之川林道犬越路下, 2008/07/03 (30157)
- ヒゲナガルリマルノミハムシ *Hemipyxis plagioderoides*
1ex., 〔藤〕牧野小津久, 2007/05/27 (30158); 1ex., 〔藤〕牧野綱子, 2008/05/09 (30159); 1ex., 〔津〕根小屋明日原小倉林道, 2008/06/04 (30160); 2exs., 〔津〕鳥屋伊勢沢林道, 2008/06/11 (30161・30162)
- オオアカマルノミハムシ *Argopus clypeatus*
1ex., 〔藤〕牧野奥牧野城山, 2008/06/20 (30163)
- タマアシトビハムシ *Philopona vibex*
1ex., 〔藤〕牧野綱子, 2007/04/21 (30164)
- ルリマルノミハムシ *Nonarthra cyanea*
1ex., 〔津〕鳥屋伊勢沢林道, 2007/06/13 (30165); 1ex., 〔津〕鳥屋茨菰山, 2008/04/11 (30166); 1ex., 〔藤〕牧野峰山, 2008/04/23 (30167); 2exs., 〔津〕青根神之川林道犬越路下, 2008/04/29 (30168・30169); 1ex., 〔藤〕沢井栃谷～〔相〕千木良底沢, 2008/05/01 (30170); 1ex., 〔津〕根小屋明日原小倉林道, 2008/06/11 (30171)
- コマルノミハムシ *Nonarthra tibialis*
1ex., 〔津〕長竹葦尾根, 2007/04/06 (30172); 1ex., 〔相〕寸沢嵐石老山, 2007/04/10 (30173); 1ex., 〔津〕青根神之川林道犬越路下, 2007/05/18 (30174); 1ex., 〔藤〕牧野綱子, 2007/05/18 (30175)
- ドウガネツヤハムシ *Oomorphoides cupreatus*
1ex., 〔津〕青根道志第二発電所, 2007/07/19 (30177); 1ex., 〔津〕鳥屋伊勢沢林道, 2007/09/27 (30178); 1ex., 2008/06/11 (30179); 1ex., 〔津〕鳥屋奥野林道大平, 2007/04/26 (30176)
- ハギツツハムシ *Pachybrachis eruditus*
1ex., 〔津〕鳥屋奥野林道, 2007/06/26 (30180)
- バラルリツツハムシ *Cryptocephalus approximatus*
6exs., 〔城〕葉山島(相模川川原), 2007/05/03 (30181～30186); 1ex., 〔津〕青根夫婦園, 2007/06/26 (30187); 1ex., 〔津〕鳥屋伊勢沢林道, 2008/06/11 (30197); 1ex., 〔藤〕沢井栃谷～〔相〕千木良底沢, 2008/05/01 (30188); 5exs., 〔藤〕牧野牧馬曲松, 2008/05/16 (30190～30194); 1ex., 〔藤〕牧野綱子, 2008/05/27 (30196); 1ex., 〔藤〕牧野小津久, 2008/05/15 (30189); 1ex., 2008/05/21 (30195)
- ムナキルリツツハムシ *Smaragdina semiaurantiaca*
1ex., 〔藤〕牧野綱子, 2008/05/09 (30198)
- ヨツボシナガツツハムシ *Clytra arida*
2exs., 〔藤〕佐野川下岩, 2007/07/04 (30199・30200); 2exs., 2007/07/05 (30201・30202); 1ex., 2008/06/27 (30203)
- クロボシツツハムシ *Cryptocephalus signaticeps*
2exs., 〔津〕青根道志第二発電所, 2008/04/25 (30204・30205); 1ex., 〔藤〕牧野小津久, 2008/05/15 (30206)
- ヤツボシツツハムシ *Cryptocephalus japanus*
1ex., 〔藤〕牧野小津久, 2008/05/27 (30207)
- ツツジコブハムシ *Chlamisus laticollis*
2exs., 水郷田名, 2008/09/15 (30208・30209) 川崎香代; 2exs., 水郷田名, 2008/09/19 (30210・30211) 川崎香代
- チャイロサルハムシ *Basilepta balyi*
1ex., 〔津〕青根神之川林道犬越路下, 2007/08/02 (30216); 2exs., 2008/04/29 (30217・30218); 3exs., 〔津〕青根神之川林道, 2007/05/08 (30212～30214); 1ex., 〔津〕鳥屋伊勢沢林道, 2008/07/17 (30219); 1ex., 〔津〕鳥屋早戸川林道, 2007/07/20 (30215)
- ムネアカサルハムシ *Basilepta ruficollis*
1ex., 〔津〕鳥屋奥野林道, 2007/06/26 (30220)
- ドウガネサルハムシ *Scelodonta lewisii*
1ex., 〔藤〕牧野綱子, 2007/06/05 (30221); 2exs., 〔藤〕牧野小津久, 2008/07/09 (30222・30223)
- トビサルハムシ *Trichochrysea japana japana*
1ex., 〔津〕根小屋明日原小倉林道, 2007/06/26 (30228); 1ex., 〔藤〕佐野川下岩, 2008/06/27 (30230); 1ex., 2008/07/01 (30231); 1ex., 〔藤〕佐野川下岩～橋詰, 2007/03/11 (30224); 3exs., 2007/05/16 (30225～30227); 1ex., 〔藤〕牧野小津久, 2007/07/05 (30229)
- ヒメキバネサルハムシ *Pagria signata*
1ex., 〔相〕千木良底沢～千木良小仏峠, 2007/05/11 (30232); 1ex., 〔津〕鳥屋伊勢沢林道, 2008/06/11 (30233); 1ex., 〔相〕寸沢嵐石老山, 2008/07/03 (30234)
- マダラアラゲサルハムシ *Demotina fasciculata*
1ex., 〔相〕千木良赤馬, 2008/05/09 (30235); 1ex., 〔津〕根小屋明日原小倉林道, 2008/06/04 (30236)
- アカガネサルハムシ
Acrothinium gaschkevitchii gasschkevitchii
1ex., 〔津〕青根道志第二発電所, 2008/06/17 (30237)
- リンゴコフキハムシ *Lypesthes ater*
2exs., 〔相〕千木良底沢～沢井栃谷, 2007/05/23 (30238・30239); 2exs., 〔津〕青根道志第二発電所, 2007/05/27 (30240・30241); 1ex., 〔津〕青山仙洞寺山林道, 2007/06/20 (30243); 1ex., 〔津〕鳥屋伊勢沢林道, 2008/06/11 (30246); 1ex., 〔津〕根小屋明日原小倉林道, 2007/06/26 (30244); 1ex., 2008/06/04 (30245); 1ex., 〔藤〕牧野奥牧野城山, 2007/06/12 (30242)
- ヒゲナガゾウムシ科 Anthribidae
- マダラヒゲナガゾウムシ *Opanthribus tessellatus*
1ex., 〔藤〕牧野小津久, 2007/06/01 (30247)
- キノコヒゲナガゾウムシ *Euparius oculatus oculatus*
5exs., 〔藤〕佐野川鎌沢, 2007/10/11 (30248～30252)
- キマダラヒゲナガゾウムシ *Tropideres naevulus*
2exs., 〔藤〕牧野奥牧野日影原, 2007/06/01 (30253・30254); 1ex., 〔藤〕牧野小津久, 2008/05/09 (30255)

シリジロヒゲナガゾウムシ *Androceras flavellicorne*

1ex., [相] 千木良長尾, 2007/05/09 (30256)

シロヒゲナガゾウムシ *Platystomus sellatus*

3exs., [津] 鳥屋奥野林道, 2007/06/13 (30257~30259); 1ex., [藤] 牧野綱子, 2008/06/13 (30260); 1ex., [藤] 牧野奥牧野城山, 2008/09/12 (30261)

エグリバネヒゲナガゾウムシ *Autotropis basipennis*

1ex., [津] 鳥屋奥野林道, 2007/06/26 (30262)

スネアカヒゲナガゾウムシ *Autotropis distinguenda*

1ex., [藤] 牧野綱子, 2008/05/27 (30263)

オトシブミ科 *Attelabidae*

オトシブミ *Apoderus (Apoderus) jekelii*

1ex., [津] 青根神之川林道, 2007/05/08 (30264); 1ex., [津] 鳥屋伊勢沢林道, 2008/07/17 (30265)

セアカヒメオトシブミ *Apoderus (Compsapoderus) geminus*

1ex., [津] 鳥屋早戸川林道, 2007/07/20 (30266); 1ex., [津] 鳥屋伊勢沢林道, 2008/06/11 (30268); 1ex., [藤] 牧野小津久, 2008/05/15 (30267)

ヒメクロオトシブミ

Apoderus (Compsapoderus) erythrogaster

1ex., [相] 寸沢嵐石老山林道, 2007/04/30 (30269); 1ex., [相] 千木良長尾, 2007/05/09 (30270); 1ex., [津] 青根夫婦園, 2007/05/22 (30271); 2exs., [藤] 沢井栃谷~[相] 千木良底沢, 2008/05/01 (30274・30275); 1ex., [藤] 牧野奥牧野城山, 2008/09/12 (30277); 1ex., [藤] 牧野綱子, 2007/06/05 (30272); 1ex., 2008/04/25 (30273); 1ex., [藤] 牧野篠原釜ノ沢, 2008/05/09 (30276)

ウスアカオトシブミ *Apoderus (Leptapoderus) rubidus*

1ex., [津] 青根神之川林道犬越路下, 2007/05/18 (30281); 1ex., [津] 鳥屋奥野林道大平, 2007/05/04 (30280); 2exs., 2007/04/26 (30278・30279); 1ex., [津] 鳥屋早戸川林道, 2007/07/20 (30282)

ウスモンオトシブミ *Apoderus (Leptapoderus) balteatus*

3exs., [相] 寸沢嵐石老山, 2008/07/03 (30290~30292); 1ex., [津] 青根神之川林道, 2007/05/08 (30283); 1ex., [津] 青山仙洞寺山林道, 2007/06/20 (30285); 1ex., [津] 鳥屋伊勢沢林道, 2008/06/11 (30289); 1ex., [津] 鳥屋茨菰山, 2008/07/19 (30293); 2exs., [津] 根小屋明日原小倉林道, 2008/06/04 (30287・30288); 1ex., [藤] 牧野篠原釜ノ沢, 2008/05/09 (30286); 1ex., [藤] 牧野小津久, 2007/05/27 (30284)

ゴマダラオトシブミ

Paroplapoderus (Agomadaranus) pardalis

1ex., [藤] 牧野小津久, 2007/07/02 (30294); 1ex., [津] 青根道志第二発電所, 2008/06/17 (30295); 1ex., [津] 串川明日原, 2008/06/18 (30296)

ヒメコブオトシブミ *Phymatapoderus pavens*

1ex., [津] 青根道志第二発電所, 2007/07/19 (30301); 1ex., [津] 鳥屋伊勢沢林道, 2008/06/11 (30304); 1ex., [津] 根小屋明日原小倉林道, 2008/05/28 (30303); 2exs., [藤] 牧野綱子, 2007/06/05 (30297・30298); 2exs., [藤] 牧野小津久, 2007/07/02 (30299・30300); 1ex., [藤] 牧野峰山, 2008/04/23 (30302)

エゴツルクビオトシブミ *Cynotrachelus roelofsi*

1ex., [津] 青根道志第二発電所, 2007/06/26 (30306); 1ex., 2007/07/19 (30307); 1ex., [津] 青山仙洞寺山林道, 2007/06/20 (30305); 1ex., [藤] 牧野篠原釜ノ沢, 2008/05/09 (30308)

コブルリオトシブミ *Euops (Kobusynaptops) pustulosus*

1ex., [相] 寸沢嵐石老山, 2008/07/03 (30309)

ヒゲナガオトシブミ *Paracynotrachelus longicornis*

1ex., [相] 寸沢嵐石老山林道, 2007/04/30 (30311); 1ex., [相] 千木良底沢~千木良小仏峠, 2007/03/11(30310); 1ex., 2007/05/11 (30313); 2exs., [津] 青根神之川林道犬越路下, 2008/06/06(30323・30324); 1ex., [津] 鳥屋奥野林道, 2008/04/27(30318); 1ex., [津] 鳥屋奥野林道大平, 2007/05/04(30312); 1ex., [津] 三井名手, 2008/07/31 (30325); 1ex., [津] 根小屋明日原小倉林道, 2007/06/26 (30317); 1ex., 2008/05/28(30321); 1ex., 2008/06/04 (30322); 1ex., 21008/5/28(30326); 1ex., [藤] 佐野川下岩~橋詰, 2007/05/16(30314); 1ex., [藤] 沢井栃谷~[相] 千木良底沢, 2008/05/01(30319); 1ex., [藤] 牧野奥牧野城山, 2007/06/07(30316); 1ex., [藤] 牧野駒馬曲松, 2008/05/16(30320); 1ex., [藤] 牧野綱子, 2007/06/05 (30315)

リュニスアシナガオトシブミ *Henicolabus lewisii*

1ex., [藤] 牧野奥牧野城山, 2008/04/25 (30327); 2exs., [津] 青根神之川林道, 2007/05/08 (30328・30329); 1ex., [津] 鳥屋奥野林道, 2007/06/13 (30330)

カシルリオトシブミ *Euops (Synaptops) splendidus*

1ex., [津] 根小屋明日原小倉林道, 2007/06/06 (30331); 1ex., 2008/05/28 (30340); 1ex., 2008/06/04 (30341); 7exs., [藤] 牧野奥牧野城山, 2008/04/25 (30333~30339); 1ex., [藤] 牧野峰山, 2008/04/23 (30332)

ルリオトシブミ *Euops (Synaptops) punctatostratus*

1ex., [藤] 佐野川和田橋詰飯綱山, 2007/05/11 (30342); 1ex., [藤] 牧野小津久, 2007/07/05 (30343)

チョッキリゾウムシ科 *Rhynchitidae*

ファウストハマチョッキリ *Byctiscus (Byctiscus) fausti*

1ex., [津] 青野原寺入沢, 2008/04/16 (30344); 3exs., [藤] 牧野峰山, 2008/04/23 (30345~30347); 1ex., [藤] 牧野綱子, 2008/04/25 (30348)

マルムネチョッキリ *Chonostropheus chujoii*

2exs., [津] 青野原寺入沢, 2008/04/16 (30349・30350); 2exs., [津] 鳥屋奥野林道, 2008/04/27 (30354・30355); 1ex., [藤] 牧野綱子, 2008/04/25 (30353); 1ex., 2008/05/09 (30356); 2exs., [藤] 牧野峰山, 2008/04/23 (30351・30352)

チャイロチョッキリ *Aderorhinus crioceroides*

2exs., [藤] 佐野川下岩, 2007/07/05 (30357・30358); 1ex., [津] 青根夫婦園, 2008/06/17 (30359)

ハイロチョッキリ *Cyllorhynchites ursulus*

1ex., [藤] 佐野川下岩倉子峠, 2008/07/16 (30360)

ルリホソチョッキリ *Eugnamptus (Eugnamptus) amurensis*

1ex., [津] 青根神之川林道犬越路下, 2008/07/03 (30361)

カシルリチョッキリ *Rhodocyrtus assimilis*

1ex., [津] 青野原寺入沢, 2008/04/16 (30362)

ヒメケブカチョッキリ *Involvulus (Involvulus) pilosus*

- 1ex., [藤] 沢井栃谷～〔相〕千木良底沢, 2008/05/01 (30363)
- ホソクチゾウムシ科 Apionidae
- ヒゲナガホソクチゾウムシ *Pseudopiezotrachelus placidum*
1ex., [津] 鳥屋伊勢沢林道, 2008/09/27 (30364)
- オサゾウムシ科 Dryophthoridae
- オオゾウムシ *Sipalinus gigas*
1ex., [津] 青根いやしの湯, 2008/07/30 (30368); 1ex., [津] 青根神之川林道, 2007/06/21 (30370); 1ex., 2008/07/25 (30367); 1ex., 2008/08/06 (30369); 1ex., [津] 青根神之川林道後坂橋, 2006/07/26 (30365); 1ex., [津] 鳥屋奥野林道, 2007/06/13 (30373); 2exs., [津] 鳥屋早戸川林道, 2007/07/20 (30371・30372); 1ex., [津] 長竹葦根志田山, 2008/07/05 (30366)
- ゾウムシ科 Curculionidae
- ナカスジカレキゾウムシ *Acicnemis suturalis*
1ex., [藤] 牧野綱子, 2008/06/06 (30374)
- マツアアナキゾウムシ *Hyllobius (Callirus) haroldi*
1ex., [藤] 沢井栃谷, 2007/05/23 (30375)
- クリアアナキゾウムシ *Pimelocerus exs.culptus*
1ex., [津] 青根神之川林道犬越路下, 2007/05/18 (30376)
- ホソアアナキゾウムシ *Pimelocerus elongatus*
1ex., [藤] 沢井栃谷, 2007/05/23 (30377)
- マダラアシゾウムシ *Ectatorhinus adamsii*
1ex., [藤] 牧野綱子, 2008/05/09 (30378)
- シロオビアカアシナガゾウムシ *Merus nipponicus*
1ex., [藤] 沢井栃谷～〔相〕千木良底沢, 2008/05/01 (30379)
- ホホジロアシナガゾウムシ *Merus erro*
1ex., [藤] 牧野篠原釜ノ沢, 2008/05/09 (30380); 1ex., [藤] 牧野小津久, 2008/05/09 (30381)
- オジロアシナガゾウムシ
Ornatacides (Mesalcidodes) trifidus
1ex., [城] 中沢蓮華院, 2008/06/25 (30385); 2exs., [津] 青根夫婦園, 2006/06/24 (30382・30383); 1ex., [津] 長竹葦根志田山, 2008/07/17 (30389); 1ex., [藤] 佐野川下岩倉子峠, 2008/07/16 (30388); 1ex., [藤] 牧野篠原, 2008/06/20 (30384); 1ex., [藤] 牧野小津久, 2008/07/09 (30386); 1ex., 田名望地, 2008/07/12 (30387) 川崎香代
- マツキボシゾウムシ *Pissodes nitidus*
1ex., [藤] 牧野綱子, 2007/04/21 (30390)
- カツオゾウムシ *Lixus impressiventris*
1ex., [津] 青根神之川林道松皮沢, 2007/09/05 (30391); 1ex., [藤] 牧野綱子, 2008/05/09 (30392)
- アシナガオニゾウムシ *Gasterocercus longipes*
1ex., [津] 根小屋明日原小倉林道, 2007/06/26 (30393); 1ex., [藤] 牧野綱子, 2008/06/13 (30394); 4exs., [藤] 佐野川鎌沢登里, 2008/06/18 (30395～30398)
- イチゴハナゾウムシ *Anthonomus (Anthonomus) bisignifer*
1ex., [津] 青根道志第二発電所, 2007/06/26 (30401); 1ex., [津] 鳥屋伊勢沢林道, 2008/06/11 (30402); 1ex., [津] 鳥屋奥野林道大平, 2007/05/04 (30400); 1ex., 2007/04/26 (30399)
- クロナガハナゾウムシ *Bradybatus sharpi*
1ex., [津] 青根神之川林道犬越路下, 2008/04/29 (30403); 1ex., [藤] 沢井栃谷～〔相〕千木良底沢, 2008/05/01 (30404)
- ヘリアカナガハナゾウムシ *Bradybatus limbatus*
2exs., [藤] 沢井栃谷～〔相〕千木良底沢, 2008/05/01 (30405・30406)
- クロシギゾウムシ *Curculio distinguendus*
1ex., [藤] 佐野川下岩, 2007/06/12 (30407)
- イヌビワシギゾウムシ *Curculio funebris*
1ex., [藤] 佐野川下岩～橋詰, 2007/05/11 (30408); 1ex., [藤] 佐野川下岩, 2007/09/26 (30409)
- エゴシギゾウムシ *Curculio styracis*
1ex., 田名望地, 2008/05/19 (30410) 川崎香代
- クリシギゾウムシ *Curculio sikkimensis*
2exs., [藤] 佐野川下岩, 2007/09/26 (30411・30412)
- ハラグロノコギリゾウムシ *Ixalma nigriventris*
1ex., [津] 青根道志第二発電所, 2007/05/27 (30413); 1ex., [津] 鳥屋奥野林道, 2008/04/27 (30414)
- カミヤコバンゾウムシ *Miarus kamiyai*
1ex., [藤] 牧野小津久, 2008/05/15 (30415); 1ex., 2008/05/21 (30416)
- シラホシヒメゾウムシ *Anthinobaris dispilota*
1ex., [津] 青根神之川林道, 2007/07/24 (30417); 4exs., [津] 青根神之川林道犬越路下, 2007/08/02 (30418～30421)
- キイチゴトゲサルゾウムシ *Scleropteroides hypocrita*
1ex., [津] 鳥屋奥野林道大平, 2007/04/26 (30422); 1ex., [津] 根小屋明日原小倉林道, 2008/06/04 (30423)
- ヤサイゾウムシ *Listroderes costirostris*
1ex., [相] 寸沢嵐小野林道, 2007/10/02 (30424); 1ex., 水郷田名, 2008/11/13 (30425) 川崎香代
- ケブカヒメカタゾウムシ *Arrhaphogaster pilosa*
1ex., [藤] 牧野峰山, 2008/04/22 (30426); 1ex., [津] 根小屋明日原小倉林道, 2008/06/04 (30427); 1ex., [相] 寸沢嵐石老山, 2008/07/03 (30428)
- ケブカクチプトゾウムシ *Myllocerus fumosus*
1ex., [藤] 佐野川和田橋詰飯綱山, 2007/05/11 (30429); 1ex., [藤] 佐野川下岩～橋詰, 2007/05/16 (30430)
- オオクチプトゾウムシ *Myllocerus variabilis*
1ex., [藤] 佐野川下岩倉子峠, 2008/07/16 (30431); 1ex., [津] 青根神之川林道, 2008/07/25 (30432)
- トゲアシククチプトゾウムシ *Anosimus decoratus*
1ex., [藤] 牧野小津久, 2007/06/03 (30433)
- カシワクチプトゾウムシ *Myllocerus griseus*
1ex., [相] 千木良底沢～千木良小仏峠, 2007/05/11 (30434); 2exs., [津] 青根神之川林道犬越路下, 2008/07/03 (30442.30443); 2exs., [津] 鳥屋伊勢沢林道, 2008/06/11 (30439・30440); 1ex., 2008/06/12 (30441); 2exs., [津] 根小屋明日原小倉林道, 2008/06/04 (30437・30438); 2exs., [藤] 牧野綱子, 2008/05/09 (30435・30436)
- ヒメシロコブゾウムシ *Dermatoxenus caesicollis*
6exs., [藤] 牧野奥牧野日影原, 2007/06/01 (30444～30449); 1ex., [藤] 牧野綱子, 2008/05/23 (30450)

Phyllobius sp.

1ex., 二本松二丁目, 2007/05/16 (30451) 原きよ子
シロコブゾウムシ *Episomus turritus*
1ex., [相] 寸沢嵐小野林道, 2007/10/02 (30452); 1ex.,
[津] 青根道志第二発電所, 2008/06/17 (30453); 1ex.,
[藤] 牧野篠原, 2008/06/20 (30454); 1ex., [藤] 牧野
小津久, 2008/07/09 (30455)

コブヒゲボソゾウムシ

Phyllobius (Nipponophyllobius) picipes

1ex., [津] 鳥屋奥野林道大平, 2007/05/04 (30456);
1ex., [藤] 牧野峰山, 2008/04/23 (30457)

ヒラズネヒゲボソゾウムシ

Phyllobius (Phyllobius) intrusus

1ex., [津] 青根道志第二発電所, 2007/05/27 (30459);
2exs., [津] 青野原西沢, 2008/05/27 (30460・30461);
1ex., [津] 鳥屋伊勢沢林道, 2008/07/17 (30469); 1ex.,
[津] 鳥屋奥野林道大平, 2007/04/26 (30458); 4exs.,
[藤] 佐野川鎌沢登里, 2008/06/18 (30465~30468);
3exs., [藤] 牧野綱子, 2008/06/13 (30462~30464)

リングヒゲナガゾウムシ

Phyllobius (Metaphyllobius) longicornis

1ex., [藤] 佐野川鎌沢登里, 2008/06/18 (30470); 1ex.,
[津] 青根神之川林道, 2008/06/24 (30471); 2exs.,
[城] 中沢蓮華院, 2008/06/25 (30472・30473)

コフキゾウムシ *Eugnathus distinctus*

1ex., [城] 葉山島(相模川川原), 2007/05/03 (30474);
1ex., [城] 中沢蓮華院, 2008/06/25 (30498); 3exs.,
[相] 寸沢嵐小野林道, 2007/10/02 (30485~30487); 1ex.,
[津] 青根神之川林道, 2008/09/09 (30506); 1ex., [津]
青根道志第二発電所, 2008/06/17 (30497); 3exs., [津]
青根夫婦園, 2007/05/22 (30476~30478); 1ex., 2007/
06/26 (30479); 1ex., [津] 青根神之川林道, 2007/05/
08 (30475); 1ex., [津] 鳥屋伊勢沢林道, 2008/07/12
(30501); 1ex., [津] 根小屋明日原小倉林道, 2008/06/
04 (30496); 1ex., [藤] 佐野川下岩, 2008/07/01 (304
99); 2exs., [藤] 牧野篠原, 2007/07/31 (30482・3048
3);
1ex., 2007/08/07 (30484)
; 2exs., [藤] 牧野小津久, 2007/07/05 (30480・3048
1); 6exs., 2008/05/08 (30488~30493); 2exs., 2008/
05/15 (30494・30495); 1ex., 2008/07/09 (30500); 2exs.,
2008/07/23 (30502・30503); 2exs., 2008/08/07 (3050
4・30505)

ハダカヒゲボソゾウムシ

Phyllobius (Phyllobius) subnudus

1ex., [津] 青根神之川林道犬越路下, 2007/06/20 (30
512); 2exs., 2008/07/03 (30513・30514); 3exs., [津]
青根夫婦園, 2007/05/22 (30509~30511); 1ex., [津]
青根上青根高瀬野, 2007/05/22 (30508); 1ex., [津]
鳥屋奥野林道大平, 2007/05/04 (30507)

リングヒゲボソゾウムシ *Phyllobius longicornis*

1ex., [相] 千木良底沢~千木良小仏峠, 2007/05/11
(30518); 5exs., [相] 千木良底沢~沢井栃谷, 2007/05
/23 (30519~30523); 3exs., [相] 千木良長尾, 2007/0
5/09 (30515~30517); 1ex., [津] 青根神之川林道犬越

路下, 2008/07/03 (30525); 1ex., 2007/08/02 (30524)

ツノヒゲボソゾウムシ *Phyllobius incomptus*

1ex., [津] 青根上青根高瀬野, 2007/05/22 (30526);
1ex., [藤] 牧野綱子, 2008/04/25 (30527)

ホソクチカクシゾウムシ *Camptorhinus notabilis*

1ex., [津] 青根神之川林道犬越路下, 2008/06/06 (30
528)

オオアオゾウムシ *Chlorophanus grandis*

1ex., [藤] 牧野奥牧野日影原, 2007/06/01 (30529)

サビヒョウタンゾウムシ *Scepticus griseus*

1ex., [藤] 牧野牧馬曲松, 2008/05/16 (30530); 2exs.,
[藤] 牧野小津久, 2008/05/21 (30531・30532)

ナガキクイムシ科 **Platypodidae**ヤチダモノナガキクイムシ *Crossotarsus niponicus*

6exs., [藤] 牧野綱子, 2008/06/13 (30533~30538);
1ex., [藤] 佐野川鎌沢登里, 2008/06/18 (30539)

シリアゲムシ目 Mecoptera

シリアゲムシ科 **Panorpidae**キシタトゲシリアゲ *Panorpa fulvicaudaris*

1♂, [津] 鳥屋伊勢沢林道, 2008/06/11 (31343); 1♀,
[津] 青野原西沢, 2008/05/27 (31344); 1♀ 1♂, [相]
寸沢嵐小野林道, 2007/04/12 (3133631337); 1♀, [相]
与瀬明王峠, 2007/04/27 (31338); 1♂, [藤] 牧野峰
山, 2008/04/22 (31339)

ミスジシリアゲ *Panorpa trizonata*

1♀, [津] 鳥屋伊勢沢林道, 2007/09/25 (31340)

ヤマトシリアゲ *Panorpa japonica*

1♂, [津] 青根神之川林道, 2006/05/25 (31341); 1♂,
[藤] 沢井栃谷, 2006/05/25 (31341)

ハエ目 Diptera

ガガンボ科 **Tipulidae**ベッコウガガンボ *Dictenidia pictipennis fasciata*

1ex., [津] 中野川坂, 2007/05/22 (30540)

スネブトクチヒゲガガンボ *Ctenophora nohirae*

1ex., [津] 青根いやしの湯, 2008/07/30 (31345)

ハルカ科 **Cramptonomyiidae**ハマダラハルカ *Haruka elegans*

1ex., [藤] 牧野牧馬曲松, 2007/03/28 (30541); 1ex.,
[津] 鳥屋茨菰山, 2007/04/11 (30542); 1♀ 1♂, [津]
青野原西沢, 2008/04/13 (31333・31334)

コガシラアブ科 **Philopotidae**シバカワコガシラアブ *Nipponocyrtus shibakawae*

1ex., [藤] 栃谷~ [相] 千木良底沢, 2008/05/01 (30
543)

ツリアブ科 **Bombyllidae**クロバネツリアブ *Ligyra tantalus*

1ex., [津] 葦尾根志田山朝日寺, 2008/07/17 (30544)

ビロウドツリアブ *Bombylius major*

1ex., [津] 葦尾根, 2007/03/13 (30545); 1ex., [津]
鳥屋茨菰山, 2007/04/05 (30546); 1ex., [相] 寸沢嵐
石老山, 2007/04/10 (30547)

ムシヒキアブ科 Asilidae

シオヤアブ *Promachus yesonicus*

1ex., [城] 川尻, 2006/07/12 (31335)

ハナアブ科 Syrphidae

ヨコジマオオヒラタアブ *Dideoides latus*

1ex., [津] 鳥屋早戸川林道, 2007/07/20 (31346)

ホソヒラタアブ *Episyrphus balteatus*

1ex., [津] 鳥屋, 2006/09/15 (30548); 1ex., [津] 青根神之川林道, 2006/10/26 (30549)

キタヒメヒラタアブ *Sphaerophria philanthus*

1ex., [相] 千木良長男, 2007/05/15 (31347)

ツマグロコシボソハナアブ *Allobaccha apicalis*

1ex., [藤] 佐野川下岩倉子峠, 2008/06/27 (30550)

ミバエ科 Tephritidae

ハルササハマダラミバエ *Paragastrozona japonica*

2♂2♀, [津] 青根神之川林道犬越路下, 2008/06/06 (31348~31351)

クロホソスジハマダラミバエ *Philophylla fossata*

1ex., [津] 根小屋明日原小倉林道, 2008/06/25 (30551)

チョウ目 Lepidoptera

セセリチョウ科 Hesperiidae

ダイミョウセセリ *Daimio tethys tethys*

1ex., [津] 青根道志第二発電所, 2006/07/25(30552); 1♀, 2007/05/27(30553); 1♂, [津] 鳥屋奥野林道, 2007/09/14 (30554); 1ex., [津] 根小屋明日原小倉林道, 2008/06/04 (30555)

ミヤマセセリ *Erynnis montanus*

2♂, [相] 寸沢嵐小野林道, 2007/04/12 (30563・30564); 1♀, [相] 寸沢嵐石老山林道, 2007/04/10 (30562); 1♀, 2007/04/30 (30566); 1♂, [津] 鳥屋茨菰山, 2007/04/20 (30565); 2♀, [津] 鳥屋松茸山登山口, 2006/05/12 (30556・30557); 1♂, [藤] 佐野川倉子峠, 2008/04/03 (30567); 3♂1♀, [藤] 牧野牧馬曲松, 2007/03/28 (30558~30561); 2♀, [藤] 牧野峰山, 2008/04/22 (30568・30569)

ギンイチモンジセセリ *Leptalina unicolor*

2♂4♀, 大島神沢, 2006/09/03 (30570~20575)

コチャバナセセリ *Thoressa varia*

1♀, [藤] 牧野奥牧野城山, 2007/06/27 (30576)

キマダラセセリ *Potanthus flavus flavus*

2♀, [津] 青根道志第二発電所, 2006/06/24 (30577・30578); 1ex., 2006/07/25 (30579); 2♂, 大島神沢, 2006/09/03 (30580・30581); 2exs., [藤] 牧野小津久, 2008/07/09 (30582・30583)

ヒメキマダラセセリ *Ochlodes ochraceus*

2♂, [相] 千木良底沢美女谷, 2006/08/31 (30590・30591); 1♂, [津] 青根神之川林道松皮沢, 2007/09/05 (30597); 2♂, [津] 青根夫婦園, 2006/05/25 (30584・30585); 2♂1♀, [津] 鳥屋奥野林道, 2007/06/29 (30593~30595); 1♀, [津] 鳥屋茨菰山, 2007/08/09 (30596); 2♀, [津] 青根道志第二発電所, 2006/06/24 (30586・30587); 2♂, 2006/08/10 (30588・30589); 1♂, 2007/05/27 (30592); 1♀, [藤] 牧野奥牧野城山, 200

7/09/12 (30598); 1♂, [藤] 牧野舟久保, 2008/08/19 (30599)

ヘリグロチャバナセセリ *Thymelicus sylvaticus sylvaticus*

3exs., [藤] 牧野小津久, 2008/07/09 (30600~30602); 1ex., 2008/07/11 (30603); 3exs., 2008/07/23 (30604~30606)

ホソバセセリ *Isoteinon lamprospilus lamprospilus*

1ex., [津] 青根道志第二発電所, 2006/07/25 (30607)

オオチャバナセセリ *Polytremis pellucida pellucida*

1ex., [藤] 日連青田, 2008/07/01 (30608); 3exs., [藤] 牧野小津久, 2008/07/09 (30609~30611)

チャバナセセリ *Pelopidas mathias oberthueri*

1♀, [津] 鳥屋伊勢沢林道, 2007/10/04 (30612)

イチモンジセセリ *Parnara guttata guttata*

1♂, [津] 青根神之川林道松皮沢, 2007/09/05 (30613);

1♂, [津] 鳥屋早戸川林道魚止, 2007/10/12 (30614);

1♂1♀, [藤] 牧野小津久, 2008/08/19 (30615・30616)

アゲハチョウ科 Papilionidae

ウスバアゲハ *Parnassius glacialis*

1♂, [城] 葉山島, 2007/05/03 (30626); 2♂1♀, [相]

千木良長尾, 2007/05/09 (30627~30629); 2♂, [相]

与瀬明王峠, 2007/04/27 (30624・30625); 2♂2♀,

[津] 青根, 2006/05/25 (30619~30622); 2♂, [津]

鳥屋松茸山登山口, 2006/05/12 (30617・30618); 1♂,

[藤] 上小淵, 2007/04/15 (30623); 1♀, [藤] 牧野奥

牧野日影原, 2008/05/21 (30632); 1♂, [藤] 佐野川

鎌沢, 2007/05/11 (30630); 1♀, [藤] 牧野小津久, 2

008/05/08 (30631)

ギフチョウ *Luehdorfia japonica*

1ex., (写真) [津] 鳥屋南山, 2007/04/01 (30633) 川崎香代

アオスジアゲハ *Graphium sarpedon nipponum*

2♀, [城] 久保沢2丁目, 2006/10/11 (30638・30639);

1♀, [城] 八幡神社(中央公園), 2007/10/24 (30642);

2♂, [城] 中沢峯の薬師, 2006/07/26 (30636・30637);

2♂, [津] 青根夫婦園, 2006/05/25 (30634・30635);

1♀, [津] 青根道志第二発電所, 2007/05/27 (30641);

1♂, [藤] 日連青田, 2007/05/23 (30640)

ジャコウアゲハ *Byasa alcinous alcinous*

1♀, [津] 長竹葦尾根志田山, 2008/06/13 (30648); 2

♂, [津] 青根道志第二発電所, 2007/05/27 (30643・30644); 1♂, [津] 根小屋明日原小倉林道, 2008/05/28

(30647); 1♀, [藤] 牧野小津久, 2007/05/27 (30645);

1♂, [藤] 牧野綱子, 2007/06/05 (30646)

アゲハ(ナミアゲハ) *Papilio xuthus*

1♂, [津] 鳥屋鳥居原~南山, 2008/04/04 (30651); 1

♂, [藤] 佐野川倉子峠, 2008/04/03 (30650); 1♀,

[藤] 牧野綱子, 2007/07/27 (30649)

キアゲハ *Papilio machaon hippocrates*

1♂, [相] 千木良長尾, 2007/05/29 (30652)

モンキアゲハ *Papilio polytes*

2♂, [津] 三井名手, 2006/08/02 (30653・30654); 1

♂1♀, [津] 根小屋明日原小倉林道, 2008/05/28 (30655・30656)

オナガアゲハ *Papilio macilentus*

1♀, [相] 千木良底沢～ [藤] 栃谷, 2007/05/23 (30665); 2♀, [津] 青根, 2006/05/25 (30661・30662); 4♂, [津] 鳥屋松茸山登山口, 2006/05/12 (30657～30660); 1♂, [津] 青根道志第二発電所, 2006/07/25 (30663); 1♀, [津] 根小屋明日原小倉林道, 2008/06/04 (30666); 1♂, [藤] 佐野川下岩～鎌沢, 2007/05/16 (30664)

クローゲハ *Papilio protenor demetrius*

1♂, [相] 千木良五本松, 2007/08/07 (30667)

カラスアゲハ *Papilio dehaanii dehaanii*

2♂, [城] 中沢峯の薬師, 2006/07/26 (30669・30670); 1♀, [津] 鳥屋奥野林道, 2007/08/14 (30672); 1♂, 2007/09/08 (30673); 1♂1♀, 2008/08/10 (30676・30677); 1♂, [津] 青根道志第二発電所, 2006/07/25 (30668); 1♂, [藤] 沢井栃谷, 2007/05/23 (30671); 1♀, [藤] 牧野綱子, 2008/05/09 (30674); 1♂, [藤] 牧野篠原釜ノ沢, 2008/05/23 (30675)

ナガサキアゲハ *Papilio memnon thunbergii*

2♂, [城] 川尻, 2006/07/12 (30678・30679); 1♀, 二本松2丁目, 2007/09/04 (30680); 4♂, [藤] 佐野川鎌沢, 2007/10/11 (30681～30684); 1♀, 2008/09/25 (30685)

ミヤマカラスアゲハ *Papilio maackii*

1♂, [津] 青根神之川林道, 2008/08/06 (30691); 1♂, 2008/09/09 (30692); 1♂, [津] 青根神之川林道日陰沢, 2007/08/02 (30687); 1♀, [津] 長竹葦尾根志田山, 2008/06/13 (30688); 1♂, [津] 青根道志第二発電所, 2006/07/25 (30686); 1♀, [藤] 佐野川倉子峠, 2008/07/16 (30689); 1♂, [藤] 牧野綱子, 2008/07/30 (30690)

シロチョウ科 *Pieridae*

キチョウ *Eurema hecabe hecabe*

1♂, [相] 寸沢嵐小野林道, 2007/10/02 (30706); 5♂, [津] 青山青山貯水池, 2007/11/14 (30711～30715); 1♂, 2007/11/22 (30716); 2♀, [津] 神之川林道, 2006/10/03 (30703・30704); 2♂, [津] 鳥屋奥野林道, 2006/07/22 (30695・30696); 1♂, 2008/11/26 (30722); 1♂, [津] 三ヶ木道志新田, 2007/11/14 (30710); 2♂1♀, 2007/11/22 (30717～30719); 2♀, [津] 青根道志第二発電所, 2006/06/24 (30693・30694); 2♀, 2006/08/10 (30697・30698); 2♀, 2006/09/29 (30701・30702); 2♀, [藤] 沢井, 2006/08/24 (30699・30700); 1♂, [藤] 牧野牧馬曲松, 2007/03/28 (30705); 2♂1♀, [藤] 牧野小津久藤野温泉病院, 2007/11/09 (30707～30709); 2♂, [藤] 牧野小津久, 2008/10/29 (30720・30721)

モンキチョウ *Colias erate poliographus*

2♂3♀, [城] 久保沢2丁目, 2006/10/11 (30739～30743); 1♂, [相] 与瀬橋沢, 2007/04/15 (30759); 2♀, [津] 青根, 2006/05/25 (30723・30724); 2♂, [津] 青根荒丸, 2006/09/29 (30737・30738); 2♂, [津] 青根橋津原, 2006/10/12 (30744・30745); 2♂, [津] 青野原下原, 2006/10/12 (30746・30747); 3♀, [津] 青山青山貯水池, 2006/06/24 (30728～30730); 2♂, [津] 長竹葦尾根東京農工大農場, 2006/10/19 (30748・3074

9); 1♂2♀, [津] 鳥屋鳥居原～道場, 2006/11/10 (30754～30756); 1♂, [津] 鳥屋茨菰山, 2008/04/16 (30766); 3♂, [津] 鳥屋松茸山登山口(奥野口), 2006/06/07 (30725～30727); 4♀, [津] 青根道志第二発電所, 2006/06/24 (30731～30734); 2♂, [藤] 佐野川下岩, 2008/09/25 (30768・30769); 2♀, [藤] 沢井栃谷, 2007/03/08 (30757・30758); 2♂1♀, [藤] 牧野馬本, 2006/10/25 (30751～30753); 2♂, [藤] 牧野小津久藤野温泉病院, 2007/11/09 (30764・30765); 1♂, [藤] 牧野綱子, 2007/04/21 (30760); 1♀, [藤] 牧野奥野野日影原, 2006/10/25 (30750); 1♂2♀, [藤] 佐野川上河原～下岩, 2007/10/11 (30761～30763); 1♂, [藤] 牧野牧馬曲松, 2008/05/16 (30767); 2♀, [藤] 牧野菅井, 2006/07/25 (30735・30736)

スジボソヤマキチョウ *Gonepteryx aspasia nipponica*

1♂, [藤] 牧野小津久, 2008/10/29 (30770)

スジグロシロチョウ *Pieris melete melete*

1♂, [津] 鳥屋伊勢沢林道, 2008/08/08 (30783); 2♀, [津] 又野又野公園, 2006/06/14 (30771・30772); 4♂4♀, [津] 青根道志第二発電所, 2006/06/24 (30773～30780); 1♀, [藤] 佐野川上河原～下岩, 2007/10/11 (30781); 1♂, [藤] 牧野牧馬曲松, 2008/04/09 (30782)

エゾスジグロシロチョウ *Pieris napi nesis*

1♀, [津] 青根神之川林道, 2007/05/08 (30785); 1♂, [津] 青野原寺入沢, 2008/04/16 (30786); 1♀, [藤] 牧野綱子, 2007/04/21 (30784)

モンシロチョウ *Pieris rapae crucivora*

2♂, [津] 串川長竹葦尾根, 2007/03/13 (30787・30788); 1♂, [藤] 牧野小津久藤野温泉病院, 2007/11/09 (30789); 1♀, 田名望地, 2008/04/25 (30790) 川崎香代

ツマキチョウ *Anthocharis scolymus*

1♂, [相] 千木良小仏峠, 2007/03/28 (30797); 1♂, [相] 寸沢嵐小野林道, 2007/04/12 (30798); 1♂1♀, [相] 寸沢嵐石老山林道, 2007/04/30 (30799・30800); 2♂4♀, [津] 鳥屋松茸山登山口, 2006/05/12 (30791～30796); 2♂, [藤] 牧野奥野野前川橋, 2008/04/25 (30801・30802); 1♂, [藤] 沢井栃谷, 2008/05/01 (30803)

シジミチョウ科 *Lycaenidae*

ムラサキシジミ *Narathura japonica japonica*

2♀, [城] 川尻中央公園, 2006/08/02 (30806・30807); 2♂, [城] 中沢峯の薬師, 2006/07/14 (30804・30805); 2♀, [城] 中沢蓮華院, 2008/07/01 (30834・30835); 1♂, [相] 寸沢嵐小野林道, 2007/11/21 (30830); 1♀, [津] 青山仙洞寺山, 2007/06/20 (30812); 1♂, [津] 鳥屋伊勢沢林道, 2008/08/08 (30836); 1♀, [津] 鳥屋奥野林道, 2007/06/29 (30813); 1♂, [津] 根小屋城山公園, 2007/11/08 (30829); 2♀, [津] 三井名手, 2006/08/25 (30808・30809); 1♀, [津] 根小屋明日原小倉林道, 2008/06/25 (30832); 1♀, [藤] 牧野小津久, 2007/06/19 (30811); 2♂4♀, 2007/07/03 (30814～30819); 1♂4♀, 2007/07/05 (30820～30824); 1♂, 2007/07/31 (30825); 1♀, 2007/10/11 (30827); 1♀, [藤] 牧野峰山, 2008/04/23 (30831); 1♀, [藤] 佐野川下岩, 2007/08/03 (30826); 1♀, 2008/06/27 (30833);

- 1♀, [藤] 佐野川下岩～鎌沢, 2007/05/16 (30810); 1♀, [藤] 佐野川鎌沢登里, 2007/10/25 (30828); 1♀, [藤] 牧野小津久, 2008/08/19 (30837); 1♀, 上大島上大島キャンプ場, 2008/11/01 (30838)
- ウラゴマダランジミ *Artopoetes pryeri*
1♂, [津] 鳥屋伊勢沢林道, 2007/06/13 (30839); 1♀, [津] 青根夫婦園, 2007/06/19 (30840); 1♀, [津] 串川明日原, 2008/06/18 (30845); 1♂1♀, [津] 長竹萑尾根志田山, 2008/06/13 (30842・30843); 1♀, 2008/06/15 (30844); 1♀, [藤] 牧野奥牧野城山, 2007/06/19 (30841)
- ムラサキツバメ *Narathura bazalus turbata*
1♂, 田名望地, 2007/11/23 (30846) 川崎香代
- アカシジミ *Japonica lutea lutea*
2♂3♀, [津] 長竹萑尾根志田山, 2008/06/15 (30847～30851); 1♀, [藤] 牧野小津久, 2008/06/20 (30852)
- ウラナミアカシジミ *Japonica saepstriata saepstriata*
1♀, [津] 長竹萑尾根志田山, 2008/06/15 (30857); 1♀, [藤] 牧野小津久, 2007/07/05 (30856); 1♂, [藤] 牧野奥牧野城山, 2007/06/19 (30853); 1♀, 2007/07/03 (30855); 1♂, [藤] 佐野川下岩, 2007/06/22 (30854); 1♀, [藤] 牧野小津久, 2008/06/20 (30858)
- ミズイロオナガシジミ *Antigius attilia attilia*
1ex., [津] 長竹萑尾根志田山, 2008/06/18 (30860); 1♀, 2008/07/17 (30861); 1♀, [藤] 牧野奥牧野城山, 2007/06/22 (30859); 1♀1ex., [藤] 佐野川下岩, 2008/07/27 (30862・30863)
- オオミドリシジミ *Favonius orientalis*
1♀, [津] 青根道志第二発電所, 2007/07/20 (30866); 2♀, [藤] 日連青田, 2008/07/01 (30868・30869); 1♀, [藤] 牧野小津久, 2007/07/03 (30864); 1♀, [藤] 佐野川下岩, 2007/07/05 (30865); 1♂, 2008/06/27 (30867)
- コツバメ *Callophrys ferrea*
1♀, [津] 鳥屋奥野林道大平, 2007/04/26 (30870); 2♂, [津] 青野原西沢, 2008/04/15 (30871・30872); 1♀, [藤] 牧野篠原釜ノ沢, 2008/05/23 (30873)
- トラフシジミ *Rapala arata*
1♀, [相] 寸沢嵐石老山林道, 2007/04/30 (30875); 1♀, [津] 青根神之川林道, 2007/05/08 (30876); 1♀, 2007/08/02 (30878); 1♀, 2008/07/25 (30879); 1♀, [津] 鳥屋奥野林道大平, 2007/04/26 (30874); 1ex., [藤] 牧野小津久, 2007/05/11 (30877)
- ゴイシジミ *Taraka hamada hamada*
1♂, [津] 鳥屋茨菰山, 2007/08/09 (30880); 1♂, [藤] 牧野奥牧野城山, 2007/09/12 (30881); 4exs., 2008/10/02 (30882～30885)
- ベニシジミ *Lycaena phlaeas daimio*
3♂1♀, [相] 寸沢嵐小野林道, 2007/04/12(30891～30894); 1♂, 2007/10/02 (30895); 1♀, 2007/11/21 (30897); 2♀, [津] 青山青山野水池, 2006/06/23 (30886・30887) 加藤房郎; 2♂, [津] 青根道志第二発電所, 2006/06/24 (30888・30889); 1♂1♀, [藤] 上小淵, 2008/10/20 (30902・30903); 1♀, [藤] 沢井栃谷, 2008/05/01 (30898); 1♂, [藤] 牧野牧馬曲松, 2007/03/28 (30890); 1♀, [藤] 牧野小津久藤野温泉病院, 2007/11/09 (30896); 1♂, [藤] 牧野小津久, 2008/07/09 (30999); 1♂, 2008/09/17 (30900); 1♀, 2008/10/02 (30901)
- ウラナミシジミ *Lampides boeticus*
1♀, [津] 青根神之川林道エビラ沢, 2007/10/05 (30905); 1♂, [津] 鳥屋伊勢沢林道, 2007/10/03 (30904); 1♀, [津] 鳥屋早戸川林道魚止, 2007/10/12 (30906); 1♂, [藤] 小淵上小淵～中小淵, 2008/10/29 (30910); 1♂1♀, [藤] 牧野小津久藤野温泉病院, 2007/11/09 (30907・30908); 1♀, [藤] 牧野小津久, 2008/10/02 (30909)
- ヤマトシジミ *Zizeeria maha argia*
1♀, [城] 葉山島, 2007/05/03 (30936); 3♂4♀, [相] 寸沢嵐小野林道, 2007/04/12 (30925～30931); 1♂, 2007/10/02 (30938); 1♂, 2007/11/21 (30949); 1♀, [相] 千木良底沢～与瀬明王峠, 2007/10/03 (30939); 1♀, [津] 青根神之川林道, 2007/10/12 (30941); 1♀, [津] 青根夫婦園, 2007/07/20 (30937); 2♀, [津] 神之川林道, 2006/10/26 (30921・30922); 2♂, [津] 鳥屋奥野林道大平, 2007/10/17 (30942・30943); 1♂, [津] 鳥屋早戸川林道魚止, 2007/10/12 (30940); 3♀, [津] 三ヶ木道志新田, 2007/11/14 (30946～30948); 2♂2♀, [津] 青根道志第二発電所, 2006/09/29 (30917～30920); 2♂, [藤] 牧野奥牧野, 2006/11/01 (30923・30924); 2♀, [藤] 小淵上小淵～中小淵, 2008/10/29 (30950・30951); 2♂2♀, [藤] 沢井, 2006/05/17 (30911～30914) 加藤房郎; 2♀, [藤] 牧野小津久藤野温泉病院, 2007/11/09 (30944・30945); 4♂, [藤] 牧野綱子, 2007/04/21 (30932～30935); 2♂, 大島神沢, 2006/09/03 (30915・30916)
- スギタニルリシジミ *Calastrina sugutanii sugutanii*
18♂, [相] 寸沢嵐石老山林道, 2007/04/10 (30955～30972); 4♂, 2007/04/12 (30973～30976); 8♂, 2007/04/14 (30977～30984); 7♂7♀, 2007/04/30 (30987～31000); 1♂, [相] 千木良長尾, 2007/03/28 (30954); 8♂1♀, [津] 青野原西沢, 2008/04/15 (31003～31011); 1♂, 2008/04/16 (31012); 1♂, [藤] 沢井栃谷(栃谷～与瀬明王峠), 2007/04/27 (30986); 1♂, [藤] 牧野綱子, 2007/04/21 (30985); 1♂, [藤] 牧野奥牧野城山, 2008/04/25 (31013); 2♂, [藤] 牧野牧馬曲松, 2008/04/09 (31001・31002)
- ルリシジミ *Celastrina argiolus ladonides*
1♀, [津] 青根神之川林道, 2007/05/08 (31015); 1♀, [津] 青根神之川林道犬越路下, 2007/06/21 (31016); 1♀, [津] 青野原西沢, 2008/04/15 (31026); 1♀, [津] 鳥屋早戸川林道, 2007/07/20 (31018); 1♂, [津] 鳥屋茨菰山, 2007/04/20 (31014); 1♂1♀, 2008/04/11 (31024・31025); 1♀, [津] 青根道志第二発電所, 2007/09/17 (31020); 1♂, [藤] 佐野川倉子峠, 2008/04/03 (31021); 1♂, [藤] 牧野小津久, 2007/07/03 (31017); 1♀, 2007/07/31 (31019); 1♂1♀, [藤] 牧野奥牧野城山, 2008/04/25 (30952・30953); 2♂, [藤] 牧野牧馬曲松, 2008/04/09 (31022・31023)
- ツバメシジミ *Everes argiades hellotica*

1♂1♀, [城] 葉山島, 2007/05/03 (31027・31028); 2♀, [藤] 牧野小津久, 2007/07/05 (31029.31030); 1♀, [藤] 小淵上小淵～中小淵, 2008/10/29 (31031)

ウラギンシジミ *Curetis acuta paracuta*

2♂, [城] 久保沢2丁目, 2006/10/11 (31036・31037); 1♂, [相] 与瀬明王峠, 2007/09/24 (31042); 1♂, [津] 青野原青野原キャンプ場, 2008/06/17 (31048); 1♂, [津] 鳥屋伊勢沢林道音見沢, 2007/09/14 (31041); 1♀, 2007/09/25 (31043); 1♀, [津] 鳥屋奥野林道, 2007/10/04 (31044); 2♂, [津] 三井名手, 2006/08/02 (31032・31033); 1♀, [藤] 沢井栃谷, 2007/11/07 (31046); 1♂1♀, [藤] 牧野小津久, 2007/07/31 (31039・31040); 1♀, [藤] 牧野小津久藤野温泉病院, 2007/11/09 (31047); 1♂, [藤] 牧野奥牧野城山, 2007/06/03 (31038); 1♀, [藤] 佐野川鎌沢登里, 2007/10/25 (31045); 2♀, 大島神沢, 2006/09/03 (31034・31035); 1♀, 上大島上大島キャンプ場, 2008/11/01 (31049)

テングチョウ科 *Libytheidae*

テングチョウ *Libythea celtis celtoides*

2♂, [城] 中沢蓮華院, 2006/07/26 (31050・31051); 2♀, 2006/08/02 (31052・31053); 1♂, [津] 青根神之川林道, 2007/06/21 (31058); 2♀, [津] 鳥屋松茸山登山口, 2006/10/18 (31054・31055); 1♂, [津] 根小屋明日原小倉林道, 2008/05/28 (31059); 2♀, [藤] 牧野馬本, 2006/10/25 (31056・31057)

マダラチョウ科 *Danaidae*

アサギマダラ *Parantica sita nipponica*

2♀, [城] 中沢峯の薬師, 2006/10/15 (31062・31063); 1♀, [津] 青根神之川林道, 2007/06/21 (31065); 1♀, [津] 鳥屋伊勢沢林道, 2007/06/13 (31064); 1♀, 2008/06/11 (31067); 2♀, [藤] 鎌沢三国山, 2006/09/28 (31060・31061); 1♀, [藤] 佐野川下岩, 2008/09/25 (31068); 1♀, [藤] 佐野川鎌沢登里, 2007/10/25 (31066)

タテハチョウ科 *Nymphalidae*

オオウラギンスジヒョウモン *Argyronome ruslana lysispe*

2♀, [藤] 鎌沢三国山, 2006/09/28 (31069・31070)

クモガタヒョウモン *Nephargynnis anadyomene midas*

2♂, [津] 青根, 2006/05/25 (31071・31072); 1♀, [津] 青根神之川林道広河原, 2007/10/12 (31080); 1♂, [津] 青根道志第二発電所, 2007/05/27 (31079); 2♂2♀, [藤] 鎌沢三国山, 2006/09/28 (31073~31076); 1♂1♀, [藤] 佐野川下岩～鎌沢, 2007/05/16 (31077・31078); 1♂, [藤] 牧野小津久, 2008/05/09 (31081)

メスグロヒョウモン *Damora sagana ilone*

1♂, [相] 与瀬明王峠, 2007/09/24 (31082); 2♀, [藤] 牧野小津久, 2007/10/11 (31083・31084); 1♂, [津] 鳥屋伊勢沢林道, 2008/07/19 (31085)

ウラギンヒョウモン *Fabriciana adippe pallascens*

1♀, [津] 鳥屋宮の前, 2007/09/26 (31086)

ミドリヒョウモン *Argynnis paphia tsushimana*

1♂, [津] 青根神之川林道, 2007/06/21 (31089); 1ex., 2009/09/09 (31092); 1♂, [津] 鳥屋奥野林道, 2008/07/29 (31091); 1♂, [津] 長竹葦尾根志田山, 2008/06/25 (31090); 2♀, [津] 青根道志第二発電所, 2006/

06/29 (31087・31088)

イチモンジチョウ *Ladoga camilla japonica*

2♂, [津] 青根夫婦園, 2006/05/25 (31093・31094); 1♂, [津] 鳥屋伊勢沢林道, 2008/06/11 (31098); 1♂, [津] 鳥屋奥野林道, 2007/09/14 (31096); 1♂, [津] 青根道志第二発電所, 2007/05/27 (31095); 1♀, [藤] 佐野川鎌沢登里, 2008/09/17 (31099); 1♂, [藤] 牧野綱子, 2008/06/10 (31097)

ツマグロヒョウモン *Argyreus hyperbius*

2♂, [城] 川尻八幡神社, 2007/10/24 (31120・31121); 6♂, [城] 久保沢2丁目, 2006/10/15 (31102~31107); 1♂, [相] 寸沢嵐小野林道, 2007/11/21 (31124); 1♂, [相] 与瀬明王峠, 2007/09/24 (31114); 2♀, [津] 青野原下原, 2006/10/12 (31100・31101); 1♂, [津] 長竹葦尾根東京農工大農場, 2007/10/19 (31119); 1♀, [津] 鳥屋鳥居原～道場, 2006/11/10 (31112); 2♂, [津] 鳥屋松茸山登山口, 2006/10/18 (31110・31111); 1♂, [津] 三ヶ木道志新田, 2007/11/14 (31123); 2♀, [藤] 佐野川石楯尾神社, 2006/10/17 (31108・31109); 1♀, [藤] 佐野川下岩～鎌沢, 2007/10/11(31116); 1♀, [藤] 牧野小津久, 2008/08/19(31125); 1♀, 2008/10/02 (31127); 1♂, 相生4丁目, 2007/11/06 (31122) 菅沼広美; 1♂, 上大島上大島キャンプ場, 2008/11/01 (31128); 2♂, 久保沢2丁目, 2007/10/11 (31117・31118); 1♀, 二本松2丁目, 2007/07/07 (31113); 1♀, 2007/09/27 (31115); 1♀, 2008/10/02 (31126)

コムスジ *Neptis sappho intermedia*

1♂, [相] 与瀬明王峠, 2007/04/27 (31129); 1♂, [藤] 佐野川鎌沢, 2007/05/11 (31130); 1♀, [藤] 牧野綱子, 2007/06/05 (31131)

ミスジチョウ *Neptis philyra ex.cellens*

1♂, [津] 青根神之川林道, 2007/06/21 (31133); 1♀, 2007/07/24 (31134); 4♂, [津] 鳥屋伊勢沢林道, 2008/06/11 (31136~31139); 1♂, [津] 鳥屋奥野林道, 2007/06/13 (31132); 1♀, [津] 長竹葦尾根志田山, 2008/06/13 (31140); 1♀, 2008/06/25 (31141); 1♂, [藤] 牧野綱子, 2008/06/10 (31135)

キタテハ *Polygonia c-aureum*

2♀, [城] 久保沢2丁目, 2006/10/11 (31142・31143); 2♂, 2006/10/11 (31152・31153); 1♀, [津] 青根神之川林道日陰沢, 2007/10/23 (31146); 1♀, [津] 鳥屋鳥居原～道場, 2006/11/10 (31144); 1♂, [津] 青根道志第二発電所, 2007/09/17 (31145); 2♀, [藤] 牧野小津久藤野温泉病院, 2007/11/09 (31148・31149); 1ex., [藤] 佐野川鎌沢登里, 2007/10/25 (31147); 1ex., [藤] 牧野小津久, 2008/07/09 (31150); 1♀, 2008/10/29 (31151)

サカハチチョウ *Araschnia burejana strigosa*

3♂, [相] 寸沢嵐小野林道, 2007/07/20 (31157~31159); 1♀, [津] 鳥屋奥野林道, 2007/09/14 (31160); 2♂, [藤] 沢井栃谷, 2007/05/23 (31155・31156); 1♀, [藤] 佐野川鎌沢, 2007/05/11 (31154); 1♀, [藤] 牧野小津久, 2008/07/09 (31161)

シータテハ *Polygonia c-album hamigera*

1♂, [津] 青根神之川林道松皮沢, 2007/09/05 (31162)

ヒオドシチョウ *Nymphalis xanthomelas japonica*
 1ex., [津] 串川青山仙洞寺山, 2007/04/05 (31163); 1♀,
 [城] 葉山島下河原, 2008/06/11 (31164) 川崎香代
 ルリタテハ *Kaniska canace nojaponicum*
 2♀, [津] 神之川林道, 2006/10/03 (31165・31166);
 越冬体2♀, 2006/06/01 (31167・31168)
 アカタテハ *Vanessa indica*
 2♂, [津] 神之川犬越路, 2006/10/12 (31169・31170);
 1♂, [津] 根小屋城山公園, 2007/10/18 (31171)
 ヒメアカタテハ *Cynthia cardui*
 1♀, [相] 寸沢嵐小野林道, 2007/05/29 (31172); 1♀,
 [津] 鳥屋伊勢沢林道, 2007/10/03 (31175); 1♀, [津]
 青根道志第二発電所, 2007/07/20 (31173); 1♂, 2007
 /09/17 (31174); 1♂, [藤] 牧野小津久藤野温泉病院,
 2007/11/09 (31176)
 ゴマダラチョウ *Hestina japonica japonica*
 2♂, [城] 中沢峯の薬師, 2006/07/26 (31177・31178)
 コムラサキ *Apatura metis substituta*
 1♂1♀, [津] 青根神之川林道, 2007/07/24 (31179・3
 1180); 1♂, [津] 青根神之川林道椴皮沢, 2007/09/05
 (31181)
 スミナガシ *Dichorragia nesimachus nesiotetes*
 2♂, [城] 中沢蓮華院, 2006/07/15 (31182・31183);
 2♀, 2006/08/02 (31184・31185); 2♂2♀, [津] 又野
 ~三ヶ木野尻, 2006/08/10 (31186~31189); 2♂, 200
 6/08/11 (31190・31191)
 アカボシゴマダラ *Hestina assimilis assimilis*
 1♀, 上鶴間つるまの森, 2006/07/27 (31192) 野呂恵
 子; 1♀, 高根1丁目博物館敷地内, 2008/09/13 (3119
 3) 守屋博文
 オオムラサキ *Sasakia charonda charonda*
 4♂, [城] 中沢峯の薬師, 2006/07/14 (31194~31197);
 2♂, 2006/07/26 (31202・31203); 4♂, [城] 中沢蓮
 華院, 2006/07/15 (31198~31201); 2♀, 2006/08/02
 (31204・31205); 1♀, [相] 寸沢嵐小野林道, 2007/07
 /20(31210); 1♂1♀, [津] 青根神之川林道, 2008/07/
 25 (31217・31218); 1♀, [津] 青根神之川林道長者舎,
 2007/08/02 (31216); 2♀, [津] 又野又野公園, 2006/
 08/03 (31208・31209); 1♂, [津] 三井名手, 2006/08
 /02 (31206・31207); 2♀, [藤] 牧野小津久, 2007/07
 /27 (31211・31212); 1♂1♀, [藤] 牧野奥牧野城山, 2
 007/07/27 (31213・31214); 1♀, 藤野大川原~綱子,
 2007/07/31 (31215)
 ジャノメチョウ科 **Satyridae**
 ジャノメチョウ *Minois dryas bipunctata*
 1♀, [津] 鳥屋伊勢沢林道, 2007/09/26 (31219)
 ツマジロウラジャノメ *Lasiommata deidamia interrupta*
 2♀, [津] 神之川犬越路, 2006/09/05 (31220・31221);
 8♀, [津] 青根神之川林道椴皮沢, 2007/09/05 (31222
 ~31229); 1♀, [津] 鳥屋松茸山登山口(奥野口), 2007
 /09/14 (31230); 1♀, [津] 鳥屋伊勢沢林道, 2007/09
 /26 (31231); 1♀, 2008/09/27 (31232)
 ヒメウラナミジャノメ *Ypthima argus*
 1ex., 田名望地, 2008/04/25 (31233) 川崎香代
 クロヒカゲ *Lethe diana diana*

1♂, [相] 千木良長尾, 2007/05/09 (31234); 1♂,
 [津] 青根上青根高瀬野, 2007/09/17 (31235); 2♂,
 [津] 根小屋明日原小倉林道, 2008/10/03 (31236・312
 37)
 ヒカゲチョウ *Lethe sicelis*
 2♀, [藤] 栃谷, 2006/09/28 (31238・31239); 1♀,
 [津] 串川明日原, 2008/06/18 (31240)
 ヒメキマダラヒカゲ *Zophoessa callipteris*
 1♀, [津] 青根神之川林道椴皮沢, 2007/09/05 (31241)
 コジャノメ *Mycalesis francisca perdiccas*
 1♂, [津] 青根神之川林道犬越路下, 2007/05/18 (312
 42); 1♂, [津] 青根上青根, 2007/05/22 (31243); 1♂,
 [藤] 沢井栃谷, 2008/05/01 (31244)
 サトキマダラヒカゲ *Neope goschkevitschii*
 2♀, [津] 又野又野公園, 2006/08/11 (31245・31246);
 1♀, [藤] 牧野小津久, 2008/05/08 (31247)
 クロコノマチョウ *Melanitis phedima oitensis*
 2♂, [城] 川尻中央公園, 2006/07/25 (31248・31249);
 2♀, [城] 久保沢2丁目, 2006/10/11 (31250・31251);
 1♂, [津] 鳥屋伊勢沢林道, 2008/09/12 (31254); 1♂,
 [津] 鳥屋早戸川林道魚止, 2007/10/12 (31252); 1♀,
 [津] 根小屋明日原小倉林道, 2008/06/25 (31253); 1
 ♀, 2008/10/03 (31255)

トビゲラ目 Trichoptera

ヒゲナガトビケラ科 **Stenopsychidae**
 ヒゲナガカワトビケラ *Stenopsycha marmorata*
 2exs., [藤] 牧野綱子, 2007/04/27 (31256・31257); 4
 exs., [城] 葉山島, 2007/05/03 (31258~31261); 1ex.,
 [津] 鳥屋早戸川林道, 2007/07/20 (31262); 1ex., [津]
 三ヶ木道志新田, 2007/11/22 (31263); 2exs., [藤] 牧
 野奥牧野城山, 2008/05/21 (31264・31265)
 トビケラ科 **Phryganeidae**
 ムラサキトビゲラ *Eubasilissa regina*
 1ex., [藤] 牧野綱子, 2006/09/26 (31266); 1ex., [津]
 鳥屋早戸川林道, 2007/07/20 (31267); 1ex., [津] 青
 根神之川林道犬越路下, 2008/06/06 (31268)
 フトヒゲトビケラ科 **Odontoceridae**
 ヨツメトビケラ *Perissoneura paradoxa*
 1ex., [津] 青根上青根, 2007/05/22 (31269); 1ex.,
 [藤] 佐野川下岩, 2007/07/05 (31270); 4exs., [津]
 根小屋明日原小倉林道, 2008/05/28 (31271~31274);
 1ex., 2008/06/04 (31275)

ハチ目 Hymenoptera

コマユバチ科 **Braconidae**
 ヒメウマノオバチ *Eurobracon breviterebrae*
 1ex., [津] 青山青山貯水池, 2006/06/29 (31276); 1ex.,
 [相] 寸沢嵐石老山, 2007/06/20 (31277); 1ex., [津]
 鳥屋伊勢沢林道音見沢橋, 2007/09/14 (31278); 1ex.,
 [津] 青根神之川林道エビラ沢, 2007/10/05 (31279);
 1ex., [津] 根小屋明日原小倉林道, 2008/10/03 (31280)
 ヒメバチ科 **Ichneumonidae**

- ハキヒメバチ *Callajoppa exaltatoria mikado*
1ex., [津] 長竹葦尾根朝日寺, 2008/07/05 (31352)
- クロハラヒメバチ *Quandrus pepsoides*
1ex., [津] 三井名手, 2006/08/02 (31353); 1ex., [藤]
牧野小津久, 2008/08/07 (31354)
- カギバラバチ科 Trigonaliidae**
- キスジセアカカギバラバチ *Taeniogonalos fasciata*
1ex., [藤] 沢井栃谷, 2006/10/04 (31355); 1ex., [藤]
牧野綱子, 2007/06/05 (31356)
- シリアゲコバチ科 Leucospidae**
- シリアゲコバチ *Leucospis japonica*
1ex., [藤] 牧野綱子, 2008/06/10 (31357)
- アリバチ科 Mutillidae**
- ミカドアリバチ *Mutilla mikado*
1ex., [津] 鳥屋松茸山登山口330m, 2006/05/13 (31281); 1ex., [津] 根小屋城山公園, 2007/10/18 (31282)
- ツチバチ科 Scolidae**
- キンケハラナガツチバチ *Megacampsomeris prismatica*
1♀, [藤] 牧野小津久, 2007/06/19 (31358)
- ドロバチ科 Eumenidae**
- ミカドトックリバチ *Eumenes micado*
1ex., [藤] 佐野川和田鎌沢, 2007/10/11 (31359)
- カバオビドロバチ *Euodynerus nipanicus nipanicus*
1ex., [藤] 牧野小津久, 2008/07/09 (31360)
- スズバチ *Oreumenes decoratus*
1ex., [藤] 牧野小津久, 2008/10/02 (31283)
- スズメバチ科 Vespidae**
- キアシナガバチ *Polistes rothneyi iwatai*
1ex., 二本松2丁目, 2008/02/16 (31284) 原きよ子
- フタモンアシナガバチ *Polistes chinensis antennalis*
1ex., [津] 青根上青根, 2006/10/31 (31285); 1ex.,
西大沼2丁目, 2008/03/11 (31286) 西村良子
- ホソアシナガバチ *Parapolybia indica*
1ex., [藤] 佐野川鎌沢, 2006/09/28 (31287)
- キイロスズメバチ *Vespa simillima zanthoptera*
1ex., [津] 鳥屋早戸川林道, 2007/10/17 (31288); 1ex.,
[津] 鳥屋伊勢沢林道, 2008/08/12 (31289); 2exs.,
[津] 青根いやしの湯, 2008/09/09 (31290・31291)
- アナバチ科 Sphecidae**
- ミカドジガバチ *Hoplammophila aemulans*
1ex., [津] 鳥屋, 2006/09/15 (31292); 1ex., [津] 鳥
屋早戸川林道, 2007/07/20 (31293)
- アリ科 Formicidae**
- クロオオアリ *Camponotus japonicus*
1ex., [津] 鳥屋奥野林道, 2007/06/26 (31294); 1ex.,
[藤] 牧野菅井, 2008/05/23 (31295)
- ムネアカオオアリ *Camponotus obscuripes*
1ex., [藤] 牧野綱子, 2006/11/17 (31296); 1ex., [津]
鳥屋伊勢沢林道, 2007/06/13 (31297); 1ex., [藤] 牧
野小津久, 2008/07/11 (31298)

参考文献

- ・神奈川昆虫談話会(2004) 神奈川県昆虫誌Ⅰ：1-314p.
- ・神奈川昆虫談話会(2004) 神奈川県昆虫誌Ⅱ：315-836p.
- ・神奈川昆虫談話会(2004) 神奈川県昆虫誌Ⅲ：837-1336p.

相模原市津久井地域の植物相 (第3報)

Floristic study on Tsukui area in Sagami-hara City, Kanagawa Prefecture (III)

宮崎 卓・秋山 幸也

Abstract

This study is third report of flora research on Tsukui area for three years. The subject of this study is to clarify the flora of Tsukui area. On this study, it was reported that result of field survey from December 2008 to November 2009.

Then, we added 13 families 36 genus 97 species 6 varieties 3 forma 6 hybrids to flora list of previous Two report (Miyazaki and Akiyama 2008, 2009). Through this flora research for 3 years, 7195 specimens were accumulated. Then, as this result 153 families 586 genus 1211 species 3 subspecies 41 varieties 15 forma 57 hybrids were recorded.

Next subject is to make the Flora of Tsukui area, that is based on accumulated specimens through this research. It is wished that the Flora of Tsukui area will be published for a few years later.

キーワード：津久井地域、植物相、植物標本、相模原植物誌

1 はじめに

本研究は、2007年4月から始まった相模原市新市域（津久井地域）の植物相調査の報告であり、相模原市立博物館研究報告17集（2008）に報告した宮崎・秋山「相模原市津久井地域の植物相（第一報）」、相模原市立博物館研究報告17集（2009）と宮崎・秋山「相模原市津久井地域の植物相（第二報）」の続報である。調査、研究の目的は宮崎・秋山（2008）で示したとおりである。

2 調査地域の概況

調査地域は宮崎・秋山（2008）に示したように、旧津久井郡（相模原市津久井地域）の藤野町、相模湖町、津久井町、城山町の四町である。調査範囲の東端は城山町葉山付近で東経139° 19' 37"。西端は津久井町大室山で東経139° 04' 10"。北端は生藤山で北緯35° 40' 10"。南端は丹沢山で北緯35° 28' 24"である（宮崎・秋山2008）。また、宮崎・秋山(2009)では調査地の範囲を図示した。

気候、土壌、地質に関しても宮崎・秋山（2008）で示したとおりである。

3 研究手法

(1) 調査、解析の手法

本研究は2008年12月から2009年11月までに収集した、

1426点の植物標本を主に対象とした。加えて、それ以外にも2006年9月以降に採集した調査地域の標本を再検討し、これまでの宮崎・秋山（2008・2009）の植物目録に脱落していた種の追加、誤っていた種の訂正を行った。なお、植物目録の証拠標本は相模原市立博物館に納めた。また、重複標本に関しては東京大学総合研究博物館へ納めた。

(2) 目録の凡例、科や種の扱いについて

前報告と同様、植物目録には植物名（和名、学名）以外に標本番号と採集地の位置情報、海拔高度（標高）の情報を入れた。この際、位置情報では町名は省き、そのかわりに神奈川県植物誌調査会（2001）で使用されている[FUJ-1]、[FUJ-2]、[SAG]などの地域メッシュを入れた。なお、地域メッシュはそれぞれ次の町名に対応する。[FUJ-1]と[FUJ-2]は藤野町、[SAG]は相模湖町、[TSU-1]、[TSU-2]、[TSU-3]、[TSU-4]、[TSU-5]は津久井町、[SH]は城山町である。

植物目録の分類体系に関しては、Iwatsuki K. et al. (1993, 1995, 1999, 2001, 2006)、佐竹義輔他（1982）、中池敏之（1982）、神奈川県植物誌調査会編（2001）に従った。また、命名者名の表記に関してはStaflev and Cowan (1976, 1979, 1981, 1983, 1985, 1986, 1988)を参考にした。

4 結果・今後の展望

前報の植物目録の追加として、13科、36属、97種、6変種、3品種、6雑種を報告した(科、属は今回新たに追加された数字のみ)。その結果、前報とあわせて津久井地域の植物目録は153科、586属、1211種、3亜種、41変種、15品種、57雑種となった。

種の生態的、分類的知見などは植物目録の中に記述した。今回は神奈川県植物誌調査会(2001)に未掲載の種はオオヒキヨモギとオオバコナラの1種1雑種であった。植物目録には改めてあげなかったが、フジクマワラビ(津久井町鳥屋)、タチヒメクグ(相模湖町沼本)、ミズコナラ(藤野町陣馬山)、ヤマクルマバナ(津久井町鳥屋)、フジアザミ(相模湖町寸沢嵐)など、宮崎・秋山(2008・2009)ですでに報告されている種の津久井地域内の追加産地も判明した。

また、2006年10月から2009年11月までの約三年間の調査によって集められた標本の点数は7195点に上った。同じ期間、相模原植物調査会の方々によって集められた標本点数も数千点を上回ると考えられる。これらの標本をもとに、市域全域を対象とした「相模原植物誌Ⅱ(仮称)」の完成に具体的にとりかかるとを望みたい。上記のフジクマワラビなど希少植物の追加産地もこの「相模原植物誌Ⅱ(仮称)」の中で詳細にとりあげられるものと思う。

これまで相模原市立博物館へ集まった標本をもとに、すでに津久井地域の標本のデータベースは作成されており、この資料を参考に今後の補足調査、分布図作成、本文執筆などの編さん作業が具体化することが待たれる。

5 謝辞

本研究は現地調査からデータの解析までにわたって、多くの方々のご協力をいただいた。まず、現地調査に関しては相模原植物調査会の皆さんのご協力なしには調査活動が成立しなかった。特に秋本和宏弘さん、鹿島敏夫さん、川崎香代さん、川村悦子さん、酒井藤夫さん、菅澤桂子さん、菅沼広美さん、久江信雄さん、三樹和博さん(以上、五十音字順)からは植物の分布に関しては貴重な情報をいただいた。また、丹沢の尾根筋などの山岳地帯の調査に関しては神奈川県立宮ヶ瀬ビジターセンターの青木雄司さんにご案内していただいた。

さらに、東京大学総合研究博物館の標本閲覧に関しては、東京大学総合研究博物館の池田博先生、清水晶子さんにご助力いただいた。東京大学研究博物館特任研究員の大場秀章先生からはコナラ亜属に関する貴重なアドバイスをいただいた。ご指導、ご協力いただいた方々には、ここに感謝の意を表したい。

6 引用文献

- Iwatsuki K., Yamazaki T. Boufford D.E., and Ohba H.(eds.), 1995. Flora of Japan Vol. I Pteridophyta and Gymnospermae. Kodansha, Tokyo, 302p.
- Iwatsuki K., Boufford D.E. and Ohba H. (eds.), 2006. Flora of Japan II a Angiospermae Dicotyledoneae Archichlamydeae(a). Kodansha, Tokyo, 550p.
- Iwatsuki K., Boufford D.E. and Ohba H. (eds.), 2001. Flora of Japan Vol. II b Angiospermae Dicotyledoneae Archichlamydeae(b). Kodansha, Tokyo, 321p.
- Iwatsuki K., Boufford D.E. and Ohba H. (eds.), 1999. Flora of Japan Vol. II c Angiospermae Dicotyledoneae Archichlamydeae(c). Kodansha, Tokyo 328p.
- Iwatsuki K., Yamazaki T. Boufford D.E. and Ohba H. (eds.), 1993. Flora of Japan Vol. III a Angiospermae Dicotyledoneae Sympetalae(a). Kodansha, Tokyo 482p.
- Iwatsuki K., Yamazaki T. Boufford D.E., Ohba H. 1995. Flora of Japan Vol. III b Angiospermae Dicotyledoneae Sympetalae(a). Kodansha, Tokyo 181p.
- 神奈川県植物誌調査会編, 1988. 神奈川県植物誌1988, 神奈川県植物立博物館. 横浜: 1442p.
- 神奈川県植物誌調査会編, 2001. 神奈川県植物誌2001. 神奈川県植物立生命の星・地球博物館, 小田原: 1580p.
- 宮崎卓・秋山幸也, 2008. 相模原市津久井地域の植物相(第1報)相模原市立博物館研究報告第17集. 相模原市立博物館, 相模原: 93-122
- 宮崎卓・秋山幸也, 2009. 相模原市津久井地域の植物相(第2報)相模原市立博物館研究報告第18集. 相模原市立博物館, 相模原: 49-61
- 宮崎卓・大場秀章 2007, 中華人民共和国海南省で確認した焼畑跡地群落の報告, 植生情報 第11号. 植生学会, 三田: 4-5.
- 中池敏之, 1992. 改訂増補版 新日本植物誌 シダ編. 至文堂, 東京: 808p.
- 相模原市立博物館, 2003. 相模原植物誌 I -標本目録-. 相模原市立博物館, 相模原: 178p.
- 佐竹義輔・大井次三郎・北村四郎・亘理俊次・富成忠夫編, 1982, 日本の野生植物 草本 I, 平凡社, 東京: 305p.

- Stafleu, F. A. and Cowan, R. S., 1976., 1979., 1981., 1983., 1985., 1986., 1988. Taxonomic Literature Vol. I :A-G, Vol. II:H-Le, Vol. III:Lh-O, Vol. IV :P-Sak, Vol. V :Sal-Ste, Vol. VI, Vol. VII:W-Z:Sti-Vuy second editiom. Bohn Scheltema and Holkema, Utrecht : 1136p., 991p., 980p., 1214p., 1066p., 926p., 653p.
- Tutin, T. G., Heywood, V. H. and Burges, N. A. et al, 1979. Flora Europae Vol.4 Plantaginaceae to Compositae (and Rubiaceae). The Cambridge university Press, Cambridge: 505p.
- Tutin, T. G., Heywood, V. H. and Burges, N. A. et al 1980. Flora Europae Vol.5 Alismataceae to Orchidaceae (Monocotyledones). The Cambridge university Press, Cambridge:452p.

シダ植物綱 *Pteridophyta*

マツバラ科 *Psilotaceae*

マツバラ *Psilotum nudum* (L.) P.Beauv. [TS-5] 0901149根小屋 雲居寺
~長竹 串川運動公園 240~220m

都市部の植込みや観葉植物の鉢に出現することがあり、暖かな場所で育てられた常緑樹やヤシ類について、関東の都市近郊などへも侵入すると考えられている。今回の確認個体は神社の石垣に生育しているが、付近に最近導入された常緑樹などの植栽木がないことから自生の可能性が高い。もともとは東北地方まで分布するため、温度的には津久井地域に自生しているでも不思議はない。

ミズニラ科 *Isoetaceae*

ミズニラ *Isoetes japonica* A.Br. [TS-4] 0905222鳥屋 谷戸 340~320m,
[SH] 0911024川尻 穴川 180m

ハナヤスリ科 *Ophioglossaceae*

コヒロハナヤスリ *Ophioglossum petiolatum* Hook. [TS-3] 0909101青根
神ノ川 560m

コハナヤスリ *Ophioglossum thermale* Kom. var. *nipponicum* (Miyabe et
Kudo) M.Nishida [TS-3] 0909100青根 神ノ川 560m

シノブ科 *Davalliaceae*

シノブ *Davallia mariesii* Moore ex Baker [SAG] 0909132寸沢嵐 沼本
180~150m

イノモトソウ科 *Pteridaceae*

セフリイノモトソウ *Pteris* × *sefuricola* Kurata [TS-5] 0903006青山 三
太郎旅館前 130~140m, 0910107根小屋 小倉山林道 240~260m

オシダ科 *Aspidaceae* (*Dryopteridaceae*)

コバノカナワラビ *Arachniodes sporadosora* (Kunze) Nakaike [TS-5] 090
1148長竹 堂所山~根小屋 雲居寺 240~220m

クマトヤブソテツ *Cyrtomium* × *kaii* Nakaike nom. nud. [FUJ-2] 09
09220綱子 長又 道志ダム 350m

両親種のナガバヤブソテツ (*C. devexiscapulae*) とテリハヤブソテツ (*C. laetevirens*) の混生地は津久井地域でも珍しくなく、両者の雑種と思われるものも何ヶ所かで確認しているが、胞子の形が不揃いである特徴を確認できたのは今回の標本だけであった。

ミヤマオクマワラビ *Dryopteris* × *pseudouniformis* Nakaike nom. nud.
[TS-5] 0911032青野原 茨菰山 300~320m

茨菰山で標本を採集した1個体を本雑種と同定した。

ヒメシダ科 *Thelypteridaceae*

イワハリガネワラビ *Thelypteris japonica* (Baker) Ching var. *glabrata*
Ching [FUJ-1] 0907078佐野川 生藤山~三国山 1050~1020m

裸子植物綱 *Gymnospermae*

マツ科 *Pinaceae*

ウラジロモミ *Abies homolepis* Siebold et Zucc. [TS-1] 0907067青根 犬
越路峠~大室山 1360~1400m

被子植物綱 *Angiospermae*

単子葉植物 *Monocotyledones*

オモダカ科 *Alismataceae*

ヘラオモダカ *Alisma canaliculatum* A.Br. et C.D.Bouche ex Sam. [TS-
3] 0909110青根 上青根 420~430m, [TS-5] 0908116津久井町長竹 下福
生 160m

ユリ科 *Liliaceae*

アマナ *Amama edulis* (Miq.) Honda [FUJ-2] 0904246牧野 綱子~平野峠
420~480m

オニユリ *Lilium lancifolium* Thunb. [SH] 0907114葉山 葉山島 60~70m

ユキザサ *Smilacina japonica* A.Gray [TS-4] 0905024鳥屋 谷戸 270~300m

オオバイケイソウ *Veratrum grandiflorum* Loes. fil. var. *maximum* Nakai
[TS-1] 0907053青根 犬越路峠~大室山 1500~1540m

ヒガンバナ科 *Amaryllidaceae*

キツネノカミソリ *Lycoris sanguinea* Maxim. [TS-5] 0908011長竹 大堀
220m, [SH] 0907126中沢 中沢林道180~200m

オオキツネノカミソリ *Lycoris sanguinea* Maxim. var. *kiusiana* Makino
[FUJ-1] 0908056佐野川 和田~和田峠 490~590m

イグサ科 *Juncaceae*

タチコウガイゼキショウ *Juncus krameri* Franch. et Savat. [TS-4] 0910

130鳥屋 道場 320m, [SAG] 0909002寸沢嵐 道志125~130m

ホシクサ科 *Eriocaulaceae*

ホシクサ *Eriocaulon cinereum* R. Br. [TS-5] 0609002三ヶ木 道志新田
127-131m

宮崎・秋山(2008)であつかった2006年10月以前の標本の中に三ヶ木道志新田の採集品があつたので報告する。この場所のホシクサは2009年8月にも生育を確認している。

イトイヌノヒゲ *Eriocaulon decemflorum* Maxim. var. *nipponicum* (Maxim.)
Nakai [TS-4] 0909085鳥屋 谷戸 280~300m

ヒロハイヌノヒゲ *Eriocaulon robustius* (Maxim.) Makino [TS-3] 0909108
青根 上青根 420~430m

イネ科 *Poaceae*

ヤマヌカボ *Agrostis clavata* Trin. [TS-5] 0905250青山 仙洞寺山 430~
440m

ウシノシツペイ *Hemarthria sibirica* (Gandog.) Ohwi [SAG] 0909129寸
沢嵐 沼本 津久井湖の島 130~110m

カリヤスモドキ *Miscanthus oligostachyus* Stapf [SH] 0909146小倉 小倉
橋下 80~70m

タケ科 *Bambusaceae*

ミヤマクマザサ *Sasa hayatae* Makino [TS-3] 0911017青野原 西沢 420
~460m

標本は青野原の西沢でしか採られていないが、実際はもっと多く分布していると考えられる。ササ類、ネザサ類は分類の困難なものも多く、地域フローラを研究する上では、大きなグループにまとめることも考えてみてよいと思う。

サトイモ科 *Araceae*

ショウブ *Acorus calamus* L. var. *angustatus* Bess. [FUJ-2] 0906174日連
青田 200~170m, [TS-4] 0905032鳥屋 谷戸270~300m

ヒトツバテンナンショウ *Arisaema monophyllum* Nakai [FUJ-2] 0904216
牧野 綱子~平野峠 600~660m

カントウマムシグサ *Arisaema serratum* (Thunb.) Schott f. *viridescens*
Nakai [TS-4] 0905017, 0905034鳥屋 谷戸 270~300m

ウキクサ科 *Lemnaceae*

コウキクサ *Lemna minor* L. [SAG] 0909005寸沢嵐 道志 125~130m

ウキクサ *Spirodela polyrhiza* (L.) Schleid. [SAG] 0909004寸沢嵐 道志
125~130m

カヤツリグサ科 *Cyperaceae*

オニスゲ *Carex dickinsii* Franch. et Savat. [TS-4] 0905223鳥屋 谷戸
340~320m

オオアオスゲ *Carex lonchophora* Ohwi [TS-4] 0905235鳥屋 谷戸 320~
350m, [TS-5] 0905093長竹 沼 230~250m

ヌカスゲ *Carex mitrata* Franch. [FUJ-2] 0705141, 0705146小花井 230~
200m, [TS-5] 0905105長竹 沼 210~230m, [SH] 0804332小倉 上川原 60
~70m, 0904096葉山 藤木川 100~120m

本調査一年目の2007年5月には採集されていたが、データ整理上のミスでノゲヌカスゲ (*C. mitrata* var. *aristata*) として処理されていた。今回改めて報告する。

アオガヤツリ *Cyperus nipponicus* Franch. et Savat. [TS-5] 0908014三
ヶ木 道志川 125~130m

イガガヤツリ *Cyperus polystachyos* Rottb. [SH] 0909014三ヶ木 道志新
田125~130m

宮崎・秋山(2008)でカワラスガナ (*C. sanguinolentus*) を誤認し、宮崎・秋山(2009)で訂正、抹消した種である。今回、道志新田で確認できたので、改めて報告する

マツバイ *Eleocharis acicularis* (L.) Roem. et Schult. var. *longiseta*
Svenson [TS-5] 0909008三ヶ木 道志新田 125~130m, 0909097三ヶ木 道
志川 125~130m

ハリイ *Eleocharis japonica* Miq. [SAG] 0909003寸沢嵐 道志 125~130m

ホンバテンツキ *Fimbristylis dichotoma* (L.) Vahl var. *tentsuki* T.Koyama
f. *gracilliora* T.Koyama [TS-5] 0909151青山 青山貯水場 140m

ヒンジガヤツリ *Lipocarpa microcephala* (R.Br.) Kunth [TS-3] 0909107
青根 上青根 420~430m, [TS-5] 0909027三ヶ木 道志川 125~130m

コマツカサススキ *Scirpus fuirenooides* Maxim. [TS-4] 0901195鳥屋 谷戸

280~300m

マツカサススキ *Scirpus mitsukurianus* Makino [TS-5] 0909028三ヶ木 道志川 125~130m

カンガレイ *Scirpus triangulatus* Roxb. [SH] 0907115, 0907116小倉 宮原 60~70m

宮原の採集地は浚渫工事の砂をすてている造成地である。このため、津久井湖あるいは相模湖の湖底の土に混ざっていた種子が発芽生育した可能性もある。

ラン科 *Orchidaceae*

ベニシユスラン *Goodyera macrantha* Maxim. [TS-5] 0904048根小屋 小倉山林道 180~220m

コ克蘭 *Liparis nervosa* (Thunb.) Lindl. [SH] 0909140小倉 藤木川 140~160m

ヒメフタバラン *Listera japonica* Blume [TS-5] 0904055根小屋 小倉山林道 180~220m

双子葉植物 *Dicotyledoneae*

ヤマモモ科 *Myricaceae*

ヤマモモ *Myrica rubra* Siebold et Zucc. [TS-5] 0910123鳥屋 道場 鳥屋運動公園 320m

植栽品からの逸出であり、樹高50cmほどの小さい個体である。

ヤナギ科 *Salicaceae*

アカメヤナギ *Salix chaenomeloides* Kimura [SAG] 0909130寸沢嵐 沼本津久井湖の島 130~110m, [TS-5] 0909096三ヶ木 道志川 125~130m

第二報で報告した藤野町日連の標本(番号0805291)は別種の誤認であったため、あらためて報告する。

コゴメヤナギ *Salix jessoensis* Seemen subsp. *serissaefolia* (Kimura) H. Ohashi [SAG] 0910073寸沢嵐 谷山林道 460~520m, [TS-5] 0910124鳥屋 道場 鳥屋運動公園 320m, [SH] 0904018, 0904085, 0910003葉山 葉山島 70m

ブナ科 *Fagaceae*

マテバシイ *Lithocarpus edulis* (Makino) Nakai [SH] 0909040小倉 小倉山 300~320m

ゴルフ場や学校、工場の敷地に列植されることがある。小倉山では頂上部で樹高1mほどの個体が確認できた。これは付近の学校もしくはゴルフ場から逸出したものと考えられる。種子が大きく殻斗果であることから主に重力散布と考えていたが、学校にしる、ゴルフ場にしる、今回の採集地からは1km以上離れており、鳥による種子散布も行われていると考えられた。

オオバコナラ *Quercus* × *urticaefolia* Blume [FUJ-2] 0810201牧野 篠原280~300m

神奈川県植物誌調査会編(2001)に未掲載の雑種。宮崎・秋山(2009)でチョウセンコナラ *Quercus* × *maccormickii* Carruthと報告したものは、その後東京大学総合科学博物館の標本で検討した結果、ナラガシワ×カシワのチョウセンコナラではなく、ナラガシワ×コナラのオオバコナラと結論した。オオバコナラとしてあらためて報告する。

イラクサ科 *Urticaceae*

トキホコリ *Elatostema denciflorum* Franch. et Savat. [SAG] 0909136寸沢嵐 沼本 130~140m

ヒメウワバミソウ *Elatostema japonicum* Wedd. [TS-3] 0911003青野原 西沢 340~360m, [SH] 0905169小倉 小倉山 210~290m

ヤドリギ科 *Loranthaceae*

マツグミ *Taxillus kaempferi* (DC.) Danser [SH] 0903019小倉 小倉山 200~240m

小倉山のピークに残った常緑広葉樹林で、大きなモミの樹(樹高20mくらい)の下で拾った。生えているところは確認していないが、このモミに寄生していたものと考えられる。

ソデ科 *Polygonaceae*

ソバカズラ *Fallopia convolvulus* (L.) A.Love [TS-5] 0909030又野 名手橋 150~160m

ナガバノヤノネグサ *Persicaria brevichreata* (Makino) Ohki [TS-4] 0910133鳥屋 御屋敷 300m

鳥屋の湿地で少数の個体が確認できた。一方で、神奈川県植物誌調査会編(2001)に記録のある小倉山での現存は、本調査では確認できなかった。

ナデシコ科 *Caryophyllaceae*

サボンソウ *Saponaria officinalis* L. [TS-5] 0909016三ヶ木 道志新田 125~130m

モクレン科 *Magnoliaceae*

コブシ *Magnolia praecocissima* Koidz. [TS-4] 0911050鳥屋 茨菰山 300~320m

相模原台地には普通に見られるが、津久井地域には非常に少ない(神奈川県植物誌調査会編2001)。調査三年目によく樹高50cmほどの個体から標本を得た。

ヤマグルマ科 *Trochodendraceae*

ヤマグルマ *Trochodendron aralioides* Siebold et Zucc. [TS-3] 0906090青根 神ノ川林道 大樽沢~広河原 700~720m

ツツラフジ科 *Menispermaceae*

コウモリカズラ *Menispermum dauricum* DC. [TS-4] 0905229鳥屋 谷戸 320~350m, [TS-5] 0905067長竹 大堀 180m

ウマノスズクサ科 *Aristolochiaceae*

ランヨウアオイ *Asarum blumei* Duch. [TS-5] 0904054根小屋 小倉山林道 260~300m

オトギリソウ科 *Guttiferae*

コケオトギリ *Hypericum Laxum* (Blume) Koidz. [TS-4] 0909082鳥屋 谷戸 280~300m

ユキノシタ科 *Saxifragaceae*

ギンバイソウ *Deinathe bifida* Maxim. [FUJ-1] 0908062佐野川 和田~和田峠 640m

ソルアジサイ *Hydrangea petiolaris* Siebold et Zucc. [TS-1] 0907064青根 犬越路峠~大室山 1400~1450m

バラ科 *Rosaceae*

アズキナシ *Aria alnifolia* (Siebold et Zucc.) Decne. [FUJ-2] 0904205牧野 平野峠~天神峠 600~680m, 0907039牧野 新和田 鉢岡山 400~460m

オオウラジロノキ *Malus tschonoskii* (Maxim.) C.K.Schneid. [FUJ-2] 0904208牧野 平野峠~天神峠 600~680m

ヒメヘビイチゴ *Potentilla centigrana* Maxim. [SAG] 0910079寸沢嵐 谷山林道 460~520m

神奈川県植物誌調査会編(2001)の分布図には、箱根方面に分布点が打たれているが、これは以前の調査で採られたもので、神奈川県植物誌調査会編(2001)の調査時には標本は採られなかったようである。今回の調査では林道の路面、道端に群生していた。広がっている面積は狭い(2×5mほどの群落が2、3個)が、個体数は100個体以上と思われる。

ナルサワザクラ *Cerasus apetala* (Siebold et Zucc.) H.Ohba × *C. jamas akura* (Siebold ex Koidz.) H. Ohba [SAG] 0904036寸沢嵐 小野林道 380~310m

採集された標本は両親種(チョウジザクラとヤマザクラ)の形質を併せ持つと判断したことから、ナルサワザクラと同定した。小野林道以外でもナルサワザクラと思われる標本が津久井地域で採られており、今後検討が必要な分類群である

オオミツバツチグリ *Potentilla* × *musashinoana* Makino [FUJ-2] 0904203牧野 天神峠~綱子 440~420m

道端の陽地に1個体であるが大株を確認できた。証拠標本はこの大株の部分標本である。雑種なので、種子からの繁殖はほとんど出来ないと危惧される。

マメ科 *Leguminosae*

ヤブハギ *Hylodesmum podocarpum* (DC.) H.Ohashi et R.R.Mill var. *mandshuricum* (Maxim.) H.Ohashi et R.R.Mill [TS-4] 0908115鳥屋 早戸川 八丁橋~金沢橋 300~310m

ミカン科 *Rutaceae*

フユザンショウ *Zanthoxylum armatum* DC. var. *subtrifoliatum* (Franch.) Kitam. [TS-5] 0905319根小屋 小倉山林道 390~340m

ニワウルシ科 *Simaroubaceae*

ニワウルシ *Ailanthus altissima* (Mill.) Swingle [SH] 0909062小倉 小倉山の麓 70m

トチノキ科 *Hippocastanaceae*

トチノキ *Aesculus turbinata* Blume [FUJ-2] 0904219牧野 綱子~平野峠 600~660m

モチノキ科 *Aquifoliaceae*

モチノキ *Ilex integra* Thunb. [TS-4] 0910135鳥屋 御屋敷 280~300m, [TS-5] 0905088長竹 沼 230~250m, [SH] 0904058宝沢 280~240m

鳥屋のものは植栽品と考えられる。しかし、鳥屋以外のものは樹高2m以下の若木であり、生育地で開花、結実し世代を交代していることを確認できていない。

クロガネモチ *Ilex rotunda* Thunb. [TS-5] 0905084長竹 沼 250~270m

ニシキギ科 *Celastraceae*

イワウメヅル *Celastrus flagellaris* Rupr. [SAG] 0904247与瀬 横橋 280~250m, [TS-3] 0906049青根 此間沢~両国橋 430m, [TS-5] 0907009長竹 葦尾根沢 230~250m

ニシキギ *Euonymus alatus* (Thunb.) Siebold [SH] 0904188中沢 上中沢 360~340m

ツゲ科 *Buxaceae*

フッキソウ *Pachysandra terminalis* Siebold et Zucc. [TS-5] 0907007長竹 葦尾根沢 230~250m

クロウメモドキ科 *Rhamnaceae*

クロカンバ *Rhamnus costata* Maxim. [TS-1] 0907054青根 犬越路峠~大室山 1500~1540m

ブドウ科 *Vitaceae*

ヤマブドウ *Vitis coignetiae* Pulliat ex Planch. [TS-3] 0906038青根 此間沢~大原原橋 390~400m

丹沢の尾根筋など標高1000m以上の場所では珍しくないが、今回海拔400m以下の場所で確認できた。

スミレ科 *Violaceae*

ヒゴスミレ *Viola chaerophylloides* (Regel) W.Becker var. *sieboldiana* (Maxim.) Makino [FUJ-2] 0904227牧野 綱子~平野峠 600~660m

ヒナスミレ *Viola takedana* Makino [SH] 0905158小倉 小倉山 210~290m

ウリ科 *Cucurbitaceae*

ゴキツル *Actinostemma tenerum* Griff. [SH] 0909139葉山島 下河原 70m

アリノトウグサ科 *Haloragaceae*

オオフサモ *Myriophyllum aquaticum* (Vell.) Verdc. [TS-5] 0908119長竹 下稲生 160m

外来種であり、今回津久井地域への侵入が確認された。下稲生ではクレスン畑に繁茂していた。また、他にも相模湖野沼本で半管理状態の池で生育しているのを目視確認した(半管理状態のため採集はしなかった)。今後の分布拡大に注意する必要がある。

ウコギ科 *Araliaceae*

メダラ *Aralia elata* (Miq.) Seem. f. *subinermis* (Ohwi) Jotani [SAG] 0904145寸沢嵐 谷山林道 420~470m

タラノキの刺のほとんどない型。タラノキの個体群の中に見られ、刺のまったくないものから少しあるものまで個体変異がある。上記標本のものメダラの範疇にあつかった。

ツツジ科 *Ericaceae*

ホツツジ *Elliottia paniculata* (Siebold et Zucc.) Benth. et Hook. fil. [FUJ-1] 0907084佐野川 生藤山~茅丸 960~1020m

イチヤクソウ科 *Pyrolaceae*

ウメガサソウ *Chimaphila japonica* Miq. [FUJ-1] 0906170佐野川 鎌沢 540m

マチン科 *Loganiaceae*

アイナエ *Mitrasacme pygmaea* R.Br. [TS-4] 0909090鳥屋 谷戸 280~300m

ナス科 *Solanaceae*

ヒロハフウリンホオズキ *Physalis angulata* L. [TS-5] 0909021三ヶ木 道志川 125~130m

ワルナスビ *Solanum carolinense* L. [SAG] 0909231寸沢嵐 増原 240m, [TS-5] 0907020長竹 葦尾根沢 230~250m

アサガオ科 *Convolvulaceae*

マメアサガオ *Ipomoea lacunosa* L. [SAG] 0909229寸沢嵐 増原 240m

アカネ科 *Rubiaceae*

キヌタソウ *Galium kimuta* Nakai et Hara [FUJ-1] 0907086佐野川 三国山~生藤山 860~960m, [TS-1] 0907056青根 犬越路峠~大室山 1400~

1450m

ミヤマムグラ *Galium paradoxum* Maxim.

宮崎・秋山(2009)のオオバノヨツバムグラは本種の誤認であった。改めてオオバノヨツバムグラを抹消し、ミヤマムグラとして報告する。

ビンゴムグラ *Galium pseudoasprellum* Makino var. *bingoense* Murata et Ezuka [FUJ-1] 0908050佐野川 和田~和田峠 490~590m, [SAG] 0908044底沢 200m

イナモリソウ *Pseudopyxis depressa* Miq. [SH] 0905161小倉 小倉山 210~290m

シソ科 *Lamiaceae*

タニジャコウソウ *Chelonopsis longipes* Makino [TS-5] 0907108, 0910026 根小屋 小倉山林道300~360m, 260~300m

ヤマジオウ *Lamium humile* (Miq.) Maxim. [FUJ-1] 0908060佐野川 和田~和田峠 640m

ヒメサルダヒコ *Lycopus ramosissimus* (Maxim.) Makino [SAG] 0909137 寸沢嵐 沼本 130~140m

コシロネ *Lycopus ramosissimus* (Maxim.) Makino var. *japonicus* (Kudo) Kitam. [SAG] 0909001寸沢嵐 道志 125~130m

マルバハッカ *Mentha suaveolens* Ehrh. [TS-4] 0909088鳥屋 谷戸 280~300m

シラゲヒメジソ *Mosla hirta* (Hara.) Hara [TS-4] 0909093鳥屋 谷戸 270~300m, [TS-5] 0910031根小屋 小倉山林道 230~260m

ミゾコウジュ *Salvia plebeia* R.Br. [SH] 0906214小倉 湘南小学校前 70~60m

ミヤマナミキ *Scutellaria shikokiana* Makino [FUJ-1] 0908061佐野川 和田~和田峠 640m

ゴマノハグサ科 *Scrophulariaceae*

サギゴケ *Mazus miquelii* Makino f. *albiflorus* (Makino) Makino [TS-5] 0905079長竹 串川 180m

オオヒキヨモギ *Siphonostegia laeta* S.Moore [SH] 0907112小倉 小倉山林道 180m

神奈川県植物誌調査会編(2001)に未掲載の種。小倉林道の路肩斜面に50個体前後が群生しているのを確認した。半寄生の陽地生植物であるため、突然激減する危険性もある。今後の状況を見守りたい植物である。なお、環境庁編(2000)の絶滅危惧植物(絶滅危惧II類)である。

タヌキモ科 *Lentibulariaceae*

イヌタヌキモ *Utricularia australis* R.Br. [SH] 0911024川尻 穴川 180m

キク科 *Asteraceae*

カックウアザミ *Ageratum conyzoides* L. [SAG] 0909135寸沢嵐 沼本 130~140m

アジアの熱帯、亜熱帯では畑地の雑草であり(宮崎・大場2007)、神奈川県へも帰化植物として侵入している(神奈川県植物誌調査会編2001)。神奈川県植物誌調査会編(2001)では内陸部への侵入は見られず、津久井地域への侵入はごく最近のことと考えられる。沼本で採集した時点では、このあたりが温度的に分布限界と考えたが、植物調査会の菅澤桂子さんから、さらに内陸の藤野町佐野川で採集した標本を見せていただき、大変驚いた。

ノッポロガンクビソウ *Carpesium divaricatum* Siebold et Zucc. var. *matsuei* (Tatew. et Kitam.) Kitam. [FUJ-1] 0908058佐野川 和田~和田峠 730~780m

オオキンケイギク *Coreopsis lanceolata* L. [TS-3] 0906052青根 此間沢~両国橋 430m

エダウチヒヨドリ *Eupatorium glehnii* var. *hakonense* × *makinoi* var. *oppositifolium* [SAG] 0908089小仏峠~景信山 570~640m

ハコネヒヨドリとヒヨドリバナの雑種。なお、宮崎・秋山(2008)で報告したヨツバヒヨドリ(*Eupatorium glehnii* F.Schmidt ex Trautv)はすべて変種のハコネヒヨドリ(var. *hakonense* (Nakai) Hara)であった。

チチコグサ *Gnaphalium japonicum* Thunb. [TS-5] 0906003名手 三井水源の森 360~340m

タムラソウ *Serratula coronata* L. subsp. *insularis* (Iljin) Kitam. [SAG] 0908087景信山~堂所山 640~610m

ウスジロカントウタンポポ *Taraxacum platycarpum* Dahlst. f. *albiflavescens* H.Koidz. [SH] 0904101葉山 藤木川 70~80m

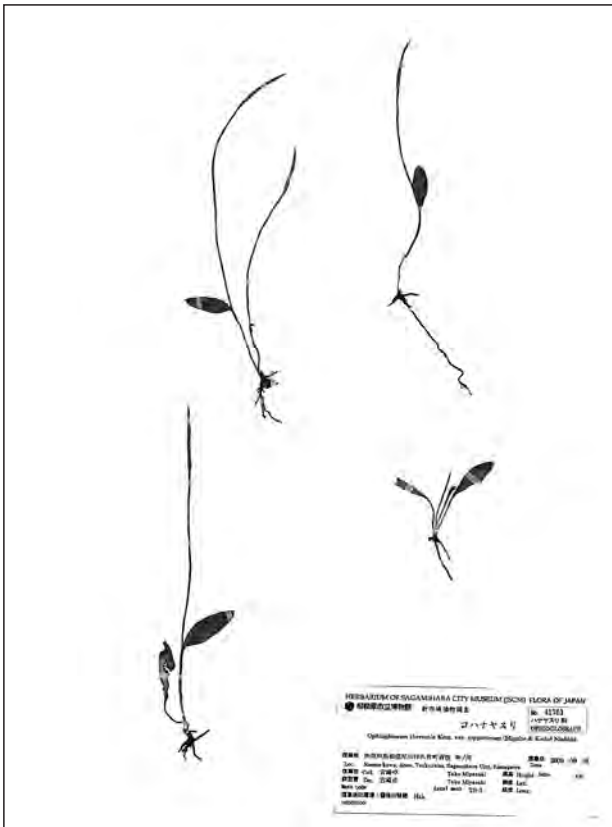


写真1 押し葉標本：コハナヤスリ

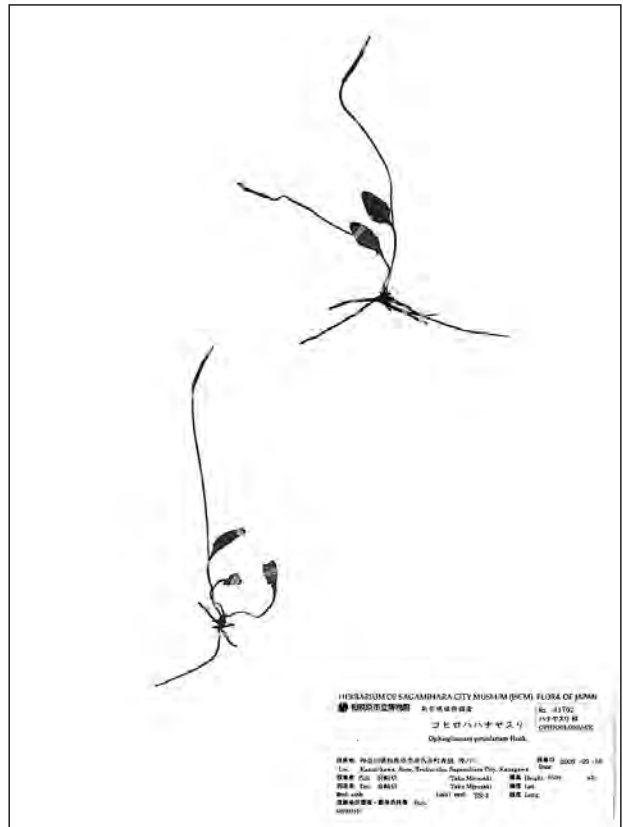


写真2 押し葉標本：コヒロハハナヤスリ



写真3 押し葉標本：ヘラオモダカ

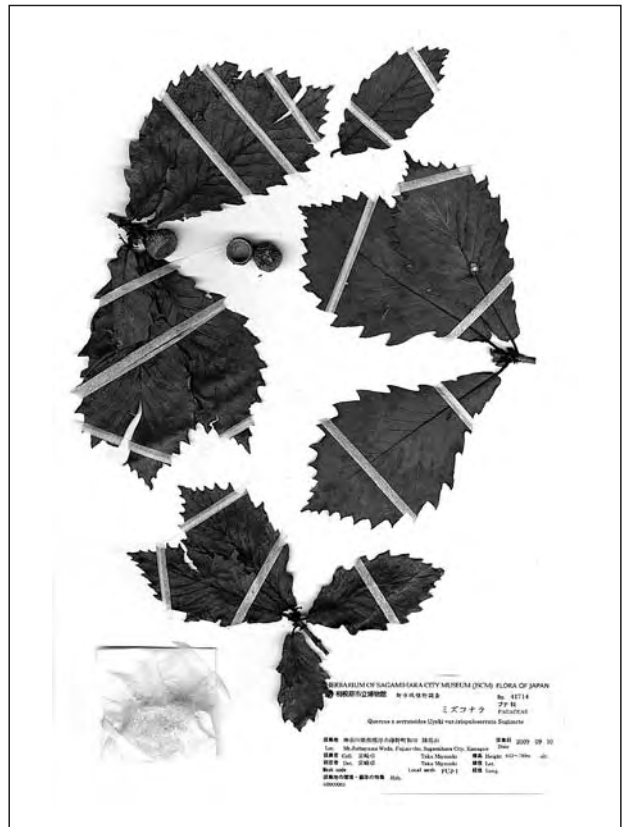


写真4 押し葉標本：ミズコナラ

※ 宮崎・秋山(2009)で報告したが、今回改めて好標本が手に入ったので、標本を載せる。



写真9 押し葉標本：シラゲヒメジソ

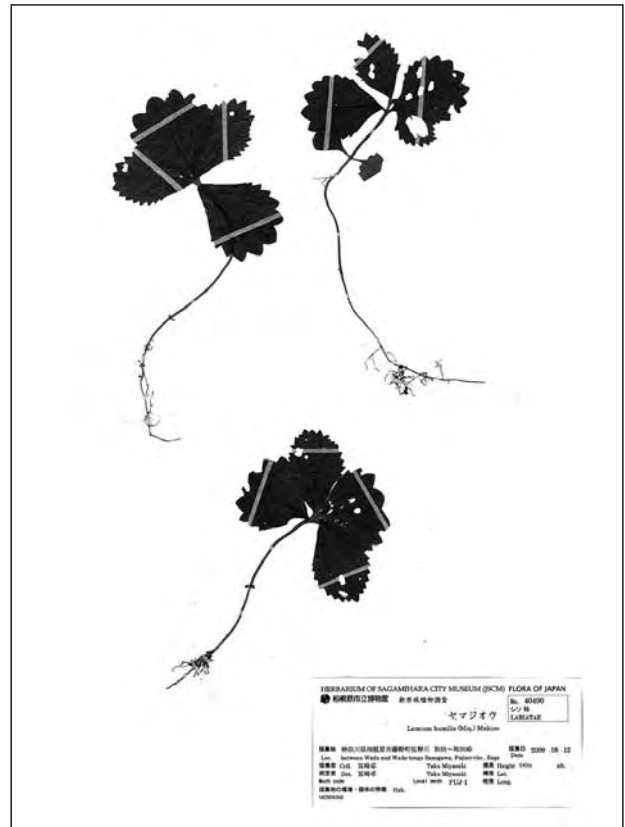


写真10 押し葉標本：ヤマジオウ



写真11 押し葉標本：タニジャコウソウ



写真12 押し葉標本：オオヒキヨモギ



写真13 押し葉標本：ノッポロガンキビソウ

神奈川県相模原市北西部、沢井川下流部の新第三紀火山岩類 Neogene volcanic rocks in the area of the lower stream of the Sawai River, Kanagawa Prefecture, Central Japan.

河 尻 清 和

1 はじめに

南部フォッサマグナ地域には新第三紀の火山噴出物および陸源性砕屑物が広く分布している。これらの新第三系は籐ノ木-愛川線（籐木・見上, 1954）を介して、白亜紀～古第三紀付加体である四万十帯構成岩類と接している（杉山ほか, 1997；青池, 1997, 1999）。南部フォッサマグナ地域の新第三紀火山噴出物はかつての伊豆-小笠原弧の一部がフィリピン海プレート沈み込みに伴い本州弧に衝突・付加したものであり、陸源性砕屑物は沈み込み帯におけるトラフ充填堆積物と考えられている（天野,

1986；青池, 1997, 1999）。このトラフ充填堆積物は籐ノ木-愛川線沿いに、伊豆-小笠原弧の火山噴出物と本州弧の四万十帯構成岩類との間の狭長な地域に分布している。神奈川県西部から山梨県東部にかけては、これらの島弧-島弧の衝突テクトニクスを記録した岩石が露出している地域である。

山梨県東部の上野原市の北方および東方で、籐ノ木-愛川線に接して新第三紀の火山岩類が断層で囲まれてレンズ状に分布しており、それぞれ、大倉安山岩層および名倉玄武岩層と呼ばれている（本間, 1976）。これらの火山

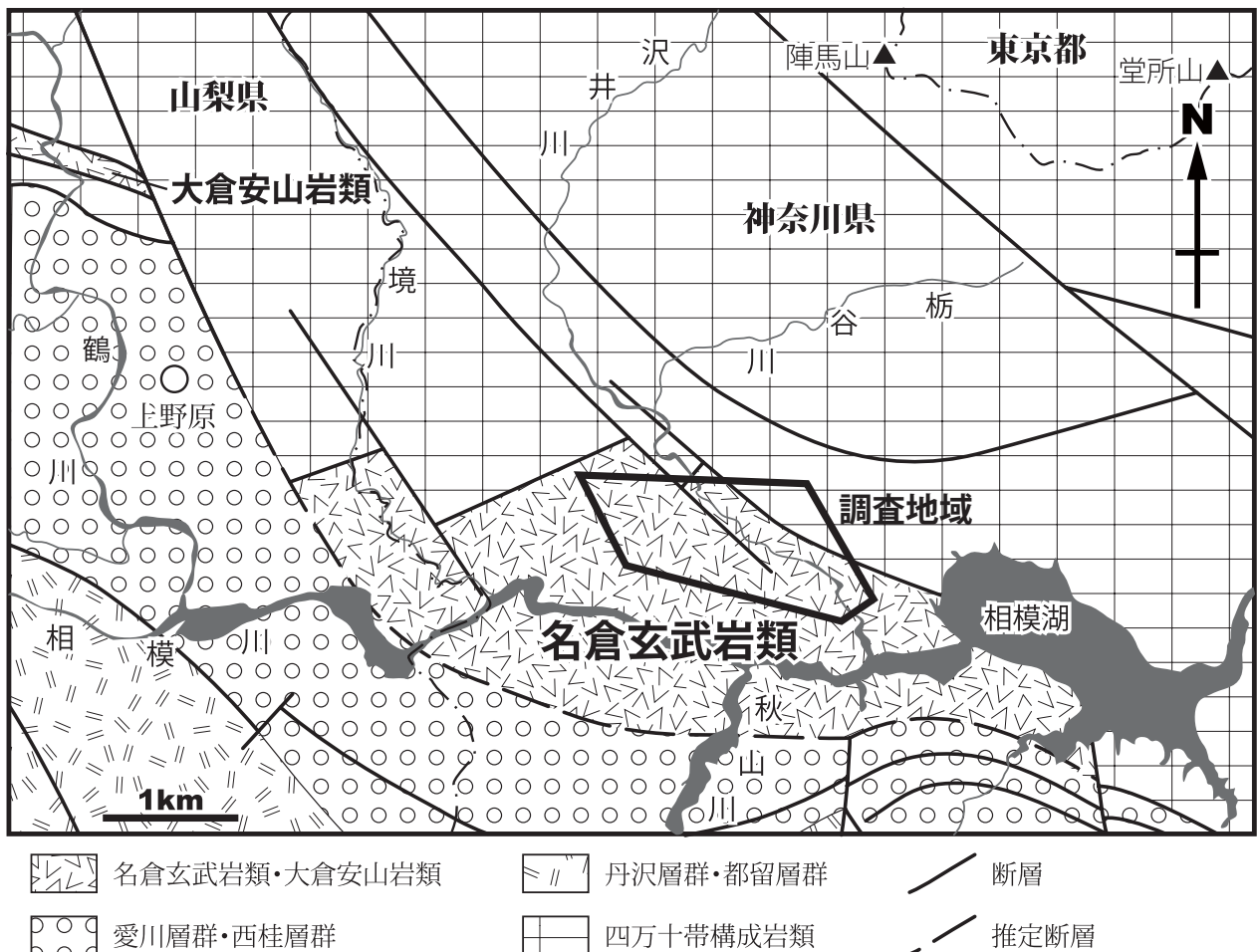


図1 調査地域地質概略図 坂本ほか（1987）を基に作成

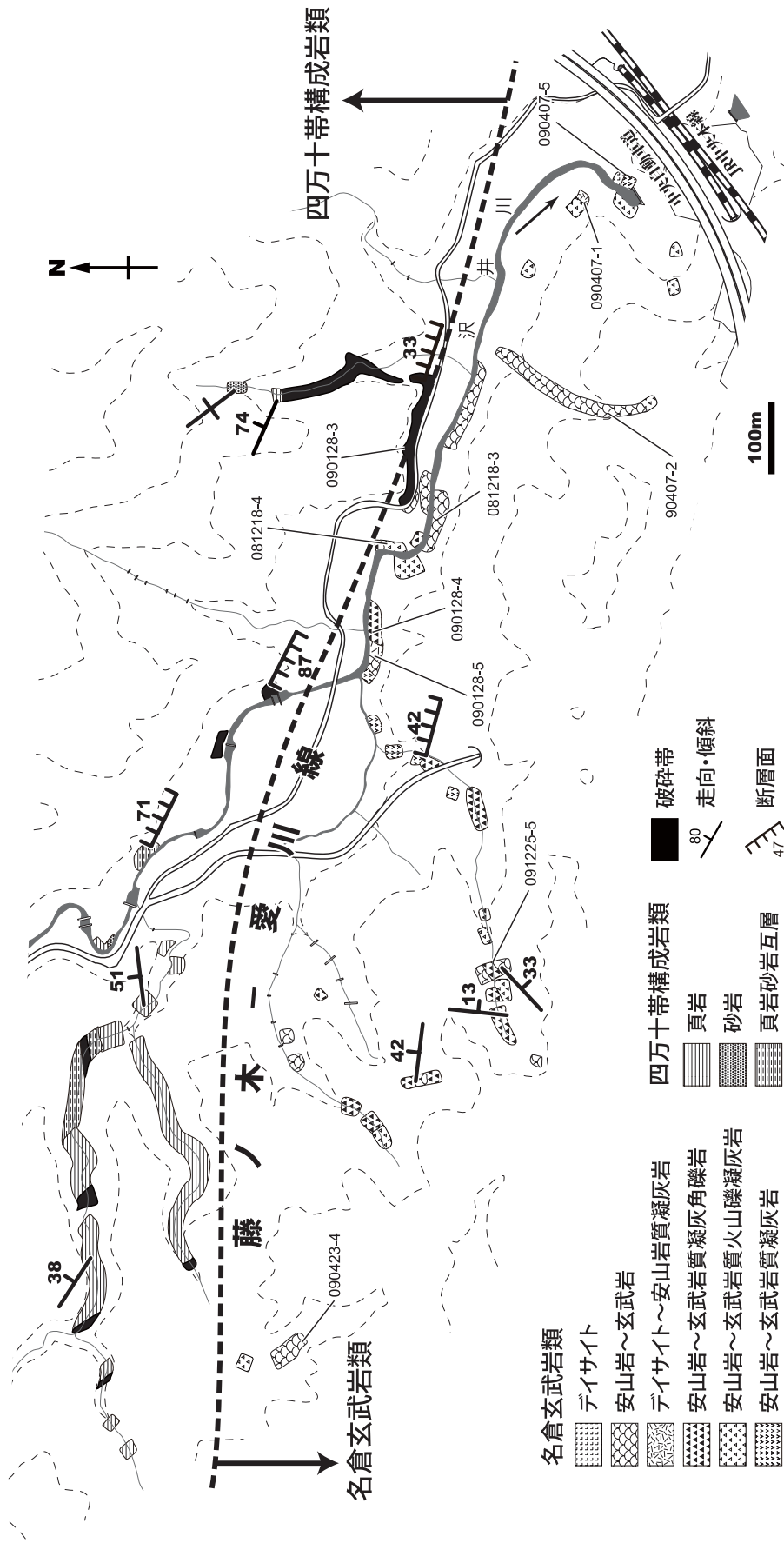


図2 沢井川下流の名倉玄武岩類分布域のルートマップ

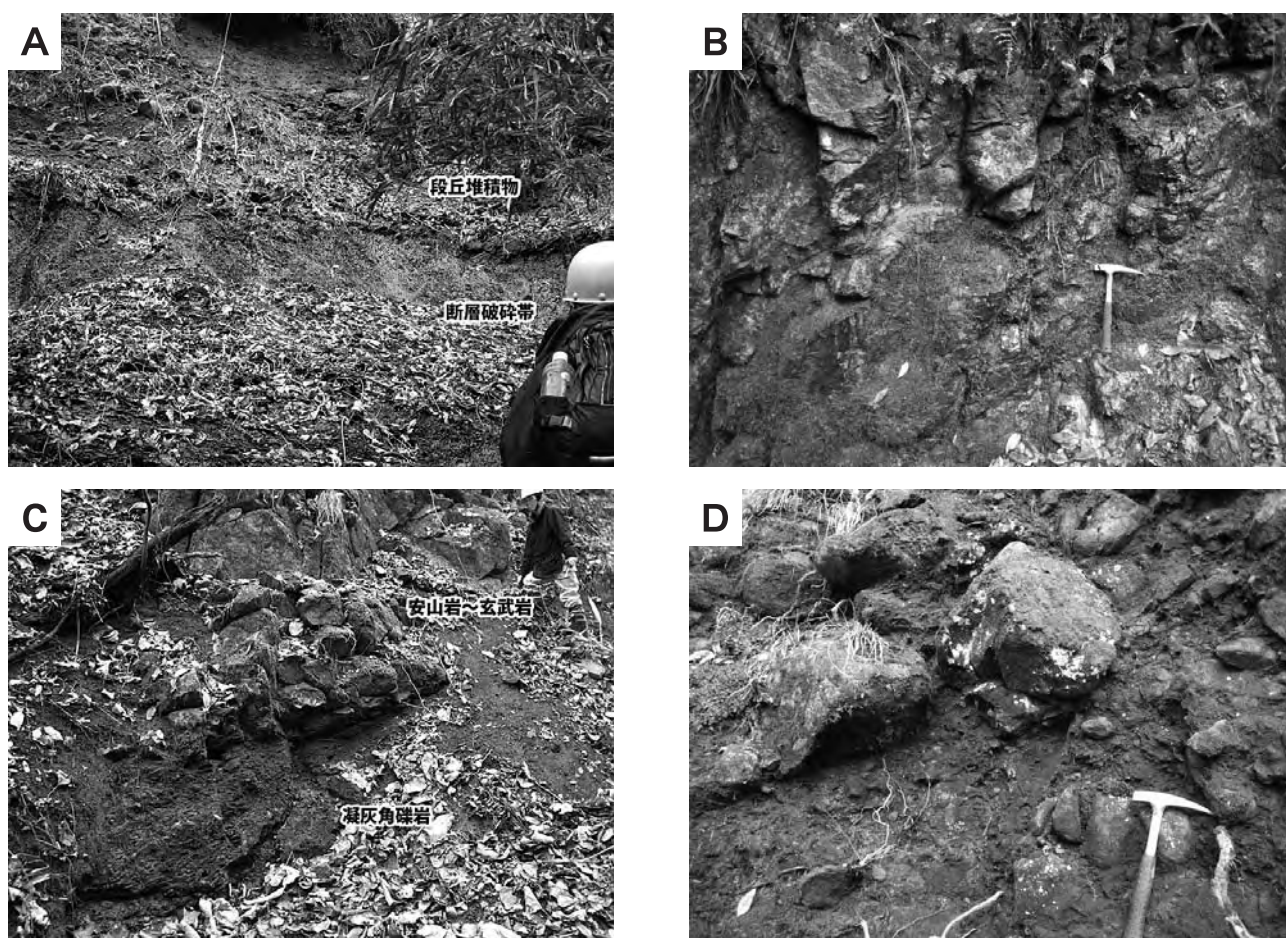


図3 沢井川下流部の名倉玄武岩類の露頭写真

A: 断層破碎帯を覆う段丘堆積物 (地点090128-3)、B: 枕状溶岩 (地点081218-3)、C: 安山岩~玄武岩質凝灰角礫岩を覆う安山岩~玄武岩 (地点091225-5)、D: 円礫を含む安山岩~玄武岩質凝灰角礫岩 (地点090128-4)

岩類はトラフ充填堆積物と本州弧の白亜紀~古第三紀付加体とに挟まれて分布しており、その特徴を明らかにすることは、本州弧と伊豆・小笠原弧の島弧同士の衝突過程と、その後のテクトニクスを解明する上で重要なデータを与えてくれる。しかし、これらの火山岩類の詳しい研究は行われておらず、その詳細は明らかにされていない。筆者は西南日本弧と伊豆・小笠原弧の衝突地域の地質を明らかにするため、神奈川県西北部の調査を進めているが、本報告では、不明な点の多い名倉玄武岩層について、相模原市西北部の沢井川下流部で調査を行った結果を報告するものである。

なお、本稿では本間 (1976) の大倉安山岩層および名倉玄武岩層をそれぞれ大倉安山岩類、名倉玄武岩類と呼ぶこととする。

2 地質概説

名倉玄武岩類は相模原市藤野町~上野原市上野原にかけての狭い範囲に主に分布する (図1)。北東~北側は籐ノ木-愛川線

ノ木-愛川線で四万十帯構成岩類と、南西~南側は西桂層群の鶴川礫岩、岩殿山礫岩および愛川層群の石老山礫岩と断層で接する (本間, 1976; 坂本ほか, 1987)。鶴川礫岩、岩殿山礫岩および石老山礫岩はトラフ充填堆積物で、堆積年代は後期中新世~前期鮮新世と考えられている (青池, 1999)。

名倉玄武岩類に接する四万十帯構成岩類は古第三紀の付加体である相模湖層群 (酒井, 1987; Yagi, 2000) で、主に、頁岩、砂岩、砂岩頁岩互層からなり、流紋岩質凝灰岩を伴う。調査地域の相模湖層群は変形構造が発達しており、特に頁岩には顕著に認められる。

3 調査地域の名倉玄武岩類の地質

今回調査を行ったのは神奈川県相模原市西北部の沢井川下流部である (図1)。調査地域は名倉玄武岩類分布域の北部であり、北東側は断層 (籐ノ木-愛川線) で四万十帯相模湖層群と接し、南側は相模川沿いに発達した後期更新世の段丘堆積物により覆われている。籐ノ木-愛川線

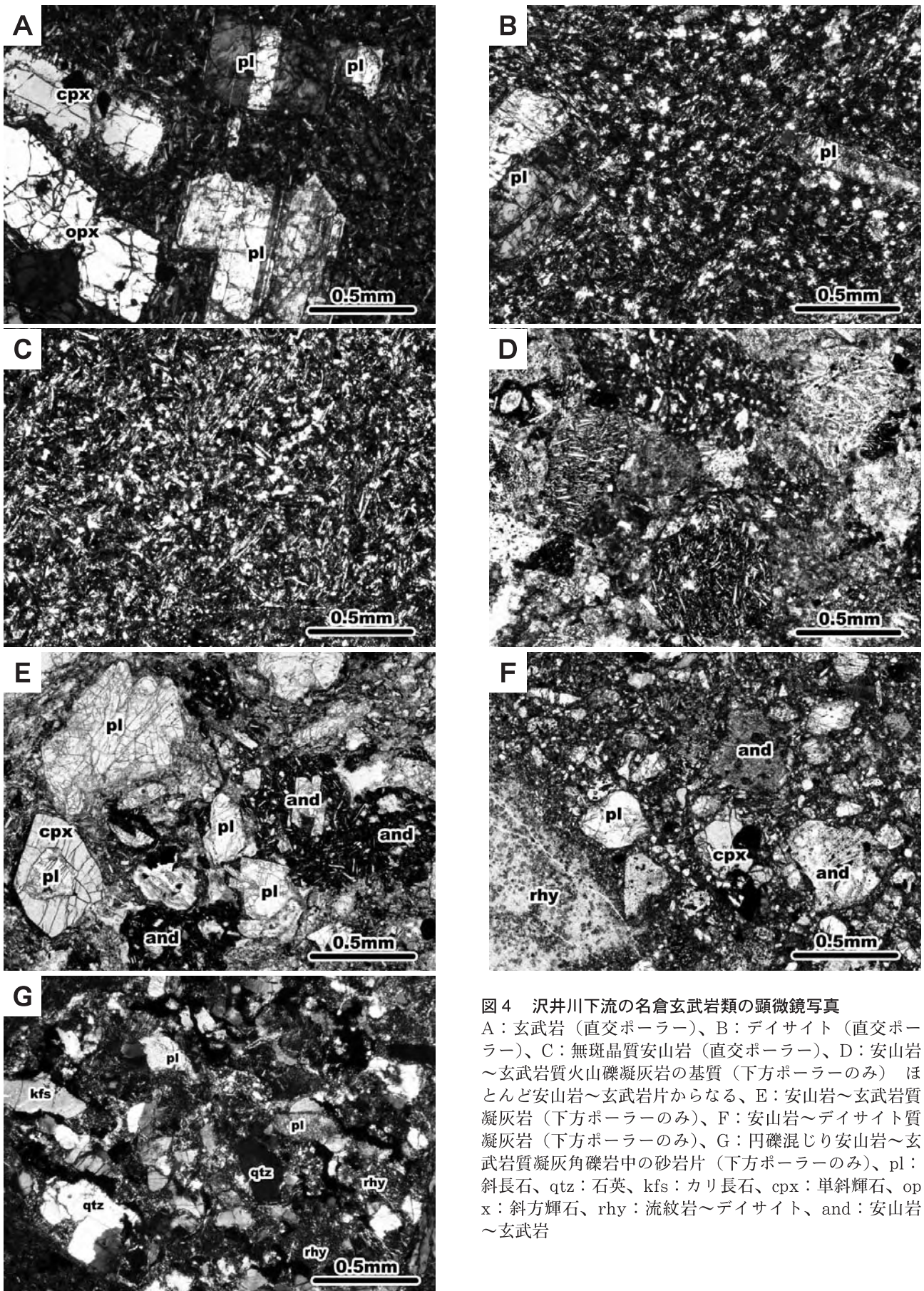


図4 沢井川下流の名倉玄武岩類の顕微鏡写真

A: 玄武岩 (直交ポーラー)、B: デイサイト (直交ポーラー)、C: 無斑晶質安山岩 (直交ポーラー)、D: 安山岩～玄武岩質火山礫凝灰岩の基質 (下方ポーラーのみ) ほとんど安山岩～玄武岩片からなる、E: 安山岩～玄武岩質凝灰岩 (下方ポーラーのみ)、F: 安山岩～デイサイト質凝灰岩 (下方ポーラーのみ)、G: 円礫混じり安山岩～玄武岩質凝灰岩中の砂岩片 (下方ポーラーのみ)、pl: 斜長石、qtz: 石英、kfs: カリ長石、cpx: 単斜輝石、opx: 斜方輝石、rhy: 流紋岩～デイサイト、and: 安山岩～玄武岩

表 1 沢井川下流の名倉玄武岩類のモード組成

a. 火山岩のモード組成(%)

試料番号	岩石種	カウント数	pl	cpx	opx	mafic	opq	amyg.	g.m.
90407-2	玄武岩	1505	25.4	2.5	1.8	0.1	0.3	0.0	69.8
081218-3A	玄武岩	1551	25.5	1.7	0.9	0.1	0.1	1.5	70.1
081218-3C	玄武岩	1508	29.9	0.4	0.3	0.1	0.1	4.2	65.0
090407-5D	デイサイト	1528	7.1	0.0	0.0	1.4	0.5	1.3	89.6
090423-4	安山岩	1562	6.9	0.0	0.0	2.2	0.6	0.0	90.3

pl:斜長石、cpx:単斜輝石、opx:斜方輝石、mafic:変質苦鉄質鉱物、opq:不透明鉱物、amyg.:アミグダル、g.m.:石基

b. 凝灰岩のモード組成(%)

試料番号	岩質	カウント数	pl	cpx	opx	rhy.	and.	qtz	alter.	opq	sec.	ma.
090407-5B	安山岩～玄武岩質	715	31.9	3.1	1.5	0.3	38.7	0.0	1.1	0.6	0.0	22.8
090407-1A	デイサイト～安山岩質	929	20.2	3.6	0.1	16.8	14.4	0.0	0.6	1.4	0.2	42.6
090128-5B	デイサイト～安山岩質	1501	11.5	2.6	0.0	13.7	6.5	0.2	1.3	1.7	1.1	61.5

pl:斜長石、cpx:単斜輝石、opx:斜方輝石、rhy.:流紋岩～デイサイト、and.:安山岩～玄武岩、qtz:石英、alter.:変質鉱物、opq:不透明鉱物、sec.:二次鉱物、ma.:基質

近傍では、相模湖層群は著しく破碎され、角礫化し、幅数十m以上の破碎帯を形成する。これらの破碎帯は段丘堆積物に覆われる(図3A)。断層から離れるに従い、変形の程度を徐々に減じ、未変形の頁岩、砂岩、砂岩頁岩互層に移化する。一方で、名倉玄武岩類についてはこの断層による変形構造が確認できる露頭は見出せなかった。

調査地域の名倉玄武岩類は、主に安山岩～玄武岩、同質の火山碎屑岩からなり、デイサイト～安山岩質の火山碎屑岩およびデイサイトを伴う。ルートマップを図2に、露頭写真を図3に、顕微鏡写真を図4に示す。全体的に変質が著しく、沸石、方解石、緑泥石などの二次鉱物が生じている。一部に熱水変質の結果と考えられる赤色化した安山岩～玄武岩や同質の火山碎屑岩が分布する地域もある。赤色化した岩石には赤鉄鉱が生じている。

安山岩～玄武岩

多くは塊状溶岩ないしブロック状の節理が発達した溶岩であるが、一部に枕状溶岩が認められる(図3B、C)。ほとんどのものは、斑晶が斜長石、単斜輝石、斜方輝石よりなり、基質量が65～70%である(表1、図4A)。石基は、斜長石、単斜輝石、不透明鉱物、ガラスで、インターグラニューラー～インターサータル組織を示すものが多いが、ハイアロオフィティック組織を示すものもある。また、石基が隠微晶質のものも存在する。杏仁状組織を示す場合があり、アミグダルの大きさは0.2～1.0mmで、充填物は二次鉱物と同様、沸石、方解石、緑泥石である。インターサータル組織および流理構造を示し、石基部分

が多い(90%)ものや、無斑晶質でインターサータル組織を示すものも存在する(図4C)。斜長石は最大長径5.0mm、累帯構造、集片双晶を示すものも認められる。単斜輝石は最大長径2.6mmで、集片双晶を示すものも認められる。斜方輝石は最大長径1.5mm、淡緑色～淡赤色の多色性を示す。

安山岩～玄武岩質凝灰岩、安山岩～玄武岩質火山礫凝灰岩

鉱物片として斜長石、単斜輝石、岩片として安山岩～玄武岩が含まれ、斜方輝石を含む場合もある(図4D、E、図5)。また、まれに流紋岩～デイサイトの岩片を含む。安山岩～玄武岩片はインターサータル組織、ハイアロオフィティック組織、ハイアロピリティック組織、杏仁状組織などを示す。全体的にハイアロオフィティック～ハイアロピリティック組織を示す安山岩～玄武岩片を含むものが多い。多数の不規則な形状のアミグダルを含むガラス質岩片を含むものや、ハイアロピリティック組織を示す安山岩～玄武岩片を多量に含むものも存在する。鉱物片が少なく、ほとんど岩片からなるものも認められる。二次鉱物として沸石、方解石、緑泥石が生じている。

安山岩～玄武岩質凝灰角礫岩

多くの場合、円礫を含む(図3D)。数cm～十数cmの円礫が多いが、90cmに達するものも含まれる場合がある。基質部分には鉱物片として、斜長石、単斜輝石、岩片として安山岩～玄武岩、流紋岩～デイサイトが含まれ、極少量の砂岩片が含まれることがある。斜長石は累帯構造

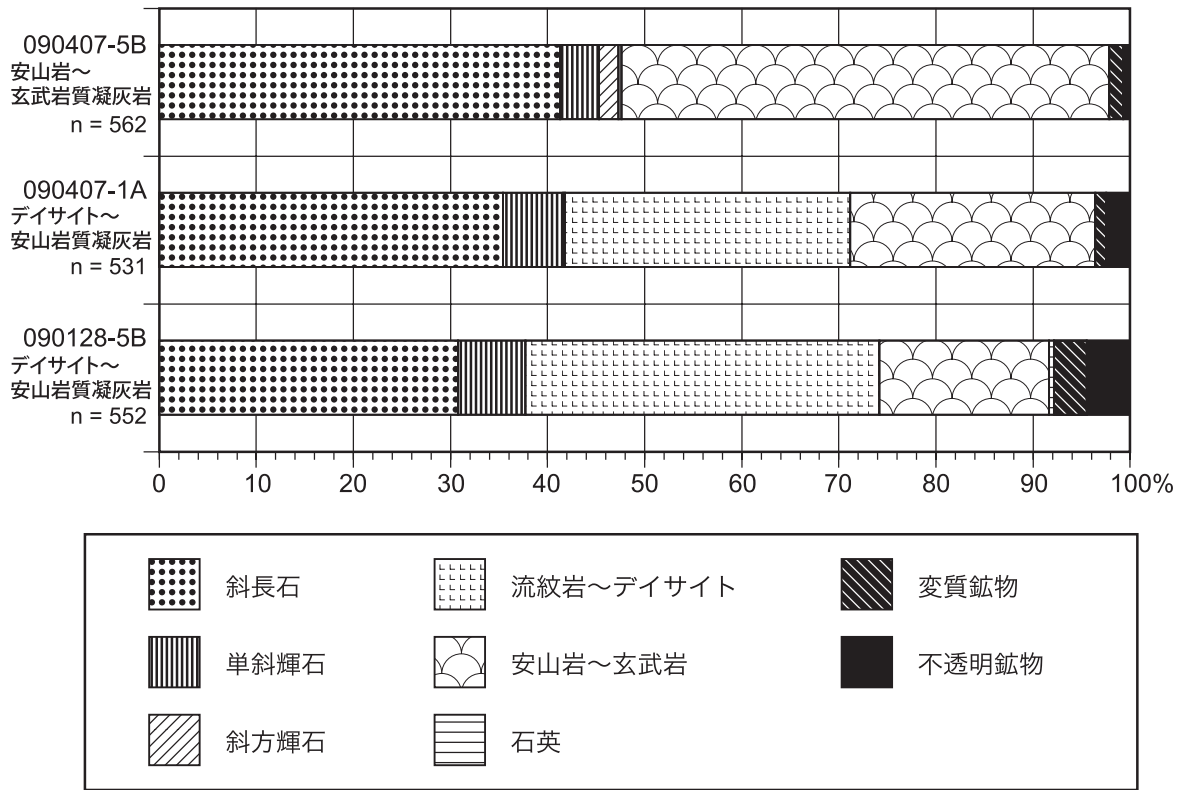


図5 沢井川下流の名倉玄武岩類凝灰岩の粒子組成

を示す場合があり、安山岩～玄武岩片はインターサータル組織を示すものが多い。砂岩片には碎屑粒子として石英、斜長石、カリ長石、流紋岩～デイサイトが含まれる(図4G)。円礫の礫種はひん岩、安山岩～玄武岩、花崗斑岩である。ひん岩礫および安山岩～玄武岩礫の斑晶は斜長石、単斜輝石、斜方輝石で、累帯構造や集片双晶を示す斜長石が多く含まれる場合がある。安山岩～玄武岩礫はインターサータル組織を示す。花崗斑岩礫は斜長石、石英よりなり、副成分鉱物として燐灰石、不透明鉱物を含む。斜長石は累帯構造が著しい。二次鉱物として沸石、緑泥石が生じている。

デイサイト

斑晶としては斜長石が含まれる。石基は斜長石と石英からなり(図4B)、副成分鉱物として不透明鉱物と多くの燐灰石が含まれる。斜長石は最大長径1.3mmである。二次鉱物として沸石、方解石、緑泥石が生じている。

デイサイト～安山岩質凝灰岩

鉱物片として、斜長石、単斜輝石、岩片として安山岩～玄武岩、流紋岩～デイサイトが含まれ、斜方輝石を含む場合もある(図4, 図5F)。累帯構造が顕著な斜長石も認められる。安山岩～玄武岩片はインターグラニュラー組織、インターサータル組織、ハイアロオフィティック組織、ハイアロピリティック組織、杏仁状組織などを示

し、アミグダルの充填物は沸石である。流紋岩～デイサイト片は不規則な形状をしたガラス質のものや、軽石である。二次鉱物として沸石、方解石、緑泥石が生じている。

4 考察とまとめ

調査地域の名倉玄武岩類は安山岩～玄武岩質の火山岩、同質の火山碎屑岩を主体とし、陸源性の碎屑物をあまり含まない。したがって、南側に分布するトラフ充填堆積物の西桂層群・愛川層群とは異なる堆積環境で形成されたものである。名倉玄武岩類には安山岩～玄武岩質溶岩が多く、枕状溶岩もみられることから海山の近傍で形成されたと考えられる。しかし、名倉玄武岩類の安山岩質凝灰角礫岩には、わずかではあるが砂岩片が含まれる。砂岩片は石英、斜長石、カリ長石、流紋岩～デイサイトからなり、付加体の砂岩起源と考えられる。また、調査地域外ではあるが、相模原市藤野町の篠原川下流域で、安山岩質火山碎屑岩中より放散虫を含むチャート礫を見出した。したがって、名倉玄武岩類はトラフ近傍の陸源性碎屑物の供給が可能な地域において、活発な水底火山活動により形成されたと推定できる。

南部フォッサマグナ地域の丹沢山地、御坂山地、天守山地などには中新世の火山噴出物を主体とする丹沢層群

や都留層群、西八代層群が分布する（松田・水野，1955；見上，1955；水野・片田，1958；丹沢団体研究グループ，1973）。名倉玄武岩類も火山噴出物を主体とすることから、上述の地層群のいずれかに対比できると考えられる。調査地域の名倉玄武岩類の火山岩類には斜方輝石が含まれることが特徴である。丹沢層群・都留層群において斜方輝石を含む安山岩～玄武岩類の分布は極限定されており、煤ヶ谷亜層群の大沢層および大山亜層群相当の秋山層上部から報告されているに過ぎない（Mikami, 1961, 1962；島津・楠田，1980）。ただし、大沢層はおもにデイサイト～安山岩質の凝灰岩および火山礫凝灰岩からなり（Mikami, 1961, 1962）、秋山層は安山岩～玄武岩質火山碎屑物を主体とするものの、デイサイト質凝灰岩を顕著に共在し（島津ほか，1971）、いずれも名倉玄武岩類とは岩相が異なる。丹沢層群・都留層群の西隣に分布する西八代層群の市川大門累層および醍醐山累層などからは斜方輝石を含む安山岩～玄武岩質火山岩類が報告されている（松田・水野，1955；水野・片田，1958；島津ほか，1976）。これらは、籐ノ木-愛川線の西端部および西方延長上にあたり、名倉玄武岩類は西八代層群の一部に対比できる可能性がある。

名倉玄武岩類はトラフ充填堆積物のさらに陸側に、籐ノ木-愛川線との間に挟まれて分布し、大倉安山岩類は四万十帯構成岩類中に断層で囲まれてレンズ状に産する（本間，1976）。本間（1976）は、名倉玄武岩類および大倉安山岩類は強い変形を被った部分もみられることから、これらの岩石は籐ノ木-愛川線の活動によって上昇し、地表に露出したものと考えた。名倉玄武岩類は西八代層群の一部に対比できる可能性があることから、西八代層群の一部が籐ノ木-愛川線の運動に伴い四万十帯構成岩類とトラフ充填堆積物の間に挟み込まれた可能性がある。

謝辞 神奈川県立生命の星・地球博物館の平田大二氏には丹沢層群の地質について貴重なご助言をいただいた。海洋開発機構の青池 寛氏には丹沢層群の火山岩類についてご教示いただくとともに未公表データを見せていただいた。首都大学東京の河合貴之氏、斎藤はるか氏には現地調査でお世話になった。また、大野正一氏には薄片を作成していただいた。なお、本研究の一部には財団法人日本科学協会の笹川科学研究助成による助成金を使用した。以上の諸氏および関係機関に深く御礼申し上げます。

引用文献

天野一男，1986. 多重衝突帯としての南部フォッサマグナ. 月

間地球，8；581-585.

青池 寛，1997. III.丹沢山地ならびに周辺地域の地質. 1.丹沢山地の地質. 丹沢大山自然環境総合調査報告書. 神奈川県；24-31.

青池 寛，1999. 伊豆衝突帯の構造発達. 神奈川県立博調査研報（自然科学），No.9；113-151.

本間岳史，1976. 丹沢山地北縁の地質構造. 地質学論集，No.13；279-297.

松田時彦・水野篤行，1955. 富士川上流地域の西八代層群の層序. 地質雑，61；258-273.

見上敬三，1955. 丹沢東縁部の地質. 横浜国立大理科紀要，Sec. II，4；41-48.

Mikami, K., 1961. Geological and petrological studies on the Tanzawa mountainland (part I). Sci. Rep. Yokohama Natl. Univ. Sec. II，8；57-110.

Mikami, K., 1961. Geological and petrological studies on the Tanzawa mountainland (part II). Sci. Rep. Yokohama Natl. Univ. Sec. II，9；59-108.

水野篤行・片田正人，1958. 西八代層群(中新統)について. 地球科学，39；1-14.

酒井 彰，1987. 五日市地域の地質. 地域地質研究報告（5万分の1地質図幅），地質調査所，75p.

坂本 亨・酒井 彰・秦 光男・宇野沢昭・岡 重文，1987. 20万分の1地質図「東京」. 地質調査所.

島津光夫・上村康夫・関根一昭・山田守，1976. 御坂山地，古関-高萩地域の地質および変成作用. 地質学論集，no.13；313-327.

島津光夫・田淵章敬・楠田 隆，1971. 丹沢山地東北部の地質構造. 一丹沢山地の地質学的岩石学的研究その1-. 地質雑，77；77-89.

篠木嶺二・見上敬三，1954. 丹沢山塊東北部の構造について. 東教大地鉞研報，3；117-123.

杉山雄一・須見俊彦・井村隆介・水野清秀・遠藤秀典・下川浩一・山崎晴雄，1997. 活構造図. 50万分の1活構造図8「東京」（第2版）. 地質調査所.

丹沢団体研究グループ，1973. 丹沢山地のグリーンタフに関する研究--（その1）北部地域の層序と構造--，地質学論集，no.9；55-68.

島津光夫・楠田隆，1980. 丹沢山地の新第三紀火山岩. 地質雑，86，9；593-612.

Yagi, N., 2000. Stratigraphy of the Cretaceous and Paleogene Sedimentary Complexes of the Kobotoke Belt, Kanto Mountains, Central Japan. Science Reports of the Institute of Geoscience, University of Tsukuba, Section B, 21；13-40.

ペルセウス座IU星のCCD測光観測

杉本 芳秋

1 はじめに

ペルセウス座IU星は同星座のベータ星（固有名アルゴル）付近にある（図1）。GCVS4TH（参考文献参照）によればアルゴル型半分離の食連星で周期が0.85日、スペクトルはA4、明るさが10.5等から11.6等までの範囲で変光する星である。この星の光度曲線観測とスペクトル観測をもとに報告される最近の論文の内容は、伴星から主星に質量移動が行われ、O-C値が減少傾向で周期が短くなっている（Qian.2001）。主星は約90分の基本周期を持つ動径振動をしており、たて座デルタ型の短周期の脈動が見られケフェイド不安定帯に属しているという（Zhang, Xiao-BinQian et al.2009）。

しかし、議論はVisual波長域の観測データからが多く、ほかの波長域の観測が少ない。恒星の物理量を示す基本データに関する報告は少なく不確かであり、総合的な把握が求められている。

そこで、今回、Visual波長域以外の色による光度変化を一周期分にわたり捉えること、そして、最新の元期（ephemeris）と周期を求めるとともに振動の様子を捉えてみることを観測目的とした。

2 観測

口径20cm口径比F4ニュートン式反射望遠鏡にCCD測光器を装着しBlue、Visual、Infraredの各色フィルターを通して測光を試みた（図2）。撮像画角は59分×39分角である。積分時間はBフィルターが30秒、Vフィルターが20秒、Iフィルターが8秒間である。

表1 光度曲線決定に用いた星のデータ

	目的星	比較星	チェック星
名称	IU-Per (GSC 2858-2564)	BD+43 609 (GSC 2858-2543)	BD+43 608 (GSC 2858-2403)
位置 赤経:	2h 59m 37s	2h 59m 0s	2h 57m 56s
赤緯:	+43° 55' 19"	+43° 57' 20"	+43° 43' 20"
色スペクトル	A4	K0	k5
明るさ・等級	B 10.5 V 10.5	B 9.31 V 7.95	B 10.78 V 8.94

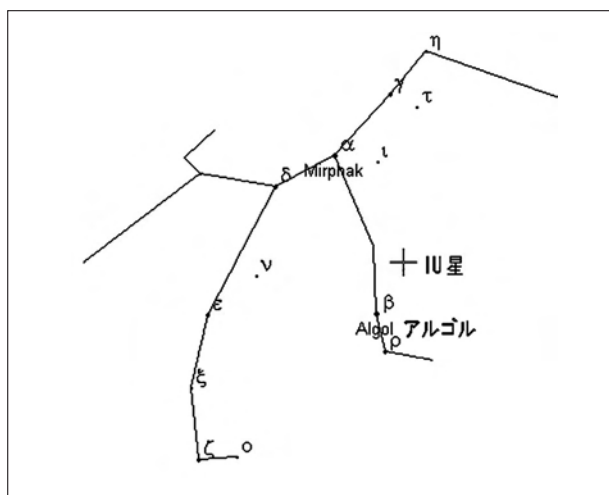


図1 ペルセウス座IU星の位置図

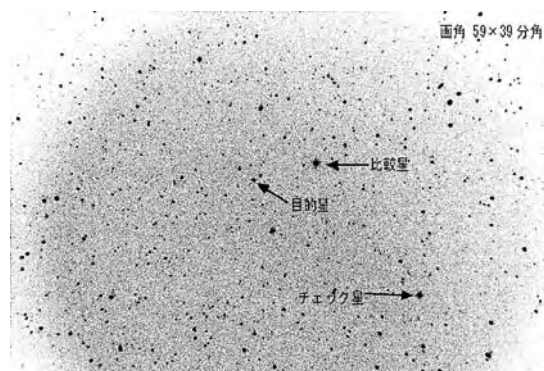


図2 光度曲線決定に用いた星

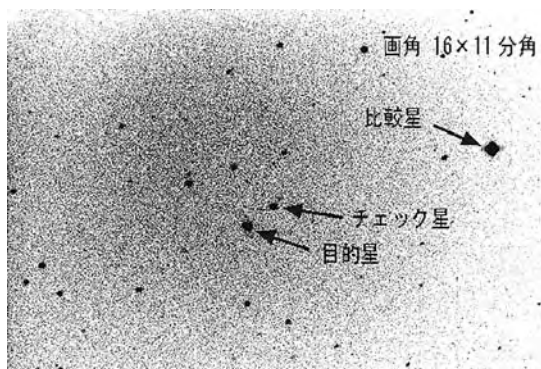


図3 脈動測定に用いた星

比較星はGSC 2858-2543、チェック星にGSC 2858-2403を選んだ。観測は2009年10月13日から12月22日までに計7日間を行い、この間に主極小3回、副極小3回を取得した。

CCD測光器はST-8、データ取得のソフトウェアはCCD Soft CCD Astronomy SoftWare SBIG&SB Inc.、データ処理、グラフ作成はAIP4Win (WillmanBell Inc)、Excel (Microsoft)、Gnuplot (Original Soft Thomas Williams, ColinKelley) を用いた。また、Heliocentric Julian Daysの計算は Dan Bruton (astro@sfasu.edu), SFA Observatory提供ファイルを利用した。

脈動の様子を捉えるために、口径40cm口径比F15カセゲレン式反射望遠鏡にST-8カメラと0.5倍レデューサーを同時に装着し観測した。この時の画角は16分×11分角である。比較星にGSC 2858-2543、チェック星にGSC 2858-2003を選んだ(図3)。撮像は各画像ともにマイナス5°Cのベルチェ冷却し、それぞれ2×2のビニングをかけ、フレームサイズはハーフサイズで取得した。画像にはフラット及びダークノイズ処理を施した。

3 観測結果と課題

B、V、Infraredの各色毎の1周期における光度変化を求めた。光量の変化を数値に換算しグラフ化したのが(図4)である。比較星との差測光で等級数値を決めているが、B等級では観測値は0.67等級の範囲で変化していた。10.87等星から11.54等星までである。V等級では、観測値で0.65等級の範囲で変化し、10.34等星から10.99等星の範囲であった。また、Infrared等級では、0.57等級の範囲で変化していた。GCVS4THの公表値は10.5等星から11.6等星まで1.1等級の幅であるのから、比較すると1/2の等級しか変光していないことが分かった。

次に、V等級による主極小および副極小の時刻を決定し、最新の元期(ephemeris)と変光周期を求めた。予想式はGCVS4THより、 $J.D2445611.436 + 0.8570251 \times E$ を採用した。

極小時刻の決定はKwee and Van Woerden Methodを用いている。

主極小時刻をとらえたのは次の3日である。

- 10月28日 Hel(Min)JD 2455132.14003 ± 0.00047 (i)
 - 同日 Hel(Min)JD 2455132.99690 ± 0.00079 (ii)
 - 12月21日 Hel(Min)JD 2455186.99015 ± 0.00036 (iii)
- (i)は図5から決定している。(ii)は図6に対応し、(iii)

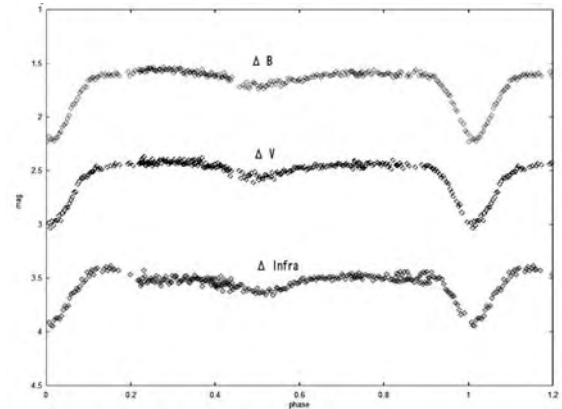


図4 B,V,Infrared色の光度曲線

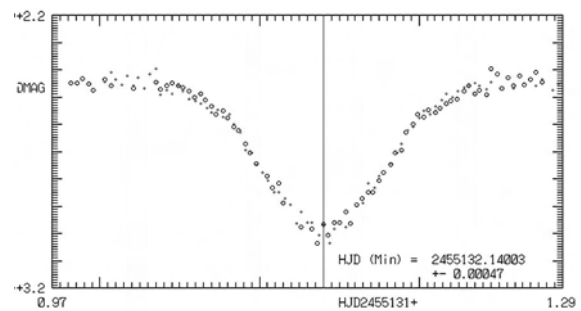


図5 10月28日の主極小 1回目

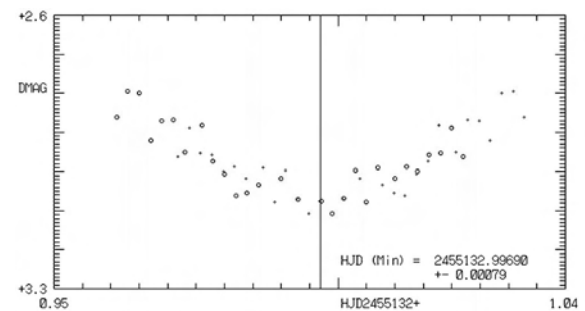


図6 10月28日の主極小 2回目

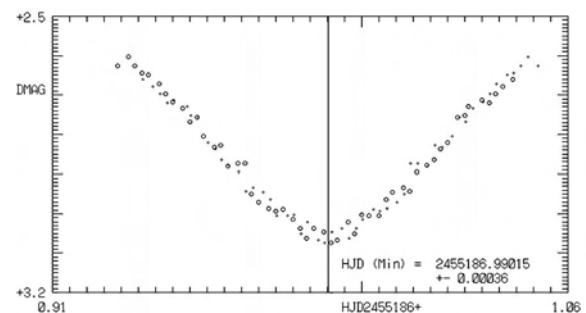


図7 12月21日の主極小

は図7に対応している。

極小時刻が分かると周期を導ける。

(i)から周期 $p = 0.8570262$

(ii)から周期 $p = 0.864810$

(iii)から周期 $P = 0.8570262$ を求めることができ、最新の最新の元期(ephemeris)と変光周期を

$$\text{Hel}(\text{Min})\text{JD} (2455186.99015 \pm 0.00036) \times (0.8596208 \pm 0.0036694 \text{日}) \times E$$

と計算した。

また、GCVS4THの値から観測値と予報値とのズレまたは差である「O-C」値は 0.0123 ± 0.00028 日であることが分かった。

脈動の観測を試みたのは12月19日、この時の位相は0.56から0.94の間である。捕捉しやすいように極小期を避けている。その結果を示したのが図8と図9である。これらは継続したものであるが2枚に分けている。横軸が時間経過を示す日心ユリウス日で1455185日を中心に0.02日(約29分)ごとに分けている。縦軸は比較星との差等級に変化を示している。図からは光度曲線が0.02日ごとに0.05等級の範囲で波状に振動しているようにも見えるが、不確かである。微振動の変化を正確に捉えるための検討を今後の課題としたい。

参考文献

kholopov, The Combined Table of General Catalogue of Variable Star Volumes I-III, 4th Ed. (GCVS4)(1988) And Names of Variable Stars Nos.67-79 With Improved Coordinates, Institute of Astronomy of Russian Academy of Sciences and Sternberg State Astronomical Institute of the Moscow State University, (1985-2008)

Zhang, Xiao-Bin; Zhang, Rong-Xian; Li, Qi-Sheng, The semi-detached binary system IU Per and its intrinsic oscillation, Research in Astronomy and Astrophysics, Volume 9, Issue 4, pp. 422-430 (2009).

Qian, Shengbang, Possible Mass and Angular Momentum Loss in Algol-Type Binaries. III. TU Cancri, FZ Delphini, AY Geminorum, VZ Leonis, FH Orionis, IU Persei, XZ Persei, and BE Vulpeculae, The Astronomical Journal, Volume 121, Issue 3, pp. 1614-1622 (2001)

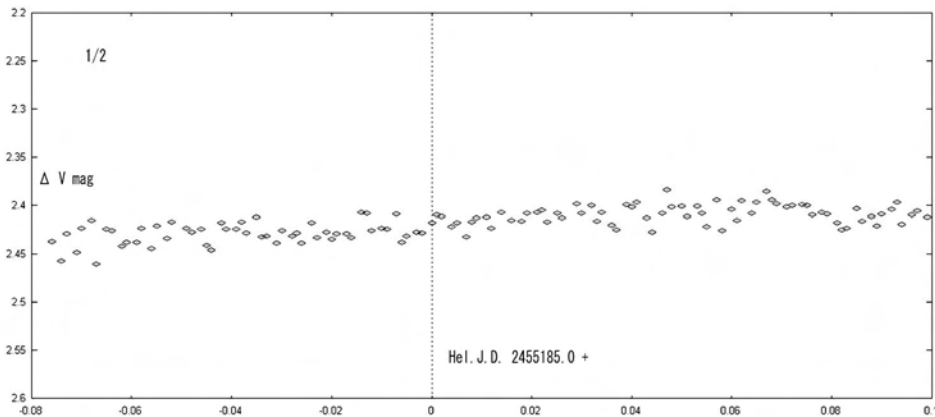


図8 12月19日の光度変化 (1/2)

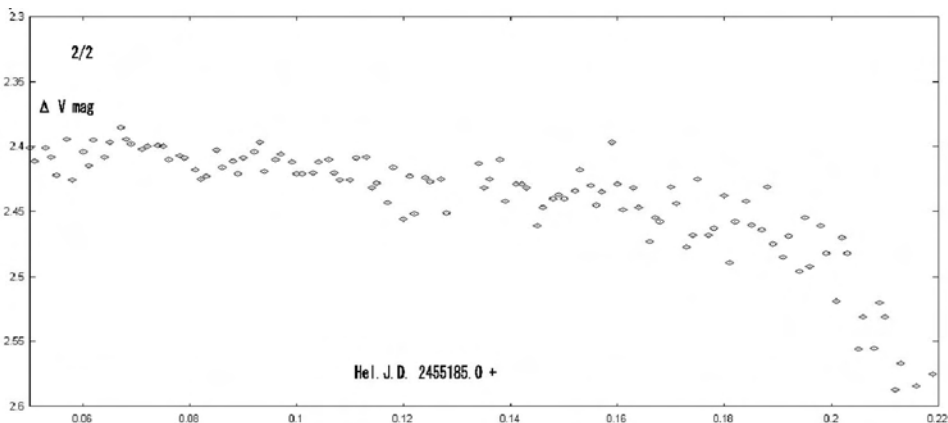


図9 12月19日の光度変化 (2/2)

プラネタリウム 学習投影教材のデジタル化

～プロジェクターの活用～

平 能 克 泰

1 はじめに

世の中の機器のデジタル化が進む中、プラネタリウムもその例外ではない。ここ数年、各館でプラネタリウムのデジタル化が進んでいる。

電球とレンズで星像をスクリーンに映し出し、モーターと歯車でそれを運動させるアナログ式に対して、プロジェクターと魚眼レンズでPCからの星の映像を映し出すデジタル式は、自由度が大きく、単に星を映し出す機械というよりもスペースシミュレーターと言っても良いだろう。しかし、一方、星の美しさを表現するには、まだアナログ式に一步譲っているのが現状である。

そのため、両方式の良い所をとったハイブリッド式プラネタリウムが今、主流となっている。これは単に両方式が使えるという形ではなく、連動させることによって両方式の長所を生かすことができるよう工夫されている。また、プロジェクターを複数台連動させることにより全天映像の投影が可能になる。

従来、プラネタリウム内でのプレゼン用メディアと言えば、スライドが中心であった。これもデジタル化の波により、プロジェクターからの映像に変わりつつある。PCからのプレゼン映像を利用するわけだが、PowerPointが典型定期的なソフトであろう。昨今は、ドーム投影を前提にしたQuadraturaといったソフトも登場し、Uniview, Mitaka, ステラドームといったスペースシミュレーターソフトも各種増え、進歩している。

2 映像のデジタル化

当館では、従来プラネタリウムとして、光学式プラネタリウム五藤光学研究所「ヘリオス」及びプレゼン用XGAプロジェクター、全天周映画用としてUltra70を運用してきた。Ultra70は、70mmフィルムを使う最高性能の映写機であるが、ランニングコストがかかることは歪めない。また、プラネタリウムのオート番組制作にも莫大な手間と費用を要してきた。

そこで、平成21年度、大型プロジェクターを導入し、プラネタリウムのプレゼンと全天周映画をこの機器で運用することにした。

これは、プラネタリウムにとっては、ヘリオスを中心とした「映像のデジタル化」である。プロジェクター1台と魚眼レンズによる投影のため、全天をカバーできないが、Ultra70とほぼ同じ画角を確保し、映画上映も行う。

プラネタリウム一般投影の番組制作や学習投影の教材作りを館内でできるようになり、柔軟な対応が可能になった。

3 システムについて

プロジェクターの導入については、2つの案があった。1つは、光量を重視した映画よりの選択、もう1つはコントラストを重視したプラネタリウムよりの選択である。残念ながら、現在の技術では光量とコントラストは両立しない。(レーザープロジェクターは、両立可能であるが、コスト的に難しい)



図 1

当館では、プラネタリウム番組を自主制作するという観点から、プラネタリウムよりの高精細、高コントラストのプロジェクター【ビクター DLA-SH4K】+魚眼レンズ(五藤光学研究所製)(図1)を選択した。これにより、4Kという高精細の映画を上映することができ、全

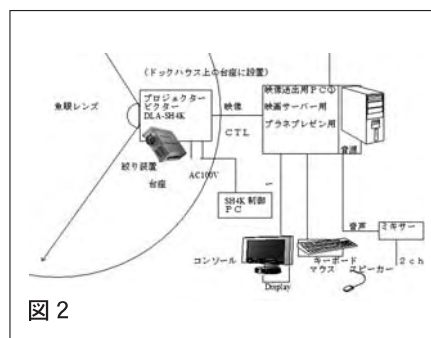


図 2

天周映画にも大きなメリットがある。構成は、図2のとおりである。

- 投影システム（コンピュータ）
 - CPU:Cori7 950 3.07GHz
 - memory:3GB
 - リムーバブルHDD 2台（1台はバックアップ）
 - OS:WindowsXP sp3
 - グラフィックボード：NVIDA GeForce GTS250×2
 - 動画再生ソフト：
 - 4K 五藤光学研究所ムービープレーヤー
 - 2K VLC（フリーソフト）
 - プレゼンテーションソフト
 - PowerPoint2007（ハイビジョンプレゼン）
- コンソールと投影システムの間は、LANでディスプレイ及びマウスを延長し、プロジェクター及びレンズ絞りのコントロールもLANでPC操作としている。

4 学習投影教材のデジタル化

従来もPowerPointを用いたプラネタリウム学習投影をXGAプロジェクターで行ってきたが、本プロジェクターと専用魚眼レンズの導入によりハイビジョンのプレゼンをほぼ視野いっぱいのサイズで投影できるようになった。本プロジェクターにより星像も光学式には劣るものの、表現できるようになった。また、高コントラストであるため黒色がしまり、光学式のプラネタリウムの星像とPCの映像を重ね合わせることも可能になった。これにより、スライドレス投影が可能になり「映像のデジタル化」が完成したことになる。

(1) 教材の制作

①電線を基線とした星の動き

小学校4学年の理科教科書（東京書籍）には、天頂近の星の動きを記録する際、頭上に見える電線を基線として利用する方法が記述されている。これをシミュレートした。(図3・4)

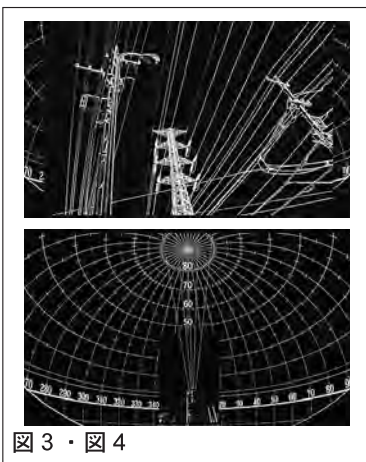


図3・図4

②月の動き（連続）

天体の動きを記録する場合、通常1枚の記録用紙に連続的に観察対象を記入することになる。一度に1個の月を表示することを基本とする光学式プラネタリウムでは、これを表現することはできないが、デジタル映

像で可能となった。(図5)

③太陽の動き

(季節による変化)

光学式のプラネタリウムでも季節毎の太陽の動きを連続的に表示できる機種もあるが、その機能を持たない機種でも表示でき、季節による太陽の軌跡を表せるようになった。(図6)

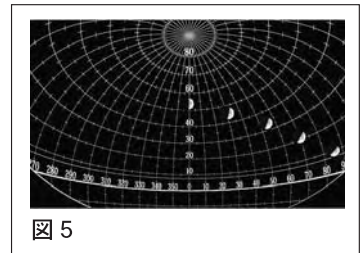


図5

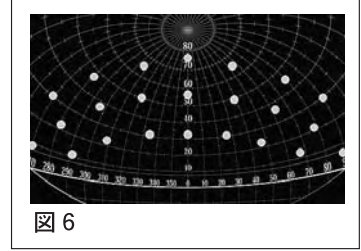


図6

④スカイライン

スライドを作成しなくても、容易にスカイライン投影が可能になった。橋本駅周辺の夜景を撮影し、光害の例として表示できるようにした。(図7)



図7

⑤星の名前、記録用紙イメージ等のデータ表示

従来、星の名前や星座名をドームに表示するにはユニプロを用いるのが一般的であるが、デジタル表示にすることで、星名の意味や別名も簡単に表示できるようになる。

また、記録用紙イメージを星像に重ねることで、観察記録方法をわかりやすく提示できる。

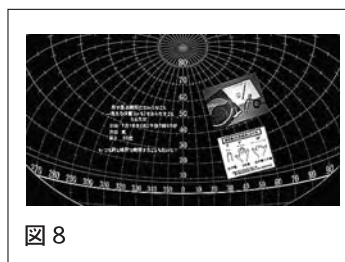


図8

⑥アナログ番組をデジタルに

今後、現在、数種あるスライドを中心とした学習投影番組をデジタル化していくことが必要である。投影準備やオペレータの負担を

軽くするだけではなく、学習進度に合わせて、内容を追加したり、削除したりすることが簡単にできるようになる。著作権等がクリアできれば、全番組をデジタル化したいと考える。(図8)

(2) スペースシミュレーター（フリーウェア）の活用

中学校3学年の理科天文学習では、惑星の動き（順行・逆行・留）等を理解させる手段としてプラネタリウム利

用が期待されている。プログラムを組むことで表示可能ではあるが、シミュレーターの活用で容易となった。

①Mitaka&MitakaPlus

Mitkaは、国立天文台「4次元デジタル宇宙プロジェクト」のシミュレーションソフトで、フリーとして使える。派生種としてMitaka++がある。スクリプト編集ができたり、3D表示ができたり、ゲームコントローラー操作ができたりと、よく練られたソフトである。

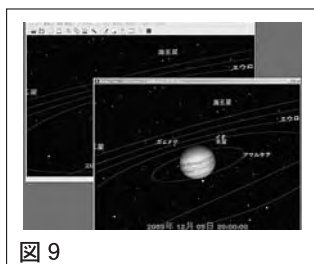


図9

商品化されたMitakaProもある。

操作画面と表示画面の2画面構成(図9)は使いやすく、太陽系内から宇宙の大規模構造まで表示ができる。BGMが設定できたり、

フェードイン・アウトがあったりするところは、プラネタリウム利用を念頭によく考えられている。

日本製とあって、マニュアルもわかりやすく直感的に使えるソフトである。

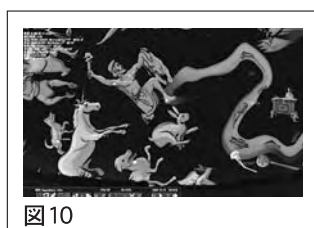


図10

②Stellarium

カスタマイズされ、商品化されてもいるが、フリーウェアとして使用できる。(図10) マニュアルが英語ではあるものの、操作は簡単

で直感的に使える。歪み補正も可能であり、またスカイラインも自作可能、星像の調整も可能であるなど、十分な機能を有するが、日本語表示への対応が不十分であることや一部のシステムで画像が乱れる等の障害が起きている。また、操作画面=表示画面であることから、観覧者に操作を見せてしまう欠点もある。このあたりは、キーボード操作でカバーはできる。

③太陽系シミュレータースタジオ

利用報告をすることで、プラネタリウム学習投影に利用可能となる。操作画面と表示画面の2画面構成で非常に使いやすく、用意したデジタル画像素材(静止画・動画)を同時表示できるメディアビューア機能もある。(図11) 星の動きの軌跡を残す機能やフェードイン・アウト

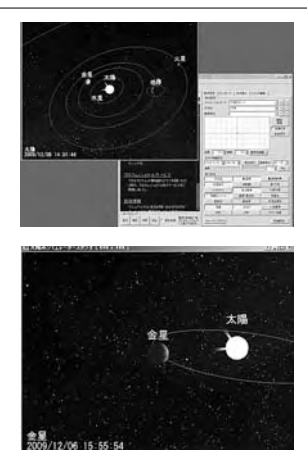


図11・図12

の機能もあり、また、星座絵が美しいことから、デジタルプラネタリウムとして十分使えるが、名称通り、太陽系の惑星や衛星、太陽系全体を提示するソフトとして威力を発揮する。日食や月食、金星の満ち欠けのシミュレート(図12)には有益に使えた。また、シナリオ作成ができ、発展性に期待ができる。

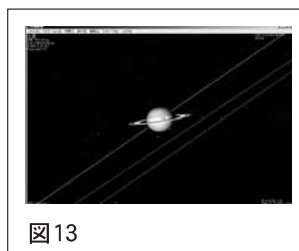


図13

④Celestia

Mitakaと似たフリーウェアであり、太陽系から宇宙の大規模構造まで表現することができる。(図13) 操作画面=表示画面であること

とや解像度に若干の不満を感じるが、マニュアル等翻訳が進み、またメニューも日本語化され、使いやすくなってきた。スクリプトによる自動化も可能である。また、ゲームコントローラー操作に対応しているのも特徴である。

5 まとめ

現在、学習投影・一般投影共にプラネタリウム番組は、2K投影でプレゼンを行っている。これは、PowerPointの性能上のことであり、将来的には4K対応のプレゼンソフトに発展させ、より精細な画像を提示することが望ましいと考える。また、視野に入る範囲の映像は、歪み補正をしなくても十分見ることができることから、現在、歪み補正のための特殊なソフトは使用していない。しかし、4Kとして全天を有効に使ったデジタル映像を作成するとなると、歪み補正を考えなければならないだろう。

シミュレーションソフトも市販品まで考慮すると、かなり範囲が広くなり、高機能になってくる。現在の小学校中心の学習投影や一般投影にどこまで機能が必要なのか、今後考えていかなければならない。

先にはプラネタリウムのハイブリッド化があるだろうが、その前になぜデジタルなのか、デジタルで何を表現しようとしているのか、デジタルだからこそできることは何なのか等、検討していく必要があると考える。

【引用資料・参考ソフトウェア】

Mitaka, Ver1.2.0, 2008.2.26, 国立天文台4次元宇宙プロジェクト

Mitaka++, Ver1.3.1, 2009.7.14, 加藤恒彦(大阪大学)

Stellarium, Ver0.10.2, 2009.10.3, Fabien Chereau

太陽系シミュレータースタジオ, Ver1.16, 2006.10.12, 太陽系模擬装置企画

Celestia, Ver1.6.0, 2009.7.09, Celestia Development Team

相模原市立博物館研究報告 第19集

発行日 平成22年 3月31日

編集・発行 相模原市立博物館

神奈川県相模原市高根 3-1-15

〒229-0021 TEL 042-750-8030

印刷・製本 有限会社 文芸印刷